

登張信一郎著 特價二・八〇 送料一五

### 新獨和辭典

★優に一般の大辭書に匹敵する小型獨和の覇者はこれ！

登張信一郎著 特價三・八〇 送料三三

### 新獨和大辭典 版及普

★獨和は登張！ の名を恣にする書の普及廉價版成る！

八於・鈴木・松本譯 特價六・五〇 送料三三

### 新露和大辭典

★露語學習者、ソグエーと聯邦研究者必須の最高語問！

大倉書店編輯所編 特價一・五〇 送料一四

### 新英和辭典

★中學生、女學生諸君の理想的英和！入學より卒業迄の師

芳賀博士・藤村博士著 特價三・〇〇 送料三三

### 修改新式辭典

★學生の良師、父兄の顧問たる最も新しい國漢兩用辭典！

岩本梓石・宮澤朱明著 特價四・八〇 送料三三

### 增新撰俳諧辭典

★俳諧の語彙研究に、句作の精選になくならぬ寶典！

北東帝國大學名譽教授 林鶴一博士著 監修  
 現在廿九冊發行 各冊菊判洋裝

### 數學叢書

方 程 式 第 一	二・三〇	二一	算術四則問題 第二の一	四・〇〇	三三
初等幾何學作圖不能問題	一・六〇	一五	算術四則問題 第二の二	三・三〇	二一
不 等 式	一・六〇	一五	おられる代數學 不定解析論	一・七〇	一五
初等幾何學軌跡問題	二・〇〇	二一	數 學 史	二・五〇	二一
方 程 式 第 二	二・八〇	二一	初等幾何學作圖法	一・五〇	一五
公算論確カラシサの理論	二・〇〇	二一	增補三角方程式	四・三〇	二一
行列式てみるみなんの理論	二・四〇	二一	初等方程式論	二・八〇	二一
微積分學の基礎	二・二〇	二一	射影幾何學	四・〇〇	二一
初等幾何學極大極小問題	三・〇〇	二一	省略算及簡便算	一・六〇	一五
方程式應用問題	一・八〇	二一	初等微分方程式	五・〇〇	二一
算術四則問題 第一	三・〇〇	二一	初等幾何學定量問題	四・三〇	二一
數の概念	二・七〇	二一	級數總和法	四・八〇	三三
順列論	二・〇〇	二一	初等積分方程式	二・五〇	二一
級數概論	四・五〇	二一	非ゆくりつど幾何學	二・三〇	二一
幾何學原理	一・三〇	一五	ポアンカレ科學と臆說	二・三〇	二一

東京日本橋南場町 大倉書店 東京日本橋南場町 大倉書店

商學士 原島

茂氏著

菊判洋裝 五九〇頁

定價金四圓廿錢 送料金十八錢

# 會計學原論

本書は權威原島茂氏の快心の名著にして、今回之を巷間に送る事の出来た事を歡ぶものである。會計學の概念より始めて其の沿革、複式簿記の基礎、財産の評価、固定資産、無形固定資産、流動資産負債、不變資本、可變資本、剩餘金の保留、秘密積立金に至るまで縱横無盡に會計學を論じて徹底せるもの。其の講述する所親切丁寧、簡潔にして明瞭良く初學者をして會計學の何者たるかを知らしむ學生諸士、實務家の好同伴として敢へて一本を薦む。

原島 茂著

爲替數理

菊判並製 二〇八頁

定價壹圓廿錢 送料十錢

カミチエル 共著

經濟學要論

菊判並製 三四〇頁

定價壹圓廿錢 送料十錢

大觀堂編輯部編 昭和叢書大觀圓本全集販賣目錄

送料共 實費拾錢也

發兌 東京東替振 早稲田 下田 戶塚 大觀堂書店

一八八

理學士 野村 猛先生著

菊判上製 三百五十頁

定價貳圓八拾錢 送料十四錢

(最新刊)

# 高等數學概說

本書ニテハ高等學校文科程度ノ學生ニ對スル高等數學(解析幾何學・微積分學・平面三角法・立體幾何學・代數學)ノ教科用或ハ參考用トシテ編述シ更ニ應用方面ノ研究者ノ爲ニ補遺篇ヲ設ケタリ。一般ニ數學書ハ難解ニシテ興味ナキモノトセラレ勝チナルガ本書ハ著者獨特ノ簡明ニシテ興味アル説述ニ終始シ如何ニ無理解ナル讀者ト雖モ、一度之ヲ繕クトキ易々トシテ倦マズ、全卷ヲ愛讀セズニハ惜カレザルノ妙、實ニ他ノ追從シ難キ所デアル。

野村 猛著

高等平面三角法

菊判上製 三一四頁

定價參圓 送料十六錢

中桐 確太郎著

論理學綱

菊判上製 三六〇頁

定價貳圓八拾錢 送料十六錢

岡田 誠一著

最新商業簿記原論

菊判上製 四五三頁

定價參圓 送料十六錢

一八九

發兌 東京東替振 早稲田 下田 戶塚 大觀堂書店

# 獨逸語の參考書

三浦吉兵衛・橋本忠夫 講述 <b>獨逸語講座</b> 六册	價各 1.20 稅各 .08	講義録中の最高最良の標準にして全六巻を初級から上級に全圖書店で分賣してある各巻とも二百余頁全巻七冊。
明大教授 道部 順著 <b>獨習者の獨逸語</b>	價 3.50 稅 .14	基礎をよくやる事。前より整に進む事練習を出来るだけ多くやる事の三つに趣意を置いて物されたもの。
陸軍教授 早川文哉著 <b>新獨逸語自修</b>	價 1.30 稅 .08	獨逸語の學習に志すもので指導者に乏しいか又は學校でも充分質問の機会を得られぬ諸學者の爲に作られたもの。
陸軍教授 早川文哉著 <b>新獨逸文法自修</b>	價 1.30 稅 .08	發音は萬國音標文字と假名とを併用し文法を主にして極く初歩から説明してある上記の自修書の姉妹篇として著す。
日本大學教授 内田 貢著 <b>獨逸語變化表と單語集</b>	價 送 .50 稅 .04	文法と單語とは語學に於ける車の兩輪である。變化と單語の暗記によつてその車は動かされる。
日本大學教授 内田 貢著 <b>表解獨逸語變化總覽</b>	價 送 1.00 稅 .06	獨逸語が難しいと云ふのは文法が分らないからで充分に格の變化や動詞の活用が飲み込めないからである。
大津 康・道部 順著 <b>獨文和譯研究</b>	價 送 2.00 稅 .12	懇切一方逐一に説明されてある獨逸語研究者並びに受験者の是非論まねばならぬ無二の良書である。
大津 康・道部 順著 <b>複式和文獨譯</b>	價 送 2.00 稅 .12	本書の特色は解答説明の最も懇切である事で和文獨譯公式便覽と單語索引とは受験者の無二の好伴侶である。
二高教授 佐久間政一著 <b>獨譯法研究</b>	價 1.30 稅 .08	既に備得してある英語の知識を活用して獨文解釋の要諦を會得せる方法で本邦で類書を見ない好書である。
二高教授 佐久間政一著 <b>和文獨譯新研究</b>	價 1.30 稅 .08	本書は第一部に文章構法の大綱を説き材料は随つた文によつてあくまで實用を第一主眼とした。
二高教授 小池 堅治著 <b>高等和文獨譯研究</b>	價 1.50 稅 .08	日刊新聞を利用して材を政治經濟法律其他社界欄より採るものとし醫學を始め學術記事をも努めて採録した。
海軍教授 橋本 忠夫著 <b>獨逸語の會話と手紙</b>	價 1.20 稅 .06	獨逸旅行者の便宜を考へ實際に彼地で語學的に力強い伴侶となる様工夫したもので一般學習者にも必讀の書である。
海軍教授 橋本 忠夫著 <b>大學入學獨逸語問題解説</b>	價 1.50 稅 .12	大正十五年から昭和六年迄の六年間の各官公立大學の獨逸語入試問題に譯例と詳註を附したもので單語集を附した。
二高教授 佐久間政一著 <b>獨逸語受験者のために</b>	價 .80 稅 .08	學生の陥り易い力點を説明し和文獨譯と獨文和譯を配して受験者唯一の羅針盤として完成されたものである。

**郁文堂書店**

東京本郷大學正門前  
振替東京14981番  
圖書目錄進呈

評好大

## 自然のさしやき

四六版布装  
定價一圓五十錢

話宗し理科  
集教み科  
的深に  
童き親

自然のさしやきは、自然の現象を巧みに観察し、その原理を科学的に説明したものである。これは、自然の神秘を解き、人間の生活を豊かにするに役立つ。本書は、自然のさしやきの原理を、やさしく、わかりやすく説明している。これは、自然のさしやきの原理を、やさしく、わかりやすく説明している。これは、自然のさしやきの原理を、やさしく、わかりやすく説明している。

書刊新

基督教讀本  
イエスの歩み  
ヘブル民族史

御原貞次郎著  
四六版布装  
定價一圓五十錢

イスラエル宗教史  
祈禱の園

岩井一太郎著  
四六版布装  
定價一圓五十錢

「かましまし」に大路あり、そのみちは聖き道とならば、歩む者は迷ふことなし。たゞ、歩まれたる者のみそこを歩むに、熱心な救はれし者、南アフリカを其の心な、如何に、美しき父の聲だ——宣教に願ふ偉大な魂のリズムだ。見よ、自らの下、樹木の葉、神學でなく、説く聖者の心、如何に、美しき父の聲だ——宣教に願ふ偉大な魂のリズムだ。見よ、自らの下、樹木の葉、神學でなく、説く聖者の心、如何に、美しき父の聲だ——宣教に願ふ偉大な魂のリズムだ。見よ、自らの下、樹木の葉、神學でなく、説く聖者の心、如何に、美しき父の聲だ——宣教に願ふ偉大な魂のリズムだ。

版再忽

## 神の大路

美布九四  
装一ト六  
圓四六  
十四  
圓錢頁版

前南アフリカ、アークアードン、ジョーザ・テ・カールトン著  
立教大學教授 東京諸聖徒教會牧師須貝止譯

〇四七一四東京替振 社版出會公聖 區布麻市京東  
二〇八七山寄話電 四二町木材

培風館高等教科書參考書

優秀・適切・新斬・斯界に最も信頼される

卷二十種二十學數											
東京女子高等師範校教授 田中増太郎著	甲南高等學校教授 藤岡茂著	甲南高等學校教授 藤岡茂著	成蹊高等學校教授 鈴木一郎著	廣島高等學校教授 下田卯市著	甲南高等學校教授 藤岡茂著	甲南高等學校教授 藤岡茂著	甲南高等學校教授 藤岡茂著	成蹊高等學校教授 鈴木一郎著	成蹊高等學校教授 鈴木一郎著	愛知醫大附屬理學士 越智治成著	愛知醫大附屬理學士 越智治成著
初等代數學ノ基礎	積分學問題通解	積分學自由	高等數學選要	解析幾何學要論	積分學要論	微積分學要論	微積分學概論	高等平面三角法	高等立體幾何學	融合微積分學	高等數學綱要
洋一冊 菊入	全一冊 菊入	全一冊 菊入	全一冊 菊入	全一冊 菊入	全一冊 菊入	全一冊 菊入	全一冊 菊入	全一冊 菊入	全一冊 菊入	全一冊 菊入	全一冊 菊入
定價 三・二八	定價 三・二〇	定價 四・一〇	定價 四・三五	定價 三・二〇	定價 一・二八	定價 一・二八	定價 二・二〇	定價 二・二〇	定價 一・二八	定價 二・二五	定價 四・三〇

卷九種九學化						卷九種七學理物					
東京高等師範校教授 伊南世登著	成蹊高等學校教授 岩永源作著	成蹊高等學校教授 岩永源作著	成蹊高等學校教授 岩永源作著	東京高等師範校教授 石川清一著	東京高等師範校教授 石川清一著	東京高等師範校教授 石川清一著	東京高等師範校教授 石川清一著	東京高等師範校教授 石川清一著	東京高等師範校教授 石川清一著	東京高等師範校教授 石川清一著	東京高等師範校教授 石川清一著
高等家事化學	高等化學問題選	橫觀有機化學	改訂橫觀無機化學	有機化學要論	無機化學要論	物質講造論	生物物理學要論	物理學實驗法講義	幾何光學	電磁氣學要論	光學要論
洋一冊 菊入	洋一冊 菊入	洋一冊 菊入	洋一冊 菊入	洋一冊 菊入	洋一冊 菊入	洋一冊 菊入	洋一冊 菊入	洋一冊 菊入	洋一冊 菊入	洋一冊 菊入	洋一冊 菊入
定價 四・三〇	定價 一・八〇	定價 二・八〇	定價 二・八〇	定價 三・三五	定價 三・八〇	定價 四・二五	定價 四・三五	定價 四・三五	定價 五・三〇	定價 五・三五	定價 四・三〇

東京市神田區 培風館 電話 三三三三 振替 東京三三三三 一七四

東京市神田區 培風館 電話 三三三三 振替 東京三三三三 一七四

一九三

一九二

權威ある教育名著選

◇ ドクトル・オヴ・フイロソフイ 大伴 茂 著 教育診断學  
上・下全二冊菊判  
洋布装函入  
定價 金九・三〇  
送料 金三・三〇  
昭和七年九月發行

◇ ドクトル・オヴ・フイロソフイ 大伴 茂 著 教育測定の原理と方法  
全一冊菊判洋布装函入  
定價 金七・八〇  
送料 金三・三〇

◇ 東京文理科大學教授文學博士 檜崎 淺太郎 著 個性教育の原理と方法  
全一冊菊判洋布装函入  
定價 金五・五〇  
送料 金三・三〇

◇ 東京文理科大學助教授文學士 武 政太郎 著 個性調査法  
全一冊菊判洋布装函入  
定價 金四・二〇  
送料 金三・三〇

◇ 東京文理科大學教授文學博士 田 中 寛 一 著 選拔考査法  
全一冊菊判洋布装函入  
定價 金三・〇〇  
送料 金三・〇〇

◇ 文學博士 松村 武 雄 著 童話及兒童の研究  
全一冊菊判洋布装函入  
定價 金四・八〇  
送料 金三・三〇

◇ 東京文理科大學教授 松村 武 雄 著 童話教育新論  
全一冊菊判洋布装函入  
定價 金四・五〇  
送料 金三・三〇

◇ 東京文理科大學教授 乙 竹 岩 造 著 新教育學要論  
全一冊菊判洋布装函入  
定價 金一・四〇  
送料 金一・〇〇

◇ 文學博士 田 中 寛 一 著 教育心理學  
全一冊菊判洋布装函入  
定價 金三・〇〇  
送料 金三・〇〇  
昭和七年四月發行

一九四

東京市神田區 培風館 電話 三三三三 振替東京 二二六四 一七四

第三部 昭和六年出版圖書目錄

一九五









哲學(支那哲學・思想)

石丸 梧平	希望論・人生問答	並四六製判	170	一、三〇	人生創造社	月四	▲第一部「希望論」第二部「希望に關する人生問答」。
横山 喜久雄	生活	洋四六布判	195	一、三〇	春心社	月一十	▲愛なき愛、苦惱の若人、沈黙と建設、現實に生くる、宗教の宗教外五篇。
ラッセル 男	幸福の獲得	並四六製判	293	一、三〇	日東書院	月七	▲不幸の原因、幸福の原因の二篇にて常識によつて生かされた諸の觀察を組織だてた書。
山内 久雄	眞理の世界	布四六裝入判	284	二、〇〇	中央佛敎社	月十	▲眞理の根源、眞理の象徴の二篇及び補遺眞なる生に就いて外一章。
朝日 融溪	思惟より信證へ	布四六裝入判	278	一、〇〇	白蓮社	月十	▲ソクラテスより視鸞へ、趣き深い人生、分裂のない世界外十九篇の感想隨筆集。
宮澤 英心	生命の不滅性と死後の問題	背四六洋布判	199	一、〇〇	博文館	月十	▲人生に於ける靈魂問題の價値、無限生命の思想、生に對する死の意義外四章。
スタンダール 著	愛	並四六製判	326	六、〇〇	岩波書店	月三	▲戀愛に就いて、女性の矜持に就いて、嫉妬に就いて外五章。
スタンダール 著	愛	並四六製判	250	四、〇〇	岩波書店	月五	▲下巻は女性教育、結婚より見たる歐羅巴の狀態外五章及附録増補を収む。
エレン・ケイ 著	戀と結婚	並四六製判	204	四、〇〇	岩波書店	月五	▲母性の免除、集合的母心、自由離婚、新結婚法の四章を収む。
守田 有秋	同性愛の研究	並四六製判	330	一、三〇	人生創造社	月二十	▲同性愛に關する研究。附、同性愛者人名辭典。

支那哲學・思想

▲清朝を中心とする最近三百年間の支那の學問が如何に展開したかを八章にて論述す。

▲原文を収めて論述せるもので、儒道の源流、儒學の源流、儒道の發生、儒道の展開等四篇。

哲學(日本哲學・思想)

銀山 由次郎	儒教活論	洋四六布判	260	一、二〇	輝文堂	月三	▲王道論(三章)人道論(七章)天道論(五章)周禮地官の研究(三章)。
中山 久四郎	支那の人文思想	洋四六布判	256	二、〇〇	春秋社	月五	▲大なるかな孔子、東洋殊に支那の史學史一斑、漢民族性外八章。
兒島 獻吉郎	支那諸子百家考	洋四六布判	382	三、一〇	目黒書店	月三	▲孔子考、老子考、孔老二派の思想衝突、墨子考、莊子考外四篇にて論述。
藤原 正纂譯	孔子全集	洋四六布判	989	二、〇〇	岩波書店	月二	▲古來孔子の言行として傳へられたものを偏く網羅し原文、國譯の二冊にて収む。
山口 察常	新觀論	洋四六布判	262	一、〇〇	三省堂	月二十	▲論語一卷を解説すると共に孔子教學を要約せるもので、春秋時代の社會相外十七章。
内野 臺嶺	新觀孟子	洋四六布判	317	一、三〇	三省堂	月二十	▲孟子全體を通じ彼の哲學、經倫等を考察せるもので、孟子の略傳外十六章。
飯野 哲夫人	新觀大學中庸	洋四六布判	252	一、〇〇	三省堂	月二十	▲新觀大學(儒教の目的と大學の位置外十章)新觀中庸(中庸の意義外十八章)。
西田 長左衛門	新觀墨子	洋四六布判	297	一、三〇	三省堂	月二十	▲墨子の傳記及び學說を収めたもので、墨子といふ人、墨子の節用外十二章。
鹿子 木員信	日本精神の哲學	並四六製判	173	四、五〇	直日出版部	月九	▲行地社主催夏期大學において講じた講演速記録に訂正を施せる書。
清原 貞雄	日本國民の精神	洋四六布判	304	二、四〇	明治圖書	月二	▲立國の理想に現はれた國民の精神、包容力と同化力外十二章。附教育の淵源外二章。
大西 貞治	古代日本精神文化の研究	洋四六布判	580	三、八〇	至文堂	月一十	▲古代生活に於ける精神文化に就て論述せるもので、古事記に見えたる神外七篇。
遠藤 友四郎	天皇信仰	上四六製入判	360	二、三〇	先進社	月八	▲似て非なる五種の日本主義、露西亞に於ける宗教撲滅策と無神論運動其他にて論述。

日本哲學・思想

▲王道論(三章)人道論(七章)天道論(五章)周禮地官の研究(三章)。

▲大なるかな孔子、東洋殊に支那の史學史一斑、漢民族性外八章。

▲孔子考、老子考、孔老二派の思想衝突、墨子考、莊子考外四篇にて論述。

▲古來孔子の言行として傳へられたものを偏く網羅し原文、國譯の二冊にて収む。

▲論語一卷を解説すると共に孔子教學を要約せるもので、春秋時代の社會相外十七章。

▲孟子全體を通じ彼の哲學、經倫等を考察せるもので、孟子の略傳外十六章。

▲新觀大學(儒教の目的と大學の位置外十章)新觀中庸(中庸の意義外十八章)。

▲墨子の傳記及び學說を収めたもので、墨子といふ人、墨子の節用外十二章。

▲行地社主催夏期大學において講じた講演速記録に訂正を施せる書。

▲立國の理想に現はれた國民の精神、包容力と同化力外十二章。附教育の淵源外二章。

▲古代生活に於ける精神文化に就て論述せるもので、古事記に見えたる神外七篇。

▲似て非なる五種の日本主義、露西亞に於ける宗教撲滅策と無神論運動其他にて論述。

哲學(倫理學・道德論)

加藤 咄堂	石川 謙	鹿子木 員信	神作 演吉	加藤 玄智	財團法人明治聖徳記念學會	記 念 學 會 紀 要 第 三 十 五 卷	並 四 六 判	144	二、三〇	中央教化團聯合會	月 五	▲明治維新前後の諸思想の推移開展の跡を明にし、思想悪化と教化對策に及ぶ。
土屋 幸正	近藤 兵庫	長屋 喜一	池田 直孝	石丸 梧平	土屋 幸正	倫理學概論	並 四 六 判	231	一、六〇	教育研究會	月 五	▲道德の概念、行爲の品性、自由意志論、良心論、動機論及び結果論、利己説利他説其他快樂説
清原 貞雄	武政 太郎	竹下 直之	ヘーフラ 之譯	増田 惟茂	清原 貞雄	國民道德原論	新 四 六 判	236	一、二〇	第一書房	月 一十	▲國定小學修身書の内容を一々具體的に批判せるもので、道德と社會制度外十四章。
西山 庸平	見尾 勝馬	青木 庄左衛門	小保内 虎夫	城戸 幡太郎	小宮 義孝	ブラス・リーグ	布 四 六 判	312	一、五〇	雄文閣	月 四	▲總論(四章)原理論(六章)方法論(六章)餘論(三章)にて平易に論述。
加藤 咄堂	石川 謙	鹿子木 員信	神作 演吉	加藤 玄智	財團法人明治聖徳記念學會	記 念 學 會 紀 要 第 三 十 六 卷	並 四 六 判	200	一、三〇	財團法人明治聖徳記念學會	月 十	▲明治維新前後の諸思想の推移開展の跡を明にし、思想悪化と教化對策に及ぶ。
土屋 幸正	近藤 兵庫	長屋 喜一	池田 直孝	石丸 梧平	土屋 幸正	倫理學概論	並 四 六 判	231	一、六〇	教育研究會	月 五	▲道德の概念、行爲の品性、自由意志論、良心論、動機論及び結果論、利己説利他説其他快樂説
清原 貞雄	武政 太郎	竹下 直之	ヘーフラ 之譯	増田 惟茂	清原 貞雄	國民道德原論	新 四 六 判	236	一、二〇	第一書房	月 一十	▲國定小學修身書の内容を一々具體的に批判せるもので、道德と社會制度外十四章。
西山 庸平	見尾 勝馬	青木 庄左衛門	小保内 虎夫	城戸 幡太郎	小宮 義孝	ブラス・リーグ	布 四 六 判	312	一、五〇	雄文閣	月 四	▲總論(四章)原理論(六章)方法論(六章)餘論(三章)にて平易に論述。

哲學(論理學・心理學・精神分析)

加藤 咄堂	石川 謙	鹿子木 員信	神作 演吉	加藤 玄智	財團法人明治聖徳記念學會	記 念 學 會 紀 要 第 三 十 五 卷	並 四 六 判	144	二、三〇	中央教化團聯合會	月 五	▲明治維新前後の諸思想の推移開展の跡を明にし、思想悪化と教化對策に及ぶ。
土屋 幸正	近藤 兵庫	長屋 喜一	池田 直孝	石丸 梧平	土屋 幸正	倫理學概論	並 四 六 判	231	一、六〇	教育研究會	月 五	▲道德の概念、行爲の品性、自由意志論、良心論、動機論及び結果論、利己説利他説其他快樂説
清原 貞雄	武政 太郎	竹下 直之	ヘーフラ 之譯	増田 惟茂	清原 貞雄	國民道德原論	新 四 六 判	236	一、二〇	第一書房	月 一十	▲國定小學修身書の内容を一々具體的に批判せるもので、道德と社會制度外十四章。
西山 庸平	見尾 勝馬	青木 庄左衛門	小保内 虎夫	城戸 幡太郎	小宮 義孝	ブラス・リーグ	布 四 六 判	312	一、五〇	雄文閣	月 四	▲總論(四章)原理論(六章)方法論(六章)餘論(三章)にて平易に論述。

相良守次	大場千秋	西山庸平	日本心理學會編	桑田芳藏編	桑田芳藏編	矢部八重吉譯	大長川二也譯	大槻憲二譯	大槻憲二譯	今井末夫譯	深田康算	深田康算	
心理學(譯書)	心理學(譯書)	心理學(譯書)	心理學論文集	心理學及藝術の研究	心理學及藝術の研究	性慾論・禁制論	社會・宗教・文明	分析藝術論	「隨感錄」に現れたる濱口前首相の精神分析	辯證法的唯物論と精神分析	美學全集 第四卷	美學・藝術論	
布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	
717	188	485	548	919	1157	313	361	364	176	192	667	667	
三、〇〇	一、二〇	一、五〇	三、八〇	一、〇〇	一、〇〇	一、七〇	一、八〇	一、九〇	四、〇〇	八、〇〇	五、〇〇	一、八〇〇	
教育研究會	教育研究會	雄文閣	岩波書店	改造社	改造社	春陽堂	春陽堂	春陽堂	原理日本社	ロゴス書院	岩波書店	岩波書店	
月五	月五	月一十	月一十	月四	月四	月三	月六	月一十	月九	月二十	月二	月二	
▲無意味綴讀の實驗三種、拍音刺戟に於けるリズム意識外三篇。	▲呪術と云ふ語について、呪術研究の小史、呪術の心理外四章。	▲希臘文化の黎明期に於けるオルフオイス及びホメロスの對立に筆を起せる歴史的研究	▲「了解」の心理に就いて(速水説)「了解」心理の行能能力(上村福幸)「外百十二篇」	▲意識の表現性と精神的動作(城戸橋太郎)「基調的意識(佐久間照)外十四論文集」	▲精神發達の法則(桑田芳藏)「老年期心理の研究(高良富子)外論文廿七篇」	▲「性の錯誤」-外精神分析から見た性慾の研究論文二篇及び「禁制と懺悔と杞憂」を収む。	▲集團心理と自我の分析、宗教の未來、文明と不滿の三篇にて譯述。	▲機智とその無意識に對する關係と、原始語の相反意義について外八篇の論文集。	▲「隨感錄」に現れたる濱口前首相の精神分析、元老を論ず外廿二篇。	▲精神分析學とマルキシズム、辯證法的唯物論と精神分析學の二篇譯述。	▲藝術哲學としての美學、客觀的批評と印象的批評、宗教と美術外廿九篇。	▲「悲劇の誕生」その體驗及び論理(阿部次郎)以下二十氏執筆の論文二十篇を収む。	▲古代より現代に至る概説、英國經驗學派の勃興、浪漫主義外廿一章にて論述。

哲學(美學・藝術論)

大西克禮編	櫻田總	外山卯三郎譯	三宅洗譯	井三市譯	小方西正譯	小方西正譯	石丸橋平	宇佐美景堂	宇佐美景堂	岡田建文	宇佐美景堂	井上圓了
美學及藝術史研究	美學思想史	クライスの美學	マルクス主義美學	社會學上より見たる藝術	社會學上より見たる藝術	社會學上より見たる藝術	改訂藝術と生活創造	天狗界見聖錄	夢と靈感作用	現代怪異實錄	八風峠靈異誌	妖怪學
洋四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六
979	518	178	296	258	258	370	370	16	135	18	20	2058
七、八〇	三、五〇	一、七〇	八、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	一、八〇	一、八〇	二、五〇	一、五〇	二、五〇	二、五〇	一、〇〇
岩波書店	向山堂	建設社	共生閣	岩波書店	岩波書店	人生創造社	人生創造社	神靈學會	日本協會	靈響社	靈響社	山洞書院
月一	月七	月十	月七	月四	月七	月二	月二	月三	月五	月六	月四	月二
▲「悲劇の誕生」その體驗及び論理(阿部次郎)以下二十氏執筆の論文二十篇を収む。	▲古代より現代に至る概説、英國經驗學派の勃興、浪漫主義外廿一章にて論述。	▲自律性問題と美的なもの論の類型、シヨーパーンハウエルの美學外四章。	▲美學的散步(メイリンク)マルクス主義美學の問題に就いて(ウイットフオーゲル)其他。	▲第二部は「近代詩の中に引入られたる哲學的及び社會的觀念」外二章。	▲近代詩の中に引入られたる哲學的及び社會的觀念外二章譯述。	▲一、生活の出發、二、藝術とは何ぞや、三、藝術と道德、四、藝術と宗教、その他。	▲天狗界が架空でないことと云ふことを外川翁の實話を掲げて實證せるもの。	▲心霊學に於ける靈感作用と夢との密接なる關係を一々實例を掲げて説明せるもの。	▲心霊科學より現代に於ける怪異を研究紹介せるもの。	▲伊勢國三重郡朝上村所在の八風峠鎮座八風神社の心霊學的研究書にて寫眞五葉入り。	▲妖怪研究の世界的權威井上博士が思索實査を極めて構築せる名著の改訂版。	

哲學(心靈・妖怪)

易學・運命學

(6-12)

熊崎健翁	井關孝雄	前島熊吉	大木篤夫	河合乙彦	平田内藏吉	米田祐太郎	高木乘	本間五郎	熊崎健翁	遠藤卓人	鑄城裕之	
判命易占の神祕	易	體験廿一世紀之科學(易)	幸運の道へ	東洋運命書	運	運	四柱推命學	家相	姓名の哲	姓名と運命	人の姓名と運	
布函三六	洋函四六	洋函四六	上四六	布函四六	洋函四六	布函四六	洋函四六	布函四六	洋函四六	洋函四六	上四六	
裝入判	布入判	布入判	製判	裝入判	布入判	裝入判	布入判	裝入判	布入判	布入判	製判	
416	374	422	512	300	397	426	445	335	498	111	220	
一、五〇	二、八〇	二、五〇	一、五〇	一、五〇	二、五〇	二、五〇	一、五〇	二、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	
日實本業社	先進社	荻原星文館	アルス	春陽堂	春陽堂	博文館	春秋社	先進社	春秋社	太陽堂	朝日書房	
月一十	月三	月九	月一	月六	月五	月六	月二十	月九	月一十	月三	月八	
▲神祕學の辨、人相と骨相、姓名判斷の價値	▲現代科學を以て非科學的なる易を解ける書で	▲易學の神祕を初學者にも了解出来る様平易	▲運機縁偶然幸福の意義を闡明しながら運に	▲日本に傳はつた東洋の運命判斷書で、生れ	▲方位、地相、家相の心理學、表情の心理學	▲運命開拓の秘訣を公開せるもので、開運秘	▲人の生年月日時によつてその規定せられた	▲家相判斷の基本、事始めの法則、地相の元	▲社會通念と姓名學、熊崎式姓名學大意、熊	▲姓名學の大意、姓名構成の法式、撰名の順	▲命名用の漢字を數多く掲載し、立所に幸福	▲合ひ性の原理と法則とを説けるもので、結

(6-13)

小西久遠	中村凡堂	櫻井大路	坂井末雄	前島熊吉	永島眞雄	松浦勝	近藤俊二	永野芳夫	東京帝國大學	美談話會編	村田太平	
判命合ひ性の神祕	人相と手相の神祕	人相の科學	運命人相と骨相の神祕	東西手相學と指紋の研究	手相の科學	開拓神祕家相寶典	百年念へーゲルとヘーゲル主義	論理學概説	美學	太陽人主義	追補	
布函三六	洋函四六	洋函四六	洋函四六	洋函四六	洋函四六	洋函四六	洋函四六	布函四六	並四六	並四六	並四六	
裝入判	布判	布判	布判	布判	布判	裝入判	布入判	裝入判	製判	製判	製判	
208	331	369	329	345	300	337	406	372	129	422	422	
一、〇〇	一、五〇	一、五〇	二、〇〇	二、〇〇	一、五〇	一、〇〇	二、七〇	一、八〇	一、〇〇	一、二〇	一、二〇	
日實本業社	神易館	春秋社	天祐社	荻原星文館	春秋社	藤谷崇文館	岩波書店	日東書院	第一書房	廣文堂	廣文堂	
月一十	月一	月九	月一	月三	月十	月五	月五	月五	月五	月五	月五	
▲合ひ性の原理と法則とを説けるもので、結	▲人相と手相の基本知識、人相手相から觀た人	▲相法由來、相法總論、相法細論、五行説、	▲人相は運命の象徴、劍難相受難、幸運兒の	▲西洋手相學、手相學、考星學等にて論述。	▲手相は經驗科學、手相の一般原則、壽命の	▲家相の概念、土地と住宅の關係、中央定格	▲私の立場から見たヘーゲルの辯證法(西田	▲論理學の定義と歴史、演繹論理學、認識論	▲クラリス「美的價値の完結性」に就いて(上	▲先づあなた自身が世を救ふ太陽人となれ、	▲自己改善より社會改造へ外三章。	▲先づあなた自身が世を救ふ太陽人となれ、

文部省圖書監修官 佐野保太郎著 一七五八頁 上卷各定價 四・五〇 下卷各定價 三・三〇

# 最新刊 徒然草講義

徒然草の註釋書ほど種類の多いものがないが、又これほど杜撰無責任なものもあるまい。思ふに是は江戸時代以降一流の學者が此書の研究に手を着けなかつた爲であるが、昭和の今日尙誤多き古人の説をそのまゝ奉じて、之を怪しむ者のないのは、寧ろ不思議といはざるを得ぬ。本書の著者は自ら無能といひ、書名の如きも好んで平凡且古臭さうな名を用ゐて居るが、其の内容に至つては決して從來世に出た註釋書類のやうなものではない。量に於ては勿論壽命院抄以來の總てを壓倒するが、それとても決して文段抄や大成などのやうに、只漫然と他人の説を羅列したものでなく、註釋たると共に又一篇の論文である。本文に就ては、諸本に於ける語句の異同を挙げ、場合によつては、之に對する著者の意見を述べ、文字の讀方一にしても疎略にしない、語釋の詳密懇切にして而も要領を得て居る事は、恐らく他に類例が無いであらう。批評の如きも、從來の書が只だらりと漫談的感想を述べたやうなものではない。兎に角本書によつて古來の説の覆されたもの、又從來不明とせられた點の本書によつて始めて明かとなつたものが少くない。だから一般國文學研究者は勿論、教へる人も習ふ人も、習ふ人も苟も徒然草を讀まんとする人は、たとひ從來如何なる註釋書を藏せられるにしても、本書一部は是非とも之を座右に備へられるの必要があらうと思ふ。

錢十八圓三價定 (全)集葉萬 註解 著共 郎太保野佐士學文 錢三十三 料送 卷) 藤 井 藤 寬

圓二價定 全成集歌名 者作 授教校學範師等高島廣 錢八十料送 全 編衛清藤齋 士學文

三一三八七京東替振 店書井藤 田神京東 番八六四四田神話電 町賀甲南

## 二、宗教

著者	書名	装形	體數	頁定	價送	發行所	月行發	内容大意	
東京帝大助教授 宇野 圓 空	宗教學 學 紀 要	洋函	四六	布入判	350	一、五〇	岩波書店	月九	▲宗教學の發生と特徴、宗教學の領域と學派的傾向外二十五章にて論述。
東京帝國大學宗教學講座 創設二十五年記念會編	宗教學 紀 要	並編	四六	裝入判	351	一、五〇	同文館	月九	▲東京帝國大學記念宗教學大會に於ける記念講演及研究發表等を網羅す。
エドワーズ 著	宗教哲學 概論	布函	四六	裝入判	355	二、三〇	理想社	月六	▲宗教哲學の範圍及びその問題、人類學上より見たる宗教の起源外六章及附録。
伊達 保 美	宗教哲學 研究	洋函	四六	布入判	262	二、三〇	理想社	月九	▲シエイムズ、ヘイムス及フオイエルの宗教論並に人間論を究明した論述。
安藤 州 一	宗教哲學の 話	並四	六	裝判	110	四、五〇	法藏館	月九	▲真相の眞理、正法の眞理、智慧の眞理、實在の眞理、實在と至善。
土田 杏 村	宗 教 論	洋菊	四六	布判	202	一、〇〇	第一書房	月四	▲宗教的生活とは何か、我等如何に生かすべきか、宗教否定と現實社會外五章にて論述。
フオイエルの著 奥 一 雄 譯	宗教の本質	並四	六	裝判	468	一、八〇	共生閣	月六	▲あらゆる種類の宗教形態を批判せるもので宗教の根本としての利己主義外廿九講。
フオイエルの著 奥 一 雄 譯	宗教の本質	並四	六	裝入判	456	二、三〇	春陽堂	月七	▲宗教の本質を批判的に究明し且つその何たるやを暴露せるもの。

宗教 (宗教學・宗教論・宗教一般)

宗教(宗教學・宗教論・宗教一般)

比屋根 安定	宇野 圓空	高野 正治	石原 謙	上智大 學編	富士川 游	佐藤 定吉	佐藤 定吉	佐藤 定吉	富士川 游	泉 道雄	椎尾 辨匡	本間 俊平
希臘宗教思想史	宗教の史實と理論	宗教發達の原理	宗教改革の世界史的意義	カトリック的社會秩序改新策	科學と宗教	近代科學と宗教生活	人生と宗教	時代と宗教	眞實の宗教	時代之宗教	社會の宗教	人生の根柢
洋南 布入判	洋南 布入判	並 製判	並 製判	並 製判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	布四六 裝入判	布四六 裝入判	並四六 製入判	並四六 製入判
328	512	373	121	86	194	229	458	215	167	156	375	396
二、八〇	三、二〇	二、八〇	四、一〇	四、一〇	四、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇
春秋社	同文館	同文館	岩波書店	岩波書店	春秋社	厚生閣	厚生閣	厚生閣	近代社	白蓮社	甲子社	玉川學園出版部
月三	月九	月五	月十	月十	月三	月二	月二	月二	月二十	月二十	月八	月一十
▲希臘の古代文化及び原始宗教、羅馬に傳來せる東洋諸宗教思想外五篇。	▲宗教の形態と本質、神聖の意識とその内容來世觀念の發達十八篇にて論述。	▲發達といふ觀念及びそれを歴史に應用すること、宗教の發達外八篇。	▲著者の略傳、想ひ出、學問的業績、著者及び論文目録等。	▲カトリック的に國家、社會、經濟を批判し且つ、宗教的に之が革新を計れるもの。	▲科學と宗教との關係、無生物より生物への進化に對する一考察外十四篇。一普及版。	▲宗教體験に對する思索を收めたもので、宇宙に對する人の價值外四十八篇。	▲活ける宗教に來れ、人生と宗教、人生永遠の目的、信仰の極致外八篇。	▲宗教の意識、宗教的自覺、宗教の感情、形は心の成す所外四十二篇。	▲家庭の平和、家庭と宗教的情操、現代の問題外八篇にて時代と宗教に就て述べたもの。	▲人間の宗教に就て、社會的宗教、我等何を爲すべきか外四篇。一普及版。	▲本間俊平氏の東京に於ける講演を收めたもので、芝浦製作所講演外十一篇。	▲予が信仰の變遷、實在論、空間及び時間、神明の存在外三篇。

宗教(宗教學・宗教論・宗教一般)

下村 孝太郎	飯田 堯一	小野 清秀	淺野 眞編	小島 一著	レニニ 著	佐野 學著	日本戰國同盟會 編輯	室伏 高信	赤神 良讓	中央佛敎社 編	鶴藤 幾太	反宗教闘争の旗の下に
我が宗教觀	思索・體驗・實踐	釋迦と基督の優劣論	マルクス主義の宗教批判論	宗教に對して	宗教について	宗教問題概説	宗教問題と反宗教運動	宗教問題と反宗教運動	佛敎より見たる反宗教運動	新宗教への道	反宗教闘争の旗の下に	反宗教闘争の旗の下に
洋南 布入判	上四六 製入判	洋南 布入判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判
400	341	420	215	117	86	411	62	300	120	125	247	334
二、一〇	二、一〇	二、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇
民友社	文書堂	中央出版社	大東出版社	南書房	希望閣	白揚社	夜明け社	大倉廣文堂	大東出版社	中央佛敎社	古川出版部	共生閣
月四	月二	月六	月一	月十	月九	月二十	月七	月二十	月九	月二十	月一十	月七
▲予が信仰の變遷、實在論、空間及び時間、神明の存在外三篇。	▲宗教の新概念について廿九篇を收めた著者の信仰生活を描寫せるもの。	▲釋迦と基督に就ての批判で、釋迦と其遺光基督と其感化外一編。	▲マルクス、エンゲルス、レニニ、ブレハノフ、アハリン等の宗教批判四篇を收む。	▲反宗教闘争のための指導理論で、労働者黨の宗教に對する態度について外七篇。	▲レニニの宗教に關する論文集で、社會主義と宗教外七章及註。	▲農民社會とプロレタリアート、君主獨裁と教會、唯物論と宗教外五章。	▲打倒宗教か宗教復興か、宗教批判への批判、宗教否定の否定外二章。	▲世界に於ける現代宗教思想變遷の道程を探り、教團變革の現状より將來の展望を語る。	▲社會問題と宗教問題、宗教の發生と進化、宗教制度の類外九章にて論述。	▲反宗教運動の批判、眞の宗教、反宗教に對する意見、われらの宗教とは。	▲既成宗教衰滅の原因、宗教の必要、將來の宗教、神の認識外二章。	▲農民と宗教(佐野袈裟美)本願寺教團の階級性(西田繁)外十五篇。

宗教(神道・天理教・其他)

神道・天理教・諸教

高津正道	宗敎掙取に耽る人々	並四六製判	300	六〇	大風閣	月二	▲宗敎家の生活、宗敎團體の掙取戦術、その反動的諸相等を暴露せるもの。
古野清人	現代神道概説	洋函四六布入判	144	一、二〇	山喜房	月三	▲原始神道の始原と發達、近代史上に於ける神代の進化と變遷外十一章。
矢部善三	諸祭神名辭典	洋函編布入判	301	二、五〇	素人社	月十	▲祭事項目を網羅して神名並びに祭儀の解説をなせるもの。
山中重太郎	大愛の大日本	布函四六裝入判	449	二、三〇	大愛日會本	月四	▲天理敎又創作者山中氏が最近の天理敎の邪惡を暴露した書で、噫大日本國外十五項。
橋本郷見編	ひとのみち敎團の内容	並四六製判	246	一、〇〇	天人社	月七	▲「ひとのみち」と實生活、「ひとのみち」の信仰外六篇。
湯淺眞生編	ひとのみち敎團概要	並四六製判	52	二、三〇	天人社	月七	▲沿革、敎典、布敎の方法並に實績、「ひとのみち」と既成宗敎外二章。
木村泰賢	佛敎	並四六製判	430	一、五〇	甲子社	月八	▲佛敎の基礎的觀念、菩薩道より見たる人生の意義外二篇。一普及版
保坂玉泉	般若心經佛敎概論	洋函四六布判	290	一、五〇	代々木書院	月三	▲般若心經を中心として平易に解説せしもの。
島地大等	佛敎大綱	洋函新菊布入判	668	三、五〇	明治書院	月五	▲日本佛敎本覺思想の概説、佛陀論、佛敎概論の三篇にて論述。
高神覺昇	佛敎の敎序説	並四六製判	346	一、三〇	甲子社	月九	▲緒論、經典論、佛身論、成佛論の四章にて論述。參考篇及附註。一普及版
高楠順次郎	佛敎の根本思想	並四六製判	243	六〇	大雄閣	月四	▲高遠なる佛敎を平易に講述せるもので、佛敎以前の印度思想外四章。

宗教(佛敎)

田並青嵐	初歩佛道に入る門	洋函四六布入判	344	一、八〇	中央出版社	月二	▲初門、佛、法、僧、宗敎の本體、佛敎の大意、基督の敎外十九篇。
眞繼雲山	佛敎の眞髓	並四六製判	32	二〇	新日本佛敎社	月三	▲全然、佛敎門外の人を目標として佛敎とは斯ういふものだといふ佛敎の至極を明かす。
二入素堂	佛敎入門	洋函四六布入判	360	一、八〇	中央出版社	月三	▲釋迦の敎説を平易に説けるもので、死後は最初の説法、道に入る其他。
宗敎研究編輯部編	現代佛敎の研究	並編製判	330	一、五〇	同文館	月一十	▲姉崎正治、友松圓諦、長井眞琴、守井伯壽、矢吹慶輝、羽溪了諦、細川龜市等十七人集。
衛藤即應編	駒澤大學佛敎學會年報	並編製判	205	一、〇〇	代々木書院	月二	▲駒澤大學佛敎學會の研究を編輯し第一輯として出版せしもの。
長井眞琴	佛敎と人生	並四六製判	281	六〇	大雄閣	月七	▲大乘佛敎の極致、宗敎としての佛敎、頭陀行の根本精神外三篇。
友松圓諦	新時代の佛敎	並四六製判	572	一、五〇	甲子社	月九	▲釋尊について、佛陀とは何ぞや、新時代の佛敎、佛敎の財産論外七章。一普及版
高楠順次郎	人文の基調としての佛敎	並四六製判	205	六〇	大雄閣	月七	▲中道理想としての佛敎、常識を中心としての佛敎其他。一普及版
小瀧淳	佛敎と人	洋函四六布入判	313	一、八〇	カオリ社	月七	▲佛の顯現を社會生活面に求めたもので、隣の庭、猫の爪外十一篇。
島地大等	敎理と史論	洋函新菊布入判	563	三、五〇	明治書院	月二十	▲天臺敎祖としての南嶽慧思禪師、摩利支天論、佛性の問題外二十三篇。
境野黄洋	日本佛敎史講話	上菊製判	750	五、〇〇	森江書店	月六	▲佛敎傳來より説き起し平安朝以前までの佛敎史其第一巻として發行したるもの。
木村泰賢	解脱への道	並四六製判	442	一、五〇	甲子社	月七	▲生命觀より解脱問題への進展、原始佛敎より大乘佛敎へ外一篇。一普及版
白井成允	善の實現	並四六製判	228	一、二〇	大雄閣	月二十	▲佛法を聞く心よ、桑港の一夜、アメリカの妙好華、善の實現外一篇にて論述。

宗教(佛教)

白井成允	信仰と生活	布四六 裝入判	172	一、〇〇	白蓮社	月六	▲佛教の精神、私一人のため、たしなむといふこと、佛になる外八章。
小野清秀	佛教より觀たる死後の人間	布四六 裝入判	392	二、〇〇	中央出版社	月四	▲宗教の起源、三界と人間の過程、人間に生まれ代る者外四十二章。
友松圓諦	佛陀の「言葉」	並四六 製判	187	六〇	甲子社	月八	▲一雙の教訓、不放逸について、精神について、花について外廿二篇。『普及版』
村野孝顯	佛と其の弟子	布四六 裝入判	318	一、〇〇	代々木書院	月九	▲お釋迦様とその弟子達の事を書いたもの。
推尼辨匡	授戒講話	洋四六 布入判	302	一、〇〇	弘道閣	月一十	▲授戒(開導、三聚淨戒其他)戒律講話(戒は佛教道徳、三歸戒)其他。
木村善之	原人論新講	洋四六 布入判	245	一、六〇	甲子社	月九	▲華嚴宗第五祖密禪師の著作にかゝる原人論の新講で、斥逐執第一外五章。
龜谷聖馨	華嚴大經の研究	洋四六 布入判	344	一、八〇	萬里閣	月一	▲華嚴教の種類、華嚴教の梗概、諸家の華嚴經觀、華嚴經の中樞部外六章。
花山信勝	華義上疏	並四六 製判	216	四〇	岩波書店	月六	▲御物の聖徳太子直筆法華義疏四卷を底本として國譯せるもの。
大村桂巖	華義上疏	洋四六 布判	172	一、五〇	教育研究会	月六	▲京都南禪寺の學僧師練の著たる元亨釋書を譯せるもので、論外五章。
金子大榮	歎異抄	並四六 製判	88	二〇	岩波書店	月六	▲親鸞の語録を本とし親鸞滅後の異義を批判し作者の信仰を叙述せる「歎異抄」の校訂。
柏原祐義	歎異抄講話	洋四六 布判	600	一、三〇	法藏館	月四	▲序講、本講にわかつて歎異抄講話を述べたもの。
水原堯榮	高野山見存藏經目錄	上四六 製判	1,000	二、〇〇	森江書店	月十	▲野山所藏の秀街經荒河經宋藏高麗藏等の卷數の増減刊記經藏建築の様式與慶等の研究書習禮、當日の儀、夜の儀、後朝の盛儀等。
大山公淳	高野山學修灌頂修行記	上四六 製判	218	二、〇〇	高野山大學 密教研究会	月四	

宗教(佛教)

上村觀光	巖錄	洋四六 布入判	264	二、五〇	二松堂	月二十	▲古來「宗門第一」の書と稱して廣く世に行はれた「巖錄」の國譯。
禪宗叢書刊行會編	國論	洋四六 布入判	150	一、〇〇	二松堂	月二十	▲讀み易き邦文に國譯されたものへ詳註を施し對照に便する爲原漢文を添へてある。
禪宗叢書刊行會編	佛頂國師語錄	洋四六 布入判	430	一、五〇	二松堂	月二十	▲邦文に國譯されたもので評註を施し對讀に便する爲原漢文を添へてある。
禪宗叢書刊行會編	暗雙雙集	洋四六 布入判	350	一、八〇	二松堂	月二十	▲讀み易く邦文に國譯され評註を施し對讀に便する爲原漢文を添へてある。
禪宗叢書刊行會編	虛堂和尚語錄	洋四六 布入判	1,300	三、三〇	二松堂	月二十	▲二名虛堂錄難解の原文を邦文に國譯し對照に便する爲原漢文を添へてある。
岡田宜法	禪學研究法と其資料	洋四六 布判	600	四、五〇	代々木書院	月九	▲禪學研究法と其の材料とを解説せしもの。
間宮英宗	臨濟錄夜話	上四六 製判	348	二、五〇	森江書店	月二	▲臨濟惠照禪師の語録禪家眼目の不可缺の典籍に間宮老師獨特の提唱をせられたるもの。
今枝法雲	禪學入門	布四六 裝入判	211	一、〇〇	日本禪學會	月六	▲禪を現代的に解説し第一講より二十講迄平易簡明懇切に説く。
禪宗史料調査會	仙厓和尚遺稿	和四六 裝入判	300	四、〇〇	巧藝社	月九	▲仙厓和尚の法語、雜文、偶頌、和歌、讚語の類悉く眞跡に就て收拾せり。
横井見明	高僧穆山	並四六 製判	90	五〇	中央佛敎社	月九	▲穆山禪師の活面目、地獄極樂問答、生首の要求、人間で死ぬ、足跡のたへぬ寺。
飯田橋隱	忠禪	並四六 製判	80	五〇	中央佛敎社	月二十	▲忠は日本の生命、忠の意義、忠禪の極致、補正成の盡忠、忠禪の徹底。
森田龍僊	南山冥想錄	上四六 製判	418	三、五〇	能仁書房	月一十	▲弘法大師聖迹巡禮記、慧思禪師と弘法大師梵學と眞言宗、密敎の星宿觀等。
飯田橋隱	參禪秘話	布四六 裝入判	352	二、〇〇	中央佛敎社	月十	▲通俗禪學講、如何にして煩悶を慰すべきや禪とは何ぞや外八篇。



宗教(佛教)

谷至道	現代名參禪實話	布四六	324	一、八〇〇	中央出版社	月十	▲坐禪に依つて成功を爲せる現代名士の秘譚を収めた書。
竹田黙雷述	應用禪の殺活	洋四六	339	一、八〇〇	中央出版社	月一	▲禪と處世、無盡の燈明、自然と寢起をせよ。苦は遁る今は食る外禪話百六十九話。
釋宗演	禪の解剖	布四六	333	一、八〇〇	中央出版社	月二	▲近代禪門の巨匠釋宗演禪師の坐談及び法話等を輯録せるもの。
釋宗演	以心傳心達摩の足蹟	布四六	324	一、八〇〇	中央出版社	月十	▲禪と信仰、禪と儒教、鉢孟を洗ひ去れ、五十一歳の初行脚外五十一篇。
長尾大學編著	宗演禪師書翰集	洋四六	488	二、三〇〇	二松堂	月十	▲釋宗演禪師の書翰を蒐集編録せるもので、明治(雲水行脚)時代外十七篇。
百畑耕史	運判語禪僧の問答	洋四六	340	一、八〇〇	中央出版社	月八	▲學の供養、迷悟の差、身體は小さくも、窓の月、突落されて外百十三篇の問答集。
赤木健	笑うながら一休珍問答集	布四六	342	一、八〇〇	中央出版社	月一	▲看板が賽銭を呼ぶ、茶道と禪、大根問答、お前知るか、疑念を解く外八十九篇。
松林一亭	一休が笑つて解いた死生觀	布四六	332	一、八〇〇	中央出版社	月九	▲一休和尚の人生觀を解けるもので、死生とは?、形と相とを越えて外五十九篇。
眞繼雲山	一休禪師と其死生觀	並四六	48	二〇〇	新日本佛教社	月十	▲一休禪師の生涯を叙しその母に贈りし假名法語を録して禪師の人生觀、死生觀を示す。
井本佛子	獨笑三千年	布四六	195	一、五〇〇	平凡社	月七	▲眞個の在家宗を開かれた小川獨笑居士の傳で、夕照山外四十七篇。
中里介山	法然	布四六	320	一、五〇〇	三省堂	月六	▲淨土宗を創立した法然上人の生涯に就いて述べたもので、唯一の創立者外七篇。
朝日融溪	聖觀變の生涯と精神	布三六	257	一、二〇〇	大同館	月五	▲觀變聖人出世前の時代相、平地に弘まれる佛教、聖人の人格外十一篇。
村上素道	高尾山明惠上人	上四六	340	三、〇〇〇	森江書店	月二十	▲鎌倉時代傑出した聖僧で又勤王の先驅者たる上人の行實年譜逸事法語歌集等を集録。

宗教(佛教)

奥田正造編	施無畏寺明惠上人行狀記	並四六	115	六、五〇〇	森江書店	月七	▲上人傳記の異本として珍とする足利中期の古寫本を定本として始めて刊行せしもの。
上杉文秀	善導大師と往生禮贊の研究	洋四六	651	三、五〇〇	法藏館	月八	▲往生禮贊に就いての研究。
鹿野久恒	圓乘院言行錄	洋四六	350	一、七〇〇	法藏館	月五	▲圓乘院宜明講師の説教、語録を蒐集したるもの。
法藏館編	機法一體	洋四六	600	二、〇〇〇	法藏館	月八	▲研究、講話、説教、示談の上から眞宗安心機法一體を述べたもの。
佐々木狂介	正信偈簡易講話	並四六	350	八、〇〇〇	新日本佛教社	月十	▲淨土眞宗の中心點たる正信偈を一句毎に懇切丁寧に講述したるもの。
田中智學	法華經魂	上四六	282	一、〇〇〇	天業民報社	月三	▲自我偈をわかりよく解釋せるもので、問題入文、結論の三章。
山川智應	日蓮聖人研究	洋四六	562	三、五〇〇	新潮社	月十	▲史的研究、文獻的研究、宗教的研究、人格的研究、思想的研究の五部。附録六篇。
鷲見日顯	日蓮の人生觀	上四六	249	一、五〇〇	資文堂	月二十	▲何をか人生、信念ある人生、意氣の力、日蓮聖人の人生觀外十五篇。
水島芳靜	日蓮聖人の御一生	並四六	139	四、五〇〇	日蓮聖人會	月十	▲日蓮聖人の一生を叙述せるもので、降誕と其の奇蹟、生ひ立ち其他。
井上降雪筆	日蓮上人一代繪卷	上四六	80	八、〇〇〇	積苑刊行會	月八	▲聖人御尊像、蒙古の驃狀、甲州遊化外廿七圖及び解説を収む。
星野武男	蓮讀本	上四六	341	二、四〇〇	萬里閣	月九	▲日蓮聖人を傳するに主として寫眞を以てせるもの。附録日蓮聖人傳著書一覽。
里見岸雄	吼えろ日蓮	布四六	346	一、五〇〇	春秋社	月四	▲此のあはれなる日蓮主義者を見よ、本尊觀念と禮拜行爲との徹底的吟味外五章。
井上慧日	SOS南無妙法蓮華經	上四六	124	一、〇〇〇	朝日書房	月三	▲日本帝國の重大危機に際し政府並に國民の覺醒を促すべく著せし書。

宗教(佛教)

日蓮主義編輯局	日蓮宗靈場參拜案内圖	新三疊式判	1冊	三〇	三省堂	五月	▲全國の日蓮宗靈場が一目でわかる地圖。裏は諸本山の一覽及日蓮宗大意其他。
今枝法雲	信仰に生きる人々	上四六判	254	一〇〇	日本行會	月二十	▲古聖先賢の信仰の生活種々相を描きたるものにてヒマラヤの夕照を始め廿八篇を収む。
野依秀市	私の信仰	布三六判	139	六〇	大日本眞宗宣傳協會	月一十	▲著者の信仰と淨土眞宗の教義及び佛教の思想を全般的に説述せる書。
野依秀市	問答録	洋四六判	644	二〇〇	大日本眞宗宣傳協會	月一十	▲信仰に就ての種々なる質問に答へたもので罪惡とは何ぞや外百八十八篇。
眞繼雲山	生死下底の信仰	並編半製載	83	二〇〇	新日本佛教社	月三	▲凡人としての著者が如何に生き如何に死すべきかのドン底の信仰を赤裸々に表明す。
眞繼雲山	佛敎新聞寺十年集	洋四六倍判	350	一〇〇	新日本佛教社	月十	▲日本佛教新聞過去十年間の既刊分より永久的生命ある純信仰記五百餘篇を合本輯録す。
宇宙社編輯	宗教體驗實話	背四六判	334	一〇〇	宇宙社	月四	▲杉本正幸氏の信仰生活、油井眞砂女史の體驗外廿六篇の宗教體驗實話。
足立栗園	不動明王	並四六判	124	七〇	山喜房	月三	▲不動明王の靈驗、修法及び宗義、不動堂及び信仰叢話等にて論述。
小野清秀	佛敎對阿彌陀佛の解剖	布四六判	337	一八〇	中央出版社	月三	▲信仰の動源、靈魂と業主體、釋尊の淨土思想、二雙四重の教判外六十六段。
小野清秀	佛敎の生ひ立ち物語	布四六判	336	一八〇	中央出版社	月九	▲佛菩薩を整理分類し其の生立や履歷、靈驗功德等を詳述せるもの。
深谷瑞輔	佛敎の生ひ立ち物語	洋四六判	391	二〇〇	中央出版社	月七	▲治病章第一、運命章第二、胎教章第三外二章、附錄觀世音菩薩普門品。(私訓)
高島米峰	觀音信仰の念力	上四六判	424	一三〇	日實業社	月一	▲本願の二字以下八章にて本願寺の歴史を興味深く物語風に記述した書。餘録六篇。
小瀧淳	雜譬喻經物語	洋四六判	131	一〇〇	カオリ社	月八	▲雜譬喻經を物語化したもので、衣鉢の重み、因縁の女外廿七篇。

宗教(佛教)

小瀧淳	法句經と人生	洋四六判	173	一〇〇	カオリ社	月七	▲他人の牛を盗ふ、巖は風にそぼたつ、さながらの光音天外廿三篇。
小瀧淳	西國新縁起傳説物語	上四六判	204	一〇〇	カオリ社	月八	▲西國靈場の縁起傳説を収めたもので、瀧の音、三寶島、春宵夢外十篇。
小瀧淳	西國新縁起傳説物語	上四六判	226	一〇〇	莊人社	月二十	▲最も自然な觀音靈場の物語を収めたもので、海幸、せらぎ、佛戒其他。
赤木健	因縁佛敎靈界物語	布四六判	340	一三〇	中央出版社	月四	▲因果とは？、父の靈、清貧を守るもの、菩薩となるには外七十四篇。
修羅挑天	佛敎の正體	布四六判	326	一三〇	中央出版社	月七	▲靈魂觀念の變遷、種々の靈魂と幽靈、起信論の幽靈外七段にて述ぶ。
田中舍身	佛説孝子經講話	並編半製載	48	二〇	新日本佛教社	月八	▲思想淨化の源泉ともいふべき『佛説孝子經』を一句一語、通俗に解説したる講義。
眞繼雲山	破地獄經文集	並四六判	46	二五	新日本佛教社	月六	▲法力によつて地獄の善惡を免れるといふ各宗に互る破地獄全文全部を網羅して解説を加ふ
眞繼雲山	各宗か解脱の一路	並編半製載	26	二〇	新日本佛教社	月一十	▲佛敎八宗のそれらの立場から見た悟りの結着、生死解脱の路を平易に説く。
眞繼雲山	因果經和譜	並編半製載	28	二〇	新日本佛教社	月三	▲佛説善惡因果經を平明な和譜として何人にも善因善果の理法を知らしめたもの。
眞繼雲山	觀世音靈驗記	並四六判	337	六〇	新日本佛教社	月二十	▲信仰に恵まれた觀世音菩薩の大悲力靈驗記であり百餘篇の古今の實録である。
眞繼雲山	觀音靈場御詠歌集	並編半製載	32	二〇	新日本佛教社	月三	▲西國三十三所觀音札所御詠歌に附するに坂東、秩父靈場を以てしたる百番御詠歌集。
普明國師	給踊り念佛和譜	並編半製載	18	二〇	新日本佛教社	月三	▲踊り念佛の由来と繪姿を掲げ空也上人の御文章を附したる踊り念佛和譜一篇。
日曜學校双書會	兒童說教	洋三六判	251	四〇	法藏館	月一十	▲說教とその方法、例話二十五篇。

宗教(佛教)

佛教文庫編輯部編	妙法蓮華經	洋菊半布裁	三〇六	東方書院	月三	▲序品第一より普賢菩薩勸發品第二十八までを収む。附録解説、註解。
佛教文庫編輯部編	淨土三部經	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲佛説無量壽經、佛説觀無量壽經其他を収む。三井昌史譯註。
佛教文庫編輯部編	淨土三部經	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲佛説無量壽經、佛説觀無量壽經其他を収む。蓮本秋郊譯註。
佛教文庫編輯部編	過去現在因果經	洋菊半布裁	二〇二	東方書院	月三	▲過去現在因果經卷第一より卷第四までを収む。足立俊雄譯註。
佛教文庫編輯部編	法句經	洋菊半布裁	二〇二	東方書院	月三	▲四阿含並に十二部經中より佛所説の金言を集録す。足立俊雄譯註。
佛教文庫編輯部編	碧巖錄	洋菊半布裁	二〇二	東方書院	月三	▲碧巖錄第一則より第一百則までを収録す。宮裡祖泰譯註。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲大聖釋迦牟尼世尊第一和譜以下和譜卅一篇。三井昌史編。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲淺草觀音の利生外百五十六篇の笑話集。蓮本秋郊編。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲佛部、菩薩部、明王部、天部、童子部、星宿部より成る佛像圖會、米塚米雨編。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲ふたとのる、いやな批判、うそつき、茶の湯外卅七篇の佛教落語集。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲水鏡日なし用心抄、あみだばだか物語、二人比丘尼外九篇。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲遠羅天釜、さし藻草、於仁安佐美、夜船閑話、安心ほこりた、記外九篇。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲想華、紀行、自畫譜、詩歌の四部に分け五十餘篇を収録。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲眞實法、眞實證、眞生活の三章にて論述。山邊哲學著。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲序論(五章)、本論(知目論(六章)、行足論(五章)、田村徳海、山口光圓共著。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲歴史(四章)教理(十章)の二篇にて論述。岡田宜法著。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲釋尊八相の圖・三世の光」を収む。鷲尾順敬校訂。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲「弘法大師行狀記」を収む。鷲尾順敬校訂。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲「訂補建旛記」を収む。鷲尾順敬校訂。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲「註畫譜」を収む。鷲尾順敬校訂。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲佛教保育事業の方法及其關係法規等を詳述せしもの。
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲今日民間にて通俗常用せられてある佛教の専門的術語を解り易く由来を説明したる辭典
佛教文庫編輯部編	佛和譜	洋菊半布裁	四〇二	東方書院	月三	▲大勢篇、宗務篇、教學篇、布教篇、事業篇時事篇、人事篇外三篇。

宗教(基督教)

高倉徳太郎	基督教世界觀	上四六製判	二〇〇	長崎書店	月二	▲基督教と文明の精神、基督教世界觀、自我より國家へ、教會と神國其他。
塚本虎二	基督教十講	上四六製判	二一〇	一粒社	月三	▲眞の基督教はどんなものであるかをハッキリと書いた有名な書で入門書として第一。
佛教文庫編輯部編	佛概論	洋菊半布裁	二〇七	東方書院	月三	▲眞實法、眞實證、眞生活の三章にて論述。山邊哲學著。
佛教文庫編輯部編	佛概論	洋菊半布裁	二〇七	東方書院	月三	▲序論(五章)、本論(知目論(六章)、行足論(五章)、田村徳海、山口光圓共著。
佛教文庫編輯部編	佛概論	洋菊半布裁	二〇七	東方書院	月三	▲歴史(四章)教理(十章)の二篇にて論述。岡田宜法著。
佛教文庫編輯部編	佛概論	洋菊半布裁	二〇七	東方書院	月三	▲釋尊八相の圖・三世の光」を収む。鷲尾順敬校訂。
佛教文庫編輯部編	佛概論	洋菊半布裁	二〇七	東方書院	月三	▲「弘法大師行狀記」を収む。鷲尾順敬校訂。
佛教文庫編輯部編	佛概論	洋菊半布裁	二〇七	東方書院	月三	▲「訂補建旛記」を収む。鷲尾順敬校訂。
佛教文庫編輯部編	佛概論	洋菊半布裁	二〇七	東方書院	月三	▲「註畫譜」を収む。鷲尾順敬校訂。
佛教文庫編輯部編	佛概論	洋菊半布裁	二〇七	東方書院	月三	▲佛教保育事業の方法及其關係法規等を詳述せしもの。
佛教文庫編輯部編	佛概論	洋菊半布裁	二〇七	東方書院	月三	▲今日民間にて通俗常用せられてある佛教の専門的術語を解り易く由来を説明したる辭典
佛教文庫編輯部編	佛概論	洋菊半布裁	二〇七	東方書院	月三	▲大勢篇、宗務篇、教學篇、布教篇、事業篇時事篇、人事篇外三篇。

宗教(基督教)

柳原貞次郎	基督教讀本	布四六	300	一、〇〇〇	出版	聖公會	十月	▲信仰篇、道德篇、禮拜篇、聖公會篇の四篇二十四章より成る。
白石喜之助	女性基督教讀本	洋四六	238	一、〇〇〇	新生堂	五月	▲女子に關する東西の思想、女子入信の動機女子に對するイエスの態度外十二章。	
J.M.シヨウ	基督教の根本思想	上四六	210	六〇〇	一粒社	五月	▲基督教の教理の根本的土臺をなすところの思想を明解に説明せる福音的基督教の入門書	
土山喜一	基督教の中心問題	洋四六	268	二、〇〇〇	長崎書店	五月	▲ユニオン神學校ベイヤリ教授の「近代基督教に於けるイエス・キリストの位置」の翻譯	
桑田秀延	社會的基督教と新しき神の體験	洋四六	126	四〇〇	運動出版部	七月	▲新社會と建設と基督教の使命、社會的基督教と新神學體系外八章。	
中島重	社會科學と基督教	並四六	237	一、〇〇〇	厚生閣	八月	▲社會學と宗教、社會進化と基督教、社會化の原理、奉仕の原理外四篇。一書及版一	
エルウッド	基督教と資本主義	並四六	252	八〇〇	運動出版部	六月	▲基督教思想と經濟理論の關係を明確に指示す。	
吾妻東一	基督教の神學	並四六	82	四〇〇	夜明け社	八月	▲イエスの誕生について、何もの宗教であつたか、イエスの精神の發展外十三章。	
室伏高信	危機の神學	洋四六	231	一、二〇〇	新生堂	十月	▲神學の危機と危機の神學、倫理の問題、進歩と神の國外二章。	
阿部五作	ランベス會議	並四六	85	四〇〇	出版	五月	▲基督教の神觀、基督教社會の生活と立證、教會一致、青年と其召命、其他決議事項。	
日本聖公會	さくらめんと	布四六	420	二、〇〇〇	出版	三月	▲洗禮、信徒按手、聖餐、結婚、懺悔、聖職按手、病者抹油の七聖餐の原理と組織に對する研究	
稲垣陽一郎	ホーリネス教會とは何ぞや	並四六	45	二〇〇	出版	二月	▲ホ教會起原及教會政治ホ教信條及維持法現狀等總べてホ教會の内容を明かにせしもの。	
米田豊	日本人の觀たる基督教	洋四六	254	一、〇〇〇	新生堂	五月	▲基督教徒と成るに至つた経緯(龜谷凌雲)我が主イエス(別所梅之助)外八篇。	
松本卓夫	青年指導の原理と實際	洋四六	198	一、〇〇〇	新生堂	四月	▲ゲループ指導の原理、ゲループ指導の實際問題外一章にて論述。	

宗教(基督教)

鈴木榮吉	青年指導の原理と實際	洋四六	198	一、〇〇〇	新生堂	四月	▲ゲループ指導の原理、ゲループ指導の實際問題外一章にて論述。
ストリイター	科學・哲學・宗教	洋四六	152	一、二〇〇	新生堂	四月	▲分化と發達、科學と宗教との紛争外ストリイターの講演二篇を譯す。
エディントン	科學と見えざる世界	洋四六	147	八〇〇	新生堂	五月	▲物質界に人間が出現するまでの宇宙進化の概説外八篇。
千葉勇五郎	現代心と有神思想	洋四六	192	一、〇〇〇	新生堂	五月	▲現代氣質、人本主義何處へ行く? キリスト教で信する神外一章。
高松孝治	聖アタナシウス傳及神子受肉論	洋四六	254	一、二〇〇	新生堂	二月	▲アタナシウス前の時代、第一回の流刑外十章及言の受肉に就いて其他。
金井爲一郎	基督教文藝概論	洋四六	225	一、二〇〇	新生堂	六月	▲ドイツエ・ミステイク、マイステル・エツクハルトの説教外一篇。
竹村清	舊約聖書概論	洋四六	265	二、〇〇〇	株式會社	八月	▲文獻に對する迷信と正信、教權の神聖と祭司の起原、宗教信す可き乎外十七章。
關口熊吉	新約聖書概論	洋四六	266	一、二〇〇	新生堂	八月	▲新約聖書の文學的批評の諸問題を公平な立場から簡明に論述せる書。増訂版。
高柳伊三郎	新約文學序説	洋四六	229	六〇〇	日獨書院	八月	▲新約文學に就ての全般的論述で、新約文學概觀、新約研究の諸問題外十章。
松本卓夫	聖書耶蘇傳研究	洋四六	409	三、五〇〇	新生堂	七月	▲バプテスマのヨハネ、ナザラの耶蘇、耶蘇の受洗、基督の誘惑外四十一章。
富永徳磨	輪廓的聖書	洋四六	132	一、〇〇〇	長崎書店	七月	▲聖書の各卷の内容を一目にわかる様に工夫按排したもの。
三谷種吉	神の言としての聖書	並四六	46	二〇〇	長崎書店	七月	▲神の言としての聖書、聖書を読むこと味ふこと、神の言について。
高倉徳太郎	聖書研究の手引	並四六	30	二〇〇	基督教會社	四月	▲聖書を難解と思ふ人の爲に、聖書の讀み方を平易に教へる目的を以て書いたもの。

宗教(基督教)

高橋乙治	聖書と考古學	洋書	布判	374	三、五〇	日曜世界社	月七	▲聖書に關する考古學的發見の資料を科學的に検討排置したもの。
石川武彦	舊約聖書農業考	上四六	製入判	324	二、五〇	研友社	月五	▲國勢の概要農本思想耕種養畜農業勞働農業資本農業組織舊約聖書の概要並英譯概要あり
淺野順一	豫言者の研究	洋書	布入判	220	一、五〇	長崎書店	月十	▲舊約聖書中の豫言者の研究である。エリヤの宗教改革以下七篇。
高木壬太郎	詩篇講義	洋書	布入判	410	二、三〇	新生堂	月三	▲イスラエルの詩聖が神と宇宙と人生とに關する其感想を歌へる詩篇の講義。
福島重義	黙示録研究	洋書	布入判	443	二、五〇	新生堂	月一十	▲七教會への警告、第六封印以後、天の戦ひ千年時代と最後の審判外十八章。
日高善一	新約聖書 黙示録	洋書	布判	262	一、八〇	日曜世界社	月七	▲新約聖書全廿七卷註解十三冊の中の第十回配本。
日高善一	新約聖書 ヤコブ・ペテロ前後書	洋書	布判	408	一、八〇	日曜世界社	月二	▲新約聖書全廿七卷註解十三冊の中の第九回配本。
フオス	コリント後書註解	布四六	裝判	200	一、三〇	出版公會	月二十	▲穩健なる指導、懇切なる教訓、精密なる解釋研究書。
日高善一	新約聖書 コリント前後書	洋書	布判	362	一、八〇	日曜世界社	月二十	▲新約聖書全廿七卷註解十三冊の中の第十一回配本。
諏訪熊太郎	易判りマタイ傳解	上四六	製判	215	一、七〇	一粒社	月十	▲平かなの讀める人なら誰れにも判るやうにマタイ傳を解釋説明した聖書入門書。
日高善一	新約聖書 マタイ傳福音書	洋書	布判	370	一、八〇	日曜世界社	月二十	▲新約聖書全廿七卷註解十三冊の中の第十二回配本。
大堀屋左文	聖書ヨシユア記註解	上四六	製判	140	一、六〇	一粒社	月一十	▲聖約聖書中のヨシユア記の一字一句を信仰的に註解したものである。
大堀屋左文	聖書士師記ルツ記註解	上四六	製判	140	一、六〇	一粒社	月二十	▲舊約聖書中の士師記とルツ記との一字一句を註解したものである。

宗教(基督教)

馬場嘉市	註釋聖書レビ記	洋書	布判	370	一、五〇	日曜世界社	月二十	▲歴史的文學的に研究したる舊約聖書の註解全三十五卷の第四回配本。
野々村戒三編註	綜合イエス福音書	洋書	布入判	434	二、三〇	新生堂	月五	▲イエスの誕生及び幼時、宣教師、宣教、危機の切迫外三編。
佐竹直重	耶蘇	洋書	布入判	379	二、三〇	新生堂	月一	▲社會的見地に特に重きを置いてイエスの生活及び宗教を描出せる書。八章及び参考書。
西岡虎造	基督の神性	並四六	製判	59	四、三〇	獨立堂	月一十	▲瑞西の聖書學者ゴデーの「基督教信仰辯護論」中の一編イエスキリストの神性を譯述。
聖オウカスチン著	信仰の告白	並四六	製判	293	四、五〇	文教書院	月三	▲九篇より成る聖オウカスチンの信仰の告白を譯述せるもの。
渡邊美譽	信仰とは何ぞや	並四六	製判	350	一、四〇	一粒社	月九	▲基督教信仰の本質とはどんなものかを學問的に論述して現代主義を駁撃した世界的名著
角田桂	信仰とは何ぞや	洋書	布入判	313	一、三〇	新生堂	月二	▲基督の恩寵に就いて、原罪に就いて、恩寵と自由意志に就いて外一篇。
アウグスチヌス著	恩寵・意志・豫定	洋書	布入判	313	一、三〇	新生堂	月二	▲神聖なるもの、尊重、キリストの救ひ、十字架を仰ぐ生涯外廿二篇。
竹村清	恩寵に育くまれて	洋書	布入判	313	一、三〇	新生堂	月二	▲人生の意義、神國の性質、神の人類救濟事業、來世の福音外三章。
谷口茂壽	恩寵の生活	洋書	布入判	374	一、八〇	北文館	月七	▲扉をあけよ、我が來りしは、主よ我は今ぞ行く、逆流に棹さすもの外廿八篇。
大道幸一郎	逆流に棹さすもの	並四六	製判	215	一、六〇	素人社	月十	▲炭鐵に於て「イエスならば如何にし給ふか？」外九篇譯載。附録シエルドン小傳。
本田正一	私のは何を見たり	並四六	製判	219	一、三〇	文教書院	月六	▲盲人哲學者が指頭を以つて研究體驗した深遠なる思想を發表したるもの。
益本重雄	私のは何を見たり	並四六	製判	219	一、三〇	文教書院	月六	▲學業半ば失明した不運なる若人が信仰により七難八苦と戦ひ新運命を開拓する話。
岩橋武夫	光は	並四六	製判	105	一、五〇	日曜世界社	月一	

宗教(基督教)

黒崎幸吉	奴隷の生涯	並四六判	270	一、三〇	名古屋社	九月	▲著者が實業界を去つて傳道者の生活に入つた理由と筋道とを述べた信仰的な論文集。
岡本ふみ子	再臨とリバイバル	並四六判	236	一、四〇	ホーリネス教會出版部	十月	▲本書は當聖書學院生徒等のリバイバル(靈的復活)によりて爲された聖業の證集である。
バツクストーン	リバイバルの要件	並四六判	131	五〇	書類會社	九月	▲罪人の爲の重荷、聖言の宣傳、警告の祈禱、死人を生らす備其他二章にて説く。
高倉徳太郎	壯嚴なる神祕	並四六判	40	二〇	長崎書店	十月	▲壯嚴なる神祕、汝の罪赦されたり、ゆるしとさばき。
高倉徳太郎	活ける神	並四六判	48	二〇	長崎書店	十月	▲活ける神、創造の神、神こそわが盾わが榮なれ。
高倉徳太郎	祈の本義	並四六判	40	二〇	長崎書店	十月	▲祈の本義、祈禱の靈、祈禱の戰場。
高倉徳太郎	聖愛に應へて	並四六判	44	二〇	長崎書店	十月	▲聖愛に應へて、神の愛と神への愛、愛の具體性。
後藤余吉	日本を救ふ靈基督	並四六判	58	二〇	書類會社	十月	▲肉に於けるキリストを超越せよ、日本を救ふものは靈基督外十二項。
村尾昇一	性の新生	並三六判	25	二〇	出聖版公社	七月	▲基督教の立場より論じたる正しき性的研究
ミス・ケユオン	忙がしき人々の爲の宗教	並編半製裁	10	二二	出聖版公社	七月	▲多忙な人々の爲に説かれたる平易なる基督教傳道小冊子。
大江邦治	個人傳道	並編半製裁	42	二五	書類會社	五月	▲基督教者が毎年各々一人を主イエスに導くならば全世界が基督教者に満つ個人傳道を説く
青芳勝久	巡禮の旅	洋四六判	691	一、四〇	書類會社	三月	▲傳道者行手を示す、死の蔭の谷にて虚飾の町、河を渡る時、牧童の歌等。
アプレスエート	日々の光	洋四六判	300	二、〇〇	書類會社	一月	▲毎日朝夕讀むように聴句を集めたもの。

宗教(基督教)

中田重治	Living messages over the air.	並四六判	97	二、三〇	ホーリネス教會出版部	一月	▲本書はマーレー氏が基督及弟子等より取りたる信仰によれる靈的美に就て説く。
葛田二雄	天よりのラヂオ	並四六判	166	六〇	ホーリネス教會出版部	一月	▲本書は聖潔傳道者ジョントマス氏がシカゴ市にてラヂオを活用して放送したる説教集。
廣田花岸	光の都	並四六判	252	一、〇〇	書類會社	二月	▲小天路歷程の名ある名著。
今井壽道	祈禱の園	布四六判	160	四〇	出聖版公社	六月	▲日本生活に於ける種々なる場合の自由祈禱集。
細貝貞子	少年少女祈の栞	並編半製裁	35	二〇	出聖版公社	十一月	▲自由祈禱の参考書、種々なる場合に於ける祈禱の手引書。
伊藤堅逸	幼児の如くならずば	上四六判	100	六五	出聖版公社	六月	▲幼児の如く幼児の特徴、幼児の單純性、幼児の謙遜、自ら助くる力なき者、幸福の源泉其他
内館忠藏	ゲロンシアスの夢	上四六判	115	七〇	出聖版公社	四月	▲十九世紀第一の純宗教詩人カーティナル、ニユマンの世界的不朽詩。
高瀬無絃	アルタパン物語	上四六判	250	六〇	日曜世界社	二月	▲ヴァンダイグの名著「アザ・ワイズマン」を子供たちのために砕いて書いたもの。
シエレスキー	クリスマス聖劇集	背四六判	175	一、五〇	出聖版公社	八月	▲内外十五名士の傑作聖劇十三篇を蒐集せる書。
フオース	降誕日の歌	並四六判	25	二〇	出聖版公社	二月	▲クリスマスの世界的古名曲十五篇を集む。
吉田源治	心の成宗教育の研究	並三六判	222	四〇	日曜世界社	九月	▲一歳より廿一歳までの兒童精神の發達宗教教育に缺くべからざる心理を解剖したるもの
エグレストン	宗教教育の活用	上四六判	240	八〇	日曜世界社	八月	▲お話しといふ武器を宗教教育に如何に活用するかを實例を引用して解説指導したるもの。
宮崎小八郎	宗教教育の活用	上四六判	240	八〇	日曜世界社	八月	▲日曜學校教育の實際の教案と五十回の童話と十六篇の童話を収録したSSの虎の巻。

宗教(基督教)

梅田安之	日曜學校級別對話集	並四六	製判	150	三	日曜世界社	月十	▲クリスマス向の對話、ページエント劇などを十五種集めたもの。
日曜世界社編輯部	日曜學校級別教案	並四六	製判	250	六	日曜世界社	月三	▲日曜學課を各級別に説明指導したもの。
日曜世界社編輯部	日曜學校級別教案	並四六	製判	250	六	日曜世界社	月六	▲日曜學課を各級別に説明指導したもの。
日曜世界社編輯部	日曜學校級別教案	並四六	製判	250	六	日曜世界社	月九	▲日曜學課を各級別に説明指導したもの。
日曜世界社編輯部	日曜學校級別教案	並四六	製判	250	六	日曜世界社	月二十	▲日曜學課を各級別に説明指導したもの。
西阪保治	カタクナモノガタリ イエスサマ ダイノマキ	並四六	製判	100	一五	日曜世界社	月二十	▲子供のために片假名で碎いて書かれたキリスト傳。美麗なる繪入。
谷山小文譯	少年少女への説教集	上四六	製入判	343	一、五〇	新生堂	月三	▲三つの門、勇敢な始業をすること、復活の喜びと光り外七十二篇。
田村直臣	一日一笑	洋編半	布裁	199	六〇	新生堂	月一	▲主として基督教又は基督教者に關する笑話を一、日一笑として収めたもの。
御牧守一	スザンナ・ウエスレイ	並編半	製裁	38	二、八	基督教會社	月二十	▲メソヂスト派の開祖ウエスレイの母スザンナの生涯と信仰を説く。
ホイトニー夫人	ドクトル・ホイトニーの思出	洋四六	布判	169	一、〇〇	基督教會社	月一	▲明治初年渡日以來我が國民の爲殊に病める人々の爲に盡瘁されたホイトニーの傳。
野邊地天馬	かくれたる創立者	洋編半	製裁	112	四〇	ホーリネス教會出版部	月四	▲ホ教會監督中田重治氏夫人故中田かつ子姉が勞苦と戦ひつゝありし日の面影である。
關根文之助	山室軍平先生	並四六	製判	140	四〇	アルパ社	月十	▲先生の傳記、附録として逸話を添ふ、寫眞版一挿入。
三田啓	山路越えて	並四六	製判	100	四〇	日曜世界社	月七	▲一農家から身を起して醫學博士になるまでの苦學力行の生活記録。

宗教(基督教・追補)

福永津義子	母の面影 —子女に映せる「逆風の思慕の半面」	並四六	製判	100	二五	日曜世界社	月一十	▲「逆風の思慕」の著者徳永規矩氏夫人うた子さんの堅忍不拔の信仰生活の記録。
細貝貞子譯	レネ・デュ・ベノアの手記	上四六	製判	194	一、〇〇	教文館	月四	▲信仰に献身奉仕の生涯を送つたレネ・デュ・ベノアの手記で、幼時と娘時代外七章。
前田晃譯著	聖書人物語 —人間の魂の歴史—	洋編	布入判	576	三、三〇	東京堂	月二十	▲少年少女の爲に書かれた聖書物語で、文學上の遺産、天地の創造外廿七章。
フオイエルバツハ著	基督教の本質	並四六	製判	507	一、〇〇	共生閣	月五	▲宗教の眞實的即人類學的本質、宗教の非眞理的即神學的本質。
木暮浪夫譯	基督教の本質	並四六	製判	507	一、〇〇	共生閣	月五	▲親鸞が如何なる苦悶と闘つて淨土眞宗を確立したかを説けるもので雲隠れ、外四十五篇。
田並青嵐	創生親鸞の歩んだ道	洋四六	布入判	332	一、三〇	中央出版社	月五	▲妙法蓮華經に就て講述したもので、第一講(十八項)第二講(序品以下廿八項)
大谷光瑞述	妙法蓮華經講話	洋四六	布入判	222	一、〇〇	大乘社	月五	▲禪の目的、悟道の片影、活達自在の妙境外
菅原時保述	人物を纏る禪の要諦	布四六	製入判	338	一、三〇	中央出版社	月五	▲菅原時保禪師の法話四十六篇收載
河口慧海	苦行詩聖ミラレエバヒマラーヤ山の光	並四六	製入判	329	一、三〇	日學本會藏	月五	▲苦行の詩聖ミラレエバの傳記を収めたもので、求法のための煩悶外廿五章。

【教育書類】  
 國語一般  
 讀方書類  
 綴方書類  
 修身一般  
 地理・歴史  
 手工・圖畫  
 體操・遊戲  
 唱歌・兒童  
 教育科學  
 其他一般

本出版年鑑を御覽になります方々に  
 弊閣刊行の教育書類は本年鑑中に収録されてをりま  
 す。その大部分は毎年一回の讀書週間に良書として  
 推薦を受けたものです。

東京市麴町區下六番町四八

【圖書目錄送呈】  
**厚生閣書店**

〔振替東京五九六〇〇番〕  
 電話九段三三一八番

新刊圖書目錄及既刊の詳細に就ては  
 直接弊閣へ御照會下さいますれば早速御送り申上げ  
 ます。尙弊閣では以上の外文藝・電氣・兒童等各種圖  
 書を刊行してをります。

### 三、教育

著者	書名	装形	頁數	定價	發行所	月行發	内容大意
文學博士 入澤 宗壽	教育學概論	洋函四六 布入判	283	二、三〇	甲子社	月九	▲教育學の性質、教育の基礎、教育の主體と客體、教育の目的外十六章。
千葉 命吉	獨創教育學	布函四六 裝入判	333	二、五〇	獨創學會	月五	▲教育學の成立及學校活動を分析叙述せるもので、教育學習の獨創學的展望外一編。
文學博士 吉田 熊次	教育及び教育學の本質	洋函編 布入判	180	一、二〇	日黒書店	月一十	▲教育の本義、教育の對象、教育の規範と方法、教育學の獨自性外一章。
文學士 石谷 信保	現代教育問題精選 ナトルフ教育學の根本問題	並四六 裝判	154	六〇	日黒書店	月五	▲學としての教育學意志の世界並に意志陶冶の法則性外廿三章。
竹内 道説	教育學要項	布編 裝判	242	一、五〇	代々木書院	月四	▲教育學の主要點のみを書いたもの。
津田 萬夫	教育の基線	洋函四六 布入判	265	一、三〇	大同館	月二	▲一章教育の本質―五章個性教育大章現代教育の基本方向の轉回―九章教育の生命等。
文學士 平田 華藏	自學女子教育學	上函四六 裝入判	600	一、八〇	章華社	月五	▲高等女學校女子補習學校の現行教育科修身科の補講として自學自習に便したるもの。
文學士 辻 幸三郎	各國教育學の現状	洋函四六 布入判	250	一、五〇	藤井書店	月六	▲獨逸・英吉利・佛蘭西・伊太利・ソヴェト露西亞・亞米利加合衆國及日本の教育學。

教育(教育學・教育思潮・教育一般)





教育(教育學・教育思潮・教育一般)

千葉春雄編	原田實	津田萬夫	國民新聞社編	松永嘉一	飯塚巳代次	賀集音市	椎尾辨匡	河野通頼	巖谷小波	爲藤五郎	吉田熊次	藤原覺了編
エドモント・クオターリー(1)(2) 現代教育の現實を視る(1)(2)	新教育の樹立へ	教育の基線	教育改造論	人間教育環境教育論 の最重要環境教育論	理想と實際の生命體験の教育 開明に基く生命體験の教育	生命哲學を根據とせる 全人教育の原理と實際	有信有業の教育 國民教育に於ける宗教教育	自然信仰の教育	桃太郎主義教育新論	教育の社會性	女子教育の理念	性教育のテキスト
並編	洋四六	洋四六	並四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	布四六	布四六	布四六	洋四六
製判	布入判	布入判	製判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
332	230	256	354	566	386	440	443	321	304	215	520	356
一、九〇	一、二〇	一、三〇	一、三〇	一、八〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
厚生閣	同文館	大同館	啓成社	玉川學部園 出版部	文教書院	三友社	甲子社	日東書院	賢文館	自由社	同文書院	日日書房
月二	月九	月二	月七	月五	月二十	月六	月二十	月三	月八	月一	月五	月五
▲教育者の危機(坂本功) 前進以前の教育を 觀る(城戸薫) 外六篇。	▲手のつけ方、獨自學習と相互學習、郷土教 育、新學校の組織外二章にて論述。	▲教育の本質、現代教育の基本方向の轉回、 教育理想の基線外六章。	▲國民新聞社の募集せる「教育改造論」の一 等當選全文其他を收む。一普及版	▲家庭、環境としての小學校、環境としての 現代諸相外三篇にて論述。	▲生命體験の教育原理、生命體験學校經營の 實際の二部にて論述。	▲教育の原理としての生命哲學、生命哲學と 教育の原理外一篇。附録二章。	▲宗教教育の本質、教育の新重點、共生主義 の教育の三篇より成る。	▲現代及び現代の各科學習外四章。 問題、自然信仰の各科學習外四章。	▲富士山と桃太郎、勝者の仲間入、無名の師 養育の力、威と徳外七十七篇及び附録。	▲凡人主義の教育、教育方法に於ける資本主 義組織、教育の自由外十六章。	▲女子の社會的・心理的研究、女子教育歴史の 本質現在將來を説く。	▲概論、科學的教育の準備と實際、教育の諸 要素、結論。

教育(新興教育・階級教育)

新興教育・階級教育

日下恒	福島政雄	渾池社編	後藤三郎	有馬良治	玖村敏雄	水戸部寅松	水木梢	秋田喜三郎	草場弘	日本協會編	現代實際教育編
國民生活の根本原理	聖徳太子の生命と教化	藤樹先生の學徳	吉田松陰とその教育	玉川渡(17) ヘスタロツチーに生きる	ベスタロツチー スタランツの手紙(英文)	輓近歐米國民教育詳説	教育の經濟化と産業化	學徒の斷想	教育者は憐む	現代教育辭典	「全」教育新辭典
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
278	202	300	186	148	50	442	140	227	255	950	402
一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
藤井書店	出渾池版部社	出渾池版部社	出渾池版部社	出渾池版部社	出渾池版部社	出渾池版部社	高路社	明治圖書	同文館	啓文社	章華社
月六	月七	月五	月四	月一十	月十	月九	月二十	月六	月六	月五	月五
▲國民生活の原理及び各方面より國民的自覺 の必要なる所以を説述したものである。	▲第一篇聖徳太子の生命と教化、第二篇藤樹 先生先生の生涯と著作、根本反始について、 藤樹先生の思想藤樹先生の遺蹟遺品外數項。	▲吉田松陰の眞面目を紹介せるもので、年譜 人物及び思想外一篇及び附録。	▲ベスタロツチーの手紙、ベスタロツチーと 女性、親心外七篇。	▲スタランツに於けるベスタロツチーが其友人 ゲスネルに送つた長い手紙であります。	▲歐米各國現下の教育實相に就て述べたもの で、英國の教育外十一篇。	▲研究の着眼と指導、教育教授の經濟化と産 業化外一篇にて論述。	▲世相、新舊の論、國語の愛護、夏の自然、 一年生の先生外五十四篇を収めた隨筆集。	▲現代教育者の悩みと解決への道、トルス トイ愛と教育即愛外五章。	▲現代を中心とする教育理論を始め哲學美學 宗教倫理生物心理児童學等教育關係を網羅す る▲教育學、日本教育史、教育行政法其他教 育科學一般を包括せる辭典。		

教育(社會教育・公民教育)

國際教育	新 興 教 育 學	並四六	製判	400	一、 八、 五〇	刀江書院	月五	▲一九二八年の春ライプツヒに於て開催された國際教育デーのテーゼ報告討論を収む。
勞働者聯盟	マルクス主義と教育問題	並四六	製判	186	六〇	自由社	月三	▲マルクス及びエンゲルスの教育論、レーニン主義教育論外三部。 改訂版
淺野研眞	新興教育運動の展望	布四六	裝入判	617	三、 四〇	日東書院	月二十	▲アメリカ新興教育の批判的考察、新興ドイツ教育の概観外四篇。
田制佐重	帝國主義治下に於ける朝鮮の教育状態	並四六	製判	51	二〇	新興教育研究所	月八	▲帝國主義治下に於ける朝鮮の教育状態に就て論述す。 發售禁止
李北滿	階級教育論	並四六	製判	254	一、 八〇	自由社	月三	▲階級闘争と教育問題、社會主義と教育問題職業としての教育外四章。 改訂版
アドラ彦	プロレタリア教育の諸問題	上四六	製入判	340	一、 九〇	厚生閣	月九	▲教育の利潤、藝術教育の基礎、プロレタリア教育の基礎問題外卅章。 發售禁止
淺野研眞	青年大衆の教育	背四六	布入判	315	一、 八〇	版第一	月一	▲世界に於ける無産青年の教育、日本に於ける經濟困難、失業問題と青年大衆外十七章。
教育公論編輯部	無産大衆の教育問題	並四六	製判	46	二、 五〇	育社協會	月八	▲教育制度改造と無産大衆教育の基調に就て論述せる書で、現行教育制度の解剖外七章。
大内經雄	社會教育の體系及施設經營	並四六	製判	45	二、 五〇	育社協會	月一十	▲學校教育を過重し社會教育を省過した教育の行詰りを解き又社會教育に體系づけし者。
川本宇之介	社會教育の體系と施設經營	並四六	製判	47	二、 五〇	育社協會	月二	▲社會教育の機關施設、成人教育の本質とその組織經營外十一章。
川本宇之介	社會教育運動としての心學	並四六	製判	418	二、 五〇	北文館	月三	▲心學勃興の社會的背景、心學といふ呼稱、心學の思想的根據外五篇。
文部省社會教育局	社會教育と實業界の希望	並四六	製判	350	一、 三〇	社會教育會	月三	▲學校當局に對する希望、學生に對する希望父兄に對する希望外二章。
東京縣廳介紹事務局	現代實業教育論	並四六	製判	373	二、 三〇	厚生閣	月三	▲千葉縣に於ける視察講演を収録せるもので千葉縣實業教育の視察計畫外七章。
三澤房太郎	活映教育の研究	上四六	製入判	402	二、 三〇	育社協會	月八	▲英國に於ける青少年運動、米國に於ける青少年運動外五章にて論述。
宮川芳作	活映教育の理論と實際	上四六	製入判	373	二、 三〇	育社協會	月八	▲映畫教育の理論實際問題等に就て論述せるもので、映畫時代展望外二篇。
星野新幸	活映教育第一輯	上四六	製入判	470	二、 三〇	育社協會	月八	▲活映教育の理論、教育活映の本質、活映と藝術教育、活映教育の發達、活映教育の説明法
水野新幸	青年訓練の現在と將來	並四六	製判	437	三、 八〇	教育書院	月八	▲各種の青年教育機關と青年訓練所と比較研究して青年訓練の現在と將來を論じたもの。
全日本活映教育研究會	青年訓練の現在と將來	並四六	製判	437	三、 八〇	教育書院	月八	▲修身科、公民科、國語科、歴史科、地理科理科、數學科より成る教科書。
菅原龜五郎	公民教育の根本問題	並四六	製判	266	一、 六〇	中文館	月九	▲國家法制的梗概及び財政經濟の諸現象等公民としての常識を述べたもの。
社會教育會編	公民教育の根本問題	並四六	製判	266	一、 六〇	中文館	月九	▲公民教育運動の據頭、教育と國家、政治教育より教育政治への三章。
大野國光	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲公民教育の研究としての精細を極めたもので、基本的理論の展開外二編。
廣瀨嘉雄	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲第一章概念の政治的見解より第九章個人主義と社會主義に至る數章にて論述。
羽田隆雄	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲文部省訓令公民科教授要綱を精説せるもので、下巻は我が國外十四課。
北野ケルシエ	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲公民教育の實際(公民教育の意義外七章)
千葉茂止	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲公民教育の實際(公民教育の意義外七章)
森茂止	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲公民教育の實際(公民教育の意義外七章)
岩井精造	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲公民教育の實際(公民教育の意義外七章)

教育(社會教育・公民教育)

國際教育	新 興 教 育 學	並四六	製判	400	一、 八、 五〇	刀江書院	月五	▲一九二八年の春ライプツヒに於て開催された國際教育デーのテーゼ報告討論を収む。
勞働者聯盟	マルクス主義と教育問題	並四六	製判	186	六〇	自由社	月三	▲マルクス及びエンゲルスの教育論、レーニン主義教育論外三部。 改訂版
淺野研眞	新興教育運動の展望	布四六	裝入判	617	三、 四〇	日東書院	月二十	▲アメリカ新興教育の批判的考察、新興ドイツ教育の概観外四篇。
田制佐重	帝國主義治下に於ける朝鮮の教育状態	並四六	製判	51	二〇	新興教育研究所	月八	▲帝國主義治下に於ける朝鮮の教育状態に就て論述す。 發售禁止
李北滿	階級教育論	並四六	製判	254	一、 八〇	自由社	月三	▲階級闘争と教育問題、社會主義と教育問題職業としての教育外四章。 改訂版
アドラ彦	プロレタリア教育の諸問題	上四六	製入判	340	一、 九〇	厚生閣	月九	▲教育の利潤、藝術教育の基礎、プロレタリア教育の基礎問題外卅章。 發售禁止
淺野研眞	青年大衆の教育	背四六	布入判	315	一、 八〇	版第一	月一	▲世界に於ける無産青年の教育、日本に於ける經濟困難、失業問題と青年大衆外十七章。
教育公論編輯部	無産大衆の教育問題	並四六	製判	46	二、 五〇	育社協會	月八	▲教育制度改造と無産大衆教育の基調に就て論述せる書で、現行教育制度の解剖外七章。
大内經雄	社會教育の體系及施設經營	並四六	製判	45	二、 五〇	育社協會	月一十	▲學校教育を過重し社會教育を省過した教育の行詰りを解き又社會教育に體系づけし者。
川本宇之介	社會教育の體系と施設經營	並四六	製判	47	二、 五〇	育社協會	月二	▲社會教育の機關施設、成人教育の本質とその組織經營外十一章。
川本宇之介	社會教育運動としての心學	並四六	製判	418	二、 五〇	北文館	月三	▲心學勃興の社會的背景、心學といふ呼稱、心學の思想的根據外五篇。
文部省社會教育局	社會教育と實業界の希望	並四六	製判	350	一、 三〇	社會教育會	月三	▲學校當局に對する希望、學生に對する希望父兄に對する希望外二章。
東京縣廳介紹事務局	現代實業教育論	並四六	製判	373	二、 三〇	育社協會	月三	▲千葉縣に於ける視察講演を収録せるもので千葉縣實業教育の視察計畫外七章。
三澤房太郎	活映教育の研究	上四六	製入判	402	二、 三〇	育社協會	月八	▲英國に於ける青少年運動、米國に於ける青少年運動外五章にて論述。
宮川芳作	活映教育の理論と實際	上四六	製入判	373	二、 三〇	育社協會	月八	▲映畫教育の理論實際問題等に就て論述せるもので、映畫時代展望外二篇。
星野新幸	活映教育第一輯	上四六	製入判	470	二、 三〇	育社協會	月八	▲活映教育の理論、教育活映の本質、活映と藝術教育、活映教育の發達、活映教育の説明法
水野新幸	青年訓練の現在と將來	並四六	製判	437	三、 八〇	教育書院	月八	▲各種の青年教育機關と青年訓練所と比較研究して青年訓練の現在と將來を論じたもの。
全日本活映教育研究會	青年訓練の現在と將來	並四六	製判	437	三、 八〇	教育書院	月八	▲修身科、公民科、國語科、歴史科、地理科理科、數學科より成る教科書。
菅原龜五郎	公民教育の根本問題	並四六	製判	266	一、 六〇	中文館	月九	▲國家法制的梗概及び財政經濟の諸現象等公民としての常識を述べたもの。
社會教育會編	公民教育の根本問題	並四六	製判	266	一、 六〇	中文館	月九	▲公民教育運動の據頭、教育と國家、政治教育より教育政治への三章。
大野國光	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲公民教育の研究としての精細を極めたもので、基本的理論の展開外二編。
廣瀨嘉雄	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲第一章概念の政治的見解より第九章個人主義と社會主義に至る數章にて論述。
羽田隆雄	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲文部省訓令公民科教授要綱を精説せるもので、下巻は我が國外十四課。
北野ケルシエ	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲公民教育の實際(公民教育の意義外七章)
千葉茂止	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲公民教育の實際(公民教育の意義外七章)
森茂止	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲公民教育の實際(公民教育の意義外七章)
岩井精造	公民教育の根本問題	並四六	製判	235	一、 六〇	中文館	月九	▲公民教育の實際(公民教育の意義外七章)

教育(農村教育)

北澤種剛一	北澤種剛一	倉北澤種剛一	岡野篤郎	長野長廣	東亞學藝協會編	佐藤隆德	渡邊照一	寺田彌吉	千澤初次	岡本瓊二	安部清美	
公民科の教材研究	公民科の教材研究	公民科の教材研究	公民教育及公民科教授指針	農村教育新論	農村教育の根本問題	中心農村學校經營	農村問題と郷土教育	惱める農村教育の改造	現代農村と小學校經營	農村大地に働く人々	農村振興の土の聖者	
洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	
布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	
560	560	595	206	534	347	324	211	249	338	296	401	
五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	一、五〇	三、五〇	一、八〇	二、二〇	一、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一、〇〇	二、三〇	
改進書房	改進書房	改進書房	大同書院	同文書院	四條書房	南光社	人文書房	人文書房	厚生閣	文化書房	文化書房	
月三	月三	月五	月八	月二	月七	月三	月一	月二	月一	月一	月二十	
▲文部省の新制にかゝる中等學校公民科基準要目に準據して教材を研究解説せるもの。	▲人と社會、我が家、一家の生計、職業、教育、神社、宗教、公安、地方自治外二十一章に公民教育の大要を平易明快に叙述したるもの	▲公民教育の目的、公民教育の方法、公民教育の内容外二章にて論述。	▲農村社會と教育理想、農村小學校の經營、農村青年教育論外二編にて論述。	▲農村教育問題に關して(松井謙吉)農村女性教育(三宅やす子)外十篇。	▲農村の現狀、農村振興と村是の確立、農村成人教育外十章。	▲郷土の清算、農村の解剖、農村青年教育を考へる、農村女子の教育外十一篇。	▲農村教育改造の根本問題、農村教育の社會化について外二篇にて論述。	▲現代農村の現狀より農村小學校教育に就て論述せる書で、農村外十一篇。	▲日本一の百姓、表彰される迄、一縣の養蠶を一人の力で外十二篇。	▲福岡縣宗像郡神興村の建設記録を収録せるもので、育ちゆくもの外三篇。		

教育(郷土教育)

前文部省社會教育官 金井浩	山崎博	小川正行	水木梢	千葉春雄編	山崎博	滋賀縣島小學校編	峯地光重	三原善子師範主事 中村勇吉	郷土教育聯盟編	滋賀縣島小學校編	大西伍一
綜合郷土教育原論	新時代の郷土教育	郷土の本質と郷土教育	教育の實際化と郷土化	エデュケーション・オブ・ローカリティ	批判と郷土教育の再吟味	體驗と信 郷土教育の學習と實踐	各教科新郷土教育の實踐	各科實際の郷土教育	科學的郷土學の陶冶價值	郷土の調査及研究各教科郷土化の實際	郷土讀本の編纂法と其實例
洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編	洋函編
布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判
661	284	295	140	533	433	372	417	440	50	411	131
四、三〇	二、四〇	二、五〇	一、〇〇	二、八〇	二、八〇	二、六〇	三、八〇	二、三〇	三、五〇	二、四〇	一、三〇
同文書院	教育實際社	東洋圖書株式會社	高踏社	厚生閣	教育實際社	明治圖書株式會社	人文書房	厚生閣	刀江書院	明治圖書株式會社	協一會
月九	月三	月五	月十	月七	月十	月九	月五	月十	月十	月九	月六
▲郷土及び郷土教育の本質と目標を徹底的に検討せるもので、郷土の本體外十四篇。	▲現代教育界の郷土教育の實際について述べて、たもので、現代郷土教育の經營外一篇。	▲郷土教育の實際、郷土教育の理論外一篇にて論述附録一篇。	▲研究の着眼と指導、教育實際化の原理、教育郷土化の着眼外一篇。	▲郷土の教育的意義(北澤種一)郷土主義教育の正批判(佐藤隆德)外七篇。	▲郷土教育の概観、郷土教育の實際的價值、公立學校の郷土教育外七篇。	▲郷土の教育化に精進しつつある島小學校の實際を綜合的に輯録せるもの。	▲新郷土教育實踐の體系、各科教材の新郷土教育的構成外一篇。	▲郷土教育の本質を闡明し教材の具體化、實際化を詳述す。	▲科學的郷土學研究會創設の會合に於けるシユプランナー教授の講演の譯。	▲郷土研究郷土生活綜合の郷土教育、郷土の教育化の實際外一篇。	▲郷土讀本の根本問題、郷土資料の扱方、郷土讀本編纂プラン外三篇。

教育(教育心理学・児童研究)

小内田林庄次	郷土教育と國史地理の取扱	布四六 裝入判	二、五〇	版第一	月五	▲郷土教育の意味、郷土と國史、地理と郷土的取扱外十章にて論述。
松原惟一	郷土教育と國史地理の取扱	洋函六 布入判	三、八〇	人文書房	月二十	▲低学年自然研究の原理、自然研究指導の實際の二篇七章にて論述。
田田七寛元	郷土研究 室産業の巻	布四六 裝入判	一、五〇	同文書院	月九	▲著明なる全國郷土産業百餘種の解説(起源発展)産業研究法、全國産業大観をあぐ。
安達久	教育心理学	布函六 裝入判	三、五〇	日東書院	月四	▲ソーンダイク博士の教育心理学縮刷版の全譯で、人の本性外二篇。
北野田弘新	教育心理学	布函六 裝入判	一、八〇	啓文社	月五	▲第一心理学の定義第二心理学の研究法第三心理学の思潮第四心理学の種類等六十一章。
松田友吉	児童生活の教育心理学	洋函六 布入判	二、八〇	大同館	月七	▲一般心理学體系によつて児童の本性を指示せるもので、身體生活外一篇。
久保良英	児童心理学	洋函六 布入判	四、五〇	藤井書店	月一十	▲児童精神發達の各事項に就て論述せるもので、精神の發達、乳兒期外三編。
波多野完治	児童心理学	洋函六 布入判	三、五〇	同文館	月二十	▲児童心理の本質を究明せるもので、児童の論理、児童の世界觀外一篇。
關寛之	児童心理学	洋函六 布入判	二、六〇	文化書房	月九	▲應用の立場から特に教授問題に對し各學科にわたつて論及せるもの。
丸山良二	幼児の心理	洋函六 布入判	二、〇〇	三友社	月六	▲幼児に關する科學的知識やその教育法に關する研究を收録せる書。
福永津義	児童教育の實際	洋函六 布入判	一、八〇	新生堂	月二十	▲子供は育つ、子供は動く、子供は語る、子供は歌ふ等四篇より成る。附學齡後の作文。
福永津義	児童教育の實際	洋函六 布入判	三、七〇	培風館	月十	▲教育測定の本質、知能測定法、情意測定法特殊能測定法外四篇にて論述。
大伴茂	教育測定の方法	洋函六 布入判	一、一三〇	培風館	月十	▲中等學校に於ける入學志願者選抜考査法に關する研究で、内申書の審査外六章。

教育(家庭教育・個性調査・職業指導)

金子近次	春機發動期の研究	洋函六 布入判	一、九六	資文堂	月二十	▲現代青年心理考察の必要、青年期の概観、青年の個性教育外十四章にて論述。
田中寛一	選抜考査法	洋函六 布入判	三、〇一	培風館	月三	▲中等學校に於ける入學志願者選抜考査法に關する研究で、内申書の審査外六章。
麻生正藏	家庭教育	布函六 裝入判	四、五〇	北文館	月一十	▲教育の根本をなす家庭教育に就て論述せるもので、教育の眞髓外二篇。
野瀬寛顯	家庭教育の實際	洋函六 布入判	二、三〇	先進社	月一	▲家庭教育の目的外二章にて幼年より成年に至るまでの家庭教育の實際を説けるもの。
教材王國編	家庭教育連絡の實際	洋函六 布入判	二、〇〇	文化書房	月二	▲家庭教育の意義と方法(龍山義亮)我が校に於ける父母の會の活動(石井信二)其他。
野瀬寛顯	愛兒を優等生にするには	布函六 裝入判	二、五〇	先進社	月八	▲學業成績の向上法に就ての實際的解決法を述べたもので、父母の責任外六篇。
松本亦太郎	父母の態度	布函六 裝入判	一、八〇	先進社	月三	▲子女に對する父母の態度を説けるもので、嬰兒の命名、父母の讀書外十七篇。
岸邊福雄	若きママさんに	洋函六 布入判	一、五〇	日實業社	月二十	▲シベリヤの野は白樺の黃錦の天地、人道に絶對なき不具兒童教育外二十七篇。
ザルツマン重譯	我が子の悪徳	洋函六 布入判	一、八〇	文教書院	月八	▲ザルツマンの原著「蟹の小木」の全譯で、いかにすれば子供の憎しみを買ふか外卅六篇。
武政太郎	個性調査法	洋函六 布入判	四、四〇	培風館	月五	▲個性調査法の理論及び實際に就て述べたもので、個人差外九章。

教育(家庭教育・個性調査・職業指導)

坂本 豊	杉原 勇	岸本 惣吉	水木 梢	大伴 茂	谷口 政秀	水野 政吉	三橋 節	下川 兵次郎	千葉 春雄	東京市職業指導研究会編	高橋 鐵也	二神 眞敬
個性の観点方つけ方育て方	個性調査と職業指導の實踐	児童の個性と職業	教育の個性化と職業化	職業指導學	職業指導基礎論	職業指導軌範	職業指導實施要綱	小學校に於ける職業指導の實際	「職業指導の實際研究」(3)	小學校職業指導教材解説	立身職業指導總案内	新職業選擇指針
洋四六	洋四六	洋四六	布六	洋四六	布四六	布四六	布四六	布四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布入判	布入判	布入判	製判	布入判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判
224	452	262	266	746	254	225	400	262	468	570	400	155
一、三〇	三、八〇	一、五〇	一、〇〇	六、三〇	二、三〇	一、八〇	三、八〇	一、五〇	二、三〇	一、〇〇	一、〇〇	特三三
人文書房	人文書房	雄文閣	高路社	同文書院	厚生閣	富山房	文版堂	三省堂	厚生閣	三省堂	弘文堂	職業指導社
月一	月九	月一十	月一十	月九	月七	月五	月二	月二	月四	月一十	月二十	月八
▲努めて平易に個性教育の要領を述べたもので、個性のすがた外二章。	▲職業指導の意義、職業指導の必要、職業指導の目的外四章にて論述。	▲個性の成立、知能と性格、個性検査と観察児童の個性、児童と職業の五章。	▲研究の着眼と指導、教育教授の經濟化と産業化など外數篇。	▲人間分析、職業分析、學校・家庭及社會に於ける職業陶冶の三編にて論述。	▲教育の爲の教育、職業教育、中等教育の制度、中等校の存廢を論ず外十八章。	▲職業指導を採入れたる教育の向ふべき道を示したるもの。	▲職業指導實施の要綱を數項に亘つて説述せるもの。	▲下谷高等小學校に於て實施しつゝある職業指導に關する諸調査其他を收録。	▲職業指導の不完全なる點(久保良英)職業指導の教育的考察(水野常吉)外六篇。	▲東京市教育局選定の職業指導講話資料に準據し職業の屬性を解説せる書。	▲小學卒業獨學二三年にして就職確立立身の捷徑たる文官武官以下十數種懇切指導詳述する職業選擇指針に就き論述せるもので、職業選擇指導の基礎其他。	▲下巻は職業選擇の準備、修養其他より成る。

教育(學校教育・學級經營)

池田 榮一	松本 浩二	宮本 幸恵	下川 辰信	北澤 種一	東山 英一	藤尾 茂三	鶴居 茂三	中島 太郎	野瀬 寛顯	西山 庸平	北澤 種一	龍山 義亮	二神 眞敬
勞作學級經營論	要目と設備 中學校作業科の解説	作業學校の理論と實際	現代作業教育の諸問題	作業主義の教育	各科特別教室の經營	現代教育問題精選	學級經營の諸問題	文化主義學級經營論	新主義を學級經營の實際と	西山庸平著作集	學級經營原論	學級經營論	新職業選擇指針
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布入判	布入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
390	368	236	632	359	622	144	456	286	313	202	188	188	
三、五〇	二、八〇	一、〇〇	四、五〇	二、〇〇	三、五〇	六、〇〇	二、五〇	一、五〇	二、八〇	二、〇〇	二、〇〇	特三三	
中文館	大同館	教育研究會	明治圖書株式會社	教育研究會	東洋圖書株式會社	日黑書店	文化書房	雄文閣	東洋圖書株式會社	中文館	中文館	職業指導社	
月五	月二	月二十	月六	月八	月四	月五	月四	月六	月二十	月九	月八	月八	
▲勞作學校の經營に關する理論的研究を根柢として更に實際的方面の研究に及べるもの。	▲中學校作業科具體案の編制で、緒論、目的及教授編、要目編外二編及附録。	▲國家の目的と公立學校の任務、第一任務としての職業教育、作業の教育的概念其他。	▲學校經營の限定的要素、獨逸に於ける作業教育外卅一章にて論述。	▲現代教育思潮、作業主義の眞の意義、作業主義と教授と訓練外十一章。	▲學校經營の目的と公立學校の任務、第一任務としての職業教育、作業の教育的概念其他。	▲學校經營の限定的要素、獨逸に於ける作業教育外卅一章にて論述。	▲學校經營の目的と公立學校の任務、第一任務としての職業教育、作業の教育的概念其他。	▲學校經營の目的と公立學校の任務、第一任務としての職業教育、作業の教育的概念其他。	▲學校經營の目的と公立學校の任務、第一任務としての職業教育、作業の教育的概念其他。	▲學校經營の目的と公立學校の任務、第一任務としての職業教育、作業の教育的概念其他。	▲學校經營の目的と公立學校の任務、第一任務としての職業教育、作業の教育的概念其他。	▲學校經營の目的と公立學校の任務、第一任務としての職業教育、作業の教育的概念其他。	▲學校經營の目的と公立學校の任務、第一任務としての職業教育、作業の教育的概念其他。

教育(各科教授法・學習指導)

福島 檢二	勞作學校の新經營	上四六製	490	一、八〇	教育書館	月一十	▲我が學校の勞作教育觀勞作教育の施設經營勞作校に於ける學級經營其他。
和歌山縣師範學校 附屬小學校長 藤田 隆	勞作教育による經營の實際	上四六製	700	二、〇〇	章華社	月七	▲勞作教育の實際的指導研究の發表書、體系の整備革新の方針具體的經驗的指導發表書。
小原 國芳編	日本の勞作學校	洋函菊	240	一、八〇	玉川學部	月八	▲日本に於ける勞作教育の諸學校を紹介せるもので、今町小學校の勞作教育其他。
稻森 縫之助	勞作の新課程	洋函菊	511	三、〇〇	文化書房	月四	▲勞作教育序論、尋常科一學年と勞作教育(松生りよ)外十章を收む。
<b>各科教授法・學習指導</b>							
小學教育研究會編	合尋六教育の實際	洋函四六	452	二、八〇	同文書院	月二	▲尋六受持教材論(北澤種一)を始め、専門家二十九氏執筆。
東京府青山師範學校附屬小學校編	最新各科教育の眞髓	洋函四六	349	二、三〇	明治圖書株式會社	月二	▲養に公にしたる「各科教授要綱」を改訂増補せるもので、修身科外十四章。
石橋 敏雄	各科教授の急所の抑へ方	布菊	276	一、〇〇	高踏社	月九	▲各科實地授業の實際、各學年獨特の學習のさせ方、各學科獨特の學習のさせ方、外數篇。
石川 太一	各科教授研究問題の選り方と發表の指導	背函菊	420	二、八〇	高踏社	月八	▲讀方教授法研究の仕方、算術教授法研究の仕方、綴方教授法研究の仕方、三篇。
宇野 誠一	中心各科教授實際案	背函菊	580	二、八〇	高踏社	月七	▲修身教授の實際(石川太一)讀方教授の實際(菊地秀男)外二部を合冊せるもの。
石川 太一	各科教授法圖書館叢書	洋函菊	744	四、〇〇	高踏社	月一	▲讀方と算術の實地授業の準備と指導(石川太一著)外四冊より成るもの。
外川 太一	低學年教育實際叢書	洋函四六	548	二、〇〇	高踏社	月一	▲三冊より成る叢書で、實力をつける學習指導の仕方(水木梢著)外二冊。
水村 玉梢	低學年教具の實際的研究	洋函四六	540	二、六〇	文化書房	月一十	▲行詰つた低學年教育、局面打開の方途、算術教具と指導の實際外二篇。

教育(各科教授法・學習指導)

奥野 庄太郎	小學補充教材全集	洋函菊	404	三、五〇	中文館	月二	▲尋常四年の各科に亘つて補充教材を精選せるもので、修身補充例話外六篇。
朝日 文彦	算術理科診斷教授學	洋函菊	136	一、三〇	高踏社	月四	▲教育診斷の原理と實際、算術教育の實地授業の準備の二篇八章。
水木 六氏	教授診斷學	洋函菊	356	二、八〇	高踏社	月七	▲教授診斷學概論、學習能力の診斷、學習作用の診斷外一篇。
和歌山縣師範學校附屬小學校編	最近各科教授の着眼點	上三五	200	六、〇〇	章華社	月七	▲現行小學校の各教科の教則手帳とも稱すべく各科教科教授、學校學級經營の立案。
菊地 秀男	綴方・地理教授法の要點	布菊	420	一、〇〇	高踏社	月九	▲綴方・地理の教授實際を示せるもので、綴方各部指導實際、地理各教科指導外十數篇。
教材王國編輯部編	尋一各科成績測定の實際	洋函菊	303	一、八〇	文化書房	月二	▲科學的測定とは何ぞや(奥野庄太郎) 既成測定問題の概観(柏木雄太郎) 外一篇。
教材王國編輯部編	尋二各科成績測定の實際	洋函菊	303	一、八〇	文化書房	月二	▲尋二讀方測定の實際(富助一) 尋二算術測定の實際(相馬吉彌) 外二篇八章。
教材王國編輯部編	尋三各科成績測定の實際	洋函菊	275	一、八〇	文化書房	月二	▲科學的測定とは何ぞや(奥野庄太郎) 既成測定問題の概観(柏木雄太郎) 外一篇十章。
教材王國編輯部編	尋四各科成績測定の實際	洋函菊	355	二、八〇	文化書房	月一	▲科學的測定とは何ぞや(奥野庄太郎) 歐米既成測定問題の概観(柏木雄太郎) 外三篇。
教材王國編輯部編	尋五各科成績測定の實際	洋函菊	410	二、八〇	文化書房	月二	▲科學的測定とは何ぞや(奥野庄太郎) 歐米既成測定問題の概観(柏木雄太郎) 外三篇。
西山 庸平	學習概論	布函四六	410	一、五〇	雄文閣	月四	▲生活としての學習、學習としての試錯作用學習としての合理作用外十二章。
山崎 博	現代學習指導の新課程	洋函四六	296	二、四〇	教育實際社	月五	▲教材組織論、教材系統論、學習方式、各教科學習方式外三編にて論述。
木下 竹次	學習生活の指導原理	洋函四六	230	一、〇〇	モナス	月七	▲第一講學習教育革新の機運切りに動く、第二講學習生活の指導原理その他。

教育(修身教育)

河野通頼	野瀬寛顯	田尻潤逸	野澤正浩	教材王國編輯部編	教材王國編輯部編	教材王國編輯部編	朝日 文彦	比企光雄	櫻井小良	西山庸平	松田友吉
労働創造の修身教育	今後の修身教育	於小學校に於ける私の修身教育	人間性の修身教育	六各科學習指導の新潮流と實際	四各科學習指導の新潮流と實際	三各科學習指導の新潮流と實際	教育發問の仕方と答辯の誘導	發展的發展的作圖指導の實際	發展的發展的學年教育の系統	生活としての學習	各科の學習心理
洋函編 布函判 307	洋函編 布函判 258	洋函編 布函判 494	洋函編 布函判 410	洋函編 布函判 407	洋函編 布函判 380	洋函編 布函判 426	洋函編 布函判 140	布函判 裝入判 342	布函判 裝入判 485	布函判 裝入判 216	洋函編 布函判 462
二、三、五、八	一、二、六、二〇	二、三、九、二〇	二、七、二〇	一、八、一〇	一、八、一〇	一、八、一〇	一、二、三、五、八	二、三、五、八	二、三、五、八	一、三、五	二、三、五
厚生閣	教育書房	株明治圖書	目黒書店	文化書房	文化書房	文化書房	高踏社	賢文館	株明治圖書	雄文閣	大同館
月一	月十	月二	月三	月四	月四	月四	月一	月二	月三	月二十	月二
▲理想主義の哲學と修身教育、轉形期の修身教育、勞作主義的修身教育外五章にて論述。	▲現代修身教育の要望、新教育の思潮の修身教育、實際上の革新外二章。	▲教材に即した研究考察で、教材研究叙論、の開展外一章にて論述。	▲人間性と道徳的生活、道徳的生活と善理性の開展外一章にて論述。	▲今後の學習はどの方向に流れるか(奥野庄太郎)外廿六篇を収む。	▲今後の學習はどの方向に流れるか(奥野庄太郎)外廿六篇を収む。	▲三修身教育の新潮流と實際(守屋貫秀)小數の初歩指導に關して(稻次清一)外廿五篇。	▲教育發問と問答、思考陶冶と問答の仕方、問答と個性顧慮の仕方外二章にて論述。	▲幼學年より高學年に到る發達段階に應じての事實算指導の著者の體験記録。	▲小學教育の實際を説けるもので、現代教育思潮概観、教育思想外九章。	▲生物學的概念としての「生活」、常識的適合としての學習外十四章。	▲兒童の現はす實際心理の中に指導原理を指示せるもので、修身學習の心理外十一章。

教育(勸諭・勸語)

小堺宇市	川島次郎監修	市村清次郎	安部清見	市村清次郎	齋藤榮治	齋藤榮治	川島次郎	千葉春雄編	石川太一	澁谷義夫	教材王國編輯部編
青年訓練修身講話資料	高等小學修身書の解説	高等女學生用修身書の解説	高等修身學習指導案	高等新修身書の解説	生活行の修身教育	生活行の修身教育	修身科指導の組織と方法	現代修身教育指針	中心修身教授の實際	主義修身教授原論	新修身の方途と實際學習例
布函判 裝入判 385	布函判 裝入判 480	洋函編 布函判 498	布函判 裝入判 656	洋函編 布函判 546	並函編 裝入判 341	並函編 裝入判 276	洋函編 布函判 368	並函編 裝入判 416	洋函編 布函判 138	洋函編 布函判 584	洋函編 布函判 463
二、三、三〇	一、二、三、五、八	二、三、九、二〇	二、三、三〇	二、三、三〇	二、三、五、八	二、三、五、八	二、三、五、八	二、三、四、一〇	一、二、三、五	四、五、八	二、三、四、一〇
厚生閣	南光社	株明治圖書	株明治圖書	株明治圖書	厚生閣	厚生閣	同文書院	厚生閣	高踏社	目黒書店	文化書房
月三	月五	月六	月五	月五	月四	月三	月四	月十	月四	月三	月八
▲人生の深度、暗中に光る心、己を捨て、親子兄弟の情外六十六篇。	▲修正された高二用修身書(男女共用)の解説である。主眼點大意注意等を解説す。	▲本年三月改訂せられた高等小學修身書女生用卷二の解説書。	▲このたび修正された高二修身書の學習指導案として編纂せる書。	▲本年三月改訂せられた高等小學修身書卷二の解説書で、建國の精神外廿六課。	▲尋五修身書第一我が國より第二十七日本人迄の取扱上の考察をなせるもの。	▲本年三月改訂せられた高等小學修身書卷二の解説書で、建國の精神外廿六課。	▲尋常一年修身科指導方針、第一學期修身科指導の實際案外四編にて論述。	▲萬國道徳教育會議その他(佐々木秀一)現代社會と道徳教育(野村芳兵衛)外五篇。	▲修身教育と社會生活(前田健男)修身教育の改善に就いて(佐々木秀一)外廿六篇。	▲教授方法學原論(本能と能力外十五章)修身教育目的論(實踐の指導)外三章。	▲修身教授案立案原理、修身各教材教授實際案、新式修身教授指導案外二篇。



教育(修養)

小山 忠雄	塚本 哲三	嘉悦 基猪	里見 岸雄	文部 省編	文部 省編	文部 省編	深 作 安文	福 澤 諭吉	德 富 猪 一 郎	德 富 猪 一 郎	野 間 清 治	野 間 清 治	野 間 清 治											
教育勸語と國民精神	勸諭勸語の解義	輝く勸諭の五十年	軍人勸諭徹底解説	教育勸語漢語式解説演義集	教育勸語漢語式解説演義集	滿蒙教育勸語譯纂	修 養	日本男子論	公 小 訓	身 小 訓	養 雜 話	世 之 礎	世 之 礎											
並四六製判	並三六製判	並四六製判	並四六製判	上編	並四六製判	並四六製判	並編	並四六製判	並編	並編	並四六製判	並四六製判	並四六製判											
133	55	83	110	83	16	206	152	244	106	104	171	206	206											
四〇	二〇	四〇	四〇	八〇	四〇	四〇	四〇	四〇	六〇	六〇	四〇	四〇	四〇											
北海出版社	軍人の友社	川 流 堂	里見研究所	ヘラルド社	ヘラルド社	講談社	青年教育	時事新報社	民友社	民友社	講談社	講談社	講談社											
月十	月二十	月二十	月二十	月三	月三	月三	月十	月二	月二	月二	月三	月三	月三											
▲教育勸語の大精神を闡明せるもので、國體の精華、我國の君臣道外十四章。	▲明治天皇より軍人に賜はりたる勸諭、教育に關する詔書外四篇。附録祝祭日の意義。	▲勸諭前文要義、勸諭各節要義、勸諭後文要義。附録勸諭の正しき読み方。	▲軍人勸諭の深意を現代科學的に説述し且つ聖文の大意、字句を解説す。	▲紀念講演會に於ける文部大臣初め諸博士名士の祝辭講演を集輯せる最良の國民寶典なり	▲本書は萬世不朽の教育勸語の大精神を廣く世界に周知せしむる爲め譯纂せるものである	▲自己の意義、衣食住、運動遊戯、生命保存精神、家の意義、祖先、父母、其他を説く。	▲縦横に男子の品行を論じた「日本男子論」以下品行論、男女交際論、浮世談等を收む。	▲尊皇と愛皇、御大典記念事業、神州の正氣思想統一の歸趣、宗教味外卅章。	▲虚文と虚禮、日常生活に於ける自主自由、女性の自覺、親切第一卅一章。	▲明るい日本を目指して、若き人々の首途を祝して、命令以上外十一篇。	▲過去の體驗より成功榮達の要諦を説述せるもので、人の大小外十五篇。	▲人の生命、生命成長の原理、生活の原理、人間の運命の四編にて論述。一特價版！	▲資本家重役排斥論、考へてゐる者は失敗し實行する者は成功す外四篇。	▲働けば働けば食へなくなる、國家に對する農村の地位外十九章。	▲若き人々の誇り大和民族の理想人生理想の影、修養と教育、農業の本質等を説く。	▲社會的關係、經濟原則、宗教問題の三方面から日米親善を説けるもの。	▲産業方面を開拓しつゝある青年一人一研究を収めたもの。	▲古の若衆時代の宿より青年の宿を或は獨逸に或は南洋の蕃地にもとめて研究せしもの。	▲青年訓練所生用として紙質裝釘に留意した手帳。	▲在學中・職業・執務・君國・社交・婚姻・經濟慶吊等十四篇二千餘項に分ち實務的心得を掲ぐ	▲幸運は努力から、徳性は修養から、人格は責任感から、失敗は弱點から外數項。	▲逆境に克てる立身、正直の力にての立身、貧兒奮起による立身、冷遇に激成され立身其他	▲志を立つるの道、偉人名士の立志、成功、専門學校へか實務か他數項。	▲教訓本位の講演集で宗教、教育、交通、土木、産業、慶吊、送迎、講話及訓話等に分つ。

教育(修養)

中村 義朗	野 依 秀市	岩 谷 愛石	山 崎 建吉	ア ラ ン ホ ー	大日本聯合青年團	大日本聯合青年團	文 部 省 編	森 川 勉	澁 谷 七 之 助	吉 村 益 雄	澁 谷 七 之 助	佐 藤 庸 助
若き人々の運命	青年の味方	農村青年の行くべき道	親愛なる農村青年へ	日本の青年諸氏へ	青年の一人一研究	青年の一人一研究	青年訓練手帳	處 世 心 得	處 世 の 基 礎	修 養 と 體 験	世 之 礎	世 之 礎
並四六製判	並四六製判	並四六製判	上四六製判	並三六製判	並四六製判	並四六製判	布袖	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	洋四六製判
361	113	186	130	53	210	136	50	350	268	261	258	439
一、三〇	二、三〇	一、九〇	一、〇〇	二、〇〇	三、〇〇	四、〇〇	二、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	一、〇〇
雄文閣	世界業社	泰文館	一進堂	新報社	日本青年會	日本青年會	朗月堂	中興館	大進堂書店	大進堂書店	大進堂書店	東洋協會
月九	月九	月三	月三	月九	月九	月三	月一十	月二	月四	月四	月四	月二十
▲人の生命、生命成長の原理、生活の原理、人間の運命の四編にて論述。一特價版！	▲資本家重役排斥論、考へてゐる者は失敗し實行する者は成功す外四篇。	▲働けば働けば食へなくなる、國家に對する農村の地位外十九章。	▲若き人々の誇り大和民族の理想人生理想の影、修養と教育、農業の本質等を説く。	▲社會的關係、經濟原則、宗教問題の三方面から日米親善を説けるもの。	▲産業方面を開拓しつゝある青年一人一研究を収めたもの。	▲古の若衆時代の宿より青年の宿を或は獨逸に或は南洋の蕃地にもとめて研究せしもの。	▲青年訓練所生用として紙質裝釘に留意した手帳。	▲在學中・職業・執務・君國・社交・婚姻・經濟慶吊等十四篇二千餘項に分ち實務的心得を掲ぐ	▲幸運は努力から、徳性は修養から、人格は責任感から、失敗は弱點から外數項。	▲逆境に克てる立身、正直の力にての立身、貧兒奮起による立身、冷遇に激成され立身其他	▲志を立つるの道、偉人名士の立志、成功、専門學校へか實務か他數項。	▲教訓本位の講演集で宗教、教育、交通、土木、産業、慶吊、送迎、講話及訓話等に分つ。

教育(國語教育)

山崎 延吉	村 民	訓	上四六	製判	334	一、三〇	泰文館	月六	▲縣村訓、村民訓、農業の經營、産業組合の使命、進出録、吾をして町村長たらしめば。
白 仁 武	思想人	生	上四六	製判	244	一、〇〇	二松堂	月十	▲三種の神器と三大精神、儒佛二教の同化、武士道の精神其他にて論述。
前田 咄雲	修しき心の掃	除	洋四六	布判	270	一、五〇	先進堂	月一	▲眞の改造に覺めよ外十四章(前田慧雲)人の生の謎の解外十章(加藤咄雲)。
石田 傳吉	梅のもつ異國性		洋四六	布判	250	一、五〇	文書堂	月二	▲思想的に見たる梅と櫻、史實上から見たる梅と櫻、植物學から見た梅外一編。
田澤 義鋪	私を感激せしめた人々		並四六	製判	226	六〇	新生社	月八	▲驚くべき努力の生活、煉獄に萌え出でしもの、同僚の薄幸に涙して外十四篇。
社會教育協會編輯部編	社會教育パンフレット(11)	昭 和 孝 子	並四六	製判	49	二、五〇	育社協會	月一	▲教育勅語換發四十周年記念に際し表彰された孝子中山ちよ以下十二人の物語。
下田 次郎	現代教育實話	第二卷	洋四六	布判	303	二、〇〇	式合資會社	月五	▲活きた例話百六十を選んだもので、父の力坐席を譲る青年其他。
飯田 廣太郎	讀方教育		洋四六	布判	417	一、八〇	北海出版社	月四	▲國語教育、讀方教育の本質、讀方教育の材料、讀方教育の方法外一篇。
高橋 克己	即せる讀方教育體系		背四六	華入判	406	三、〇〇	偉業館	月一	▲理論、方法論、教材論外三編にて讀方教育體系に就て論述。
西山 庸平	讀方教育原論		布四六	裝入判	290	一、五〇	雄文閣	月三	▲生活としての學習、學習のタイプス、發見的學習としての讀方外十章にて論述。
西山 庸平	讀方教育心理學		布四六	裝入判	271	一、五〇	雄文閣	月三	▲讀方の物理的機構、心理的機構としての聯想、機構及び機能外六章にて論述。
佐藤 末吉	社會現代讀方教育		洋四六	布判	485	三、八〇	人文書房	月六	▲現代生活の讀方教育、生活組織の變化と讀方教育外五章にて論述。

教育(國語教育)

西原 慶一	讀方教育の原理と實際		洋四六	布判	480	三、五〇	人文書房	月二	▲豫備的問題、讀方教育に於ける三つの層、形象の生ける構造外二章。附考査法の革新。
坂本 豐	讀方力建設の教育		洋四六	布判	308	二、八〇	人文書房	月四	▲讀方教育の改造、讀方力の發達と讀方教授私の讀方指導計畫の建方外十篇にて論述。
佐藤 徳市	形象の讀み方教育		布四六	裝入判	327	二、九〇	厚生閣	月六	▲新興讀方功罪論、形象を讀む指導の展開、讀み方指導案の研究外十四章。附録一章。
加藤 學而	行に立つ讀方教育		布四六	裝入判	230	二、〇〇	南光社	月五	▲行に立つ教育、國語生活行、行に立つ讀方教育等著者の國語教育觀の論述。
田浦 安次郎	更生の讀方教育實案		洋四六	布判	601	三、〇〇	明治會社	月六	▲讀方教育の實際篇で、國語よりみたる讀方教育、教材研究外廿二章。
菊地 秀男	中心讀方教授の實際		洋四六	布判	137	一、〇〇	高踏社	月二	▲讀方教授立案原理、讀方各教材教授案、新式讀方教授指導案外二篇。
石川 太一	讀方教授法研究の仕方		洋四六	布判	140	一、〇〇	高踏社	月六	▲讀方教育問題研究の内容、讀方研究問題題目の選擇外四篇。
宮川 菊芳	國語科要旨の批判と解説		上四六	製判	325	一、八〇	厚生閣	月二十	▲國語科要旨論、國語陶冶論、讀方教育の目的論、國民精神陶冶論外一篇にて論述。
宮川 菊芳	國語科要旨の批判と解説		洋四六	布判	432	三、五〇	人文書房	月十	▲國語教育に關する論稿の集成で、讀方教育の各學年の努力點外二十一章。
長尾 永五郎	國民精神の確立		並四六	製判	114	四〇	研正會	月十	▲小學國語讀本卷八の各課毎に序言、本課取纏めの一言其他にて各課の精神を説く。本課取る書で、鑑賞と學習外十一篇。
宮川 菊芳	讀方教育に於ける鑑賞指導		洋四六	布判	429	二、〇〇	人文書房	月二十	▲讀方教育の鑑賞問題に關するものを蒐録せる書で、鑑賞と學習外十一篇。
山路 兵一	讀方態度の段階的指導		背四六	華入判	437	二、九〇	株明治圖書	月三	▲讀方學習態度とは何であるか、讀方學習態度の實際外二篇十一篇。
石坂 末吉	讀方教育に於ける全學年各課主眼點研究		洋四六	布判	129	一、三〇	人文書房	月六	▲尋常科十二卷、高等科十二卷に互る讀本各卷各科の文章の狙ひ所を簡明に説述せる書。

教育(綴方教育)

石川 秀太男	綴方教授法研究室案内	布	製判	276	一、四〇〇	高踏社	月十	▲綴方教授法研究の案内書で、綴方研究問題の選定、綴方研究問題の分類外三篇。
友納 友次郎	讀本の質的發生的研究	上	製判	650	四、三〇〇	同文書院	月二	▲讀本の質と使命、教材観、兒童の國語生活等を説く。
友納 友次郎	國語文學史的考察と取扱の實踐	洋	布入判	504	三、八〇〇	人文書房	月九	▲國語讀本にあらはれた國文學的の原據及び其文章との關係に就て論述。
成田 豊太郎	讀本の質的發生的研究	布	製判	598	四、一〇〇	同文書院	月二	▲讀本の發生的研究で、讀本の精神、教材観の根柢、讀本教材としての讀文より成る。
友納 友次郎	低學年の讀方指導	布	製判	427	二、三〇〇	株明治圖書	月六	▲國語教育のスタートとして極めて重要な尋常一二年の讀方指導に就き論述せるもの。
佐藤 末吉	綴方指導案	洋	布入判	359	二、三〇〇	株明治圖書	月三	▲文章の本質的研究と學習指導の實際に重きを於ける尋常四讀方の教材研究。
秋田 喜三郎	綴方指導案	洋	布入判	448	二、三〇〇	株明治圖書	月二	▲文章の本質的研究と學習指導の實際に重きを於ける尋常五讀方の教材研究。
秋田 喜三郎	綴方指導案	洋	布入判	452	二、三〇〇	株明治圖書	月二	▲文章の本質的研究と學習指導の實際に重きを於ける尋常六讀方の教材研究。
天野 文彦	綴り方教育の本質を見つめて	洋	布入判	362	二、三〇〇	教育實際社	月三	▲如何にせば綴る力を伸ばし得るか、正しい文章観、表現に就いての導き外四章。
丸山 豊太郎	綴方教授の實際的新主義	洋	布入判	627	三、三〇〇	日東書院	月七	▲綴方教授の實際的新主義、綴方教授の實際的指導の二編廿四章にて論述。
朝日 文彦	綴方教授法研究の仕方	洋	布入判	140	一、八〇〇	高踏社	月九	▲綴方教授法研究指導、綴方研究問題の着眼綴方の發達研究と論文外一篇。
森本 安市	新しい系統案私の綴方教育陣	洋	布入判	431	二、三〇〇	偉業館	月六	▲新しい綴方教育の系統案と指導案及び教材としての文創作原理を解説す。

教育(數學教育)

石川 秀太男	綴り方の綴の研究	洋	布入判	535	二、三〇〇	明治圖書	月五	▲綴り方六ヶ年の系統的な研究で、兒童の生活様式及び表現の伸展外四章。
滑川 道夫	文學形象の綴方教育	洋	布入判	401	三、三〇〇	人文書房	月二十	▲綴方教育の史的考察、現代綴方教育の檢討と揚棄、指導の諸様相外一章。
朝日 文彦	綴方教授法研究室案内	布	製判	280	一、四〇〇	高踏社	月十	▲綴方研究問題の着眼、綴方發達研究と論文、綴方指導着眼と論文外二篇。
富原 義徳	教室用綴り方	布	製判	627	二、三〇〇	厚生閣	月十	▲綴り方教育の施設と經營を中心にして綴り方教育の教室相を述べたもの。
奥野 庄太郎	新綴り方文話大系	洋	布入判	947	三、三〇〇	文化書房	月八	▲各學期の各週において實際案として述べられた尋常一より尋常六迄の修身文話の全大系。
佐々井 秀緒	新文話と綴り方教育	布	製判	570	二、三〇〇	厚生閣	月五	▲綴り方指導に關する實際的文話の方法を述べた系統的な研究書。
田部 久	プロレタリア綴り方指導理論	並	製判	164	八、八〇〇	自由社	月五	▲生活指導の理論的基礎、プロレタリア綴り方の諸問題外三章にて論述。
綴方研究部編	表現綴り方指導の實際	洋	布入判	352	二、三〇〇	教育實際社	月三	▲綴り方指導の原理、綴り方指導の實際の組織本學年に於ける指導の要點外一章。
大澤 雅休	低學年の口頭綴り方の實際	布	製判	250	一、五〇〇	日本綴方教育研究會	月九	▲その儘實際教授に役立つ様説けるもので、綴り方教育概観外三篇。
作道 乙雄	最近の思潮を基礎とせる數學教授の根本的研究	洋	布入判	180	一、八〇〇	朗月堂	月五	▲數學の基本的事項を説明し國定算術書取扱上の要點を説く。
香取 良範	系統的な生活算術の新研究	洋	布入判	424	二、五〇〇	モナス	月二十	▲算術教育を辯證法的に眺めその成果を収めたもので、算術教育の目的外七章。
小岩 吉守	郷土に即したる算術教育	洋	布入判	201	一、八〇〇	人文書房	月六	▲文部省の算術書を基として之を郷土化するもので、算術教育の態度外六章。

教育(算数教育)

清水 甚吾	稻次 静一	鈴木 武次	坂本 忠諒	宇野 誠一	小寺 彦夫	東京府豊島師範 学校附属小學校編	東京府豊島師範 学校附属小學校編	附屬小學校編	山本 松七	岩下 吉衛	海老原 邦雄	海老原 邦雄	高橋 久五郎	高橋 宗雄										
算術教育の新系統と 指導の實際	算術科教育問答	算術教授法研究の仕方	算術學習の診斷と其對策	中心算術教授の實際	自己訂正による算術の學習組織	定算術書縱の研究	國定應用問題の豫備と補充	小算術教材の考察と系統と指導	主業算術教育の實際	尋三の算術教育	尋四の算術教育	尋常算術の指導と理論	尋常算術の指導と理論	尋常算術の指導と理論										
布四六 判入	布四六 判入	布四六 判入	布四六 判入	布四六 判入	布四六 判入	布四六 判入	布四六 判入	布四六 判入	布四六 判入	布四六 判入	布四六 判入	布四六 判入	布四六 判入	布四六 判入										
400	608	140	384	156	354	354	368	364	334	403	411	116	116	116										
二、八〇	二、九〇	一、〇〇	二、八〇	一、〇〇	二、三〇	二、三〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇										
目黒書店	厚生閣	高踏社	東洋圖書株式 合資會社	高踏社	教育實際社	明治圖書 株式會社	明治圖書 株式會社	日黒書店	人文書房	日東書院	日東書院	三省堂	三省堂	三省堂										
月六	月一十	月七	月五	月三	月三	月二	月三	月五	月四	月四	月六	月五	月五	月五										
▲算術教育の進歩、新系統上に於ける尋一二算 術教育の任務外廿三章にて論述。	▲最も疑義とされ易い算術問題二百問を目的 教材方法その他に四分して解答を施す。	▲算術教育論文の作り方指導、算術研究論文 の着眼と指導の二篇にて論述。	▲算術實地教授上最も適切な事項に就て討究 せるもので、算術教授の系統外二章。	▲算術各教材實際案、新式算術教授指導案、 外三篇。	▲ワイネツカシステムを紹介し就中その算術 の學習組織を展開せるもの。	▲教科書教材の縦の系統及び其の部分並に全 體の主眼を明らかにせる書。	▲尋常科三學年より六學年迄の算術應用問題 の豫備問題と補充問題を收む。	▲總九々の考察と系統と指導、幾何圖形教材 の考察と系統と指導外四章。	▲作業主義の立場から尋常三年の算術教育の 實際を論述せるもの。	▲算術教育の理念、尋三算術學習創造日案外 三篇にて論述。	▲算術教育の理念、尋四算術學習創造日案、 尋四標準算術テキスト外二篇。	▲尋常五年算術教材の理論的研究で、自然數 不等式の定理外五十二章。	▲量についての定義、比例式に關する諸定理 日歩についての其他を論述。	▲改正高等小學算術書の教材中代數式幾何圖 形グラフに關して解説せるもの。	▲高等小學一二學年に於ける算術教育の實際 を説述せるもので、算術教材の取扱外三章。	▲高等小學一學年の算術書を解説せるもので 整數小數分數、代數式外一編。	▲高等小學二學年の算術指導の實際を説ける もので、代數式外二篇。	▲算術練習を主題とし各學年の標準テストを 紹介し科學的心理的練習の心理反復練習其他 他に就て詳述す。	▲珠算及び珠算教授の一般並に教授の要旨其 他に就て詳述す。	▲修正小學算術書に基いて説述せるもので、 加法及び減法外二篇。	▲尋常三年より六年生に至る暗算に關する系 統案を具體的に示せる書。	▲高等小學一二年の代數幾何の取扱の理論及 實際に就て説述せるもの。	▲兒童の算術教育は發展的作圖とする指導が 一番最良なりと、著者の理論と實際を收む。	▲最近理科教育界の概觀、理科教育の基礎と しての自然觀外十章にて論述。

教育(理科教育)

松原 惟一	比企 光雄	塚本 清	藤原 安次郎	岩下 吉衛	二階 源市	海老原 邦雄	福地 賢造	福地 賢造	岩下 吉衛	湯川 征吉	高橋 久五郎	高橋 宗雄	高橋 宗雄
理科教育の根本問題	事實算に於ける 發展的作圖指導の實際	高等代數指導の理論及實際	中心暗算教育の新教程	修正小學珠算教授法	小學乙種珠算書解説	各學年算術練習の實際	實際高等小學算術書解説	高等小學算術教科書解説	新時代の算術教育	高等算術指導の實際	尋常算術の指導と理論	尋常算術の指導と理論	尋常算術の指導と理論
洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判
306	350	289	202	306	375	341	299	295	916	298	100	100	100
一、五〇	二、五〇	二、〇〇	一、八〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	六、三〇	一、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇
玉川學園 出版部	實文館	明治圖書 株式會社	人文書房	教育實際社	明治圖書 株式會社	三友社	大同館	大同館	明治圖書 株式會社	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂
月十	月二	月十	月七	月三	月十	月五	月十	月一	月二	月五	月五	月五	月五
▲最近理科教育界の概觀、理科教育の基礎と しての自然觀外十章にて論述。	▲兒童の算術教育は發展的作圖とする指導が 一番最良なりと、著者の理論と實際を收む。	▲高等小學一二年の代數幾何の取扱の理論及 實際に就て説述せるもの。	▲尋常三年より六年生に至る暗算に關する系 統案を具體的に示せる書。	▲修正小學算術書に基いて説述せるもので、 加法及び減法外二篇。	▲尋常三年より六年生に至る暗算に關する系 統案を具體的に示せる書。	▲高等小學一二年の代數幾何の取扱の理論及 實際に就て説述せるもの。	▲高等小學一學年の算術書を解説せるもので 整數小數分數、代數式外一編。	▲高等小學二學年の算術指導の實際を説ける もので、代數式外二篇。	▲算術練習を主題とし各學年の標準テストを 紹介し科學的心理的練習の心理反復練習其他 他に就て詳述す。	▲珠算及び珠算教授の一般並に教授の要旨其 他に就て詳述す。	▲修正小學算術書に基いて説述せるもので、 加法及び減法外二篇。	▲尋常三年より六年生に至る暗算に關する系 統案を具體的に示せる書。	▲高等小學一二年の代數幾何の取扱の理論及 實際に就て説述せるもの。



教育(圖畫・手工教育)

工藤 貞吉	國際地理學の主張	洋函四六 布入判	395	二、三〇	啓文社	月三	▲國際的立場から地理教育を見たもので、國際地理教育の主張外一編十編。
山本 幸雄編	國際地理學の重要問題	洋函新四六 布入判	132	八五	目黒書店	月三	▲文部省諸問題、文部省への建議事項、協議題の三篇にて集録。
宇野 誠一	中心地理教授の實際	洋函四六 布入判	140	一、〇〇	高踏社	月八	▲地理學習指導案立案原理、地理基礎觀念指導案、地理各教材指導實際案外二篇。
高橋 篤	質を高める新地理教授の實際	洋函四六 布入判	542	三、三〇	啓文社	月四	▲六年版尋五新地理教科書の解説で、地理教科書の性質外七章。
高橋 勝	小學修正地理書解説	洋函四六 布入判	441	二、九〇	株明治圖書	月四	▲兒童用書の章節に隨ひ教授要項、教材解説參考資料の順序を以て記述す。
稻森 積藏	小學地理學習指導案	洋函四六 布入判	408	二、八〇	株明治圖書	月二	▲新教科書による地理の具體的學習指導書で日本以下九州地方まで八章より成る。
稻森 積藏	小學地理學習指導案	洋函四六 布入判	490	二、八〇	株明治圖書	月四	▲尋常六學年用地理書の教師用で、北海道以下十五章。
齋藤 英夫	本位尋六の地理教育	洋函四六 布入判	537	二、九〇	株明治圖書	月二	▲各課の指導要旨を明かにせる尋六地理教育案で、北海道地方外十四篇。
齋藤 英夫	地理科教育問答	洋函四六 布入判	291	二、二〇	厚生閣	月二	▲もつともホピュラーな地理の問題二百間に對する解答を收む。
井土 梅吉	國際的地理教材解説	洋函四六 布入判	430	二、八〇	南光社	月十	▲外國地理を教へる場合に於て國際的性質を有する諸問題を網羅解説せるもの。
石野 秀一	鉛筆の畫	洋函四六 布入判	109	四、五〇	美術協校會美	月五	▲小學校國定地理教科書の組織内容等に連絡を圖つて説述す。
石野 秀一	鉛筆の畫	洋函四六 布入判	109	四、五〇	美術協校會美	月五	▲兒童の作業題材の資料となるべき數多の地圖圖表等を挿入せるもので、近畿地方其他。

教育(圖畫・手工教育)

板倉 貞治	マシンの畫	洋函四六 布入判	109	四、五〇	美術協校會美	月四	▲兒童の描畫に於けるマンセルの長所とそれによる描法技法を指導者のために論述。
淺野 秀一	マシンの畫	洋函四六 布入判	109	四、五〇	美術協校會美	月四	▲小學校教育に於ける鉛筆畫の位置を説きその指導の實際を詳細に述べたもの。
石野 秀一	鉛筆の畫	洋函四六 布入判	109	四、五〇	美術協校會美	月五	▲テンペラ繪具による兒童の描畫に關し指導者としての諸注意教授法を講述せるもの。
武藤 隆雄	テニンの畫	洋函四六 布入判	113	四、五〇	美術協校會美	月五	▲古來の名畫について其題材、技法、美術史的價值について詳述。
霜田 静志	名畫解説 西洋篇	洋函四六 布入判	248	一、三〇	美術協校會美	月九	▲東洋篇と一對を爲す、名畫の理解の爲めに、又兒童生徒鑑賞講話の爲めの資料。
霜田 静志	名畫解説 東洋篇	洋函四六 布入判	252	一、三〇	美術協校會美	月九	▲圖畫手工郷土化の理論と實際とを明かにせるもので、郷土と工藝(藤井達吉)外廿九篇。
學校美術協會編	郷土化の圖畫手工	洋函四六 布入判	239	二、八〇	美術協校會美	月十	▲技能科教授最近の傾向、圖畫・手工・唱歌・體操・裁縫の郷土化、郷土室と施設外二篇。
鈴木 武次	技能科教授郷土化の實際	洋函四六 布入判	190	一、六〇	高踏社	月三	▲版畫と其の應用、西洋版畫、ナイフにて版を彫る方法外十章にて論述。
松田 義之	美術教育の版畫指導	洋函四六 布入判	191	二、〇〇	伊藤書房	月一十	▲ペーシスト圖案の價值、ペーシスト圖案の材料色糊の作り方外五章、圖案七十二圖。
岡野 正孝治	學校と家庭へイラスト圖案	洋函四六 布入判	127	一、五〇	成武堂	月九	▲原色刷三十二頁、一色刷五十六頁、寫眞版三十頁。
上野 雅之助	子供の繪の觀方と育て方	洋函四六 布入判	500	三、五〇	藤井書店	月四	▲教材は斯うして選ばれる、各學年は斯く習はしめよ外四章にて論述。
阿部 七五三	自己發展の手工科指導實際論	洋函四六 布入判	542	三、二〇	教育實際社	月三	▲綜合的應用自在なる工藝の技術を網羅せるもので、木工木彫其他。
松田 義之	新手工教材と指導の實際	洋函四六 布入判	377	三、八〇	三成社	月五	▲尋常六手工科の材料を精選して教授者の參考とせるもので、新教材と工具解説外六章。

教育(家事・裁縫・作法教育)

横井 曹一	千葉 憲雄	永原 與藏	山形 寛	小泉 吉兵衛	下部 たみ	下部 たみ	下部 たみ	下部 たみ	石澤 吉磨	石澤 吉磨	宮本 三郎
尋私の手工教育指導	手工教科木製玩具製作圖集	手工教科趣味の松かさ細工	手工器體の組成と裝飾	木・竹の工藝	子供手工テクニク 第一編	子供手工テクニク 第二編	子供手工テクニク 第三編	子供手工テクニク 第四編	高等家事教授法精義	高等家事教授法精義	高等女子法制・經濟學
布四六 裝入判	紙四六 倍判	洋四六 倍判	洋四六 倍判	洋四六 倍判	並四六 倍判	並四六 倍判	並四六 倍判	並四六 倍判	洋四六 倍判	洋四六 倍判	洋四六 倍判
178	34	112	329	501	50	50	50	50	243	328	659
一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇
明治圖書株式會社	洪洋社	啓文社	南光社	博文館	金星堂	金星堂	金星堂	金星堂	東洋圖書株式會社	東洋圖書株式會社	東洋圖書株式會社
月九	月四	月四	月四	月一	月四	月四	月四	月四	月四	月四	月三
▲尋四手工教育の根本方針、尋四手工學習指導の要點外三章。	▲製作備考欄を設け工具材料塗工等に就ての要項を示せる玩具製作圖集。	▲松笠細工の價值、松笠細工に用ふる工具の種類外七章にて論述。	▲器物形體の案出及其裝飾法に就て論述せるもので、器體の組成外三編。	▲初學者の最も必要なる工具の構造用法修理法等の説明に努めたもので、木工具外二篇。	▲第一輯にはメリエを収む。	▲第二輯にはハリエ、ヤブリガミを収む。	▲第三輯はオサイグモノの巻。	▲第四輯にはオリガミキリノキを収む。	▲家庭生活に關する緒論、住宅、衣服、食物及家事經濟に關して論述。	▲「文化中心家事教授法」として發行せるもの改題で、目的論外三篇。	▲高等女子教育に於ける教科書用として編纂した書で、法制(三篇)經濟(四篇)の二部。

教育(體育・遊戯・舞踊)

水間 一人	齋藤 薰雄	松井 三雄	大谷 武一	大谷 武一	平安部 小清	齊田 コト	新坂 紫舟	初等教育研究會編	佐々木 君代	高橋 さき	田原 美榮	初等教育研究會編	佐々木 君代	高橋 さき	田原 美榮	初等教育研究會編	平安部 小清	齊田 コト	新坂 紫舟	齊田 コト	齊田 コト	大谷 武一	大谷 武一	
體操教育原論	體育新心理學	兒童體育心理	體育指導の原理と方法	最近體育思潮	時代的小學校作法教育案	小學に於ける生活した作法教育	手藝染色藝術	小學裁縫教授細目	裁縫科教育問答	家事科教育問答	裁縫科教育問答	小學裁縫教授細目	裁縫科教育問答	家事科教育問答	裁縫科教育問答	小學裁縫教授細目	時代的小學校作法教育案	小學に於ける生活した作法教育	手藝染色藝術	裁縫科教育問答	裁縫科教育問答	體育指導の原理と方法	最近體育思潮	
洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判
212	143	146	137	135	294	299	225	166	226	364	226	166	226	364	226	294	299	225	226	364	226	137	135	
二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、四〇	二、〇〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、四〇	二、〇〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、八〇	二、八〇		
北海出版社	厚生閣	同文書院	同文書院	同文書院	教育實際社	啓文社	文書堂	培風館	厚生閣	厚生閣	培風館	培風館	培風館	培風館	培風館	教育實際社	啓文社	文書堂	培風館	培風館	同文書院	同文書院		
月四	月五	月二	月四	月八	月二	月九	月七	月十	月六	月七	月六	月十	月六	月七	月十	月二	月九	月七	月十	月六	月四	月八		
▲體操教育を理論的實際的方面より敘述せるもので、民族的自覺と體育外四篇。	▲體育の目的論、體育の生理的心理學、體育の構造心理學外七章にて論述。	▲兒童體育原理、小學兒童の特性、個人差、體育に於ける検査外一章。	▲指導の根據、指導の方法の二編にて體育指導の原理と方法に就き論述。	▲自然運動の概観、自然運動の特徴、自然運動の實際の三章にて論述。	▲國民教育上特に重要視せられてきた禮儀作法に就ての教育案で、作法の意義本質其他。	▲初學者の豫備知識として染料の性質並に其本染法等更に藝術的染色に至る迄詳述す。	▲作法教育の革新の實際に就て研究せるもので、禮儀作法の概論外二編。	▲日常使用のものから教材を採擇せる尋常四五、六學年の教授細目。	▲裁縫科の問題を募集して解答せるもの。	▲總論篇、家事科内容篇、指導篇、雜篇の四篇にて二百問に答へたもの。	▲都會の兒童を標準に教材を採擇せる高等小學家事科及裁縫科の教授細目。	▲裁縫科の問題を募集して解答せるもの。	▲日常使用のものから教材を採擇せる尋常四五、六學年の教授細目。	▲裁縫科の問題を募集して解答せるもの。	▲總論篇、家事科内容篇、指導篇、雜篇の四篇にて二百問に答へたもの。	▲都會の兒童を標準に教材を採擇せる高等小學家事科及裁縫科の教授細目。	▲國民教育上特に重要視せられてきた禮儀作法に就ての教育案で、作法の意義本質其他。	▲初學者の豫備知識として染料の性質並に其本染法等更に藝術的染色に至る迄詳述す。	▲作法教育の革新の實際に就て研究せるもので、禮儀作法の概論外二編。	▲日常使用のものから教材を採擇せる尋常四五、六學年の教授細目。	▲裁縫科の問題を募集して解答せるもの。	▲總論篇、家事科内容篇、指導篇、雜篇の四篇にて二百問に答へたもの。	▲都會の兒童を標準に教材を採擇せる高等小學家事科及裁縫科の教授細目。	▲裁縫科の問題を募集して解答せるもの。

教育(體育・遊戯・舞蹈)

藤村 ともよ	東京女子師範學校校長	學校體育(文庫) 體育論	洋四六	布入判	388	二、五〇	一成社	三月	▲歐洲現時の體育狀況、我國の體育狀況、體操各部の要領外二編にて論述。
齋藤 雄	東京高等師範學校助教授	立脚せる小學校體育の實際	布四六	藍入判	332	二、五〇	株明治圖書	六月	▲體育界最近の傾向と新體操の出現、體育の生物學的的目的外十二章。
森 次郎	東京高等師範學校助教授	歐洲に於ける體操の新傾向	洋四六	布入判	380	二、五〇	一成社	七月	▲近代に於ける體操、律動と律動體操、オーストリアの學校體操外四章。
吉田 章信	醫學博士	歐洲に於ける體操の新傾向	洋四六	布入判	395	三、八〇	同文書院	八月	▲歐米諸國の視察に基く體育の研究で、小學校體育、中等學校體育外一編。
宮田 覺造	東京女子高等師範學校助教授	學校體育(文庫)の教授	洋四六	布入判	426	二、五〇	一成社	三月	▲總論、體育材料、體操の教授等四編にて論述せる書。
宮田 覺造	東京女子高等師範學校助教授	學校體育(文庫)の教授	洋四六	布入判	403	二、五〇	一成社	三月	▲學校教練史、歐米諸國の學校教練、軍隊教育と學校教育外十一章及附録。
眞行寺 朗生	日本體育學會主幹	今後の學校體操	上三六	藍入判	400	一、四〇	育日學本會體	十月	▲アツク來朝後の新體操教材二百三十七種を目的號令要領練習要件注意と解説したるもの
宮原 義見	日本體育會教員	體育教授法原論	洋四六	布入判	314	一、八〇	育日學本會體	十一月	▲リズムカル中心教法、競技中心教法、體操中心教法以下體育教授法に關する諸問題解説。
可兒 多藏	日本體育會教員	競技心理學	上四六	藍入判	320	二、八〇	育日學本會體	十二月	▲競技運動の爲に著したるもの譯出である。
中澤 米太郎	醫學博士	陸上競技者に贈る	洋四六	布入判	278	一、三〇	育日學本會體	八月	▲競技とは斯如き方法で行ふと言ふ型の記述よりも競技の練習法と知識を主目的にて解く算出表三、積ノ表其他の表を収む。
和田 眞信	醫學博士	體力測定計算表	洋四六	布入判	58	一、〇〇	藤井書店	五月	▲學校體育の目的上より觀たる異常兒、矯正運動の實施法外十一章にて論述。
眞行寺 朗生	日本體育學會主幹	體育異常の病理と矯正運動	洋四六	布入判	140	一、〇〇	育日學本會體	三月	▲傷病の被教育者に及ぼす影響、運動と傷病の種類傷病の原因外三章にて論述。

教育(體育・遊戯・舞蹈)

柳田 亨	東京YMCA體育主幹	デンマーク體操	洋四六	布入判	183	一、三〇	三省堂	八月	▲デンマークに新に興つたニルス・アツクの基本體操を紹介せるもの。
玉川教育研究所譯		ニルス基本體操	布四六	藍入判	252	二、五〇	出玉川學部	九月	▲ニールス・アツクの基本體操を紹介し批評せるもので、基本體操と其批判其他。
森 次郎	東京高等師範學校助教授	ニルス基本體操と其批判	洋四六	布入判	265	一、四〇	目黒書店	三月	▲アツク氏著グレンドギムナスティックの譯書で基本體操と其精神を忠實に譯出したるもの
宮田 覺造	東京女子高等師範學校助教授	ニルス基本體操	上四六	藍入判	380	一、四〇	育日學本會體	八月	▲ニルスアツクの基本體操を我國の學校體育權威者二十八氏が縱橫無盡に批判したるもの
眞行寺 朗生	日本體育學會主幹	ニルス基本體操の嚴正批判	布四六	藍入判	320	一、〇〇	育日學本會體	十二月	▲基本體操の價値と目的、基本體操の特質、基本體操の進展と適用外七章。
新體育社		ニルス基本體操の真相	洋四六	布入判	267	一、九〇	伊藤書房	六月	▲朝會及合同體操の目的、運動の選擇、運動の解説外二章。
大谷 武一	東京高等師範學校助教授	朝會體操合同體操	洋四六	布入判	130	六〇	同文書院	六月	▲現在體操科指導中で最も研究を要すべき屋内體操指導に就て論述せるもの。
松山 清治	小學校屋內體操指導法	各學校屋內體操指導法	洋四六	布入判	362	一、八〇	培風館	十一月	▲青年訓練所教練の細目に亘つて詳細に其の意義と目的とを明かにせる書。
杉村 勇次郎	女子學部助教授	青年訓練所教練指導要領	洋四六	布入判	255	六〇	赤爐閣	十一月	▲入學當初より體操教授に入るまでの指導及び取扱法を述べたもの。
小野 角次郎	女子學部助教授	低學年の體操教育	洋四六	布入判	285	二、〇〇	株明治圖書	三月	▲本書は著書が體操教授の實際的經驗に基き記入式とせるもの。
土屋 滿美	記入式體操教授要目	學校體操教授要目	上三六	藍入判	84	二、〇〇	甲府月堂	三月	▲學理を基礎とし日常の經驗より成る指導案で、學習教材の解説外一篇。
川口 英明	奈良女子高等師範學校助教授	第五學年體操學習指導案	洋四六	布入判	367	二、八〇	株明治圖書	二月	▲兒童の日常の體育活動を本體とせる指導案で、學習教材の解説外一篇。
川口 英明	奈良女子高等師範學校助教授	第六學年體操學習指導案	洋四六	布入判	378	二、八〇	株明治圖書	三月	



教育(體育・遊戯・舞蹈)

金子 近次	金子 近次	金子 近次	齋藤 薫雄	日本體育學會編	安田 弘嗣	佐々木 等	佐々木 等	三浦 浩	眞行寺 朗生	下間 ミツエ	伊澤 エイ	澁井 二夫	
中等一年生の剣道教授法	中等二年生の剣道教授法	中等三年生の剣道教授法	運動會 競技會	運動會の準備法と練習遊戯	運動の施設經營	小學校の遊戯と競技	球技の指導法	學校體育文庫(4)	學校遊戯とダンス	曲講及び體育ダンス提要	體育ダンス	最新體育ダンス	
布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	洋面四六	洋面四六	洋面四六	洋面四六	洋面四六	洋面四六	洋面四六	洋面四六	洋面四六	
207	200	189	144	330	350	142	347	408	232	210	189	46	
一、三〇	一、三〇	一、三〇	八〇	一、〇〇	二、三〇	八〇	二、三〇	二、三〇	一、〇〇	二、三〇	一、八〇	一、八〇	
精文館	精文館	精文館	同文書院	育日學本會體	一成社	同文書院	一成社	一成社	育日學本會體	六文館	目黒書店	人文書房	
月三	月三	月三	月六	月九	月三	月三	月三	月三	月八	月二十	月二	月七	
▲基本科目の中に加へられた中等學校の剣道教授法を説けるもの。	▲總論、各論、教授論、劍道史の四編にて論述。	▲三年生の教育、基本動作、稽古教授時間の教材排列外第二章にて論述。	▲運動會の實際を述べ兒童の競技會に關する概案を披瀝せるもの。	▲現今運動會に於ける通弊、競争遊戯材料、行進遊戯材料外八章にて説述。	▲ゲーム及びスポーツの地域、兒童運動場、運動場の工手法と維持法外五章。	▲總論(小學校の遊戯外二章) 各論(競争遊戯、陸上競技外二章)。	▲總論(球技の意義及目的外四章) 各論(キック、ボール外七章)にて論述。	▲個人完成の要素としての體育、ダンスの起原、行進遊戯とは何か外四章。	▲二十餘名の權威者が各遊戯とダンスを低學年中學年高學年高女に區別して執筆した創作指導方法とを説けるもの。	▲女子の體育ダンスの方法を記述した書で、遊びませう、お月見、濱千鳥外五篇。	▲興味深く兒童の心理を捉へて愉快に踊れるやう創作せるもので、アマリリス其他。	▲學校ダンスの教授について、教材の選擇について、基本歩法について外三篇。	▲學校遊戯振付の理論と實際に就て述べたもので、理論的研究外二篇。

教育(音樂・童謡教育)

戸倉 ハル	井上牧 季雄	高橋 亮	水谷 式夫	水谷 式夫	水谷 式夫	水谷 式夫	青柳 善吾	山本 正夫	北村 久雄	末武 義雄	北村 久雄	高野 潤
學校ダンス	遊戯振付の理論と實際	高學年の表現舞踊	可愛らしいお遊戯	可愛らしいお遊戯	可愛らしいお遊戯	可愛らしいお遊戯	音樂教育新思潮	唱歌教授の實際	低學年音樂生活の指導	音樂教育の眞使命	樂譜學習の新指導	音樂適能診斷との實際論
洋面四六	洋面四六	洋面四六	布面四六	布面四六	布面四六	布面四六	上四六	洋面四六	布面四六	洋面四六	上四六	上四六
149	244	240	44	63	85	63	200	429	496	288	350	250
八〇	二、〇〇	一、三〇	六〇	六〇	六〇	六〇	一、五〇	一、五〇	三、五〇	一、三〇	二、五〇	一、八〇
同文書院	大正書院	文化書房	社共書益店商	社共書益店商	社共書益店商	社共書益店商	京文社	文化書房	文化書房	社共書益店商	京文社	京文社
月八	月八	月九	月七	月七	月七	月七	月十	月七	月三	月一	月十	月五
▲學校ダンスの教授について、教材の選擇について、基本歩法について外三篇。	▲學校遊戯振付の理論と實際に就て述べたもので、理論的研究外二篇。	▲尋五及尋六の表現舞踊二十篇を主想排列振付注意の順序にて收む。附高學年の舞踊教育。	▲幼稚園や小學校の幼い人々の爲にすぐ役立つ切實な指針と材料を掲げた新作集。	▲小學校初年級の愉快な教材集で先生獨得の振付。	▲上中巻より少し程度の高い小學校二三年向の教材集。	▲伯林に於ける音樂教育協議會に於ける獨逸諸大家の研究記録中重要な論文を選出す。	▲唱歌教授の理想、基礎練習の巻、唱歌指揮法の巻其他にて唱歌教授の實際を論述。	▲低學年音樂生活指導の原理と實際を述べたもので、低學年音樂生活指導の要義其他。	▲新音樂教育の進むべき道を各方面より研究論評せし好著。	▲樂譜練習帖の取扱ひ、聲音關係の學習、補充練習、視唱指導の實際的取扱ひ等。	▲先づ音樂心理學を概説し、其の適能測定の方法を述べ進んで其の實際經驗を述べ。	▲音樂適能診斷との實際論



教育(童話・説話教育)

三浦 藤作	三浦 藤作	三浦 藤作	三浦 藤作	尾關 岩二	長尾 豊	三浦 藤作	三浦 藤作	三浦 藤作	吉松 祐一	巖谷 小波	杉原 勇	富助 一編	湯淺 城二	盧谷 重常	盧谷 重常	盧谷 重常	
劇集霞の松原	劇集青葉の少女は唄ふ	劇集吹雪の夜	劇集あそびと小さい唱歌劇	對話・兒童劇・マリオネット	唱歌あそびと小さい唱歌劇	兒童詩教育の新研究	學校鑑賞説話選集	教諭用 尋一の新童話	學校に於ける童話の活用	童話の聞かせ方	兒童詩教育の新研究	學校鑑賞説話選集	教諭用 尋一の新童話	宗教童話の研究	宗教童話の研究	童話	
上菊 製判 73	上菊 製判 79	上菊 製判 80	並菊 製判 125	洋四六 布入判 258	並菊 製判 125	洋四六 布入判 365	洋四六 布入判 754	洋四六 布入判 412	洋四六 布入判 600	洋四六 布入判 258	洋四六 布入判 365	洋四六 布入判 754	洋四六 布入判 412	洋四六 布入判 451	洋四六 布入判 632	洋四六 布入判 632	
八〇	八〇	八〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	二、三〇	二、三〇	一、八〇	一、五〇	一、八〇	二、三〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	
文化書房	文化書房	文化書房	厚生閣	文化書房	厚生閣	雄文閣	文化書房	文化書房	文化書房	賢文館	雄文閣	文化書房	文化書房	文化書房	文化書房	文化書房	
月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月十	月十	月十	
▲創作兒童劇を収めたもので、霞の松原、にはか雨、鬼が笑つた外三篇。	▲青葉の少女は唄ふ、山暮れる、雪崩、田舎の鼠と町の鼠外二篇の兒童劇脚本集。	▲雲雀の歌、嵐来る、お池の中で、椰子の葉かげ外二篇の兒童劇脚本集。	▲唱歌あそび(兵隊さん外十三篇)小さい唱歌劇(風と木の葉外十二篇)「普及版」	▲對話(パンの分配外八篇)劇(善い人外十篇)マリオネット(ジャックと豆の木外一篇)	▲童話教育の實施を主張し資料を収載した書で、學校教育と童話、資料篇外四章附録三篇。	▲著者の體驗を本とした童話の實際談で、お伽俱樂部の創立外卅四篇。	▲現代詩の概観、兒童詩の教育的價値、兒童詩の鑑賞指導外二章。附朗讀法の指導。	▲家庭、國家、社會、科學、文學、教育、宗教、修養の八篇にて収める説話選集。	▲低學年の兒童に聴かせる童話を収めたもので、穴の中に落ちたお爺さん外六十九篇。	▲宗教童話の歴史、印度人と印度童話、舊約聖書の童話文學外二十篇。	▲童話の教育的機能、童話の語義と分類、童話の類型外二篇にて論述。	▲設備衛生の理論と施設、教室及其施設、精神衛生の理論及施設外二十一編にて論述。	▲學校兒童の衛生に就て論述せるもので、校地及校舎の衛生外十二編。	▲學校生活の準備、學童衛生、學童疾病の三編五十八章にて學童衛生問題を論述す。	▲兒童保護概説、兒童保護の實際的施設の二章にて一問一答の形式で論述せるもの。	▲實際を基礎として虚弱兒童の養護に就て述べた書で、總論(大西水次郎)外十篇。	▲學校園藝と校庭、運動場等を總括して論述せるもので、校庭、運動場外三章。

教育(學校衛生・學校園・視學・教員)

志垣 寛	間勝 男	教材王國編輯部編	立仙 藤松	中文館編輯部	上原 敬二	大西水次郎監輯	菊池 俊諒	三田 啓	岡田 道一	岡田 道一	岡田 道一	岡田 道一	岡田 道一	岡田 道一	岡田 道一	岡田 道一	
教員生活實話	觀學の教員生活の實相	昭和教員生活	中等教員入門學	各科視學要領批判	教育學校園の設計と造園法	虛弱兒童の養護	兒童保護論	學童保健	日本兒童衛生學	學校衛生の理論と施設	學校衛生の理論と施設	學校衛生の理論と施設	學校衛生の理論と施設	學校衛生の理論と施設	學校衛生の理論と施設	學校衛生の理論と施設	
並四六 製判 293	青四六 布入判 290	洋四六 布入判 415	洋四六 布入判 298	洋四六 布入判 374	洋四六 布入判 417	洋四六 布入判 300	洋四六 布入判 432	洋四六 布入判 526	洋四六 布入判 408	洋四六 布入判 493	洋四六 布入判 493	洋四六 布入判 493	洋四六 布入判 493	洋四六 布入判 493	洋四六 布入判 493	洋四六 布入判 493	
一、五〇	二、〇〇	一、三〇	二、三〇	三、五〇	四、三〇	一、六〇	一、三〇	四、三〇	三、八〇	四、二〇	四、二〇	四、二〇	四、二〇	四、二〇	四、二〇	四、二〇	
文化書房	人文書房	文化書房	育中協等會教	中文館	中文館	右文館	出版部	玉川學園	同文書院	株式會社書	株式會社書	株式會社書	株式會社書	株式會社書	株式會社書	株式會社書	
月四	月十	月四	月二	月一	月一十	月一十	月一	月一十	月四	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	
▲參萬圓ためた校長、野天教育論者、私立學校訓導志願者外十四篇を収めた實話集。	▲教員生活の實相を描けるもので、宿直室を覗く、校長留守中の視察外卅一篇。	▲小學教師の生活を中心として編める日記。	▲中等教員の豫備知識を説けるもので、中等教員への恩慕、中等教員の待遇外五章。	▲中小學校の教育の實際を視察せる諸家の文部省に提出せる各科視察復命書を蒐録す。	▲虚弱兒童の養護に就て述べた書で、總論(大西水次郎)外十篇。	▲學校園藝と校庭、運動場等を總括して論述せるもので、校庭、運動場外三章。	▲兒童保護概説、兒童保護の實際的施設の二章にて一問一答の形式で論述せるもの。	▲實際を基礎として虚弱兒童の養護に就て述べた書で、總論(大西水次郎)外十篇。	▲學校園藝と校庭、運動場等を總括して論述せるもので、校庭、運動場外三章。	▲設備衛生の理論と施設、教室及其施設、精神衛生の理論及施設外二十一編にて論述。	▲學校兒童の衛生に就て論述せるもので、校地及校舎の衛生外十二編。	▲學校生活の準備、學童衛生、學童疾病の三編五十八章にて學童衛生問題を論述す。	▲兒童保護概説、兒童保護の實際的施設の二章にて一問一答の形式で論述せるもの。	▲實際を基礎として虚弱兒童の養護に就て述べた書で、總論(大西水次郎)外十篇。	▲學校園藝と校庭、運動場等を總括して論述せるもので、校庭、運動場外三章。	▲中小學校の教育の實際を視察せる諸家の文部省に提出せる各科視察復命書を蒐録す。	▲中等教員の豫備知識を説けるもので、中等教員への恩慕、中等教員の待遇外五章。

教育(教育界・名簿・年報・學校・受驗)

高群逸枝	女教員解放論	並四六製判	261	一、三〇	自由社	月四	▲教育と女性、児童と道徳、社會と婦人、日本女性論等四篇にて論述。
<b>教育界・名簿・年報</b>							
大塚虎雄	學界異聞	並四六製判	312	一、三〇	先進社	月一	▲没落過程を指示せる全學界の暴露書で、大學總長物語、學界閥閥網を辿る外五篇。大學總長物語の表裏を縦横に解剖せるもので、若い學生の血を沸かせた「大學顛落」論其他。
嚴井健治郎	學界新風景	洋函三六布入判	313	六、五	内外出版印刷株式會社	月一	▲大學の自由と大學制度とに關する論文集で大學の運命と使命外十三篇。
河合榮治郎	大學生活の反省	布函四六裝入判	332	一、八〇	日本評論社	月二十	▲西日本唯一の最高學府九州帝國大學の總長諸教授講師等を網羅せる人物風景。
多々良三平	九州帝大人物風景	並四六製判	231	六、〇	國際書院	月十	▲もとの同志社五十年史を改訂せるもので、同志社の創立者其他。
青山霞村	同志社五十年裏面史	洋函四六布判	358	一、三〇	からすき社	月十	▲總博士六五五四名全部登録し學位授與日附大學名出身校海外留學專門現職住所を記入。
井關九郎	學位大系博士氏名錄	上四六倍判	320	二、五〇	出版部	月十	▲府市立の小、中、女、實業學校始め學務課區役所等の教育關係者の職員錄。六年七月現在。
東京市教育局編	東京市職員錄	並袖製珍	320	三、四〇	勝田書店	月十	▲昭和五年度に於ける教育思潮、教育行政、學事統計其他各方面に互つて収録す。
教育年報刊行會編	教育年報	洋函四六布入判	596	二、八〇	協一會	月四	▲最近十一年間の東京京都兩帝國大學法學部並に經濟學部の試験問題を探録す。
小江武夫	官立大學入學指針	並四六製判	305	六、五	成文社	月二十	▲官立大學の制度内容其他に就て説述せるもので、大學紹介篇外二篇。
國家試験編輯部編	東京帝國大學法學部經濟學部試験問題集	並四六製判	166	四、〇	育成洞	月九	

教育(教育界・名簿・年報・學校・受驗)

志望校別受驗	東京高師入學試験精解	並四六製判	220	一、〇〇	校風閣	月九	▲最近六ヶ年間の試験問題集及模範解答入學競争率出題傾向採點法等を掲載す。
志望校別受驗	醫學專門入學試験問題解答	並四六製判	470	二、〇〇	吐鳳堂	月二	▲昭和三年度より同五年度迄の數學、物理學化學の問題に解釋を施せるもの。
志望校別受驗	醫學專門入學試験精解	並四六製判	191	一、〇〇	校風閣	月一	▲東京醫學專門學校日本大學專門部醫學科九州醫學專門學校其他の入學試験問題と解答集
志望校別受驗	全國醫學入學試験精解	並四六製判	280	一、四〇	校風閣	月九	▲最近六ヶ年間の試験問題集及模範解答入學競争率出題傾向採點法等を各校別に掲載す。
志望校別受驗	全國醫學大入學試験精解	並四六製判	320	一、四〇	校風閣	月六	▲全國各醫大豫科最近六ヶ年間の試験問題及模範解答入學競争率等を掲載す。
志望校別受驗	全國醫學大入學試験精解	並四六製判	314	一、四〇	校風閣	月五	▲自大正十五年度至昭和六年度水産講習所、東京神戸兩高等商船の入試問題を詳解す。
志望校別受驗	全國醫學大入學試験精解	並四六製判	245	一、四〇	校風閣	月八	▲大正十五年度より昭和六年度に至る全國醫學專門學校の入試問題を精解せるもの。
志望校別受驗	全國醫學大入學試験精解	並四六製判	344	一、五〇	校風閣	月二	▲大正十五年度より昭和五年度に至るまでの全國高等工業及高等工藝の入試問題と解答
志望校別受驗	全國醫學大入學試験精解	並四六製判	269	一、四〇	校風閣	月十	▲第一卷は東京高等工業、桐生高等工業、仙臺高等工業外四高工の入試問題を精解す。
志望校別受驗	全國醫學大入學試験精解	並四六製判	307	一、四〇	校風閣	月十	▲第二卷は名古屋高等工業、京都高等工業及明治專門學校外四高工の入試問題を精解す。
志望校別受驗	全國醫學大入學試験精解	並四六製判	181	一、〇〇	校風閣	月二十	▲東京帝國大學部實科、宇都宮高等農林、岐阜高等農林其他の入試問題を精解す。
志望校別受驗	全國醫學大入學試験精解	並四六製判	153	一、〇〇	校風閣	月二十	▲臺北帝國大學農林專門、京都高等蠶糸、鳥取高等農林其他の入試問題を精解す。
志望校別受驗	全國醫學大入學試験精解	並四六製判	171	四、〇	校風閣	月一	▲職業と學校、關係法規及學費、各校學則綱要、受驗要覽、入學試験問題集。

教育(學校・受験)

野村太刀雄	受驗研究社編	慶文堂編輯部	志望校別受驗	志望校別受驗	叢書刊行會編	叢書刊行會編	編輯部	大明堂編輯部	大明堂編輯部	受驗研究社編	高橋鐵也	普文學會編	高橋鐵也	栗田喜代二
全國官費學校入學受驗案内	新官費・貸費學校入學案内	昭和六年度專門學校入學試験問題分類集	海軍・陸軍入學試験精解	東京・大阪・天理外語入學試験精解	高等模範論文答案集	高等模範論文答案集	高等模範論文答案集	高等模範論文答案集	高等模範論文答案集	高等模範論文答案集	高等模範論文答案集	高等模範論文答案集	高等模範論文答案集	高等模範論文答案集
上四六	上三六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六
334	116	各160	420	170	200	284	338	237	248	159	446	332	332	
一、四〇	一、四〇	一、四〇	一、四〇	一、四〇	一、四〇	一、四〇	一、四〇	一、四〇	一、四〇	一、四〇	一、四〇	一、四〇	一、四〇	
啓文社	白永社	慶文堂	校風閣	校風閣	受驗界社	大明堂	大明堂	受驗研究社	弘文堂	清水書店	弘文堂	大同館	大同館	
月一十	月一十	月九	月九	月九	月九	月八	月二十	月九	月十	月五	月四	月五	月十	
▲全國官費學校入學受驗案内書で、學校編、最近各	▲全國の官費貸費公費の諸學校を精密に調査せるもので、軍人養成の學校外五章。	▲昭和六年度高等學校專門學校二百餘校の入學試験問題を分類蒐集、英語數學國漢の三冊解答入學競争採點法等を掲載す。	▲陸海軍各校最近六ヶ年間の試験問題及模範解答採點法等を詳細に掲載す。	▲本書は高等模範論文者の爲めに模範論文の答案を蒐集編集せるもの。	▲高資「第七條」試験受驗案内、全學科短期合格受驗法外一篇及附録。	▲實檢の全科に互る受驗準備法を述べ、附録として規定の全文、第一回以降の問題を附す。	▲實檢を望む青少年へ、實檢受驗の指導、實檢受驗準備法外六章。	▲普通文官試験の意義及解説、裁判所書記登用試験の意義及解説外七章。	▲受驗の心掛を説明せるもので、試験前日の用意、問題となる目標其他。	▲獨學の社會的意義、獨學者の進路、專檢の意義及びその解説外七章。	▲試験制度の社會的意義及現代社會、勉學の基礎的條件外三編。附録四章。	▲大正十年より昭和六年迄の各科試験問題を採録せるもの。一、增訂版。	▲著者の前後九回に互る試高合格の結果の實地體験に基く體験記で民法、商法答案の二編。	▲右に同じで民事訴訟法答案經濟答案の二編

教育(學校・受験)

國家試験編輯部編	松本憲吉編	松本憲吉編	日本通信大學	法制學會編	清水憲雄	奧村芳夫	小堺宇市	奧山錦洞	日高長平	笠松彬雄	香川幹一	實方清	選試研究會編
近高等試験行政、司法問題集	試験口述問題答案集	試験口述問題答案集	高資專檢受驗案内と準備勉強法	新小學校教員受驗指針	文檢習字科の組織的研究	文檢習字科の組織的研究	文檢手工科受驗準備指導	文檢漢文科合格の秘訣	最新文檢地理科短期受驗法	最新文檢標準英語科の研究	最新文檢標準英語科の研究	最新文檢標準英語科の研究	最新文檢標準英語科の研究
並四六	上四六	上四六	並四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六
132	100	155	329	273	395	347	586	440	363	310	655	368	
五〇	四〇	四〇	一、五〇	一、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一、〇〇
育成洞	石原屋書店	石原屋書店	日本通信大學出版部	教育書館	大同館	大同館	大同館	啓文社	啓文社	大同館	大同館	大同館	文花堂
月九	月七	月七	月七	月十	月一十	月一十	月七	月九	月七	月五	月五	月一十	月一十
▲大正十年より昭和六年迄の各科試験問題を採録せるもの。一、增訂版。	▲著者の前後九回に互る試高合格の結果の實地體験に基く體験記で民法、商法答案の二編。	▲右に同じで民事訴訟法答案經濟答案の二編	▲高資專檢受驗案内、專檢受驗案内、實際試験問題答案例外五章、附録二章。	▲小學校教員受驗に關する一切の事項に就て述べたもので、受驗案内外三編。	▲文檢委員の試験に關する點外六篇。	▲過去幾十年間に提出された實際問題を網羅し解説せるもので、平面圖學の部外一編。	▲書法書論の研究、書道史の研究、碑帖の研究、草書論の研究外三章にて論述。	▲文檢手工科受驗者の爲めに準備研究の方法必讀すべき参考書實地の研究法等詳述。	▲一序説二試験概説三計劃案の作製四参考書五最近出題の傾向九口述試験の研究等。	▲中等教員地理科を受驗する者の爲に短期準備の秘訣を説き、尙受驗記及問題集を附した。	▲一總説二英語参考書概説三英語研究法概説四英語學思潮史概説以下七編。	▲最近二十年の選試問題を網羅し模範解答を施せるもの。	▲最近二十年の選試問題を網羅し模範解答を施せるもの。

教育(學校・受験)

選試研究会編	昭和全年度選試問題模範解答 第三種用	四六 製判	82	二星	大成堂	月二十	▲昭和二年度より昭和六年度迄の選試問題を網羅して解答を施せるもの。
帝國文武學會編	海軍各試驗問題集と模範解答	四六 製判	90	四星	帝國學會	月二十	▲吳海軍區、佐世保海軍區、横須賀海軍區等の施行問題を収めて模範解答を施す。
大竹 豊秋	少年航空兵となるには 附・航空局委託模範生案内	四六 布入判	349	一、八〇	學文協	月二十	▲少年航空兵の特質とその手續を明示せるもので、飛行家になるには外五篇。
萩原 嘉重	陸軍航空兵 飛行家になるまで	三六 製判	120	四、五〇	白永社	月八	▲陸海軍航空兵志願案、民間飛行士志願案内にて説明した青少年の爲の受験参考書。
古川 恭衛門	美容術受験提要	四六 製判	420	一、〇〇	新時代社	月五	▲何人にもわかる美容術受験唯一の参考書である。附録として各府縣試験問題を附す。
川島 秀太郎	最新藥種商受験全書	四六 製判	1343	三、八〇	新日本藥業	月八	▲藥種商試験に必要な事項一切を網羅す。
片岡 正治	入學	四六 製判	176	四、五〇	成文社	月二十	▲昭和六年十月現在の全男子一般高等專門學校其他の入學必要事項の一切を載録す。
帝國教育會編	各種試験年鑑 昭和七年度	四六 製判	109	二、三〇	受験時代社	月一十	▲教員檢定、學校入學資格檢定及學力檢定篇無學歴者入學及採用篇外二篇。
追	各科教授の郷土化の實際	布入判	572	三、五〇	日東書院	月五	▲緊張せる教育問題とその分析、教員減俸運動反對の説外卅章。
田制 佐重	教育改造と社會改造 その時局及び基礎理論	布入判	491	三、三〇	文教書院	月五	▲教育と社會との關係に關する基礎的考察、學校の社會的意義並に職分外一部及補説。
三木 英太郎	アツサイメントの教育	布入判	252	一、八〇	教育實際社	月五	▲アツサイメントの意義、自學の必要並びに困難性とアツサイメント外十二章。
和歌山縣師範學校 附屬小學校編	新郷土教育の實際	布入判	454	二、三〇	明治圖書 株式會社	月五	▲郷土教育勃興の理由、新郷土教育の意義、新郷土教育の内容外九章にて論述。

教育(追補)

稻村 玉雄	小林佐治	佐藤 末吉	水木 箱	小佐治 昭次	山田 昭一	佐藤 保太郎	菊地 秀男	東京女子高等師範學校 附屬小學校編	豊島師範學校 附屬小學校編	新主義數學 會編	關 衛	淺野 秀一	黒田 芳生	上田 二郎	奈良女子高等師範學校 附屬小學校編	中澤 かつめ	東京女子高等師範學校 附屬小學校編	宮田 覺造	
各科教授の郷土化の實際	修身國語算術 郷土化教育	中心綴方教授の實際	主業尋四算術教育の實際	小尋常新珠算指導書	小尋常新珠算取扱の實際	國畫學習原論	最新圖案指導の理論と 其の實際	五尋常科水彩畫の新指導 法	依體裁裁縫學習指導法	學校體育の施設と經營	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
302	445	140	354	192	505	817	380	320	412	410	二、一〇〇	二、一八〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇
高踏社	目黒書店	高踏社	人文書房	明治圖書	南光社	文化書房	三成社	明治圖書	東洋圖書 株式會社	弘文堂	月五	月五	月五	月五	月五	月五	月五	月五	月五
▲修身教育の郷土化、讀方教育の郷土化、綴方教育の郷土化外四章。	▲修身教育の郷土化、郷土と國語教育、郷土を基調とする算術教育外三篇。	▲綴方教授立案原理、綴方各部指導實際案綴方作品指導實際案外一章。	▲作業主義の立場から尋常四年の算術教育の實際を述べたもの。	▲改訂された新珠算書尋常科五、六學年の教材を配當して記述す。	▲甲種―總論(五章)取扱の實際(加法減法)外二章。乙種―加法、減法、乘法、除法。	▲國畫教育の基本問題、兒童の鑑賞能力に關する研究外二編廿四章。	▲圖案指導の目的、圖案指導の目的、圖案の資料、圖案指導の實際外廿三章。	▲尋常五六年の兒童を對象に水彩畫を主要表現技法として其指導法を論述す。	▲裁縫學習指導の根本方針、學習材料、裁縫學習指導の實際外四章。	▲運動體育の施設と經營、運動體育施設經營の實際外一編にて論述。	▲運動體育の施設と經營、運動體育施設經營の實際外一編にて論述。								

東京一丁目  
五番

振替  
三二二四六

# 第一書房

土田杏村著 ★ 茗溪會推薦

## 道德改造論

四六判二百四十頁  
總クロオス裝美本  
定價一圓

著者の道德観は現在の教科書が説く所と其の建前がちがつてゐる。勿論正面から反對し之れを顛覆しようといふのでなく、國定教科書が志して到り得ないものを、その道德的根底及び訓練方法の改造によつてなさうとする本書こそ道德の見方に對する新社會的開眼である。

土田杏村著 人生論 菊判百五十頁 定價一圓

土田杏村著 宗教論 菊判二百二十頁 定價一圓

土田杏村著 文學論 菊判百三十頁 定價一圓

土田杏村著 戀愛論 四六判四百頁 定價一圓

土田杏村著 短歌論 新菊判二百頁 定價一圓廿錢

土田杏村著 日本現代思想研究 四六判三百五十頁 定價一圓

土田杏村著 現代哲學概論 菊判二百四十頁 定價一圓半錢

文學得能文著 ★ 文部省推薦

## 哲學講話

菊判三百頁  
總クロオス裝美本  
定價一圓八十錢

本書は一面概論であり、一面歴史である。而も其兩者を兼ねて、古來の哲學者の哲學的思索の發達段階を論理的に示されたものである。さういふ意味に於て本書は哲學研究の學徒は勿論、哲學に關心を持つ人々必讀の書で哲學教科書並びに參考書としても類書にまさる良書である

得能 文著 現今の哲學問題 菊判二百四十頁 定價一圓八錢

著スイヨジ・スムエジ 譯共憲久野辻・定松永・整藤伊

## ズイシリユ

世界文學の驚異!! 問題の書

二十世紀文學に於て本書ほどの物語を學界に惹起した作品は少ない。本書こそ未だかつて見ざる眞に新しき創造の書であり、先人未踏の境地を開拓せる傑作である。本書を讀まずして新しき文學を語る可らずといふ、敢て一讀を薦む所以である。

第一書房版「ユリシイズ」

菊判六百五十頁 定價二圓

# 四、文學

## (A) 文學 一般

### 文學論・評論・思潮・研究

著者	書名	装帧	頁數	定價	送料	發行所	月行發	内容大意
佐藤清文	文學	布四六裝入判	390	二、〇〇	二、〇〇	四條書房	十月	▲前篇に於て文學一般の原理を論じ後篇に於て近代英文學評論を爲せる書。
本間久雄	文學論	洋函編布入判	482	三、三〇	一、八〇	東京堂	五月	▲吟遊詩人論、英國唯美派の経路、明治初期の文學論、外國文學藝術に關する論文十一篇。
小林秀雄	文學評論	上函編裝入判	248	二、三〇	一、八〇	白水社	七月	▲からくり、アシルと魯の子、文學は繪空ととか、批評家失格、物質への情熱、外評論十篇。
土岐善麿	文學の藝術話	布四六裝入判	262	二、六〇	一、八〇	朝日新聞社	三月	▲最近の傾向や情勢や事實といふやうなものに就て文學方面のことを紹介せるもの。
梅田寛	文學の本質と其鑑賞	布四六裝入判	271	一、五〇	一、五〇	文教書院	七月	▲文學の本質と使命とに就て平易に説けるもので、文學とは何を云ふか外九篇。
芥川龍之介	文學的な餘りに文學的な	並四六裝入判	286	一、〇〇	一、〇〇	岩波書店	六月	▲文學的な餘りに文學的な、機關車を見ながら、明治文學に就いて外十三篇。

文學(文學論・評論・思潮・研究)

文學(文學論・評論・思潮・研究)

三木春雄	文藝を語る	上四六	六	一、三〇	叢文閣	月六	▲主として演劇に關する其理論や實際問題を收めたもので、評論隨筆篇外一部。文學者の經濟學、短歌の對詠性外廿二篇。
大照信行	文學と經濟學	洋四六	六	一、八〇	六文館	月七	▲文學藝術に關する思索論究を収めたもので、ルンペン文學論の基礎外二篇。
伊福部隆輝	現代社會相と文學論の問題	布四六	六	二、〇〇	厚生閣	月六	▲現代文學の破産、社會生活傳統と文學様式夏目漱石小論其他の評論集。
中村漁波	現代文學の諸問題	上四六	六	一、五〇	現代評論社	月三	▲プロレタリア文學の新しい「課題」其他(小林)農民小説論其他(立野)其他(中野重治)プロレタリア戯曲論外六篇。
小林多喜二	新藝術論システム プロレタリア文學論	並四六	六	四、五〇	天人社	月三	▲吾國プロ文學の理論の發達の過程を歴史的に明にした書で、民衆藝術論の提唱外廿四項。
橋本英吉	プロレタリア小説戯曲作法	並四六	六	六、五〇	内外社	月二十	▲プロレタリア藝術運動への道外一篇。
山田清三郎	日本プロレタリア文學の發展	並四六	六	八、〇〇	叢文閣	月一	▲大衆文學の將來、大衆文學はどこへ行く?歐洲ジャナリズムの潮流外一篇。
山田清三郎	ナツプ戦線に立ちて	並四六	六	六、〇〇	白揚社	月六	▲農民文學論(農村の黎明外六章)社會文藝論(藝術とは何ぞや外七章)。
木村毅	大衆文學とジャーナリズム	並四六	六	四、〇〇	三省堂	月五	▲現代世界及日本文藝の各々の思潮に對し批判鑑賞を加へ其意義と價値を論ず。
加藤一夫	農民藝術論	洋三六	六	四、五〇	春秋社	月二	▲印象主義と新印象主義、藝術に於ける世界の危機、工業主義時代の建築外四章。
宮島新三郎	現代文藝思潮概説	並四六	六	三、〇〇	三省堂	月五	▲方法論の諸問題、藝術の起源、藝術進化の問題一の若干の説明の三部より成る。
熊澤復六	世界藝術發達史	並四六	六	一、三〇	鐵塔書院	月二十	▲印象主義とキエービズム、社會主義社會の様式に就て外十四篇。附録美術概要。
文學研究會編	藝術の起源及び發達	並四六	六	一、〇〇	叢文閣	月九	▲美學的散步、文學史の方法のためにの二篇を収む。附藝術理論家としてのメーリンゲン。

文學(文學論・評論・思潮・研究)

ソグエイト	現代藝術の諸傾向	並四六	六	六、〇〇	叢文閣	月九	▲美學的散步、文學史の方法のためにの二篇を収む。附藝術理論家としてのメーリンゲン。
川口浩	美學及び文學史論	並四六	六	八、〇〇	叢文閣	月二	▲ルナチャルスキーのマルクス主義藝術理論を譯せるもの。
外村史郎	理論藝術學概論	並四六	六	一、〇〇	鐵塔書院	月四	▲藝術學に於けるマルクス主義のための闘争藝術、その特質と機能外三篇。
外村史郎	藝術の本質と變化	並四六	六	六、〇〇	共生閣	月九	▲今日藝術と呼ばれる個々の形式の本來の性質、建築形態外四章。
青木俊三	藝術の本質と變化	並四六	六	六、〇〇	共生閣	月三	▲クロポトキンの藝術觀を彼の全書中より抜萃せるもので、費澤の必要外六篇。
加藤一夫	共産主義藝術概論	洋三六	六	四、五〇	春秋社	月二	▲一九一七年の十月革命以後に於けるソヴェト聯邦の藝術全般に互る概説。
黒岩一雄	革命藝術大系	並四六	六	八、〇〇	大衆公論社	月三	▲革命と藝術、革命文學論、革命詩壇、革命美術、革命樂壇外三章及び附録五篇。
尾瀨敬止	革命藝術大系	並四六	六	四、〇〇	解放社	月八	▲文學に於ける性的表現をマルクス主義的視角から分析せるもので、政治と詩外九章。
カルヴァートン	文學と性的表現	布四六	六	二、〇〇	内外社	月二	▲現代藝術の複雑な諸相を説述せるもので、現代藝術ヴァリエテ外二十七篇。
板垣鷹穂	藝術的現代の諸相	洋四六	六	二、九〇	六文館	月十	▲労働者文學、詩の諸問題外二部にて論述せるもの。
マツシロ	現代歐洲文學とプロレタリアート	上四六	六	一、五〇	鐵塔書院	月四	▲二十世紀文學の先驅者、伊太利未來主義、ダダイズム外四章にて譯述。
熊澤復六	二十世紀の歐洲文學	上四六	六	二、五〇	鐵塔書院	月七	▲アメリカプロレタリア文學或はブルジョア文學に對する評論を主として輯録す。
熊澤復六	二十世紀の歐洲文學	上四六	六	二、五〇	鐵塔書院	月七	
熊澤復六	二十世紀の歐洲文學	上四六	六	二、五〇	鐵塔書院	月七	
熊澤復六	二十世紀の歐洲文學	上四六	六	二、五〇	鐵塔書院	月七	
熊澤復六	二十世紀の歐洲文學	上四六	六	二、五〇	鐵塔書院	月七	



文學(文學論・評論・思潮・研究)

Table with columns for author (e.g., エリオット, 北村常夫), title (e.g., 文學論), volume (e.g., 四六), publisher (e.g., 研究社), and date (e.g., 九月). Includes detailed descriptions of the works.

外國文學研究

Table with columns for author (e.g., 春山行夫, 武藏野書院), title (e.g., 詩と現), volume (e.g., 四六), publisher (e.g., 三省堂), and date (e.g., 五月). Includes detailed descriptions of the works.

文學(外國文學研究)

文學(外國文學研究)

早稲田大學歐羅巴文學研究會	現實主義理論的研究	並四六倍判	190	一、五〇	三省堂	二月二十	▲リアリズムの心理學的解釋、寫眞主義と逸文學、アメリカリアリズム、其他。
シモン・重治譯著	歐洲文藝復興史	洋函菊	161	一、五〇	人文書房	三月	▲歐洲全體のルネッサンスに就て論述した書で、中世の精神的態度外世八項。
クラウウン・幸譯著	世界文學一時間講義	並四六倍判	391	一、五〇	春陽堂	六月	▲太古から現代までの世界文學史で、太古の東洋、ギリシャとローマ外十五篇。
戸川秋骨	英文學覺帳	並四六倍判	402	一、〇〇	第一書房	六月	▲乞食詩人キリアム・テイグイス、イギリス思想影響の一端外十六篇。一普及版
日本英文學會編	英文學研究	並四六倍判	157	一、五〇	研究社	五月	▲徳川時代の英文學(竹村覺) 外國語教授に關する新著(市川三喜) 其他。
立教大學英學會編	英文學研究	並四六倍判	128	一、〇〇	研究社	五月	▲「老木夫」の所感(岡倉由三郎) 黎明期のエッセイ文學(淺井武) 外十篇。
春山行夫編	現代英文學評論	並四六倍判	366	一、〇〇	厚生閣	六月	▲二十世紀英國文學評論(西脇順三郎) 詩人の困窮(春山行夫) 外廿三篇。
織田正信譯著	近現代英米小説	並四六倍判	49	二、五〇	研究社	九月	▲一九〇〇年代以後一九二七年に至る英米兩國の小説界に於ける傾向を取扱つたもの。
矢野峰人	佛蘭西古典劇研究	洋函菊	251	二、〇〇	研究社	九月	▲英文壇十五名家の片影を収めたもので、イエイツ、ダグラス、ハイド外十三篇。
吉江喬松	佛蘭西古典劇研究	洋函菊	317	二、八〇	新潮社	十月	▲佛蘭西古典劇の發生的環境とその特性、ラスイヌ悲劇の内容的研究外一篇。
草野貞之譯著	新興佛蘭西文學	洋函菊	481	二、〇〇	白水社	三月	▲詩(現下の諸傾向外一章) 小説(様様なる類型外一章) 思想(思想と類型外一章)。
武田忠哉	ノイエ・ザハリヒカイト	洋函菊	440	三、〇〇	建設社	八月	▲現代ドイツ文學とノイエ・ザハリヒカイトドイツ飛行詩の展望外十五篇。
東京帝國大學獨逸文學會編	獨逸文學研究	並四六倍判	125	一、〇〇	第一書房	六月	▲レツシング生誕二百年紀念の回顧(リヒテ) 新編良三外七篇。

文學(外國文學研究)

片上伸	露西亞文學研究	並四六倍判	446	一、〇〇	第一書房	五月	▲ロシア文學批評の起源、トルストイ紀念の一夜其他を収む。一普及版
堤虎男	歌人レオバルデイ研究	布函六	276	一、八〇	二松堂	五月	▲幽鬱のレカナテイ、漂泊の旅、レオバルデイの分析とその反響の三篇。
堤虎男	歌人レオバルデイの生涯とその詩抄	洋函六	162	一、八〇	上田屋書店	五月	▲ダンテ以来の大詩人と賞讃されたレオバルデイの生涯及び詩抄。
工藤好美	コウルリチ研究	上函六	153	一、六〇	岩波書店	五月	▲著者が臺北帝國大學英文科教室で試みた講義のうち、C. G. L. に關する部分を蒐録す。
普後俊次	ベドオズ論攷	洋函六	357	三、〇〇	泰文社	五月	▲生涯と作品、假面と眞實、怪矯性と時矯性と死、死と永世の五章にて論述。
長沼重隆	トラウベルを語る	並四六倍判	299	一、二〇	東興社	九月	▲ホルレス・トラウベル小傳、トラウベルの藝術觀、トラウベル詩抄外十三篇。
曾根保譯著	ロバート・ブラウニング	洋函菊	600	七、〇〇	出版部	七月	▲ロバート・ブラウニングの生涯と作品に就ての詳細確實なる傳記。
高橋健二	ハ・イ・ネ	布函六	419	一、五〇	三省堂	六月	▲詩人ハイネの全容を描ける傳記で、在獨逸時代、在巴里時代の二篇。
昇曙夢	トルストイ	布函六	331	一、五〇	三省堂	六月	▲トルストイの全容を網羅せる傳記で、幼少・青年時代外四十七章。
辰野隆	さ・え・ら	上函新菊	450	三、〇〇	白水社	六月	▲佛蘭西文學と、モリエールの喜劇に就て臺詞其他を収めた佛蘭西文藝隨筆集。
堀口大モン著	グウルモンの言葉	背函四六倍判	158	一、八〇	第一書房	九月	▲ル・ミ・ド・グウルモンの箴言集を譯せるもの。
堀口大モン著	グウルモンの言葉	背函四六倍判	143	一、八〇	第一書房	三月	▲コクトオの思想及び藝術を理解する爲に重要な鍵となる彼の告白録。
飯ノゲアリス作	断片	背函菊	352	二、八〇	第一書房	二月二十	▲人間、哲學と科學、神と宗教、藝術とにわけ収めたノゲアリスの断片集。

(6-8)

小見山壽海	書誌學	洋函六 布入判	205	一、 二、〇〇	芸艸會	月七	▲書誌學の概念、綜觀的書誌學、全觀的書誌の三篇にて論述。
庄司淺水	俗書・アバウト・ソックスの物語	洋函六 布判	157	一、 八、〇〇	ドブムツ社	月五	▲書物の歴史(書物のなかつた時代外十七章)の書物の出来上るまで(出版の常識外十四章)。
河原萬吉	珍本物語	上函四 製入判	269	一、 三、〇〇	汎人社	月一	▲見立珍種「八百九後家」の語外廿四篇にて珍本と稱せらるゝものを解説紹介す。
宮内省圖書寮編	圖書寮漢籍善本書目	背函菊 華入判	674	六、 三、〇〇	文求堂	月十	▲宮内省圖書寮蔵版の漢籍善本七百八十八部の書目巻冊數其他を記せるもの、複製。
菊池寬	新文藝辭典	並三五 製判	98	二、 〇〇	誠文堂	月四	▲文藝用語を五十音順に取録解説せる辭典。
文藝家協會編	文藝辭典	布四六 裝判	379	一、 七、〇〇	新潮社	月三	▲小説、戯曲、評論、隨筆其他に關して一ヶ年に互る概観傾向收穫等を記録。
薄田泣菫	樹下石上	布函四 裝入判	329	一、 八、〇〇	創元社	月十	▲証たたき、秋のやくざもの、世間といふもの、小さき花外五十一篇の感想隨筆集。
松村武雄	朗かな斜視	上函四 製入判	370	一、 二、〇〇	明星書院	月一	▲古本探しの記、生れぬ奈翁と死なぬ奈翁、フロイド博士の快著外廿六篇を収めた隨筆集。
西田幾多郎編	廓堂片影	布函菊 裝入判	907	五、 二、〇〇	教育研究會	月七	▲故北條時敬の遺文を訓辭類、演説類書簡類日記類に分けて載録せるもの。
蘇峰先生古稀祝賀記念刊行會編	蘇峰先生古稀祝賀記念刊行會稿	洋函菊 布入判	1162	一、 〇、〇〇	民友社	月十	▲徳富蘇峰氏の古稀の壽を記念に現代各方面の知友諸氏が文章詩歌等を輯めたもの。

隨筆・感想・文集

(6-9)

徳富猪一郎	卓上小話	布函四 裝入判	408	二、 〇〇	民友社	月九	▲新聞記者としての行程、牛生夢物語、英雄と偉人、英雄を語る外卅一篇。
濱口雄幸遺稿	隨感錄	布函四 裝入判	204	一、 〇〇	三省堂	月九	▲前首相濱口雄幸氏遺稿の一部を編集せるもので、青年時の回顧外卅二篇。
下村海南	刺客漫談	上函四 製入判	410	一、 二、〇〇	四條書房	月七	▲刺客漫談、警官漫談、キモノ漫談、ユーモア漫談、新潟の二日其他隨筆集。
スバルウキン	横目で見た日本	上函四 製入判	462	一、 三、〇〇	新潮社	月十	▲日本通スバルウキンの日本に關する文集で、日本見物、日本語の合理化外五篇。
大谷光瑞	花	洋函四 布入判	233	一、 〇、〇〇	大東支社	月九	▲花と人、氣候と花の關係、特色と添景、我邦人と花外四十二篇。
堀口九萬一	隨筆集遊心錄	並四六 製判	467	一、 三、〇〇	第一書房	月二	▲ソラの小説「ナナ」の賣出し、海外日記抄海外文豪の生活振り外廿四篇。
戸川秋骨	隨筆集自然・氣まぐれ・紀行	並四六 製判	585	一、 三、〇〇	第一書房	月五	▲書畫帳、日記から、豆相一日の快走外五十篇のエッセイ集。
得能文	隨筆集淺人零語	並四六 製判	552	一、 八、〇〇	第一書房	月七	▲淺人零語、芭蕉斷片、茶の煙、シラアの美魂に就いて外五十篇。
土田杏村	隨筆集草煙心境	並四六 製判	396	一、 八、〇〇	第一書房	月八	▲雲雀の滑走、靜かなる窓、生活の一遇、樵夫と蛙、蝸牛の角外三篇。
横瀨夜雨	隨筆集太陽に近く	上函四 製入判	508	一、 三、〇〇	萬里閣	月二	▲春回る、なくした鮎、三人あんげら、母、れやまに遊ぶ兒等、太陽に近く其他の隨筆集。
奥謝野晶子	隨筆集街頭に送る	洋函四 布入判	360	一、 三、〇〇	講談社	月二	▲健全な心、政治と大衆教育、冬枯の野に住みて、新聞紙の威力外六十四篇の隨筆集。
永田青嵐	隨筆集梅白し	洋函四 布入判	236	一、 三、〇〇	日實業社	月二	▲文藝、追憶、修養、講演の四部に分つた隨筆集で、俳諧懺悔外十九篇。
八波則吉	隨筆集希望に充ちて	布三六 裝判	315	八、 六、〇〇	教育研究會	月一十	▲希望と元氣、用語の選擇、ラザオ禮讚、猿も木から落ちる外隨筆七十三篇を収む。

石川欣一	木村毅	岩田豊雄	菊池重三郎	上田秋夫	横光利一	土岐善磨	前田夕暮	相馬御風	相馬御風	原田實	小川未明	小笠原長生
山都會・スホー	巴里情痴傳	脚のある巴里風景	歐羅巴物語	薔薇窗	方草紙	やきりんご	散文朝、青く描く	良寛と蕩兒	郷土に語る	心の秋	感想常に自然は語る	春うらゝか
並四六判	布四六判	上新菊製判	布四六判	並四六判	上新菊製判	上新四六判	上四六判	上四六判	布四六判	上四六判	洋四六判	布四六判
320	283	224	239	108	428	278	248	360	236	242	501	370
一、八〇	一、五〇	一、三〇	一、五〇	六〇	二、五〇	一、二〇	一、五〇	一、三〇	一、三〇	一、〇〇	二、〇〇	一、三〇
四六書院	千倉書房	白水社	研究社	日新館	白水社	白帝書房	白帝書房	日實社	春秋社	人文書房	協會出版部	日實社
五月	二月	七月	九月	十一月	十一月	四月	六月	四月	五月	九月	一月	四月
<p>▲清少納言、玉の臂の女王、童話の主人公 ▲美しい女性、女性西部戦線、第二の顔、二人の映畫女優外三篇 ▲自傳篇(静養外七篇)愚談篇(ミズテン奇談外七篇)漫筆篇(トキキと保険外六篇) ▲愛は虫けらに至るまで、説明者の描み、ジプシーの見世物外四十六篇の漫文集 ▲飢餓軍、日本人を迫り拂へ外支那に關する四十八篇及び映畫筋書「戦はこれからだ」 ▲毛布、地獄の花、宗教迫害心理、何でもない事、時は二人の上に外十六篇 ▲愛の瞳、心の像、新生へ、二つの言葉、創作五篇 ▲子は賣なりや、男といふもの、引合はぬ教育投資、ハワイ情景外隨筆廿三篇 ▲汎有色經濟洲の建設、國際大觀、世界巡禮の旅より外故北村女史の遺稿を収む ▲多く語つて少く言ふ、伊達政宗と其の國策、幽明の妙理、風流と通、外隨筆七十五篇 ▲古稀庵の思出、大隈伯の放膽、國民生活の不合理、房總めぐり外百十篇 ▲あれやこれや論、身に即いた記、山・世間浪花節の三部より成る隨筆集 ▲政大町桂月の文集で、春の清趣以下百數十篇を収む</p>												

丸木砂土	丸木砂土	徳川夢聲	松井翠聲	櫻井忠温	三浦藤作	谷岡義賢	北村兼子	北村兼子	高橋五郎	野崎廣太	辻寛	大町桂月
風變りな人々	女性西部戦線	夢聲軟尖集	翠聲オンパレード	戦はこれからだ	物語生活冷たい微笑	創作の力	子は賣なりや	子は賣なりや	茶話天狗	らくがき	狎の近吠	大自然風景美観
並四六判	上四六判	洋四六判	並四六判	洋四六判	並四六判	洋四六判	上四六判	洋四六判	並四六判	布四六判	布四六判	上四六判
369	430	330	290	337	362	378	357	623	270	848	341	352
六〇	一、八〇	一、三〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇
四六書院	刊行資料	往來社	往來社	新潮社	文化書房	輝文堂書房	萬里閣	改善社	廣文堂	賣文館	中西書房	日本書院
五月	二月	七月	七月	十月	十月	六月	四月	十月	一月	七月	七月	七月

文學(國文學史・研究)

姉崎正治編 註訂想華及感激	評論會隨編筆 支那文化を中心に	文藝家協會編 詩と隨筆集 第四集昭和六年版	難波卓爾編 文	難波卓爾編 文	難波卓爾編 文
洋函四六 布入判 554	上函四六 製入判 400	並新四六 製判 316	並新四六 製判 142	並新四六 製判 142	並新四六 製判 149
三、二〇	一、八〇	一、五〇	四、五〇	四、五〇	四、五〇
博文館	大阪屋號	新潮社	春陽堂	春陽堂	春陽堂
二月二十	九月	六月	九月	十月	十月二十
▲櫻子の感情生活を文學的又は美文的に表現した文を収録せるもので、瀧口入道其他。▲泰山(徳富蘇峰)西湖と太湖(成瀬無極)上海交響樂(新居格)外廿二篇。	▲詩一木篤夫、佐藤惣之助外七氏。隨筆一支那を見直せ(井東憲)外二十篇。	▲小説、詩、隨筆、評論を収めたもので、心象風景(牧野信一)外十篇。	▲竹藪の家(坂口安吾)夏近し(嘉村磯多)事前の問題(中島健蔵)外九篇。	▲隣一二軒(瀧井孝作)セキセイ鸚哥(坪田讓治)三つの天幕(安西冬衛)外九篇。	▲國文學の本質特徴等を概観せるもので、國文學の周圍、國文學の形外二篇。

(B) 國文學・漢文學

國文學史・研究

千葉惣治 國文學史概説	鬼澤福次郎 系統的國文學史解説	篠田太郎 國文學概論 國文學の階級性論	各務武虎 國文學
洋函四六 布入判 312	洋函四六 布入判 815	洋函四六 布入判 354	洋函四六 製判 142
二、〇〇	六、八〇	一、六〇	四、五〇
文進堂	大同館	春陽堂	青年教育及會
三月	六月	十月	十月
▲上古の文學以下四篇に於て作家の傳記と作品を説明し思潮の外観を記述した書。	▲我國文學の全體系を史的展開の下に叙述し解説せるもので、國文學の意義外十五章。	▲國文學の本質特徴等を概観せるもので、國文學の周圍、國文學の形外二篇。	▲總論、歌、文章、俳諧、小説、戯曲、結論の七章。

文學(國文學史・研究)

安田喜代門 上代歌謡の研究 第一卷	安田喜代門 上代歌謡の研究 第二卷	野村八良 上代文學日本精神	佐佐木信綱編 萬葉學論纂	豐田八十代 萬葉植物考	豐田八十代 萬葉地理考	日比野道男 紀伊(萬葉地理研究叢書(3))	大塚悦三 文法に立萬葉集の研究 第一編	萬葉三水會編 萬葉集研究年報 第一編	兒山信一 新講和歌史	坂井衡平 和歌と傳説	坂井衡平 和歌と傳説	阪口玄章 思想を中心と中世國文學の研究	五十嵐力 軍記物語語研究 其の發生發展及創作
洋函四六 布入判 405	洋函四六 布入判 356	洋函四六 布入判 251	洋函四六 布入判 448	洋函四六 布入判 223	洋函四六 布入判 457	洋函四六 製入判 145	洋函四六 布入判 552	並編 製判 86	洋函四六 布入判 657	洋函四六 製入判 263	洋函四六 製入判 323	洋函四六 製入判 427	洋函四六 製入判 427
三、五〇	三、五〇	二、〇〇	三、〇〇	二、三〇	三、八〇	一、〇〇	三、八〇	七、〇	五、〇〇	二、八〇	二、五〇	二、八〇	二、八〇
中文館	中文館	大同山書店	明治書院	古今書院	大同山書店	白帝書房	大倉廣文堂	岩波書店	大明堂	文書堂	六文館	早稻田大學出版部	早稻田大學出版部
一月	十一月	九月	三月	三月	二月二十	六月	六月	五月	三月	九月	九月	三月	三月
▲歌謡を通じて上代人の精神生活の主要な方面を検討せる書。萬葉人の自然禮讃外十三章。	▲第二卷は求婚傳説、妻求傳説から萬葉集へ、神仙化と傳説化外十二章より成る。	▲國初以來奈良朝末迄の日本精神が如何なる性質で如何に繼承せられたかを叙述す。	▲現代に於ける五十名家の代表的研究論文を文獻學的研究、人文學的研究外二篇に蒐載。	▲萬葉集古義の例に倣ひ植物を草木竹の三類に分ち五十音順に排列して考證を施す。	▲歌詞を萬葉集古義より轉載して地名を五十音順に排列す。附録萬葉地圖十一葉。	▲萬葉集に現はれた紀伊の地の研究で、背山妹山妻の杜の紀の實外十八篇。	▲萬葉集卷第十五の一字一音書きの歌を解剖し其文法眞意を究めたもの。	▲昭和五年一月より十二月迄の萬葉集關係の書籍雜誌等に現れた論文その他を記録す。	▲全體を通じての組織立つた和歌史で、上古中古、中世、近世、近代及和歌史年表。	▲戸隱山鬼女退治の繪卷、和歌史上の六歌仙上代歌謡史の新聞題外十一篇。	▲中世の無常觀と隱遁思想、隱遁者の文學、徒然草の思想外五篇にて論述。	▲軍記物語語研究(軍記の萌芽及び開展外廿項)平家物語の新研究(十六項)の二講より成る。	▲軍記物語語研究(軍記の萌芽及び開展外廿項)平家物語の新研究(十六項)の二講より成る。

文學(國文學史・研究)

鈴木暢幸	佛敎文學概説	洋函六	布入判	239	一、五〇	明治書院	五月	▲國文學研究者の爲に手引たるべき概説を試みたもので、三界門外二章。
清原貞雄	國學發達史	洋函六	布入判	422	三、〇〇	六文館	月二十	▲徳川時代以前に於ける國學、近世國學の先驅、荷田春滿と其時代外六章。
吉澤義則	國語説鈴	洋函六	布入判	580	三、八〇	出版部	月九	▲禪僧所作の諸曲、藤貞幹に就いて、語脈より觀たる日本文學外廿四篇。
笹川種郎	近世文藝志	洋函六	布入判	450	三、〇〇	明治書院	月一	▲「近世日本文學大系」の解題を増補訂正しこれに淨瑠璃の一篇を添へたもの。
藤井乙男	江戸文學叢説	洋函六	布入判	556	二、八〇	岩波書店	月九	▲俳諧戯曲及小説に關する江戸時代文學の研究で、秀吟の歌併難易説其他。
高須芳次郎	爛熟期・頽廢期の江戸文學	洋函六	布入判	675	三、八〇	明治書院	月四	▲化政期中心に主として小説に關する考察を爲せるもので、時代と環境外二篇。
山口剛	西鶴・成美・一茶	洋函六	布入判	346	二、〇〇	武蔵野書院	月十	▲西鶴と近松、「好色一代男」の成立、隨齊成美の心境、一茶の六歳の俳句外十五篇。
阿部次郎	徳川時代の藝術と社會	洋函六	布入判	621	五、〇〇	改造社	月七	▲芭蕉の「猿蓑」と「炭俵」の研究。
山本勝太郎	日本文學に現れたる經濟生活	洋函六	布入判	310	二、八〇	寶文館	月一	▲徳川時代の藝術と社會に就て論述せるもので、徳川藝術の特殊地位其他。
今井卯木	川柳江戸砂子	洋函六	布入判	697	五、〇〇	春陽堂	月六	▲傳説戀歌時代の經濟生活、戀愛文學と莊園經濟、混池の世界から近世社會の黎明へ。
野々村戒三	能樂古今記	洋函六	布入判	383	二、八〇	春陽堂	月一十	▲下巻は「神社佛閣」薬研堀不動堂以下一五八項を収む。
神谷敏夫	新日本著作辭典	洋函六	布入判	346	二、八〇	大同館	月一十	▲能樂史實に關する考證で、能樂諸流篇、地方能樂篇の二篇。

文學(國文學・校本・註釋書)

土岐善磨編著	改訂文庫第二部(101) 作者別萬葉全集	布函半	裝裁	613	六〇	改造社	月六	▲短歌、長歌、旋頭歌並詩文の三篇より成る作者別萬葉全集。附作者索引。
土岐善磨編著	改訂文庫第二部(102) 作者別萬葉以後	布函半	裝裁	574	六〇	改造社	月七	▲勅選集の中より在原業平、小野小町以下代表的な二十三歌人の歌を作者別に掲ぐ。
垣内松三編	つれづれ	和函菊	綴入判	197	一、二〇	文學社	月六	▲假名文字遣等凡て正徹自筆原本の儘嚴密に綴りして校註を施す。
塚本哲三編	竹取物語・伊勢物語・土佐日記	布函六	裝判	339	一、三〇	有朋堂	月九	▲竹取物語、伊勢物語、土佐日記、紫式部日記、更級日記の校訂。索引、解題。
塚本哲三編	枕草紙	布函六	裝判	394	一、三〇	有朋堂	月九	▲當代の才媛清少納言の隨筆、枕草紙を校訂せるもの。索引、解題。
塚本哲三編	増鏡	布函六	裝判	309	一、三〇	有朋堂	月九	▲所謂假名歴史の代表的なものとして有名な増鏡を校訂す。索引、解題。
塚本哲三編	大鏡	布函六	裝判	268	一、三〇	有朋堂	月九	▲文徳天皇から御一條天皇に至る百七十六年間の歴史を述べた大鏡の校訂。索引、解題。
關根正直	校紫式部日記	上四六	製判	127	七〇	明治書院	月九	▲方丈記、海道記、東關紀行、十六夜日記、徒然草を校訂す。索引、解題。
吉澤義則撰	異本徒然草	洋函六	布入判	150	一、八〇	出版部	月八	▲寛弘五年の秋中宮御産の前夜から始まつてある紫式部日記を校註せるもの。
黒板勝美編	調論日本文書	洋函六	布入判	309	一、八〇	岩波書店	月三	▲久原文庫蔵嵯峨本をそのまゝ現活字に改めたりもので、つれづれ、るまゝに外二四四段。
三條西公正校訂	岩波文庫(20) 花物語	並函半	製裁	204	四〇	岩波書店	月三	▲中巻は卷第三神日本磐余彦天皇より卷第十八武小廣國押盾天皇迄。

國文學・校本・註釋書

文學(國文學・校本・註釋書)

池田龜鏡校訂	池田龜鏡校訂	和田英松校訂	和田英松校訂	野上阿彌校訂	阿彌校訂	藤田德太郎校註	藤田德太郎校註	曲亭馬吉校訂	和曲馬吉校訂	山口剛訂	安藤常次郎三編	野々村戒三編	田井嘉藤次
枕草子(742-743)	枕草子(744-745)	大鏡(740-741)	大鏡(740-741)	能作書・覺習條條・至花道書(795)	入木道三(779)	松葉(776-777)	松葉(776-777)	松葉(772-773)	松葉(772-773)	雨月(774)	狂言集	狂言集	新古今事記
並菊半製	並菊半製	並菊半製	並菊半製	並菊半製	並菊半製	並菊半製	並菊半製	並菊半製	並菊半製	並菊半製	並菊半製	並菊半製	並菊半製
259	246	232	240	90	96	162	204	251	222	156	840	899	309
四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	八〇〇	三〇〇	三〇〇
岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	岩波書店	改造社	春陽堂	大同館	大同館
三月	八月	三月	八月	七月	八月	三月	三月	二月	三月	八月	六月	五月	十月
▲古來註譯書として最も信用せられたる北村季吟の曙抄を校訂せるもの。	▲中巻は巻五めでたきものより巻九珍しと言ふべき迄を収む。	▲文徳天皇の即位より御一條天皇迄の事を記した假名文の國史「大鏡」の校訂。	▲後鳥羽天皇の御即位より後醍醐天皇の元弘三年に至る間の事を記せる増鏡を校訂す。	▲世阿彌元清の能に關する遺著中の。能作書習條條、至花道を校訂復刻せるもの。	▲夜鶴庭訓抄、才葉抄、入木抄の校訂。附録本朝能書傳。	▲元祿十六年六月の板行にかゝる松の葉五巻を校註せるもの。	▲元祿時代の流行歌謡を網羅集成せる松の落葉を校註せるもの、解説。	▲中巻は第廿六回窮士雪中に野猪を殺すより第五十回樹を離れて狐孫命を保つ法迄を収む。	▲下巻は第五十一回南原城に入て妖婦利勇を懲すより第六十八回迄。	▲日本文學史上の一雄篇たる上田秋成の代表作雨月物語の校訂。附贈大小心録抄。	▲狂言及び能間を七百三十四番収載した書で解説、狂言篇、狂言篇番外曲の三部より成る。	▲中巻は第十二段神武天皇東征より第十七段若野毛二候玉の後高迄の解説。	▲古事記を註解した書。

文學(國文學・校本・註釋書)

吉澤義則編	吉澤義則編	吉澤義則編	關根正直	淺井峰治	新井無二郎著	加野口立四郎	四宮憲章	澤瀉久孝	丸山雄二郎	澤田總清	田井嘉藤次		
物語湖月抄	物語湖月抄	物語湖月抄	枕草子集註	大和物語新釋	評釋伊勢物語大成	共訂古訓古語拾遺	皇民平解古語拾遺	萬葉集新上	萬葉集全	新古今事記精解	新古今事記		
洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	布函四六布入判	洋函四六布入判	並菊半製	洋函四六布入判	布函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判		
1201	1090	312	716	300	1,000	51	159	372	690	152	524	309	
三〇〇	三〇〇	二〇〇	三〇〇	一〇〇	六〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇	六〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇	
近代文藝社	近代文藝社	近代文藝社	六合館	大同館	代々木書院	聖徳記念學會	皇明會	星野書店	大倉廣文堂	紅玉堂	健文社	大同館	
九月	九月	九月	二月	九月	十一月	三月	九月	三月	十月	六月	五月	十月	
▲薄雲之巻より柏木之巻まで。	▲桐壺之巻より松風之巻まで。	▲發端、年立、系圖、表白、用語篇、和歌篇を収む。	▲「春はあけぼの」より「枕にこそば」迄を集註せるもの。	▲平安朝人の生活記録たる大和物語に語釋及び通釋を施せるもの。	▲本邦最古の貴重な國典古事記に、語釋、參考、通解を施せるもの。	▲「春はあけぼの」より「枕にこそば」迄を集註せるもの。	▲古語拾遺を平解して國文とし簡易なる註釋を施せるもの。	▲アツプ・ツリ・テイトな古語拾遺の定本。	▲語釋・意譯・餘釋の三段に分ち註釋し且考異本を附し舊註を掲ぐ。	▲平安朝人の生活記録たる大和物語に語釋及び通釋を施せるもの。	▲「春はあけぼの」より「枕にこそば」迄を集註せるもの。	▲發端、年立、系圖、表白、用語篇、和歌篇を収む。	▲桐壺之巻より松風之巻まで。

吉澤義則撰	吉澤義則撰	藤井乙男撰	永野忠一撰	溝口駒造撰	溝口駒造撰	坂口玄章撰	石村貞吉撰	水田勇賢撰	山崎敏夫撰	關根正直撰	小室由三撰	吉澤義則編
校訂徒然草諸抄大成	校訂徒然草諸抄大成	西鶴五人女詳解	吉野拾遺評釋	平家物語新上卷釋	平家物語新下卷釋	新註平家物語	新註平家物語	大鏡新解	更級日記新釋	校紫式部日記	新講源氏物語	源氏湖月抄人之卷
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋三六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
197	895	289	204	766	754	1000	1200	833	135	140	107	1458
一、八〇	五、三〇	二、八〇	一、四〇	一、八〇	一、四〇	六、五〇	二、八〇	特、三〇	四、五〇	六、〇〇	六、〇〇	三、〇〇
出版館大學	出版館大學	木鐸社	健文社	岡村書店	岡村書店	中興館	修文館	改進書房	正文館	明治書院	正文館	近代文藝社
月二	月十	月二	月三	月九	月四	月六	月一十	月三	月三	月九	月二十	月九
<p>▲横笛之巻より夢之浮橋まで。</p> <p>▲源氏物語中の帯木の巻に通譯、語釋等を施せるもの。</p> <p>▲難解な紫式部日記を校註せるもの。</p> <p>▲平安朝女流日記文學中の白眉たる更級日記を解釋せるもの。</p> <p>▲藤原時代の史實を詳密に記述した史書大鏡に解釋を施せるもの。</p> <p>▲平家全文、挿畫及び巻尾に參考圖地圖年表系圖索引を附した新註釋書。</p> <p>▲萬治版の眞片假名本を原據とした有朋堂文庫本に依つて通釋口語譯を施せる書。</p> <p>▲著者の創見を加へた平家物語の新註釋書。</p> <p>▲註解は語釋と通釋と論評と考證と研究より成り一々番號を附して本文と對照す。</p> <p>▲主上吉野の宮にて御歌の事より大神宮御託宣の事まで廿一項、附解題、年表、索引。</p> <p>▲素人娘や人妻も扱つた西鶴の傑作「五人女」の原文を掲げ口譯及び註釋した書。</p> <p>▲徒然草の諸抄大成を復刻し明治以後の諸評釋によつて其缺陷を補足完成せるもの。合本。</p> <p>▲淺香久敬編の徒然草諸抄大成を復刻補足せるもので、徒然草諸抄大成卷十一より十五迄。</p>												

勝峰晋風編	勝峰晋風編	藤村作	野口恒重編	野口恒重編	横山信重校訂	横山信重校訂	井上通泰	栗田寛纂註	後藤藏四郎補註	中島悦次	吉澤義則撰	吉澤義則撰
新芭蕉一代集	新芭蕉一代集	國文學聚	箋注倭名類聚抄	箋注倭名類聚抄	鎮魂傳	高橋氏文考注	播磨風土記新考	標註古風土記	標註古風土記	愚管抄評釋	校訂徒然草諸抄大成	校訂徒然草諸抄大成
上四六	上四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
253	189	172	166	628	241	270	700	385	610	118	159	159
一、三〇	一、三〇	一、八〇	一、八〇	五、二〇	二、〇〇	二、三〇	七、五〇	三、二〇	三、二〇	五、八〇	一、〇〇	一、〇〇
春秋社	春秋社	中興館	曙社	曙社	大同山書店	大同山書店	大同山書店	大同山書店	大同山書店	國文研究會	出版館大學	出版館大學
月四	月四	月一	月三	月三	月十	月九	月五	月五	月十	月四	月三	月三
<p>▲句評篇は「貝抄ほび」を本文に引き紀行日記篇は「野ざらし紀行」の自筆其他收録。</p> <p>▲諸集及び現存の懷紙詠草に徴して百韻十六卷其他を解説して收録。</p> <p>▲大和時代篇、平安時篇に分ち、古事記から更級日記迄の原本を抜粹す。</p> <p>▲下巻は巻第六以下巻第十まで及び、校訂異體字辨(自卷一至卷十)總索引を收む。</p> <p>▲曙社版箋注倭名類聚抄の一部分にて印刷局版に缺けたる部分のみを蒐集。</p> <p>▲伴信友弘化二年の著述「鎮魂傳」並に「字都志麻」を收載す。</p> <p>▲井上博士の新考に加ふるに敷田、栗田兩氏の標註、古地圖、眞寫本註、各索引付。</p> <p>▲高橋氏文考註、日影葛の考、後記、原文、別に、本文索引、考註索引、書名索引。</p> <p>▲播磨風土記(常陸)の姉妹書、精密なる補註を附す。</p> <p>▲吉田兼好自撰歌集、兼好法師傳、徒然草諸抄大成索引其他。</p> <p>▲我が國史論の先驅をなす愚管抄を平易に評釋をなせる書。</p> <p>▲標註古風土記(常陸)の姉妹書、精密なる補註を附す。</p> <p>▲淺香久敬編の徒然草諸抄大成を復刻せるもので、第四分冊は第十六より第廿まで、抄大成索引其他。</p>												





簡野道明	簡野道明
通鑑文粹	論語解義
和蘭裝判	洋四六布判
170	760
八五	三八〇
明治書院	明治書院
月一十	月九
▲論語の解釋書中要領を得た詳細なものとして有名であつた本書に更に増訂を加ふ。	
▲廣汎な資治通鑑から重要な箇所を抜粋し通鑑の大體を視はしめるもの。頭註あり。	

(C) 詩歌・俳句・民謡

詩論・作法

春山行夫	現代の詩論と批評(20)	並四六製判	271	一、五〇	厚生閣	月二	▲詩の對象、詩の形態、純粹詩とフォルマリズム、主知的詩論について其他。
堀口大祐	詩	背四六倍判	112	二、一八〇	第一書房	月六	▲詩法、近代詩、ハムレチズム、偉人との交際、基督敎藝術の五篇。
詩文學社編	現代詩論集	並編	182	二、二〇〇	現代評論社	月六	▲現文壇と詩の將來(村松正俊) 詩を求める女性に(河井醉茗) 外廿五篇。
横山青娥	新しい詩の作り方	上編半製判	224	八、五	交蘭社	月六	▲詩の起源と意義、詩とはどんなものか、詩の實際例外十一章にて述ぶ。
八波則吉	唱歌作歌法講話	上四六製判	250	一、一〇〇	京文社	月十	▲唱歌作歌法と作詩哲學を論じ、歌詞と曲譜の關係を説き、最近五年間の力作五十を附す。
佐藤春夫	詩魔	上編四六製判	49	二、三〇〇	以士帖印社	月十	▲現代のダンテ、今ロオレライは、暮暁の戀わが秋の歌外二十五篇を収めた詩集。
生田春月	詩家徴の鳥賊	並四六製判	304	一、三〇〇	第一書房	月三	▲影の國、秘密、僧形、艶夢、神歌、詩の死、假面の眞實其他を収む。一書及版。

百田宗治	集詩ばいぶの中の家族	背編	101	二、二〇〇	金星堂	月七	▲ハルプを弾く人、ばいぶの中の家族、象形文字、貝殻と衣裳外四十四篇を収めた詩集。
佐藤惣之助	集詩西蔵美人	並編	150	一、五〇〇	現代評論社	月七	▲著者の十四冊目の詩集にして肉欲的な奔放多彩なる内容を歌つて居る。
阪本越郎	雲の衣裳	並編	59	六、六〇	厚生閣	月二十	▲詩人の手、コメアイ、赤道附近、口笛、花と蘆と、天使の羽毛外廿八篇。
中山鏡夫	集詩海は美し伽藍よりも	並編	169	三、二〇〇	泰文社	月一十	▲冬にして春への歌、イペリヤの曲、故園抄忘れし詩帳より外廿六篇を収めた詩集。
石川啄木	詩	布編半製判	499	八、五〇〇	改造社	月一十	▲石川啄木がその短い生涯に物した長詩約百五十篇を収めたもの。
上田秋夫	集詩五月	並四六製判	128	六、八〇〇	日新館	月一十	▲雪と太陽、村の日曜、新しき日、クルユニの庭、五月の雪外九十九篇。
青柳瑞穂	集詩睡	背四六製判	122	一、三〇〇	第一書房	月一	▲子供室、手、睡眠、早春所感、眠る女、浴室、或る風景外四十一篇。
菱山修三	集詩懸	背四六製判	113	一、二〇〇	第一書房	月一	▲夜明け、懸崖、冬眠、想、前夜、夕鳥、不在、小さな青空、私の體操外四十篇。
澁谷榮一	集詩赤き十字架	並四六製判	156	六、六〇〇	交蘭社	月四	▲赤き十字架(冬外廿二篇) 嵐の前(空外十七篇) 愛愁の窓(ある時外廿八篇)。
都築益世	集詩明	並四六製判	148	六、六〇〇	交蘭社	月四	▲自畫像、明るい街十六篇、雪晴、月下の水仙、日南外六十七篇。
詩文學社編	現代新詩集	並編	138	一、二〇〇	現代評論社	月二	▲詩雑誌「詩文學」の選集で、騒音の都會(佐藤清) 門扉(喜志邦三) 其他。
長谷部俊一郎	集詩朝のいのり	布四六製判	193	一、八〇〇	向山堂	月二十	▲信仰の翼、静かなる炎、水色の空、味爽の庭の四部に分け八十三篇を収めた詩集。
高木秀吉	集詩端座	布四六製判	110	一、八〇〇	牧神詩社	月六	▲端座、閑寂、庭、木の葉、冬夜、端居外四十九篇を収めた詩集。

藤木九三	集詩雲	表	上四六	製判	81	一、三〇	大地	月八	▲屋上登攀者、アルプス街散歩、お花畑、窓雲海の底、人間冒瀆外三十篇を収めた詩集。
崔然	集詩憂鬱の世界	表	上四六	製判	148	一、三〇	大地	月七	▲俺は何處まで正しいか、人間の心情、忘れようとしても外五十七篇の詩集。
佐伯郁郎	集詩北貌	の	並新	製判	85	一、二〇	大地	月五	▲雲、風、斷崖、雨の日の想ひ、いさかひの後、秋外廿八編を収めた詩集。
鹿山鶯村	集詩嵐の夜	の	並新	製判	206	一、三〇	大地	月一	▲詩話篇(若き日の影、旅に出る朝外四十七篇)民話篇(三里峠、膝枕外四十三篇)。
鹽野筍三	集詩隨道	の	並新	製判	122	一、七〇	大地	月二	▲空腹を訴へない子供、文字を引き裂いて、ふぐの詩、春の精神外四十七篇。
木山捷平	集詩メクラとチンバ	道	上四六	製判	94	一、八〇	大地	月六	▲大根、その下で、からたちの垣根、メクラとチンバ外四十七篇の詩集。
宮崎孝政	宮崎孝政詩集	集	上四六	製判	167	一、五〇	大地	月一	▲父の詩、春待つ心、旅人、鯉、天上の櫻、火桶を抱く人、雨の日外六十八篇。
大木篤夫	大木篤夫抒情詩集	集	布面	製判	418	二、〇〇	大地	月九	▲火酒の嘆き、白金流涕、幸の時、惜春抄、青き果、雪と風、信子外二百十五篇を収む。
吉田瑞穂	僕の畫布	の	上四六	製判	120	一、三〇	大地	月二〇	▲輝やかしく描み多い青春時代の生活の抒情詩。寶石の断面の如く妖しい、光を放つ詩品。
南小路薫	杭	の	並四六	製判	80	一、五〇	大地	月五	▲杭、沼田町、遺族、査問の日、村の運動會矢筒、斷片、先生、教へ子に、作斷片。
小林定治	笑	の	並四六	製判	60	一、五〇	大地	月二〇	▲笑の降る日、春來い、斷片、職を求めて、軍國主義政策、手紙、こがらし。
塚中時郎	A	の	上四六	製判	144	一、〇〇	大地	月一	▲著者の第一詩集にして、詩生活八ヶ年の作品の中より撰出したるもの。
羽地恵信	歪んだ感傷	の	上四六	製判	142	一、〇〇	大地	月五	▲著者の第一詩集にして琉球を郷土とせる色彩に富む。

佐野量廣	大地の濶	ひ	並四六	製判	126	一、八〇	大地	月六	▲著者の第一詩集にして、主として田園をうたへる昭和五年度の詩を収む。
淺海陸一	闊	の	並四六	製判	100	一、五〇	大地	月十	▲著者の第一詩集にして、静かなる哲味ある詩が多い。
宮川静子	赤旗を高く掲げて	て	上四六	製判	200	一、〇〇	大地	月八	▲俺達の闘士宮川の近代詩一八〇餘の何れも悲愴な生活断面を記すもの(發禁)
林柳波	集詩水	の	布面	製判	367	一、五〇	大地	月八	▲詩。小曲篇、民話、童話篇の三篇にて蝶一つ、知らぬ顔して外百五十四篇を収む。
寺下辰夫	小曲集情ゆめがたみ	の	布面	製判	229	一、八〇	大地	月五	▲埋もれし春、雨に憶ふ、秋愁、たそがれ、暮春悲曲其他數十篇を収めた抒情詩集。
清水三重三	小唄と繪	の	上四六	製判	179	一、五〇	大地	月二〇	▲粉雪、ひとり寝て、時雨等佐藤氏の作品百篇に三重三畫伯の繪を配せるもの。
詩人協會編	一九三一年詩集	集	並四六	製判	237	一、五〇	大地	月四	▲詩人協會々員の作品を網羅せるもので、作者百十八名、作品数百三十六篇。
日本プロレタリア作家同盟編	本プロレタリア詩集	集	並四六	製判	169	一、四〇	大地	月八	▲入管萬歳!(新井徹)女子軍の意氣(石井秀)支那(高木進二)外廿篇。一覽禁止
信濃藝術協會編	信濃詩人年刊詩集	集	上四六	製判	200	一、〇〇	大地	月四	▲信州詩人十七名の力作掲載す。巻頭に詩運動の過去現在及び未來を記し詩人略歴を附す
壽岳文章譯	プレイク抒情詩抄	抄	並四六	製判	101	一、二〇	大地	月六	▲シリナム・プレイクの作品から中期以前の抒情的な詩五十六篇を採録。附録二篇。
喜志邦三譯	現代イギリス詩集	集	並四六	製判	156	一、八〇	大地	月九	▲トマス・ハーテイ其他現代イギリスの詩人八十六名、一人一篇の譯詩集。
喜志邦三譯	現代アメリカ詩集	集	並四六	製判	152	一、三〇	大地	月三	▲定評ある現代アメリカの詩人の作を輯めたもので、ロバート・フロスト其他

小原野十次郎	大木篤夫	尾山篤二郎	安部忠三	安部忠三	金澤種美	大熊長次郎	寒川陽光	土齋藤文茂	土齋藤文茂	佐佐木信綱	吉井勇
アメリカプロレタリア詩集	千夜一夜詩集	短歌論	短歌	歌壇史稿	短歌への認識	晩歌	子規歌論	左千夫歌論	左千夫歌論	短歌入門	短歌入門
並四六製判	洋四六製判	布四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	布四六製判	並菊半製判	並菊半製判	上四六製判	並三五製判
151	536	466	323	333	301	300	268	468	267	326	116
六〇	六〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇	四〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	二〇〇
彈道社	春陽堂	出版部	出版部	出版部	白帝書房	白帝書房	改造社	岩波書店	岩波書店	改造社	誠文堂
月一	月九	月一十	月六	月七	月九	月十	月六	月八	月十	月十	月三
▲現代アメリカのプロレタリア詩人群よりシ オグアニツチ外十四詩人の作品を収む。	▲讀頌の詩、戀の詩、別離の詩其他に分けて 千夜一夜の詩を譯し収む。	▲歌に就いての斷想昭和百人一首を讀む、松 の花」を讀む其他論策及感想隨筆を収む。	▲短歌に就いての評論集で、字餘り短歌の研究 新しき韻律の胎生其他。	▲尾上柴舟論覺書、歌壇一九三〇年度報告書 新詩社に就て外五篇。	▲短歌とは何ぞや、短歌と表現、歌はやめら れない外三篇。	▲晩歌、臨終記、初期の作品、屋上の土私 鈔、獨行道外故古泉千樞に關する四篇。	▲歌よみに與ふる書、曙覽の歌、短歌第二句 切の一種外三篇。	▲伊藤左千夫の著作中、和歌に關する論說、 手記、尺牘及び詠草批評の類を蒐編す。	▲源實朝の歌一首、岩橋桐氏に答へる、新し い歌と歌の生命外十五篇。	▲短歌に就いて心得べきことを總論本論結論 と系統だてて、最も平易に説述。外篇短歌雜記。	▲極めて平易に短歌に就て述べたもので、歌 とはどんなものか外二篇。

橋田東聲	四賀光子	星野武男	松村英一	百田宗治	川田順	高田保馬	内山丹然	藤木末春	加藤哲雄	小日山直登	武田四季
短歌	和歌作者のために	明治天皇御製新講	春の歌評釋	兒童をうたへる詩歌	歌謡	歌ふるさ	歌やよひまで	歌昏の歌	農夫哀歌	黄塵	利の外
上四六製判	洋四六製判	洋四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	並菊半製判
261	156	340	219	508	268	183	129	114	287	205	145
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
出版部	木鐸社	交關社	白帝書房	厚生閣	改造社	日本評論社	素人社	紅玉堂	天人社	大阪屋號	武田家
月一十	月一	月二十	月六	月二十	月九	月五	月十	月一十	月三	月一	月一
▲批評と添削、寫生、態度、歌格の研究、師 弟關係、歌の歴史外七篇。	▲初學者の爲めに作歌法を説き添削の實例を 示した名歌及び現代名歌の評釋鑑賞法を示す	▲御製の理想、國家の生命、皇室の剛健性、 神國日本、新年の御製外廿三篇。	▲現代作家のすぐれた春の歌を収めて註釋せ るもので、正岡子規の歌其他。	▲兒童をうたへたつた萬葉より現代までの日本詩 歌を収め隨所に斷片的な鑑賞等を挿入す。	▲川田氏の所謂「滿鮮旅行時代」の作四百四 十二首を収めた歌集。	▲「秋の風云ふ白川に花つめる君が手ばかり 淋しきはなし」外五百數首を収む。	▲「屏近き庭木も白く元且のま書を雪のふり つもりをり」外三百四十七首を収む。	▲「目の前に飛べる埃のいと細きそのゆく へを見つむる心」其他を収めた歌集。	▲「豆打つと筵敷きなめし庭の面あきらけき かなげふの秋はれ」外七百廿六首。	▲前滿鐵理事小日山氏の第二歌集、曠原以下 の短歌及び隨筆會津の籠城と女性の歌。	▲印刷も製本も一切武田氏の手に成る自費出 版の歌集。

文學(歌集)

門間春雄	中村憲吉	加納曉	今井邦子	築地藤子	佐佐木信綱	中村美穂	浅野豊子	青垣會編	橋本徳壽	松本松五郎	大脇月甫編	土江若歌
アララギ詩集(29)	アララギ詩集(30)	アララギ詩集(31)	アララギ詩集(32)	アララギ詩集(33)	心解詩集(50)	みづがき詩集(1)	あけび詩集(3)	青垣詩集(1)	青垣詩集(2)	青垣詩集(3)	青垣詩集(4)	八合詩集(1)
雄歌集	雷集	曉歌集	草集	子の葉集	顔集	げ集	か集	第一集	石集	和集	潮集	抱く時集
布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判
167	300	275	355	283	177	359	235	245	256	227	660	273
一、八〇	二、〇〇	二、三〇	二、三〇	二、〇〇	一、七〇	一、八〇	一、三〇	一、二〇	一、一〇	二、〇〇	一、三〇	二、三〇
岩波書店	古今書院	古今書院	岩波書店	岩波書店	新撰書院	みづがき社	天人社	青垣發行所	青垣發行所	青垣發行所	青虹社	八合社
月六	月八	月四	月七	月六	月八	月十	月三	月一	月六	月十	月九	月一
▲「をさな兒をなだめかへして山ゆく」と綱の啼く森にいりけり」外二百三十八首を収む。	▲「日のうちは向う一わたり夕橋をかへるにさむし堂島の風」其他を収む。	▲「影深く地に揺れぬるを此の樽上枝ほそほそ地に揺れぬるを」外六百四十四首。	▲「全くに飛雨となりし一本の楓の茂りに飛び入る小雀」其他を収む。	▲「木々の上を煙行く見ればこころ悲し煙の下に働く人ばも」其他を収めた歌集。	▲「童子がほろりあげては手にうくるトマトきらら光る棧橋の上」その他を収めた歌集。	▲「眞夏日に黒蟻ここのだあつまりて職ひ居たり榮畑の路に」以下八百十九首を収む。	▲「色あせし兄の着物をきせられて門の日向に立てる童女」外六百十九首。	▲短歌雑誌「青垣」に掲載された諸家の短歌中より一八四六首を選び収む。	▲「妹が國わが下思ひし上つ毛の黒瀧山をけふ見るらむか」外六百三十一首を収む。	▲歌集	▲歌誌「青虹」の主張とせる心覺味旺盛せる同人社友三百名の既往の作を収めた歌集。	▲大正四年以降昭和四年に至る前後約十五ヶ年間に互る土江氏の短歌七百四首を収む。

文學(歌集)

飯田兼治郎	石井直三郎	井上雪下	湯本喜作	鈴木北溪	山崎等	萍水馬季	前田源	斎藤吉吉	中野文吉	石川啄木	平野萬里編	アララギ同人編	日本歌人協會編
集歌青	集歌青	集歌雪	集歌緑	集歌町	集歌桑	集歌節	集歌青	訂増左千夫歌集	短歌集	冬柏集	アララギ詩集(45)	アララギ詩集(46)	アララギ詩集(47)
支那	樹廊	玉	廊	鴉	實	風	鳩	歌集	歌集	歌集	歌集	歌集	歌集
布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判	布面四六装入判
151	107	385	163	334	378	170	183	450	332	264	280	434	
一、〇〇	一、三〇	二、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	
短歌月刊社	水麿社	水麿社	水麿社	潮音社	潮音社	白帝書房	白帝書房	岩波書店	改造社	冬柏發行所	岩波書店	アトリエ社	
月一十	月十	月十	月六	月一十	月六	月九	月一十	月一	月一十	月四	月二	月四	
▲「飢えたものの目が行衛のない己の旅を念きたてるのではないか」外二百八首を収む。	▲水麿叢書第十二編。歌数二〇〇首。	▲水麿叢書第三十四編。歌数一七〇〇首。	▲尾上榮舟氏序。石井直三郎氏跋。歌数二〇〇首。水麿叢書第二十八編。	▲都會人たるこの作者の見て来た甘酸から苦鹹への逆旅の生活の記録が此集である。	▲農作人の集。野趣と放逸と併せて田園の哀愁とを含む。	▲自由律短歌集。	▲短歌集。	▲「左千夫歌集」(大正九年版)新に長短歌二三五首を選び加へた伊藤左千夫の歌集。	▲「東海の小島の磯の白砂にわれ泣きぬれて蟹とたはむる」以下五百五十首を収む。	▲歌千五百餘首を選集し作者の氏の五十音順に従つて収めた歌誌「冬柏」の歌集。	▲歌誌「アララギ」第二十二卷中より岡、齋藤、中村、土屋の四氏が選び収む。	▲歌人協會員諸氏の昭和四年十一月より同五年十月迄の作品を収録。	

俳論・作句法・評釋

勝實菊治編	現代一萬歌集	洋函四六 布入判	二、三〇	大地社	月四	▲多くの歌人の歌を春以下諸項に分けて蒐載したものである。
中等國語教育會編	日本短歌讀本	洋函四六 布入判	一、七五	文録社	月六	▲現代、近代、勅選集時代、萬葉集時代に分け八十二氏の歌を収めた國語科副讀本。
かへて同人合著	俳論閑	上函四六 製入判	二、三〇	營來書屋	月七	▲かへて同人の俳論を十五篇に分ち六十四章を収めたもの。
萩原井泉水	芭蕉入門	布函四六 製入判	二、〇〇	春陽堂	月七	▲奥の細道を語る、芭蕉の俳句より、芭蕉の言葉よりの三篇より成る芭蕉研究。
二瓶一次	芭蕉に參ずる心	布函四六 製入判	一、三〇	厚生閣	月三	▲芭蕉の代表作「奥の細道」に據つて描いた「芭蕉に參ずる心」及び芭蕉斷片を収む。
西谷碧落居	一茶の再吟味	布函四六 製入判	一、四〇	交蘭社	月一	▲人間一茶の總評(出郷の一茶外七篇)俳人一茶の檢討(模倣時代外六篇)。
西谷碧落居	俳人漱石論	布函四六 製入判	二、三〇	厚生閣	月五	▲鬼城論、温亭論、鬼貫の詩趣、加賀の千代論、蕉門の三人、俳諧雜筆其他六篇。
水原秋櫻子	俳句新講	布函四六 製入判	一、〇〇	牛山堂	月十	▲春夏秋冬に分け二百に近い数を評釋すると共に裏にかくれた作者の心を説けるもの。
黎明居紫舟	俳句三十講	布函四六 製入判	二、〇〇	上田泰文堂	月十	▲初學者の爲めに俳句必需の事項三十條を擧げて説けるもので、俳句の概念外廿九篇。
萩原井泉水	新俳句座談	布函四六 製入判	一、二〇	春秋社	月四	▲放談を語る外十三篇にて井泉水及びその一黨の諸氏が新傾向の評釋をなしたるもの。
伊東月草	俳句の作り方入門より妙味	上函四六 製入判	一、〇〇	交蘭社	月九	▲春夏秋冬の四部に分け參考句二百餘句を収めて其句作境地を説明す。
森行人	俳句の作り方入門より妙味	上函四六 製入判	一、三〇	文花堂	月十	▲上段に俳句の作り方と俳諧の史考、中段に四季の俳句作例と註釋及下段に季典を収む。

俳句集

俳句月刊社編	俳句季密	布函四六 製入判	二、三〇	素人社	月六	▲句作の實際に役立つやう難題には一々平易な解説を施せる季寄。
宮田戊子	大昭和修葺事記	布函四六 製入判	二、三〇	近代文藝社	月六	▲古今の季題を網羅し、優秀なる例句を添へて解説せる歳事記。
松本仁	俳句表現辭典	上函四六 製入判	一、〇〇	出版部	月九	▲近代俳句にあらはれた語句を五十音順に配列して解説を施せる辭典。
川島露石	一茶俳句新釋	布函四六 製入判	一、三〇	大地社	月三	▲一茶俳句新釋(春の部外四部)遺著の部(おらが春外一篇)附録(一茶小傳外一篇)。
資文堂編	芭蕉の名句	上函四六 製入判	一、三〇	資文堂	月一	▲俳聖松尾芭蕉の作品を収めて評釋せる書で「誰れ人が菰着てゐます花の春」其他(普及版)。
白田亞浪	評一茶の名句	上函四六 製入判	一、三〇	資文堂	月一	▲「家なしも江戸の元日したりけり」外一茶の作品中百數十に評釋を加へたもの。(普及版)
白田亞浪	評一茶の名句	上函四六 製入判	一、三〇	資文堂	月一	▲正岡子規に就て述べ且つ彼の俳句五十餘句を評釋す。(普及版)
萩原井泉水編	俳人讀本	布函四六 製入判	一、八〇	春秋社	月二十	▲僅かの時間に讀み得られる程度の古人の俳文俳句を輯めたもの。
交蘭社編	俳句手帖	布函四六 製入判	一、四〇	交蘭社	月二十	▲句帖、季題集、備忘録、切取紙、題句自署用紙、俳人の必要手帖である。
中内蝶二	俳句大觀	布函四六 製入判	二、三〇	近代文藝社	月三	▲一月より十二月迄の文章と俳句の作り方及作例を録す。
水原秋櫻子選	俳句集	上函四六 製入判	一、〇〇	素人社	月二十	▲句集「葛飾」以後の句百十七句を春夏秋冬に分け収む。
水原秋櫻子選	俳句集	上函四六 製入判	一、〇〇	素人社	月二十	▲俳句雜誌「馬酔木」より春夏秋冬に分けて選り収めたもの。

烟耕一	句露	坐	上四六判	122	一、〇〇	六月	素人社	▲「元日を起き出でれば暮れにけり」外新年、春夏秋冬に分け收む。
勝峰晋風選	句集	あさぼらけ	布四六判	128	一、八〇	二月二十	黄橙發行所	▲俳句雜誌「黄橙」の昭和五年九月より同六年九月に至る一ケ年に涉つて選抄せる句集。
青木月斗選	分類同人俳句集		布四六判	302	一、五〇	三月	同人社	▲季節を網羅せる俳誌「同人」の句集で總數約千百題四千句を收む。
佐野青陽人編	曲水俳句集		布四六判	242	一、五〇	一月	曲水社	▲俳誌「曲水」十五卷一號より同十一號迄の句を水巴、沐冠人、月笠の三氏が選んだもの。
伊東月草天編	草上俳句集		上四六判	183	一、五〇	二月	草上書屋	▲俳誌「草上」昭和四年十月號より同五年九月號に至る中より選び收めたもの。
松原地蔵郎編	昭和模範句集		上四六判	606	一、八〇	七月	素人社	▲春、夏、秋、冬、新年に分け現俳壇の諸派を網羅せる句集。
金兒杜鵑花編	最新傑作句集		布四六判	336	一、〇〇	六月	春洋社	▲現俳壇の諸派を網羅せる句集。附現代俳人名簿、俳句雜誌一覽。
白永社編	俳句集		並四六判	341	八〇	八月	白永社	▲俳句の爛熟期とも云ふべき大正昭和の諸俳家の句を春夏秋冬新年に分け輯録す。
表文堂年刊	俳句集		並四六判	469	二、〇〇	二月	表文堂	▲昭和四年十二月より同五年十月までの各新聞雜誌中より俳句及記事目錄其他を收録す。
俳句集編纂所	俳句集		並四六判	309	六〇	十一月	白永社	▲其角嵐雪去來丈草支考許六野坡北枝杉風越入等蕉門十家の句を類題體に輯録す。
星野麥人編	蕉門十哲句集		並四六判	240	一、二〇	五月	駘大氏々堂	▲川柳は生きてゐる、川柳のイデオロギイ、川柳のナンセンス外十四篇。
小林鶯里	川柳の社會觀		布四六判	256	一、三〇	八月	文藝社	▲五十音順に語彙排列せる古川柳辭典。

湯朝竹山人	歌謠	楳稿	上四六判	405	二、三〇	九月	東北書院	▲小唄の作者、民謡研究對策、歌謠漫録、東洋音樂の交渉外冊篇。
圓田陽一編著	全・長崎縣歌謠集		背四六判	473	三、〇〇	九月	交蘭社	▲俚謡又は巷歌童謡等の名を以て呼ばれるもの二千餘首を長崎縣下より蒐録せるもの。
北原白秋	北原白秋地方民謡集		布四六判	398	二、〇〇	九月	博文館	▲白秋氏が特にその土地々々の依頼に應じて作した民謡と新曲を蒐録せるもの。
福島貞夫	民謡片割れ		上四六判	75	四〇	二月	聖詩人社	▲海の唄、アカシヤの花、行々子、片割れ月秋の旅、こぼれ雨外廿五篇。
松村又一	民謡棒の葉卷		上四六判	154	一、〇〇	七月	現代評論社	▲蠶豆打の唄、そなた草木瓜、赤い罌が、葛飾田市、酒と戀外二十六篇の民謡集。
網島嘉之助	地球の命		上四六判	98	四〇	三月	大地舎	▲著者の第三民謡集にして昭和五年二月より同六年一月までの民謡を收む。
廣瀬充浮	世小路		上四六判	96	四〇	十月	大地舎	▲著者の第二民謡集にして生活を直視せる純藝術的な民謡。
古賀秋帆	民謡鳥貝		並四六判	30	二、五〇	五月	詩と音樂社	▲鳥貝其他十數篇の民謡作品を集輯せるもの。
穂曾谷秀雄	今日の民謡(民謡)		上四六判	69	六〇	八月	レビユー社	▲煙草節、ぎんねづみ、お銀の唄、荒川花見音頭其他十八篇を收めた民謡集。
古谷玲兒	民謡胸ざわぎ		並四六判	82	六〇	九月	詩と文學社	▲ほたるの唄、胸ざわぎ、自殺者篇、小唄篇に分けて民謡廿二篇を收む。
巽聖歌	童謡雪と驢馬		布四六判	156	一、八〇	十二月	アルス	▲水口、冬田、母はとつと、鴨の越えてくカラクン鳥、はさみ外五十二篇の童謡集。
澤渡吉彦	童謡さくらんぼ		並四六判	25	二、〇〇	八月	詩と音樂社	▲さくらんぼ、炬たつ、雪ふり、ふりそで、其他を集録す。

文學(小説・戯曲)

穂曾谷 秀雄	中 井 修	鹿島 鳴 秋	佐宗 遼 夢	細田 静 夫
作 曲 傘 させ お月さん	新 小 旅 の たわごと	民 謡 小 唄 新 曲 集	詩 金 の 風	民 謡 詩 人
並 五 冊 41	上 四 六 冊 208	並 三 五 冊 114	洋 菊 半 冊 160	上 四 六 冊 40
一、三〇	一、三〇	二、〇〇	一、三〇	一、三〇
詩と音楽社	文藝春秋社	誠文堂	小春社	詩と音楽社
月 五	月 十	月 二	月 七	月 七
▲作曲された童謡作品の集録、傘させお月さん、他十数篇の作品集。	▲小曲、歌舞伎小唄、新小唄、流行小唄、新民謡、童謡等を収む。	▲現今最も多く唄はれてゐる民謡、小唄の代表的なものを選り収めたもの。	▲民謡叢書第五篇。作家自選民謡十六人集である。	▲民謡集一覽、民謡集一覽と民謡、全國民謡詩雑誌一覽、全國民謡詩人録。

(D) 小説・戯曲

永井 荷 風	横 光 利 一	中 河 與 一	中 河 與 一	井 伏 鱒 二
つゆのあとさき	機	集小説海路	ホ	テ
布 四 六 冊 456	上 四 六 冊 291	上 四 六 冊 312	上 四 六 冊 506	上 四 六 冊 393
一、三〇	二、〇〇	二、〇〇	一、三〇	一、三〇
中央公論社	白水社	第一書房	赤 爐 閣	春 陽 堂
月 十	月 四	月 一十	月 三	月 八
▲つゆのあとさき、あぢさゐ、榎物語、かたおもひ、夜の汽車外三篇の小説集。	▲機、時間、鞭、鳥、高架線、眼に見えた風、父母の眞似、悪魔等八篇の短篇集。	▲アルセンチンの女、海路歴程、スペインの金貨、播かれる人種外十四篇。	▲舞踏教師と花、ホテルQ、夜の幻想曲、愛の技術家、道化者の譯外廿三篇。	▲丹下氏部、淑女のハンドブック、晩春、夜ふけの客人、仕事部屋外九篇。

文學(小説・戯曲)

山田 一 夫	梶井 基 次 郎	下 村 千 秋	下 村 千 秋	林 美 美 子	片 岡 鐵 兵	中 勘 助	倉 田 百 三	武者 小 路 實 篤	佐 藤 惣 之 助	佐 左 木 俊 郎	翁 久 允	十一 谷 義 三 郎
夢を孕む女	樺	遍 路 行 錄	天 國 の 記 録	彼 女 の 履 歴	娘 三 人 記	菩 提 樹 の 蔭	集創作多	實 朝 の 死	凄 氣 之 死	街 頭 偽 映 鏡	アメリカルンペン	近 代 愛 戀 帖
上 四 六 冊 370	上 四 六 冊 271	上 四 六 冊 444	上 四 六 冊 518	並 四 六 冊 297	上 四 六 冊 352	布 四 六 冊 364	布 四 六 冊 334	並 四 六 冊 135	並 四 六 冊 232	並 四 六 冊 506	上 四 六 冊 403	並 四 六 冊 271
二、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	二、〇〇	二、〇〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、五〇	一、三〇
白 水 社	武 藏 野 書 院	中 央 公 論 社	中 央 公 論 社	改 造 社	先 進 社	岩 波 書 店	先 進 社	日 向 堂	日 向 堂	赤 爐 閣	啓 明 社	四 六 書 院
月 一十	月 五	月 八	月 二	月 八	月 三	月 三	月 八	月 三	月 一	月 三	月 三	月 六
▲夢を孕む女、土耳其風呂、或夜の無畫庵、うたたね、年の暮外十篇の創作集。	▲樺、城のある町にて、ある心の風景、冬の蠅、闇の繪巻外十三篇を収めた創作集。	▲遍路行、五合庵の秋、曲馬園の「トツテンカン」れぐら外四篇の創作集。	▲虐げられた駆落者を描いた「天國の記録」と街の放浪者以下ルンペン物八篇を収む。	▲風琴と魚の町、彼女の履歴、世の常の戀、春の大佛、浅春譜外四篇の創作集。	▲一つの性格、鼠、出世ばなし、呷鳴る彼奴愛情の問題、娘三人記の六篇を収む。	▲病床、兵營、衛戍病院、妹の死、貝桶、菩提樹の蔭外二篇。	▲冬鶯、たままつり、小さい盗人、桃と雪、或る女形役者の死等五篇の創作集。	▲實朝の死、腦の洗濯、詩人の夢想の三篇を収む。	▲一市民の線畫、動物學初歩外六篇の短篇小説及び脚本星天の男女田舎祭を収む。	▲街頭の偽映鏡、或る不良少女の記録、栓の出来ない話外廿篇の短篇集。	▲アメリカカハ渡航して女や酒や賭突に目をくらすルンペン達を描ける小説十二篇。	▲近代愛戀帖、みづく新聞、あめりか男爵の思案の三篇を収む。



文學(小説・戯曲)

浦路耕之助	坂部護郎編	文化書房編	野長瀬正夫	有島武郎	夏目漱石	志賀直哉	廣津柳浪	藤森成吉	廣津和郎	畑耕一	賀川豊彦	小澤政衛	
滿洲事變と、朕が密偵	小山岳三 小説集	教員生活創作集	若き女教師たち	有島武郎全集(1)	倫敦塔・その他	好人物の夫婦	今戸心	土堤の大會と改竄茂左衛門	選新廣津和郎集	女たらしの昇天	柘榴の半片	小説麻生十郎	
並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	
470	224	452	300	584	98	187	288	286	508	300	174	169	
一、三〇	一、三〇	一、七〇	一、〇〇	三、三〇	二、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	八、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	四、〇〇	一、三〇	
赤燻閣	四六書院	文化書房	文化書房	新潮社	春陽堂	改造社	改造社	中外書房	改造社	新思想社	教文館	潮聲詩社	
月二十	月六	月七	月一十	月一十	月一十	月二十	月六	月一十	月五	月八	月九	月四	
▲ある戀愛闘争、母、戀愛結婚制度、男女同權、きよつちよの甚外小説戯曲十篇	▲かんく、蟲、お末の死、カインの末裔、草いきれ、たとへばなし外廿三篇	▲女教師、二軒長屋、R停車場附近、メエ・フラリア號の歸り其他を収む	▲すべて空し(三浦藤作)戀愛と女喪(千葉春雄)その翌日(池田小菊)外十七篇	▲三人と死、ヒマラヤの怪、天險アルプスを越えて外十篇を収めた山岳短篇小説集	▲滿洲事變の導火線、世界大戦をスバイする黒衣の武人外九篇の短篇集	▲好人物の夫婦、弟の歸京、廿代一面、山科の記憶、痴情外五篇の短篇集	▲倫敦塔、幻影の盾、蕪露行	▲今戸心中、雨、變目傳の三篇を収む	▲同志、土堤の大會、應援、病床から、金目王子の話、礫茂左衛門二篇	▲薄暮の都會、少年の夢、入院外小説十三篇及戯曲勝者敗者(一幕)外一篇	▲隨筆、コント、小品劇、小型映畫脚本、新影繪劇等を収めたもので、第三の眼外卅三篇	▲管健吉氏の上京、或る母親と息子、雨、麻生十郎外四篇の小説集	▲柘榴の半片、黄昏の道、輕業師の三篇

文學(小説・戯曲)

岡田五郎	小川未明	神近市子	前田河廣一郎	武田麟太郎	徳永直	徳永直	徳永直	小林多喜二	小林多喜二	加藤武雄	中村武羅夫	菊池寛
生活職文庫第三期資本主義	日本プロレタリア創作集(3)	日本プロレタリア創作集(1)	ソヴェートの連中と房吉	脈打つ血行	戦列への道	輻重隊よ前へ!	赤い戀以上	オグル	東俱知安行	加藤武雄讀物選集	中村武羅夫讀物選集	菊池寛讀物選集
並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判
321	580	237	352	400	342	125	321	180	230	420	427	416
一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
洋々社	解放社	解放社	創建社	内外社	改世社	内外社	内外社	戦旗社	改造社	新潮社	新潮社	新潮社
月四	月五	月三	月二十	月六	月九	月四	月三	月七	月三	月九	月八	月八
▲一九二九年の中頃から一九三〇年春迄を材料に所謂第三期資本主義の現實を描く	▲新しい町の挿話、氷の國へつゞく路、彼等蘇生へらば外十四篇	▲ある鼻の改造外二篇	▲未来をめぐる幻影、アイデアリストの死、ある鼻の改造外二篇	▲脈打つ血行、箱の中の夏、誰でも云ひたい獨り言、氷の外十五篇のプロ創作集	▲モダン日本の生んだ國際的労働者房吉のロシヤに於ける労働體験談	▲戦列への道、清吉は正しかったか? 豊年飢饉、苦しい道外九篇	▲赤い戀以上、頂點に立つ、銀行合併、豊年飢饉、赤色スポーツ、無産者の戀	▲階級的消費組合の労働者闘争に於ける活動を描ける「都市労働者への應援闘争」外二篇	▲戦列への道、清吉は正しかったか? 豊年飢饉、苦しい道外九篇	▲東俱知安行、萬歳々々、蔽入、健、最後のもの、瀧子、同志田口の感傷、女囚徒	▲オグル、獨房のプロレタリア小説二篇を収む	▲ある戀愛闘争、母、戀愛結婚制度、男女同權、きよつちよの甚外小説戯曲十篇

文學(長篇小説)

日本プロレタリア作家同盟編	農	民	の	旗	並四六判	332	一、三〇	新潮社	月一十	▲戦ひ(小林多喜二)農民文學の正しき理解のために(柴田和雄)外廿一篇の創作評論集。
入交總一郎	日本プロレタリア創作連盟(共)	入交總一郎	創作集	並四六判	229	四、三〇	解放社	月一十	▲まことの友だちと十月革命、月の光りの中で外十九篇の新興童話を収む。	
寺神戸誠一	米	に	群	る	並四六判	230	六、三〇	自治聯盟	月一十	▲米に群る、赤い地酒、喘ぐ、日傭取り、街、農奴哀史、農民小説集。
江司山治編	戦旗	三十六人集		並四六判	488	一、五〇	改造社	月一十	▲小林多喜二氏の「市民のために!」以下戦旗同盟員三十六氏の小説戯曲を蒐載す。	
貴司山治編	ナツ	ブ	傑	作	集	並四六判	431	一、五〇	▲戦列への道(徳永直)大平の雪(江口漢)別れ(窪川いれ子)外十一篇。一冊費禁止!	
江司山治編	文	戦	1931	年	集	並四六判	549	一、〇〇	▲人間肥料(葉山嘉樹)泣いてゐるのだ(山本和子)なま(鶴田知也)外十八篇。	
文學評論編輯部編	精銳	十人傑	作	集		上四六判	200	一、〇〇	▲亡び行く者(武野藤介)海百合について(佐藤徳之助)外八篇。	
文學家協會編	日	本	小説	集		並四六判	394	一、五〇	▲青きドナウ(淺原六朗)赤色スポーツ(徳永直)鞭(横光利一)外十七篇。	
松岡	松岡	讀	憂	鬱	な	愛	下	卷人	月一十	▲小説家加島昌造と藝妓瑛龍との情事を中心
佐藤	春	夫	心	騙	れ	る	女		月一十	▲有名なる有島事件を配した長篇小説。
谷崎	潤	一	郎	卍	(ま	ん	じ)		月一十	▲關西式の若夫人柿内園子が光子との同性愛を物語つた長篇。
里	見	淳	安	城	家	の	兄	弟	月一十	▲百萬長者の心騙れる一人娘金子を中心に尖鋭せる時代相を捉へて描ける長篇小説。
長	篇	小	説							▲モデル小説として有名な長篇。

文學(長篇小説)

野上彌生子	眞	知	子	並四六判	430	一、五〇	鐵塔書院	月一十	▲専門學校出身の才能のある美しい娘眞知子を主人公とした長篇小説。	
菊池寛	有	愛	華	並四六判	409	一、三〇	新潮社	月一十	▲戀愛に破れて舞臺に更生する秀作と光枝兄妹を中心とした長篇小説。	
菊池寛	心	の	日	月	並四六判	486	一、三〇	講談社	月一十	▲強ひられた結婚を嫌つて家出した一處女のその後の苦闘を描ける長篇小説。
長田幹彦	緑	衣	の	聖	母	並四六判	362	一、三〇	▲水泳選手秋田英輔を主人公とした長篇小説。	
中村武羅夫	小説	判	嘆	き	の	都	並四六判	642	一、六〇	▲愛慾と苦難の巻を脱して修道院に奔つた長田氏の令妹を取扱つた事實小説。
佐藤紅緑	野	に	叫	ぶ	もの	給	並四六判	458	一、六〇	▲清らかな田園に育てられた一少女と二青年が大都會に於ける苦闘を描いた長篇。
廣津和郎	女					給	布四六判	260	一、二〇	▲銀行の破綻から悪魔の如き相場師となつた福原健及びその周囲の男女を描いた長篇。
牧逸馬	海	の	な	い	蠟	燭	並四六判	488	一、三〇	▲誰れの庇護もなく浮世の荒い波風と闘ふ女給小夜子の奇しき半生を描いた長篇。
龍騰寺雄	燃	え	な	い	蠟	燭	並四六判	253	一、〇〇	▲飾り窓の中の人魚、四輪の騎士、心臓のエルドラド外十三項より成る長篇。
群司次郎正	ミ	ス	・	ニ	ツ	ボン	並四六判	446	八、〇〇	▲霧に明ける街、新居、幸福の天使外十二項より成る長篇小説。
畑耕一	毒					唇	上四六判	628	二、〇〇	▲女重役と女××黨員、近郊發達地帯新風景の上下より成る長篇。一冊及版。
丸木砂土	東	京	の	女	王	上四六判	588	一、二〇	▲絶望から、青い花、戀せぬ人、物言はぬ瞳外十六項より成る長篇小説。	
文學	三	一	七							▲マネキンの下枝と光子とを中心にした長篇小説。

文學(長篇小説)

直木三十五	細田民樹	細田民樹	徳永直	戸塚松子	戸塚松子	植原一	濱田根尾	濱田糸衛	賀川豊彦	黒田右馬三	富田岩代	磯部眞壽造
青春行狀記	愛	生活線ABC	何處へ行く?	命の母	具體化	蒼白きインテリ	夢	伏	一粒の麥	都市	生きる	消えゆく灯
上四六	上四六	上四六	並四六	上四六	上四六	布四六	上四六	上四六	布四六	並四六	並四六	布四六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
762	582	804	331	556	358	284	198	233	374	296	553	326
一、八〇〇	一、三〇〇	一、七〇〇	一、五〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、三〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
中央公論社	新潮社	中央公論社	改造社	赤爐閣	赤爐閣	弘文館	春秋社	春秋社	講談社	春陽堂	山洞書院	洋々社
月一十	月六	月二十	月九	月二十	月八	月一十	月十	月十	月二	月十	月三	月六
▲一人の男性を繞る四人の女性が幾度か危機に立ち争ふ性の闘争を描ける長篇小説。	▲純潔聰明な志摩子、熱烈な反抗兒時枝、不美の戀に悩む令子の三人三様の戀愛苦を描く。	▲没落の悲運に見舞はれた母子三人が東京へ出てからの新しき生活と戀愛を描ける長篇。	▲十年前以下第三信まで十二項より成るプロ長篇小説。	▲現代の複雑な社會相に生きてゆかうとする青年男女の若き成長過程を描ける長篇。	▲省みられざる實子への愛の爲に不遇の一生を終つたお絹を主人公とせる長篇。	▲自分自身の弱い妻にのみ反抗して行くインテリ幹夫を主人公とせる長篇。	▲長篇小説。	▲長篇小説。	▲悪の巢の如き境遇に生ひ立つた青年嘉吉が強き人生に眼覺めてゆく経路を描ける長篇。	▲都會文明の前に崩れ行く農村の姿を描ける長篇小説。	▲農村の人々を描いた長篇小説。	▲消えゆく灯(晩鐘、消えゆく灯)及び戯曲北國を収む。

文學(長篇小説)

夏目漱石	夏目漱石	夏目漱石	高山樗牛	龍崎寺雄	菊池寛	池谷信三郎	長興善郎	後藤藤兼文	宮原欣	石丸梧平	山部歌津子	荒木千秋
草枕	坊ちやん	虞美人草	瀧口入道	化石の街	壊けゆく珠	造かなる風	輝く廢墟	戦争	國境を超ゆれば	作改人間親鸞	蕃人ライサ	戀愛早慶
並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
156	137	408	111	297	278	330	319	389	606	250	353	312
二、五〇〇	二、五〇〇	六、〇〇〇	二、五〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	八、〇〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	三友堂	創建社	人生創造社	銀座書房	第3書房
月一十	月一十	月一十	月一十	月九	月三	月三	月一	月二十	月十	月五	月一	月七
▲長篇「草枕」を収む。	▲長篇「坊ちやん」を収む。	▲長篇「虞美人草」を収む。	▲樗牛の名作「瀧口入道」を収む。	▲象牙の骸子、十二本の手、モルマの砂人外七章より成る長篇傳記小説。	▲サロンの「鳩」のクキンと成つた和子の前後を描ける「壊けゆく珠」及び「姉妹」併載。	▲象牙の骸子、十二本の手、モルマの砂人外七章より成る長篇傳記小説。	▲特選選ばれて飛行機で使用する三橋幸夫を主人公とせる長篇で、飛行機に乗つて外七項。	▲財界未曾有のパンツクの一撃に脆くも崩壊した南郷侯爵一門の末路を描いた長篇。	▲日露戦役に出征した著者が小説風に記述したものの。	▲親鸞聖人を題材とした創作。	▲満洲を舞臺とした長篇小説。	▲順之助といふ青年を主人公とした戀愛長篇小説。

夏目漱石	長塚節	田山花袋	泉鏡花	志賀直哉	有島武郎
春陽堂文庫(6)	春陽堂文庫(4)	岩波文庫(718)	改造文庫第二部(104)	改造文庫第二部(176)	有島武郎全集(2)
四郎	節	舍教	本橋	夜行	或る女・旅する心
並菊半製載	並菊半製載	並菊半製載	並菊半製載	並菊半製載	並菊半製載
294	366	271	424	270	560
三〇	四〇	四〇	六〇	四〇	三〇
春陽堂	春陽堂	岩波書店	改造社	改造社	新潮社
月一十	月一十	月二	月十	月二十	月一十
▲長篇「三四郎」を収む。	▲長塚節の代表作として有名な長篇。	▲志を抱きながら空しく田舎に埋れて行く青年教師林清三の一生を描ける長篇。	▲鏡花氏の傑作として知られる長篇小説「日本橋」及び戯曲を収む。	▲志賀氏の自傳的長篇小説。	▲長篇「或る女」及び隨筆「旅する心」を収む。

大衆文藝・歴史小説

長谷川伸	直木三十五	直木三十五	直木三十五	直木三十五	直木三十五	直木三十五	直木三十五	長谷川伸	長谷川伸	長谷川伸	
紅編	傳八郎の疑問	關ヶ原	南國太平	南國太平	南國太平	南國太平	南國太平	馬頭の錢	源太時雨	編纂野並長八郎	
布面四六製入判	並新四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	布面四六製入判	布面四六製入判	布面四六製入判	
607	305	495	546	525	507	469	601	480	469	601	
一、五〇	〇、五〇	一、八〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	
朝日新聞社	新潮社	出版部	早稲田大學	早稲田大學	誠文堂	誠文堂	朝日新聞社	講談社	講談社	朝日新聞社	
月三	月三	月七	月一十	月一十	月六	月九	月九	月七	月九	月九	
▲無等流の達人戸並長八郎を中心とした長篇物語。カシウ吹鳴以下三十項。	▲傳八郎の疑問、浅香崩れ、關ヶ原御屏風、石田三成の四篇を収む。	▲關ヶ原を題材とした長篇で、前田利家の死以下三十一項より成る。	▲後篇は「鷹野變」から始まって「地獄」まで十項を収む。	▲中巻は「南玉奪戦」から始まって「地獄」まで十六項を収む。	▲鳥津家の齋彬派と愛妾派との争闘を中心とした長篇で、呪殺變以下死闘まで収載。	▲其の後の戸並長八郎を描けるもので、居残り椋鳥、京上り外廿八項。	▲源太時雨、振り袖勝負、夢去らずの女、背中の礫、同じ光る眼外讀物三篇。	▲お神樂師實は泥棒の馬頭の錢太郎を主人公とした長篇物語。	▲大阪陣始末當時の時代思想に生きる人々の戀愛の處理を取扱った長篇。	▲密貿易の元締シヤンスイ金右衛門と大同忠相を中心とした長篇物語。	▲續篇は鯨太郎の傳馬宇破牢より始まって江戸城の深奥にお八重と心中する最期まで。江戸幕末の傑士清河八郎を主人公とした長篇大衆文藝。

矢田挿雲	佐々木味津三	佐々木味津三	近松秋江	小島政二郎	三上於菟吉	三上於菟吉	吉川英治	吉川英治	吉川英治	長谷川伸	長谷川伸	長谷川伸
太閤	旗本退屈男	續右門捕物帳	水野越前守	新版義士銘々上巻傳	赤穂義士	清河八郎	江戸城の心中	江戸城の心中	越日本異戀	馬頭の錢	源太時雨	編纂野並長八郎
布面四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	布面四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	布面四六製入判	布面四六製入判	布面四六製入判	布面四六製入判
385	498	552	712	500	571	686	330	354	560	480	469	601
二、三〇	一、五〇	一、五〇	一、九〇	一、六〇	一、三〇	一、五〇	一、七〇	一、七〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇
寶文館	博文館	博文館	出版部	早稲田大學	早稲田大學	平凡社	先進社	先進社	講談社	講談社	博文館	朝日新聞社
月一	月一	月九	月二十	月五	月九	月四	月七	月六	月三	月七	月九	月九
▲第八篇は武田勝頼の没落と長篠役餘談に稿を起し毛利氏の崛起にまで筆を進めたもの。	▲旗本退屈男と異名をとつた早乙女主水之介を主人公とし八話より成る大衆讀物。	▲呪ひの藁人形、闇男其外むつり右門の捕物手柄話八篇を収む。	▲雪見の密談、大御所の死、水野越前守、改革の嵐、不正事件外廿九項より成る大衆讀物。	▲松は男の立ち姿、堀部安兵衛、君見すや満眼の深、赤垣源藏外六篇。	▲赤穂義士、淨瑠璃坂の仇討、伊賀越の三篇を収めた讀物集。	▲幕末の傑士清河八郎を主人公とした長篇大衆文藝。	▲續篇は鯨太郎の傳馬宇破牢より始まって江戸城の深奥にお八重と心中する最期まで。	▲密貿易の元締シヤンスイ金右衛門と大同忠相を中心とした長篇物語。	▲戀愛の處理を取扱った長篇。	▲お神樂師實は泥棒の馬頭の錢太郎を主人公とした長篇物語。	▲大阪陣始末當時の時代思想に生きる人々の戀愛の處理を取扱った長篇。	▲其の後の戸並長八郎を描けるもので、居残り椋鳥、京上り外廿八項。

山口愛川	小泉嵐雪	蘇堂學人	村上浪六	白石實三	木村毅	江原小彌太	中里介山	菊池寛	邦枝完二	野村胡堂	本田美禪	下村悅夫
新源氏物語	紅深戀情史	實話仇討物語	六鈴木新内	瀧夜叉姫	ラグーザお玉	出家良寛	大菩薩第九峠	仇討新八景	歌麿をめぐる女達	奇談クラブ	小説判覆面の女將軍	人語鳥大秘記
布四六 製入判	布四六 製入判	布三六 製入判	布四六 製入判	上四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	上四六 製入判	布四六 製入判	上四六 製入判
702	458	729	418	351	347	412	552	300	463	571	654	837
一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇
カオリ社	カオリ社	カオリ社	明文館	春陽堂	千倉書房	春秋社	春秋社	講談社	新潮社	四條書房	講談社	平凡社
月七	月七	月七	月一	月四	月四	月五	月十	月二十	月二十	月二	月五	月六
▲源氏物語を平易に記述したもの。	▲小宰相と通感、鏡山おみち、松島局と朝比奈外三篇の悲戀實話を収む。	▲鎌倉、室町、桃山、江戸、明治の各時代に別々代表的な復讐譚を収めたもの。	▲幕府の士人でありながら遊藝に身を投じた新内節の元祖鈴木新内を主人公とした長篇。	▲平親王將門が世にのこした美少女の姫瀧夜叉を主人公とせる物語。	▲生涯の大半を海外に過したラグーザお玉夫人を紹介する小説で、伊太利に旅して外七項。	▲再度の出家、新湯の娘、糸魚川、歸國外十七項にて出家良寛を描ける創作。	▲第九冊に「畜生谷の巻」及び「勿來の巻」の二篇より成る。	▲吉良上野の立場、返り討崇禪寺馬場、敵討二重奏、敵討愛慾行外四篇。	▲歌麿を主人公とせる長篇で、東風、おちうど、御殿女中、多賀袖殺し外十一項。	▲紅唐紙、魔の笛、湖心亭、女性の秘密、塾地獄の五話より成る長篇大眾文藝。	▲澁面の美勇婦を中心に好色の秀吉、妖艶の淀君忠誠無比の清正、美小姓を描ける物語。	▲人語を採る奇鳥を中心とした長篇物語。謎の鳥以下廿一項。

小泉嵐雪	田中早苗	山本三郎	松本三郎	甲賀三郎	濱尾四郎	大下宇陀見	大下宇陀見	江戸川亂歩	江戸川亂歩	江戸川亂歩	江戸川亂歩	江戸川亂歩
探偵地獄の巴里	幻賊	小説偵甲蟲殺人事件	女五人の謎	盲目の目撃者	博士邸の怪事件	宙に浮く首	宙に浮く首	恐怖の齒型	吸血鬼	獵奇の果	獵奇の果	獵奇の果
並四六 製判	上四六 製判	上四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	上四六 製判	上四六 製判	上四六 製判	上四六 製判	上四六 製判
454	356	389	311	326	322	310	417	488	413	367	384	384
一、五〇	一、五〇	一、六〇	一、六〇	一、六〇	一、六〇	一、六〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇
春秋社	白水社	新潮社	四六書院	新潮社	新潮社	新潮社	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	新潮社
月七	月七	月二十	月五	月九	月九	月一	月七	月三	月一	月五	月六	月六
▲満月殺人狂、紫外線ギロチン、怪アリバイと殺人、無苦の殺人團外探偵秘話五篇。	▲幻賊と呼ばれる、評判の怪賊を中心とした長篇物語。	▲グン・ダインの譯で、殺人外廿一項。	▲犯罪味と怪奇味をもつた事實譚を収めたもので、女五人の謎外九篇。	▲盲目の目撃者、歪んだ顔、毒蟲の三篇を収録せるもの。	▲博士邸の怪事件、不幸な人達、救助の権利の三篇を収む。	▲宙に浮く首、奇怪な日記、黄昏の怪人等怪奇小説三篇を収む。	▲宙に浮く首、奇怪な日記、黄昏の怪人等怪奇小説三篇を収む。	▲稀代の復讐鬼谷山と名探偵明智とが秘術をつくして争闘する長篇物語。	▲戯れ以下相良老人の遺書まで四十五項より成る怪奇な物語。	▲獵奇の果、白蟻編の二篇より成る獵奇者の犯罪を描いた長篇物語及び「蟲」を収む。	▲獵奇の果、白蟻編の二篇より成る獵奇者の犯罪を描いた長篇物語及び「蟲」を収む。	▲女妖江戸川蘭子を描ける江戸川亂歩外五氏の合作に成る探偵小説。五階の窓併載。

探偵小説・怪奇小説・怪談

文藝家協會編

大衆

文學(探偵小説・怪奇小説・怪談)

並四六製判

384

新潮社

月六

▲花嫁(大佛次郎)幻の森(甲賀三郎)吉神鹿毛(長谷川伸)外十六篇。

文學(諧謔小説・其他)

ア 井	酒 井	浦 路	牧 逸	小 松	菅 松	青 柳	大 關	田 中	田 中	佐 々	辰 野	櫻 關	寺 尾
ラ作 白奴	世界 秘密	世界 運命	世界 運命	世界 運命	世界 運命	世界 運命	怪談	支那 怪談	支那 怪談	權 先	サラ リマン	子	高 女
祭	話	SOS	SOS	SOS	SOS	談	談	談	談	生	講 座	猫	物
上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判
243	317	422	349	335	353	407	403	194	250	233	403	194	250
一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇
竹 醉	博 文	中 央	先 進	先 進	先 進	博 文	博 文	講 談	文 明	岩 丸	春 陽	岩 丸	文 明
月二	月三	月八	月三	月六	月四	月八	月八	月二十	月二十	月七	月七	月二十	月六
▲魅惑と雷鳴の下で、農園主邸の騒宴、狂女の悲戀、裸美競艶外三章より成る鞭打小説。 ▲暗號は何處に?、或る土官の怪失踪、迷宮の扉を開く、魔都に咲く花外八篇。 ▲生きてある戦死者、運命のSOS、ロウモンの街の自殺ホテル外怪奇實話七編を収む。 ▲笑ふ猶太人(エーヴェルス)トフアルの花嫁(エーヴェルス)外三篇を収む。 ▲ホルラ(モオバツサン)戀の吸血鬼(ゴオチエ)骸骨(ジユオツプ)外十篇。 ▲奇怪な殺人(ホワイトヘル作)見知らぬ男(ピアリス作)外十二篇を譯述。 ▲女國、仁義行、陸判、黄英、封三娘、西湖主、月前の怪異外五十七篇。 ▲北斗と南斗星、蠶のはじめ、碧玉の環飾、天臺訪隠録、狐婦外六十四篇。													

文學(翻譯小説)

大 田	前 田	水 野	杉 捷	加 藤	加 藤	森 田	森 田	森 田	佐 藤	サ トウ	サ トウ	サ トウ
別 譯	晁 譯	亮 譯	夫 譯	朝 譯	朝 譯	朝 譯	朝 譯	朝 譯	八 郎	ハ チロ	ハ チロ	ハ チロ
大	生	從	コ	祖	祖	完	完	完	エ	淺	淺	淺
地	惑	惑	惑	惑	惑	惑	惑	惑	女	歌	草	草
背四六 革入判	並編半 製載	並編半 製載	並編半 製載	布四六 製入判	布四六 製入判	背四六 革入判	背四六 革入判	背四六 革入判	洋四六 布入判	上四六 製判	上四六 製判	上四六 製判
678	131	282	224	535	566	473	486	486	385	307	284	284
一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇
改 造	岩 波	岩 波	岩 波	東 京	東 京	新 潮	新 潮	新 潮	内 外	素 人	素 人	素 人
月一	月七	月三	月一十	月一十	月七	月一十	月一十	月一十	月一十	月六	月四	月四
▲第二帝政治下に於けるフランス農民を描き所謂ゾライムを徹底的に發揮した長篇。	▲特異の社會に置かれた處女イグエントの心理を描けるモウバツサンの傑作。	▲「貧しき縁者」エピソードの第二十八より始る。	▲「コレシカ島の挿話を描いたメリメの代表的傑作の全譯。	▲波蘭が生んだ世界的大作「祖國」の續篇。	▲近世波蘭文學の明星セロムスキが余翁時代を舞臺にとつて描いた長篇傳奇小説。	▲波蘭が生んだ世界的大作「祖國」の續篇。	▲有名な「アカメロン」の全譯で、上巻には第一日より第五日までの物語りが収めてある。	▲第二巻には第五日から第十日の物語りまでが収めてある。	▲近世波蘭文學の明星セロムスキが余翁時代を舞臺にとつて描いた長篇傳奇小説。	▲波蘭が生んだ世界的大作「祖國」の續篇。	▲「コレシカ島の挿話を描いたメリメの代表的傑作の全譯。	▲「貧しき縁者」エピソードの第二十八より始る。

文學(續譯小説)

武林無想庵	佐藤野正三	花鳥克己	アンソレイ・ジイト	アンソレイ・ジイト	木村太一郎	フランシス・カルコ	堀口大	東郷青兒	武林無想庵	高橋邦太郎	山内義雄	新居格	グラマン
ソラ全形ルゴン・マカアル(3)	スワン家の方	アンソレイ・ワルテル	パリュウ	戦争の診断	追ひつめられる男	ドルチエル伯の舞踏會	戀愛株式會社	首斬りセレナーデ	肥満漢の歎き	戦争の溜息	民國大動亂	危ない曲り角	
洋四六	並編	並四六	上四六	洋四六	上四六	上四六	上四六	上四六	並四六	上四六	上四六	上四六	上四六
339	223	325	201	307	267	323	345	408	207	416	365	291	
一、五〇	一、七〇	一、五〇	一、五〇	二、〇〇	二、〇〇	一、八〇	一、五〇	一、三〇	一、六〇	一、〇〇	一、三〇	一、三〇	
春秋社	武蔵野書院	日向堂	第一書房	白水社	白水社	白水社	中央公論社	四六書院	新潮社	新潮社	先導社	建設社	
月一	月七	月四	月二	月九	月十	月二	月五	月七	月六	月二十	月十一	月九	
▲南米ギヤナの流刑地を脱出して巴里へ戻つてきたフロランを主人公とする長篇小説。	▲マルセル・ブルウスト全集「失ひし時を求めて」の第一巻「スワン家の方」の續譯。	▲「手記(白い手記、黒い手記、諸家の書簡、刊行者のノオト)詩。	▲「テイテルの日記、又はバリュウド」の覺え書に依つて作者の哲學を語つた作(長谷川己之吉版)。	▲世界大戦に醫師として参加した著者の戦争物語で、國土を通じて以下九篇。	▲巴里の場末町のどん底に蠢く人物を描いた長篇。	▲若きドルザエル伯夫妻とフランソワ・ド・セリユウズとの戀愛三角關係を描く。	▲モオリス・テコアラの原著に據つた長篇小説。	▲前篇(運命の砂時計外十項)後篇(第二の化身以下十項)より成る長篇。	▲肥つた男のセンチメンタリズムを描ける小説。	▲自身の體驗を基礎に歐洲大戦の各場面を叙述せる戦争小説。	▲渦中へ、闘争へ、カリンの三篇より成る。一改訂版。	▲現代佛蘭西の巴里派の畫家として活躍してゐるグラマンの半生を語る自傳小説。	

文學(續譯小説)

佐々木直次郎	ボオ	佐々木直次郎	伊藤野久	織田正信	平林初之輔	古庄國男	前田河廣一	牧逸馬	森岩雄	早坂ソノ	ウエーケル	三井光彌	モルナ	鈴木善太郎	原久一郎	
オ作	オ作	オ作	オ作	オ作	オ作	オ作	オ作	オ作	オ作	オ作	オ作	オ作	オ作	オ作	オ作	
群集	群集	群集	群集	群集	群集	群集	群集	群集	群集	群集	群集	群集	群集	群集	群集	
報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	
363	366	654	359	332	383	691	682	329	528	310	274	250				
二、〇〇	二、〇〇	一、〇〇	一、八〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇				
第一書房	第一書房	第一書房	春陽堂	新潮社	新潮社	新潮社	中央公論社	四六書院	新潮社	第一書房	第一書房	岩波書店				
月九	月十一	月二十	月七	月六	月八	月三	月七	月五	月六	月六	月三	月三				
▲エドガア・アラン・ボオの小説集で、メエルトロムの旋渦外九篇。	▲謎の中から出た手記、天邪鬼の鬼、アツシヤア家の崩壊外九篇。	▲獨立運動中のアイルランドの主都ダブリンでの出来事を三部にて扱つた小説。	▲英國のウルフ女史の特異性が最もよく現はれてゐる長篇の譯。	▲カルヴァトン作「不思議な戀人」リード作「革命の娘」の二篇を譯し收む。	▲不妊のために異常な煩悶をするジョルジエツトを主人公とする長編小説。	▲一九三〇年度のノーベル賞を得たアメリカの小説家ルイスの出世作の續譯。	▲無産階級の青年と少女の間に醜された友愛結婚と産兒制限の實情を取扱つた長編。	▲映畫の都ハリウッドを材としたピアトリス・アトンの女史の作を譯したもの。	▲アメリカの代表的左翼作家パソスの作で、都市は世紀の黎明を迎へる以下五篇より成る。	▲幼兒モーニを主人公として其神祕に充ちた精神生活を描ける長篇。	▲四人、四人の藝術家、成功、奥さまは嘘つき、アセザニの女外八篇の小説集。	▲ドストイェーフスキイの處女作「貧しき人」の譯。				

文學(翻譯小説)

原久一郎	愛兒トロツト	布半裝	282	三〇	改造社	二月	▲第一次革命を題材にしたアルツイバアシェフの代表作。
リシユタン	トロツトの妹	洋装四六布入判	250	一、六〇	文化書房	一月	▲トロツトといふ子供の生活を描いた小説でトロツトのクリスマス外十四項。
佐藤中	子殺す	洋装四六布入判	293	一、三〇	文化書房	七月	▲トロツトを主人公として子供の生活殊にその心理生活を描寫せる小説。
服部龍太郎	獄中性愛記録	洋装四六布入判	483	二、三〇	春陽堂	一月	▲ドイツの女優ザンザラの手になる怖るべき殺人事件を中心とした長篇小説。
酒井	印度童話集	洋装四六布入判	246	一、〇〇	風俗資料刊行會	八月	▲身を以て監獄の生活を體驗したシヨロジ女史の報告文學で、訪問時間外五章。
林光雅	その後に來るもの	洋装四六布入判	396	一、五〇	甲子社	十月	▲若い組頭の話、マイトリイバラの話外廿九篇の佛陀前生の物語集。一普及版。
黒田禮二	戦	洋装四六布入判	610	二、七〇	朝日新聞社	七月	▲戦後のドイツの兵士の生活を描いた長篇小説。
瀧本次郎	戦	洋装四六布入判	630	一、五〇	博文館	四月	▲世界大戦を背景とした小説で、前進、陣地戦、壊滅の三篇。
六笠武生	戦	洋装四六布入判	362	一、八〇	改造社	九月	▲大戦直後の混沌とした獨逸の社會状態を描ける小説で、捕虜收容所外八項。
伊地知軍司	戦	洋装四六布入判	237	一、〇〇	明星書院	一月	▲獨逸海軍士官ミュツケ中佐の原著に譯者が書き加へた戦争小説。鬼長以下五十一項。
大竹鳳一郎	歐洲大戦物語	洋装四六布入判	300	一、〇〇	人格社	三月	▲英米獨佛其他諸國の著名作家の戦争文學中より十五篇を抜萃譯出せるもの。
堀井	ボルガ・ボルガ	洋装四六布入判	294	一、七〇	春陽堂	一月	▲ゲオルカの流域に住むドイツ移民クリステイアン一家を描いた長篇。
和泉俊介	メロデー・ブロードウェイ	洋装四六布入判	335	一、八〇	春陽堂	二月	▲三十項より成る長篇物語。

文學(翻譯小説)

武田麟太郎	貧農組合	洋装四六布入判	610	一、五〇	内外社	二月	▲ソグエト藝術家聯盟に依つて推薦された革命後の傑作農民小説。
末吉	阿Q正傳	洋装四六布入判	463	一、四〇	内外社	四月	▲ハンス・ベツォルトを主人公としプロレタリアートの觀た戦争の矛盾の暴露小説。
松浦	阿Q正傳	洋装四六布入判	193	四、六〇	白揚社	九月	▲鲁迅の代表作「阿Q正傳」孔乙己「狂人日記」の三篇を収む。
魯迅	阿Q正傳	洋装四六布入判	158	六、五〇	四六書院	十月	▲阿Q小傳、黑骨頭、偉大なる印象、村の黎明、女同志馬、英の日記の五篇。
青野季吉	阿Q正傳	洋装四六布入判	216	六、五〇	四六書院	十月	▲大戦直後のドイツ社會及びプロレタリアートの悲劇を描ける小説。
前田河廣一郎	阿Q正傳	洋装四六布入判	193	六、五〇	四六書院	十月	▲阿Q小傳、黒骨頭、偉大なる印象、村の黎明、女同志馬、英の日記の五篇。
ハリソン	阿Q正傳	洋装四六布入判	163	六、五〇	四六書院	十月	▲鲁迅の代表作「阿Q正傳」孔乙己「狂人日記」の三篇を収む。
小牧近江	阿Q正傳	洋装四六布入判	300	六、五〇	四六書院	十月	▲大戦直後のドイツ社會及びプロレタリアートの悲劇を描ける小説。
バルビエ	阿Q正傳	洋装四六布入判	254	六、五〇	四六書院	十月	▲阿Q小傳、黒骨頭、偉大なる印象、村の黎明、女同志馬、英の日記の五篇。
演野	阿Q正傳	洋装四六布入判	256	六、五〇	四六書院	十月	▲大戦直後のドイツ社會及びプロレタリアートの悲劇を描ける小説。
柴田勇二	阿Q正傳	洋装四六布入判	372	八、五〇	人格社	九月	▲一機械工場内の日常闘争から罷業への推移を描寫せる小説。
阪井	阿Q正傳	洋装四六布入判	408	一、三〇	春陽堂	二月	▲「世界を震撼させた十日間」の前奏曲をなす「革命の娘」外二篇を収む。
北見	阿Q正傳	洋装四六布入判	301	一、八〇	春陽堂	二月	▲戦争(兵士の歌外八篇)白色XX(屈服しない男外四篇)その他(四篇)。
中島	阿Q正傳	洋装四六布入判	301	一、八〇	春陽堂	二月	▲新兵以下十二項より成る戦争小説。



文學(戯曲・脚本)

坪内逍遙	近世時人傳	津島	神近市	神近市	長野	廣尾	廣尾	廣尾	廣尾	小宮山明	外村史郎	外村史郎	外村史郎	外村史郎
近世時人傳	オーストリア	オーストリア	何を爲すべきか	何を爲すべきか	何を爲すべきか	赤い決死隊	メス・メス	續メス	マルチンの犯罪	赤色親衛隊	静かなる下	静かなる下	静かなる下	静かなる下
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六
200	501	716	442	218	495	391	394	481	331	250	212	212	212	212
一、八〇	一、三〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇
東京堂	汎人社	南北書院	南北書院	中外書房	内外社	内外社	鐵塔書院	鐵塔書院	鐵塔書院	鐵塔書院	鐵塔書院	鐵塔書院	鐵塔書院	鐵塔書院
三月	二月	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十
▲喜劇「近世時人傳」及び、變化錄、鶴の榮、良寛と子守等舞踊劇脚本を収む。	▲カストニヤ紡績總罷業の實際に依據したツオーストリアの長篇小説。	▲下巻はウエーラ・パウロウナと第二の良人との生活外三項より成る。	▲「社会主義者の戀愛バイアルと推稱された小説で、最初の戀愛と正規の結婚其他。	▲「社会主義者の戀愛バイアルと推稱された小説で、最初の戀愛と正規の結婚其他。	▲「社会主義者の戀愛バイアルと推稱された小説で、最初の戀愛と正規の結婚其他。	▲「社会主義者の戀愛バイアルと推稱された小説で、最初の戀愛と正規の結婚其他。	▲「社会主義者の戀愛バイアルと推稱された小説で、最初の戀愛と正規の結婚其他。	▲「社会主義者の戀愛バイアルと推稱された小説で、最初の戀愛と正規の結婚其他。	▲「社会主義者の戀愛バイアルと推稱された小説で、最初の戀愛と正規の結婚其他。	▲「社会主義者の戀愛バイアルと推稱された小説で、最初の戀愛と正規の結婚其他。	▲「社会主義者の戀愛バイアルと推稱された小説で、最初の戀愛と正規の結婚其他。	▲「社会主義者の戀愛バイアルと推稱された小説で、最初の戀愛と正規の結婚其他。	▲「社会主義者の戀愛バイアルと推稱された小説で、最初の戀愛と正規の結婚其他。	▲「社会主義者の戀愛バイアルと推稱された小説で、最初の戀愛と正規の結婚其他。

文學(戯曲・脚本)

山本有三	岸田國士	中里介山	三好十郎	村山知義	村山知義	坂本勝	坂本勝	村山知義	村山知義	河竹黙阿彌	河竹黙阿彌	河竹黙阿彌	河竹黙阿彌	文藝家協會編
集戯曲女	集戯曲女	高野の義人	炭塵	勝利の記録	勝利の記録	東洋車輛工場	東洋車輛工場	東洋車輛工場	東洋車輛工場	救世主の旗の下に	救世主の旗の下に	救世主の旗の下に	救世主の旗の下に	日本戯曲集
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六
307	454	197	512	340	405	221	405	209	405	237	256	362	401	401
二、五〇	二、三〇	三、〇〇	一、五〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
四六書院	四六書院	隣人之友社	中央公論社	内外社	往來社	銀座書房	銀座書房	日本評論社	白帝書房	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	新潮社
二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月
▲唐人が吉を描いた長篇戯曲「女人哀詞」及霧の中、盲目の弟の三篇を収む。	▲「昨今横濱異聞、驟雨、長閑なる反日、命を弄ぶ男ふたり、動員挿話外六篇。	▲高野領の弊政に犠牲になつた戸谷新右衛門を描ける脚本。	▲炭塵、首を切るのは誰だ、疵だらけのお秋外二篇のプロレタリア戯曲集。	▲勝利の記録外二篇の戯曲、處女地外三篇の小説及びシナリオ市電の兄弟を収む。	▲東洋車輛工場(四幕十一場)脱走少年の手紙、戯曲論其他戯曲、小説等八篇を収む。	▲亂世の衆生の爲に蹴起した空想を主人公として五幕より成る戯曲。	▲マルクスの「資本論」を系統的に戯曲化するもので、五部より成る。	▲ある事件、姉の結婚、復讐、女と山賊、仁右衛門の役、遠藤武者の悲戀等戯曲七篇。	▲脚本「勸善懲惡觀機關」八幕を収む。	▲脚本「三人吉三廓初買」七幕を収む。	▲脚本「天衣紛上野初花」六幕を収む。	▲脚本「天衣紛上野初花」六幕を収む。	▲脚本「天衣紛上野初花」六幕を収む。	▲脚本「天衣紛上野初花」六幕を収む。

文學(翻譯戲曲)

竹中慶太郎	田短篇劇脚本集	上四六製判	387	一、三〇〇	日丸堂	月六	▲村芝居脚本集で學士様、西瓜のたれ、蛙外四十四篇及び心の魔外短篇九篇。
カジノフオーリ	カジノフオーリ脚本集	布四六製判	378	一、五〇〇	内外社	月九	▲カジノフオーリレヴエー脚本を収めたもので、ルンペン社會學外五篇。
松永戸之助	トバ	並四六製判	280	一、〇〇〇	新時代社	月五	▲全世界の劇壇を風靡した四幕より成る劇「トバ」を収む。
シユニツレル	輪舞	並四六製判	194	六〇〇	木星社	月一十	▲賣笑婦と兵士、小間使と若旦那、少女と詩人、女優と伯爵外對話六篇。一巻書禁止。
たかばし昌平	結婚の悲劇	布四六製判	487	一、〇〇〇	改造社	月一	▲野蠻人の法律、嫉妬、戦争等當代ロシアの結婚生活を扱つた戯曲三篇を収む。
アルツイバアシエフ	結婚の悲劇	並四六製判	369	四〇〇	岩波書店	月八	▲バアナアド・シヨウの五部戯曲 Back to Methusalem, 1921 の全譯。
相良徳	思想の達し得る限り	並四六製判	151	一、〇〇〇	新生堂	月三	▲宗教に背いて機械の信仰に走り狂亂と破壊の最後を招いた青年を主人公とせる戯曲。
志賀勝	ダイン	並四六製判	140	六〇〇	四六書院	月十	▲四幕より成る戯曲。
桃井京次	オデッセイ	並四六製判	176	六〇〇	四六書院	月十	▲峰起、阿珍、軌道、勘太と熊治、火の跳舞の五篇を収めた戯曲集。
叶佐	蜂起	並四六製判	147	六〇〇	新思想社	月一十	▲歐洲大戦が生んだ痛ましくも悲しい問題劇「離婚法案」を譯出せるもの。
宮島新三郎	離婚法	並四六製判	147	六〇〇	新思想社	月一十	

(E) 演劇・映畫

文學(演劇・劇場・俳優)

新編 東大・東大	西洋演劇研究	洋四六製判	381	一、〇〇〇	春秋社	月一	▲西洋演劇に関する研究を収めたもので、希臘悲劇の傳統、獨逸の受難劇其他。
北村喜八郎	現代の歐洲演劇	洋四六製判	392	二、五〇〇	日日書房	月九	▲最近歐洲各國を旅行して各國の演劇を視察して歩いたフラナカンの見物記。
菅野太	戯曲原論入門	背四六製判	229	二、〇〇〇	第一書房	月二	▲戯曲の原理を歴史的に論述せるもので、悲劇と喜劇外二編。附録代表的戯曲一覽其他。
菅原卓	劇場	洋四六製判	328	一、八〇〇	カオリ社	月一	▲演劇に関する諸大家の論文をアイザックス女史が編纂したもの、俳優外七篇、寫眞挿入。
ヒスカイトル	左翼劇場	洋四六製判	309	二、八〇〇	中央公論社	月一	▲藝術から政治へ、プロレタリア素人劇、ヒスカイトル劇場の成立外二十章。
水品春樹	築地小劇場史	上四六製判	344	二、〇〇〇	日日書房	月六	▲日本演劇史上を飾る築地六年苦闘の記録で築地小劇場創立の動機其他。
北村喜八郎	世界舞臺寫真集	背四六倍判	253	三、二〇〇	世紀社	月三	▲「世界戲曲全集」に収録された戯曲を中心としてその舞臺面の面白いものを集録。
近代劇全集	近代劇舞臺寫真帖	背四六倍判	183	二、〇〇〇	第一書房	月二	▲世界各國の名舞臺を悉く集めたるコロタイプ版百八十三枚を収む。
大平野虹	演劇戦線	上四六製判	254	一、五〇〇	銀座書房	月三	▲早川雪洲を語る、林長二郎を戒む、テレビジョンの一考察外劇壇裏面物語廿五篇。
カツドリ	シエヴアリエは語る	上四六製判	150	八〇〇	カオリ社	月六	▲幼時と色々な仕事、メアリ・ピックフォード申の出外六篇及びラヴ・パレード物語を収む。
刀江書院編	新興藝術研究	並新菊製判	137	一、五〇〇	刀江書院	月二十	▲舞踊演劇映畫に関する研究で、世界舞踊の動向(光吉夏彌)外五篇。

文學(歌舞伎・映畫)

坪内逍遙	歌舞伎畫證史話	布面四六	裝入判	256	三、五、八〇	東京堂	六月	▲歌舞伎劇場の變遷史話及び劇に關するものを收めた書で、歌舞伎の話外九篇。
岡本綺堂	歌舞伎談義	並四六	製判	137	四、五〇	舞臺社	九月	▲日本在來の演劇に就て述べたもので、幕の内、竹本劇外四章附明治演劇年表。
長谷川善雄	女形の研究	上四六	製入判	215	二、一八〇	出版部	六月	▲女形が持つ特殊の情綴の世界を描けるもので、歌舞伎の演劇的支盤外四章。

映畫

文部省社會局編輯	活動映寫の理論と實際	布面四六	裝入判	327	二、三〇〇	南光社	四月	▲我國に於ける教育映畫の現状(小尾範治) 映寫機の構造(海老原敬吉) 外七篇。
上田進譯編	映畫監督學とモンタージュ論	並四六	製判	328	一、五〇〇	往來社	二月二十	▲映畫監督學(ヘティモシエンコ) 映畫モンタージュ論(シリエフ) 外二篇。
岩崎昶	映畫と資本主義	並四六	製判	443	一、五〇〇	往來社	六月	▲映畫と資本主義、トキーの社會學と美學プロレタリア映畫に就て外一篇の論文集。
佐々木能理男譯編	發聲映畫監督と脚本論	並四六	製判	314	一、〇〇〇	往來社	三月	▲「發聲映畫脚本の構成」及び「發聲映畫脚本の實例」の二篇を譯出。
千田是也譯編	ソヴェート同盟の映畫革命	布面四六	裝入判	347	三、一八〇	春陽堂	一月	▲一般的な立場からソヴェートの映畫に就て述べたもので、ソヴェート同盟の映畫其他。
原山三教正編	活動寫眞撮影術	洋新菊	布判	307	二、二〇〇	日本教材映畫株式會社	三月	▲現代撮影術のすべてを説述せるもので、カメラの構造と種類外九章。
原山三教正編	小映畫製作法	洋新菊	布判	318	二、二〇〇	日本教材映畫株式會社	六月	▲映畫製作に就ての實際を述べたもので、映畫製作概論外十三章。
歸山三教正編	トキーと天然色映畫	洋新菊	布判	359	二、一六〇	日本教材映畫株式會社	八月	▲トキー各論、天然色映畫、テレグイシヨンの三部にて廣汎に亘り解説す。
歸山三教正編	トキーと天然色映畫	洋新菊	布判	259	二、二〇〇	東洋經濟出版部	三月	▲キネマの企業的方面に對しての克明な科學的研究で、米國映畫企業其他。

文學(映畫)

藝術學研究會編	マルクス主義藝術學研究	並四六	製判	228	一、〇〇〇	内外社	五月	▲藝術に對するフリーチエの見解(ミハイロフ) 現代日本文學史(小宮山明敏) 外十一篇
刀江書院編	新與藝術研究	並四六	製判	318	二、〇〇〇	刀江書院	五月	▲形式主義と文學(阿部知二) 摩天樓の經濟的高度(相内武千代) 外十六篇
太陽堂編輯部編	名著改題大辭典	洋面菊	布入判	521	五、〇〇〇	太陽堂	五月	▲文學哲學科學宗教教育社會其他に亘つて著名論文を網羅解説す。
加藤久勝	マドロス夜話	布面四六	裝入判	346	一、五〇〇	祥光堂	五月	▲波上三十年間に於ける著者の手記で、小さな世界外四十三篇。
櫻井忠温	ガス・ますく	布面四六	裝入判	536	一、五〇〇	誠文堂	五月	▲秘聞女軍探偵、兵式怪談、老元帥の死、女を喰ぐ鼻、女兵其他隨筆及讀物卅九篇。
井口星二	村のこども等	並四六	製入判	192	一、二〇〇	晴文堂	五月	▲神庫の鼠、梅雨明けの夕、山に來た秋、夜の香其他村の子供達への物語卅二篇。
薄田泣菫	茶話抄	並四六	製判	318	一、〇〇〇	創元社	五月	▲焼肴は右か左か、下腹で猫が啼く、十六人の女房、蛇外エッセイ百五十篇。一普及版
柴山晴美	詩文集吹雪の洋燈	並四六	製判	509	一、五〇〇	寶文館	五月	▲故柴山氏の詩文集で、吹雪の洋燈(詩集) 典雅な思想(詩集) 外四部。
尾藤上村八郎校註	萬葉集略考	並四六	製判	586	一、二〇〇	博文館	五月	▲萬葉集(卷第十六より卷第二十まで) 冠辭考(卷一より卷十まで)。
萩原朔太郎選評	戀愛名歌集	並四六	製判	343	一、〇〇〇	第一書房	五月	▲萬葉集、古今集等の古歌集より戀愛及びその他の名歌を選んで評釋したもの。

追

補

小倉浩一郎	世界映畫風俗史	並四六	製判	350	一、五〇〇	風俗資料刊行會	十一月	▲映畫の進つた道、映畫好色風俗の變遷、映畫と好色描寫外二章。附最近の映畫風潮。映畫の製作其他映畫の諸知識を述ぶ。
鈴木傳明	映畫俳優讀本	洋四六	布判	201	一、三〇〇	往來社	二月	▲映畫の歴史、發聲映畫、日本の映畫、映畫の製作其他映畫の諸知識を述ぶ。

文學(追補)

市村 鐘一	今井 柏浦編	小林 永喜	中野 重治	吉屋 信子	矢田 挿雲	大佛 次郎	村上 浪六	ホロイ 歌子	和ヒチ 田顯太郎	木村 富子	袋 一平
流(今日の長篇小説) 雲	例評句註 事記大観	蟹太 陽の工ない 話術船	小長 説暴風雨の薔薇	太 閣 第九記	日 蓮 下巻	俠 客 列 傳	トレイイダ・ホーン	貞 操 帯	曲銀 扇 集	ソウエイト・ロシアの旅	
上四六 型入判 76	洋四六 布入判 907	並四六 型入判 400	上四六 型入判 397	布四六 型入判 395	布四六 型入判 535	布四六 型入判 302	上四六 型入判 302	上四六 型入判 301	上四六 型入判 547	並四六 型入判 154	
七五	八三	一〇〇	一〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一〇〇	
民レビユー社	修省堂	改造社	新潮社	寶文館	先進社	明文館	カオリ社	建設社	寶文館	往來社	
月五	月五	月五	月五	月五	月五	月五	月五	月五	月五	月五	
▲もくとり船、大漁の唄、流れ雲、もぐらの唄、戀の唄外廿六篇の民謡集。	▲季節を新年春夏秋冬の順に排初しこれを時候天文地理人事其他に分類解説す。	▲プロ小説として問題となつた蟹工船、太陽のない街、蟹の話の三傑作を収む。	▲浮子と不二子といふ二人の女性を中心とした長篇小説。	▲第九篇は尼子毛利浮田織田の四角關係より筆を起し丹波越前方面の攻戦を述べたもの。	▲下巻は、如獅子王から始めて、佐渡、鎌倉、身延、池上などを収む。	▲夢の市郎兵衛、幡隨院長兵衛、女俠柳屋お辰、馬力藤五郎、緋鯉の藤兵衛等。	▲A.A.ホーンがアフリカの蕃地に過した少年の頃の思ひ出を描けるもの。	▲ベツドに置いた帽子、娘さんへ御忠告、若い女外伊太利の人氣作家の短篇六篇。	▲秀吉最期、犀ヶ嵐、信玄筒、與三郎命の月魄、小夜衣草紙、幻浦島其他戯曲廿四篇。	▲ツウエイト映畫一般概観、映畫印象、レニンと映畫、全撮影所めぐり外六篇。	

三三六

# 塚本哲三新著

菊判總布美裝・紙數六一〇頁  
全壹册定價參圓五拾錢・送料廿二錢

# 増鏡解釋

増鏡全卷の意味情調を、ほんとうにしっかりと口語に譯出すべく努力し、更に詳細的確なる語釋を施すやうに勉めました。古典文學としての増鏡の本質は、遺少くも自分としては、これで遺憾なく闡明し得たものと信じます。(著者)

# 塚本哲三編

三五判總革美裝・紙數八六二頁  
全壹册特價壹圓八拾錢・送料六錢

# 常用最新字典

紳士用、學生用、實務家用  
凡そ字を書く人に一人一册  
ごんな字でもすぐ分る字引  
ほんごに正しく字の書ける  
字引。

字音の部  
總書の部  
外國語の部

字の音から一切の漢字とそれに伴ふ熟語とが引ける。  
字の書から一切の漢字とそれの難訓とが引ける。  
日用の語からその用字と原語の綴と意味とが引ける。  
一切の漢字とそれの音訓と字の使ひ方とが引ける。  
日用の語からその用字と原語の綴と意味とが引ける。

東京通 日本橋区 青野文魁堂 電話(24) 參八八〇 九二九五 東京 振替

三三七

英語なら何でもわかる

市河博士・畔柳・飯島共著

定價 七圓五十錢

(送料 内地・五七 領土・八八)

富山の房

# 大英和辭典 詳解漢和太字典

服部・小柳兩博士共著

教育界一致の推薦になる

實物全部の書店にあり

富山房

東京神田

振替東京  
五〇一著

定價 三圓五十錢  
(送料 内地・三三 領土・六二)

## 五、語 學

### (A) 國 語・漢 文・作 文

著 者	書 名	形體	頁 數	定 價	發 行 所	月 行 發	内 容
臺北帝國大學教授 安藤 正次	國語學通考	洋函四六 布入判	427	三、五〇 一、四〇	六文館	十月	▲國語の真相及國語の特性に就ての研究で、國語學の對象外六章。附錄三章。
文學博士 吉澤 義則	國語史概説	洋函四六 布入判	263	一、五〇 二、二〇	立命館大學出版部	二月	▲國語そのものについてその音韻、語彙、語法等の時代的變遷、由來、現狀等を論述。
大島 正健	國語の語根と其の分類	洋函四六 布入判	449	三、〇〇 一、八〇	第一書房	五月	▲總論(語源を探ぐる興味外六章) 本論(阿行音の諸語外十章) 索引。
文學博士 大島 正健	漢音吳音の研究	洋函四六 布入判	257	二、五〇 一、四〇	第一書房	十月	▲漢音吳音の由來、漢音吳音の蹤跡、漢音吳音の還元外二章にて論述。
文學士 大西 雅雄	應用國語の發音	布四六 裝判	121	一、〇〇 六	大學書林	七月	▲母音の知識、子音の知識、嬰兒音の研究、アクセントの知識外一講にて講述。
京都國文學會編	國語研究論文索引	並編 裝判	424	二、二〇 一、二〇	文獻書院	七月	▲國語國文の研究に關係ある雜誌凡そ三百種の中から其研究要目を摘出配列せるもの。

語學(國語學)

語學(國文法)

音聲學協會編	ことばの講座	並編	製判	201	一、二、三、八、二〇	研究社	七月	▲J.O.A.Kが我が言語學界の泰斗に乞ふて十七日に互り放送した國語研究講演集十七篇。▲言語、音聲と文字、國字論の發達、ローマ字綴り方の變遷及びその批評等。
菊澤季生	國字問題の研究	上編	製判	246	一、二、五〇	岩波書店	五月	

國文法

湯澤幸吉郎	解日本文法	新編	布入判	531	三、一六〇	大同山書店	九月	▲文語法及び口語法に就て述べたもので、品詞各説、單語の構造と互用外三篇。
徳田淨	日本文典講義	洋編	布入判	473	二、一四〇	日本文學社	十一月	▲文法の運用に關して注意すべき事項や過誤に陥り易い事項を網羅して論述す。
木枝増一	高等口語法講義	洋編	布入判	1085	七、三〇〇	日黒書店	六月	▲緒論、品詞論、文章論の三篇にて論述せる口語文法入門書。附録參考書、索引。
藤井利龜雄	中心文語口語法詳解	洋編	布入判	553	二、二五〇	大同館	七月	▲品詞の分類と練習問題、單語の構成と練習問題、文の種類と練習問題外十八篇。
田中健三	國文法概説	並編	製判	352	一、一五〇	出版部	九月	▲活用言、活用言の連絡、正誤、品詞、文章法の五篇にて論述。附録問題解説。
菅野敬吉	國文法便覽	並編	製判	12	四、一五	國語漢文會	十二月	▲鳥瞰圖式國文法便覽で、音韻篇、品詞篇、文章篇の三篇。附録字音假名遣其他。
杉生薰	自學自習と詳説國文法	洋編	布入判	308	特一、一八〇	成業堂	七月	▲國語と文法、文の主成分、文の構成上の分類、文の解剖外廿六章。
谷岡義賢	實務新文法	洋編	布判	115	六、四〇	輝文堂書房	二月	▲枝葉に亘るを省いて根本の要旨のみを的確に解説せる實務文法書。
大島正健	假名遣便法	和編	製判	95	二、四〇	啓成社	十一月	▲音便假名遣、清音假名遣、濁音假名遣長音三類阿音と和音加音と果音其の他。

國文參考書

語學(國文參考書)

玉木退三	詳説國語文法	並編	製判	125	四、一〇	芳文堂	二月	▲大鏡のうしろの興味深い内容を取容れて平易に語解、口譯を施せるもの。
澤田良清	新増鏡詳解	並編	製判	255	四、一〇	健文社	三月	▲長篇で且つ複雑な内容を有する増鏡を最も簡易化する參考書。
藤森政次郎	考徒然草解	並編	製判	460	八、一〇	崇文堂	五月	▲徒然草二四四段を語釋を中心に意譯鑑賞參考の各方面に互つて解釋をなせるもの。
齋藤眞吾	受自習一人てわかる徒然草	並編	製判	353	一、一〇〇	昌平堂	三月	▲各句各語を別行として語釋を施せるもので徒然なるまゝにより八つになりし年迄。
兒玉尊臣	徒然草解	並編	製判	94	四、一五	有精堂	九月	▲隨筆文學の典型と稱せられる徒然草二百四十三段を解釋せるもの。
佐藤繁作	徒然草講義	洋編	布判	453	一、一三〇	岡村書店	五月	▲語釋、通解、要旨を施して詳述せるもので徒然なるまゝに外二百四十二段。
鈴木等三郎	新徒然草講話	洋編	布判	468	一、一〇〇	輝文堂書房	六月	▲難解な徒然草を平易に解釋せる受験參考書。
兒玉尊臣	増鏡解	並編	製判	101	四、一五	有精堂	九月	▲御鳥羽天皇より御醍醐天皇迄凡そ百五十年間の編年體の歴史物語増鏡の解釋。
兒玉尊臣	花月双紙解	並編	製判	81	四、一五	有精堂	九月	▲松平定信の筆で六卷百五十七篇からなる花月双紙の解釋。
兒玉尊臣	玉かつま及び歌文集	並編	製判	87	四、一五	有精堂	九月	▲本居宣長の隨筆集たる玉かつま及び歌文集
兒玉尊臣	鈴屋文集	並編	製判	96	四、一五	有精堂	九月	▲村田春海の歌文集後集十五卷及び清水濱臣の文集泊酒舎集八卷の解釋。
兒玉尊臣	國語文法	並編	製判	81	四、一五	有精堂	九月	▲國文和歌の大家中島廣足の筆になる樞關文集及石原正明の隨筆集年々隨筆六卷の解釋。
兒玉尊臣	三浦梅園	並編	製判	90	四、一五	有精堂	九月	▲鴨長明の隨筆集方丈記一卷及びうけらが花三浦梅園を解釋せるもの。

語學(國文參考書)

森清晋	吉田辰次	吉田桐野	吉田桐野	吉澤義則	石田義貞	永野忠一	三省堂編輯所編	寺澤田範三	中等教育學院編	前島成	浦部龜雄	森本哲三
本位東關紀行詳解	佛文俳句新釋	系統的中等標準讀本の評釋	系統的中等標準讀本の評釋	中等歴史代古文新釋	本位國文解釋の要點講義	中心とせる國文解釋法	本位の國文解釋	式答國文新解粹	子女國語の準備	受驗國文重要單語の解釋	眼目を受験學習現代文	訂現代文解釋法
三五	半製	編	編	編	編	編	編	編	編	編	編	編
114	213	271	557	696	99	361	352	546	194	288	354	561
三	四	二	三	一	四	一	一	二	四	三	一	一
光世館	慶文堂	大同館	大同館	博多成象堂	先進堂	健文堂	三省堂	慶文堂	駿々堂	大修館	東京開成館	有朋堂
九月	二月	六月	四月	九月	六月	五月	五月	十月	四月	二月	十二月	三月
▲一字一句受驗に適切に解剖し要點を指摘し隨所に表解式文法の説明を加へたり。	▲高等諸學校入學準備用書、横井也有を主とした俳文、芭蕉、蕪村等の俳句を注釋せり。	▲古文篇、古文、擬古文篇、擬古文の四篇にて評釋せる書。	▲現行中等國文の教科書中代表的なものを収録して解釋を施す。	▲中學校高等女學校師範學校の國文讀本中より古文教材を収めて頭註と通釋を施す。	▲國文問題を抄録して解釋を施せるもので、一語一句主義の解釋外九講。	▲間違ひ易く現代譯し難き基本的研究、答案の作方と解釋の要點の二編にて解釋。	▲入學試験問題の典據となるべき近世近古の書目中より數十種を選び解釋を施す。	▲重要な單語を排列して之が數種の意義を解説し其實例の解釋法に力を盡したる参考書。	▲最近六ヶ年間の既出問題を材料として解答及考へ方注意等を附して説く。	▲高等專門學校入試受驗者に必要な語句を精選し、之に平易明確な解説を施したるもの。	▲現代文を網羅して之を明確に解説し其等全體に通じて答案作成上の諸注意を明示す。	▲大正十四年一月發行された「現代文解釋法」の改訂版で、總說篇其他。

語學(漢文參考書)

寺田范三	安武磯喜	臺國太郎	齋藤眞吾	山田草人	金丸市八	高木合治	健文社編輯部編	健文社編輯部編	龍澤良芳	笠松彬雄	西村尙俊
讀假名・送假名を中心としたる漢文の解釋	新研漢文解釋之根柢	新漢文學修法	自習一人てわかる十八史略	譯註十八史略	受驗論語・孟子の解釋	古文眞寶解釋	新論語詳解	新日本外史鈔詳解	言志四錄新釋	要左傳詳解	漢文特種語法の研究
編	編	編	編	編	編	編	編	編	編	編	編
145	174	547	380	1060	373	131	170	373	212	648	264
六	八	一	一	二	一	四	四	五	一	三	二
慶文堂	有文館	春陽堂	昌平堂	岡村書店	盛林堂	正文館	健文社	健文社	文花堂	大同館	三省堂
十月	四月	三月	三月	五月	九月	三月	三月	三月	五月	三月	五月
▲五十音順に排列して送假名と讀上とを中心とせる解釋書。	▲各課に分つて文の組織の繁簡に従ひ難易の順を追ふて詳説す。	▲六書に基づく異義異訓を中心として解釋法を闡明せる受驗自修用書。	▲十八史は支那の各人物の年代を索るに便であり奇偉な事件は努めて紹介せる譯註書。	▲十八史略に嚴密な句讀點を施し讀方釋義を載せて解釋す。	▲論語反孟子の重要章句を摘録し大意、語句解釋、備考の四欄に分ち解釋す。	▲古文眞寶中最も有名な數篇を選んで平易に解釋を施せる参考書。	▲孔子の性格や行動に關係ある事柄を収めた論語の詳解で、學而第一より堯曰第二迄。	▲漢文科受驗の中心である「左傳」に訓讀語釋通釋詳解を施したる書。	▲幕府の儒官佐藤一齋の著言志四錄の中受驗向き又は修養となるべき箇所を抽出詳解す。	▲簡野氏の「新修日本外史鈔」を詳解せるもので、平民、源民其他。	▲漢文に於ける誤讀、曖昧な點を一掃すべく漢文獨特の語法を徹底的に研究。

語學(國漢文問題)

澤田 總清	坂本 公雄	三省堂編輯所編	前島 成	森田 義興
要點の要語漢文解釋	本位漢文解釋の要點講義	受驗本位の漢文解釋	受驗漢文重要單語の解釋	必し出る漢文公式と問題正解法
並四六製判	並四六製判	洋三六布判	並三六製判	並四六製判
112	85	400	337	304
五〇	四〇	一、三〇	五、六〇	六〇
慶文堂	先進堂	三省堂	大修館	昇龍堂
月九	月六	月二十	月二	月四
▲短日月の間に必要な文法の概念を得させる と同時に之を根柢とせる漢文の解釋をなす。 ▲中學三四年程度の教科書をもとに同程度の 参考書及入試問題の中より抄出解説せるもの ▲總説篇及び解釋篇と二大別し文法的解説に 重點を置いて説述す。 ▲實際に必要な語句を厳選し平明な解釋を施 して五十音順に配列せるもの。 ▲漢文のあらゆる語法を網羅し之を公式の形 を以て示せるもの。				

國漢文問題集

西東社編	西東社編	清美堂編輯部編	受驗研究會編	中研等國編	漢文研究會編
高等學校專門學校 師範二部入學試驗 昭和六年度	高等學校專門學校 師範二部入學試驗 昭和六年度	公立高等學校入學 試驗國文問題集 大正十年度 昭和六年度	六年年度國語漢文問題集 高専・專校	分國文補習問題 女子用	分國文補習問題
並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判
49	75	168	252	100	100
二〇	二〇	六〇	四〇	四〇	四〇
西東社	西東社	清美堂	伊坂出版部	西東社	西東社
月七	月七	月四	月四	月五	月五
▲昭和六年年度施行の全國高等專門師範二部の 漢文入試問題を蒐集網羅す。	▲昭和六年年度に於ける高等學校專門學校入學 試驗國語漢文問題集。	▲全國官公立高校最近十一年間の國語解釋 問題を分類蒐集す。	▲昭和六年年度施行の全國高等專門師範二部の 國語入試問題を蒐集網羅す。	▲部分解釋の問題、大意要旨把握の問題其他 三篇に分類蒐集せる準備書。附録文法問題。 ▲古文現代文を通じてその出題傾向から分類 蒐集せる準備書附録文法問題。	▲昭和六年年度に於ける高等學校專門學校入學 試驗國語漢文問題集。

作文・書翰文

語學(作文・書翰文)

谷岡 義賢	谷岡 義賢	谷岡 義賢	谷岡 義賢	谷岡 義賢	谷岡 義賢	教育の日本社編	友田 櫻宜	吉田 辰次	東京府立一中教諭	三浦 圭三	大西 貞治	中等教育學院編	富山房編輯部編
商業新	商業新	商業新	實務新	實務新	實務新	日本學生全集 第一卷	體新作文寶典	要點の根 受驗作文	要點の根 受驗作文	眼目を受驗學 習作文	新作文講話と作り方	中等學校やさしい作文 一二年の	自受驗習作 文
洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	布四六 製入判	洋菊 製入判	並菊 製入判	並菊 製入判	洋新 製入判	並四六 製入判	上四六 製入判	洋新 製入判
158	164	148	152	125	123	200	678	150	390	238	212	341	
六五	六〇	六〇	七〇	七〇	七〇	一、二〇	特二、五〇 一、八〇	四〇	八〇	六〇	四〇	四〇	一、三〇
輝文堂書房	輝文堂書房	輝文堂書房	輝文堂書房	輝文堂書房	輝文堂書房	日本育社の	至誠堂	慶文堂	東京開成館	崇文堂	駿文堂	富山房	
月三	月三	月三	月二	月一	月二	月二	月三	月九	月一	月五	月四	月一	
▲商用文篇一、照會と註文、請求と督促、依 頼と勧誘、通知と報告其他。	▲普通文篇二、描寫と敘述、感想と説明、書 翰文の書き方。	▲普通文篇一、普通文の構成大要を示す。	▲下巻は書翰文、商用文、廣告文の實例を舉 げて説明す。	▲この巻は、寫生文、書翰文、商用文を説 く。	▲實用向きの作文を上中下に分けて、この上 巻では主に寫生文に就て述ぶ。	▲大學生中學生小學生の作に成る論說創作小 説俳句綴方などを掲載す。	▲この巻は、寫生文、書翰文、商用文を説 く。	▲文の種類を細別して一々其作法を説き實例 を示せる自習書。	▲大學生中學生小學生の作に成る論說創作小 説俳句綴方などを掲載す。	▲高等學校入學準備参考書、學生の作文につ き添削批評し指導せるもの。	▲文の種類を細別して一々其作法を説き實例 を示せる自習書。	▲大學生中學生小學生の作に成る論說創作小 説俳句綴方などを掲載す。	▲この巻は、寫生文、書翰文、商用文を説 く。



谷岡 義賢	谷岡 義賢	桑田 春風	關 天 園	軍人の友社編	矢橋 三子雄編	山田 浩東	三浦 秀宜	高辻 秀宜	東雲堂編輯所編	雄辯研究會編	國 際 辯 論 會 編	研 究 會 編	大谷内 越山	
商業新作文	商業新作文	實用手紙文講話及文範	青年書翰文	軍人書翰書の實際	秘名士書翰集	口語體新しい書簡文の作り方	國文堂十種文庫 モダン 一作り方と作例	式辭・話術	社交式辭と演説	昭和の式辭と演説	建康演説寶典	社會教育パンフレット(18)	社會教育パンフレット(18)	
洋菊 布判 156	洋菊 布判 194	洋菊 布判 1044	洋菊 布判 335	洋菊 布判 284	洋菊 布判 89	洋菊 布判 714	洋菊 布判 151	洋菊 布判 380	洋菊 布判 304	洋菊 布判 461	洋菊 布判 41	洋菊 布判 366	洋菊 布判 366	
六五	六〇	一、五〇	六五	八〇	一、三〇	二、九〇	二、〇〇	六〇	六〇	七〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	
輝文堂書房	輝文堂書房	岡村書店	三輪書店	軍人の友社	小笠原書院	昭文館	誠文堂	東雲堂	文陽堂	元文社	育社	育社	育社	
月三	月三	月二	月一	月一	月九	月一	月一	月四	月五	月五	月二	月二	月二	
▲商用文篇二、紹介と推薦、披露と案内、申込と協議、追及と抗議、感謝と陳謝其他。	▲廣告文篇、廣告文の考へ方、手紙と廣告、ホスターと文、チラシと文、カタログと文外。	▲講話篇(現代手紙の話其他) 文範篇(年始の手紙其他)	▲手紙を書く時の心得、祝賀の部、悔みと見舞ひの部、外五部。普及版	▲勅語及讀法の解釋其他軍人への必知事項を前篇に記載し後篇に書翰の實際を網羅す。	▲清浦圭吾、加藤高明、田中義一等數十氏の肉筆其儘のオフセット印刷書翰。	▲種々の書翰作法と手紙用語を収めたもので書翰作法、書翰作例、其他附録日用ペン習字。	▲書翰起草注意の重點、書翰文構造、書翰の本質と文例外二部にて述ぶ。	▲社交上あらゆる場合の式辭、挨拶、卓上演説其他の模範文例を収めたもの。	▲一般式辭及演説の粹を集め更に挨拶の仕方其他を詳述。	▲五十音順に各成語を収めそれぞれ作例を収めたもの。	▲效果の準備、會場に就いて、主催側の任務書翰上達の要諦外七章にて説述。	▲座談術の秘術を公開せるもので、人生と座談、座談の眞價外二篇及附録。	▲草聖王羲之の手跡を歌文に綴つた艸訣百韻歌を収めたもの。	▲用具、心術と姿勢、腕法、執筆、學習法、基本點畫外七篇にて詳述。

岩垂 憲徳	半田 神來編	乳山内 輝山遺著	吉澤 隆治	乾 文子選	乾 淡江	井上 千圃	山崎 光子編	山崎 光子編	相澤 春洋	中村 春堂
艸訣百韻歌	指掌地書道新講	書法字譜	日用草書字典	宋拓智永眞草千字文	淡江眞書結構法	三體千字文	新習字帖	新習字帖	女子新習字帖	訂新女子習字帖
和蘭菊 布判 179	洋菊 布判 373	和蘭菊 布判 106	三五製判 105	布菊 裝判 64	布六四倍判 15	和蘭菊 布判 170	四六入判 24	四六入判 12	折短全 冊四 木形冊 210	折短全 冊四 木形冊 200
一、五〇	三、一〇〇	一、五〇	二、〇〇	二、五〇	一、〇〇	八〇	一、三〇	一、三〇	一、二八	一、二五
開隆堂	二松堂	生遺著刊行會	誠文堂	慶文堂	慶文堂	三輪書店	婦人之友社	婦人之友社	辰文館	辰文館
月四	月二十	月二十	月二	月二十	月二十	月九	月三	月三	月一十	月一十
▲草聖王羲之の手跡を歌文に綴つた艸訣百韻歌を収めたもの。	▲用具、心術と姿勢、腕法、執筆、學習法、基本點畫外七篇にて詳述。	▲眞行草書の點畫を八法の變化七十二例に基いて詳解講述に係る書法字譜を實寫輯録す。	▲日常の常用に事缺かぬ様七千字を輯録して多様の書體を示せる辭典。	▲宋拓智永の石刷の複製せるものに講義を附す。	▲淡江書法により普通用ひらるゝ文字の結構法を説明す。	▲文部省國語讀本の筆者の三體千字文。	▲習字のお手本。	▲習字のお手本。	▲實科女學校習字手本であり、楷書行書草書かなまぜり文字を全四卷中に収む。	▲女學校用書一卷に楷書の基本文字を教へ二、四行草かな混り文を収む。

語學(速記術)

相澤春洋書	習用文字のくづし方	和菊	膠判	50	四	辰文館	月五	▲常用漢字を字訓に配列し楷、行、草の三體に揮毫したる字引を兼ねた習字手本である。
徳永壽美子編書	實用三體ペン習字帖	背四六	布判	156	六	金星堂	月三	▲漢字を主としたる日常必須の書簡文や諸届書式其他を収めたもの。
黒柳 勳編書	付本實用ペン字練習帖	並菊	製判	52	二五	大阪屋號	月三	▲ペン字の練習帳で、上巻はアイウエオ其他
黒柳 勳編書	付本實用ペン字練習帖	並菊	製判	52	二五	大阪屋號	月三	▲中巻は、性、怪其他。
黒柳 勳編書	付本實用ペン字練習帖	並菊	製判	52	二五	大阪屋號	月三	▲下巻は短い文章が収めてある。
加藤 樂山	教本習字書翰文の書方	背四六	布判	218	八〇	春陽堂	月一十	▲書翰文の書方特にはがきの書方の實際を示せるもので、書状用語其他。
ペン字研究会編	書簡文代ペン字自在	上四六	製判	84	四〇	元文社	月五	▲三體漢字、新年の賀状、暑中見舞、在宅時刻の照會其他より成るペン習字手本。
徳永壽美子	習ペン若き日の文籠	背四六	布判	159	九〇	金星堂	月二	▲日用の書簡、短冊の書方等をペン字で示せるものでいろは五體其他。
高橋 觀城書	習ペン白百合のたより	洋菊	布入判	77	一〇〇	松榮堂	月五	▲かるた會に招く、安着を知らず、都の友へ姫百合に添へて其他を収めたペン習字手本。
高橋 觀城書	ペン習字女性のたより	洋菊	布入判	45	一〇〇	松榮堂	月五	▲年始状、寫眞を贈る、梅雨に友へ、類焼見舞其他を収めたペン習字手本。

(B) 辭典

語學(國漢辭典)

荒浪清彦	應用を主とし、日本語速記術	洋四六	布判	152	一、八〇	文花堂	月五	▲速記の民衆化を目的として覺えた丈、利用の出来る完全な速記獨修書。
新井無二郎編	完成漢和大字典	洋四六	布入判	2312	三、五〇	弘文社	月一	▲現代生活上必要の漢字を網羅し解釋を施したる辭典。ローマ字索引。
土屋 鳳州編	式新明解漢和辭典	洋四六	布入判	2310	三、三〇	近代文藝社	月二十	▲部首索引、總字索引、部首從屬、特に學生版。
文學博士 芳賀矢一作	修正新式辭典	洋四六	布判	1934	三、五〇	大倉書店	月四	▲純國語、漢語、熟語、新語、外來語等十萬餘を網羅し、發音及畫引の二索引を附す。
文學博士 藤村	英語・支那音 新漢和辭典	革四六	裝入判	904	二、五〇	至誠堂	月十	▲英語、現代支那音及行草書體を挿入し各頁下欄に百科寶典を附せる漢和辭典。
忠誠堂編	大辭	革三六	裝入判	1492	特三、三〇	忠誠堂	月一	▲日常重要語辭を網羅し五十音順に配列して解釋を施せるもの。難音難訓索引。
文學博士 吉澤	吉澤新辭典	洋三六	布判	624	一、三〇	博多成象堂	月三	▲一般日常の用途に留意して語彙を選擇せる新辭典。一總皮製一四五十葉。
内海弘藏編	式新辭林	洋三六	布入判	1467	二、〇〇	萩原星文館	月四	▲一般讀書階級を通じ日常生活に適切な語彙を網羅し五十音順に排列解釋せる辭典。
酒井歌彦編	新輯國漢字典	革三五	裝判	550	一、三〇	潮文閣	月一十	▲現代活用されつゝある語を主とし外來語新語を採録せる字典。
至誠書院編	モトヤ新辭典	革三六	裝判	776	六〇	至誠書院	月六	▲日常生活に於ける活用語を主として語數四萬千有餘を網羅す。

語學(新語・新聞語辭典)

文部省漢字調査會 東京教育會編纂	漢制學 生自修辭典 附ローマ字教本挿入	福來友吉監修 新引四萬語いろは辭典	文部省植松安監修 文部省吉見文雄著 模範いろは辭典
並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判
330	849	746	
五	八〇	七五	八五
大進堂書店	文花堂	大進堂書店	大進堂書店
月二	月六	月三	月三
▲學生用辭典。	▲音引割引兩用、外來語を收め特種索引にて漢和となる辭典。		▲いろは引辭典。

新語・新聞語辭典

芝野辰之 太郎	高野太朗	正文館編	出版新聞社編	齋藤義一	酒尾達人	鷗沼直	宮本光玄	早坂二朗	松本悟郎	東雲堂編輯所編
新漢語・外語 レフレックス辭典	モダン語全集	モダン語辭典	超モダン用語辭典	モダン語辭典	モダン語辭典	モダン語辭典	モダン語辭典	モダン語辭典	モダン語辭典	モダン語辭典
布函三五製判	並四六製判	洋函三五製判	洋函三五製判	並三五製判	並三五製判	並三五製判	並三五製判	並三五製判	並三五製判	並三五製判
1350	104	352	400	508	124	133	551	392	400	600
一、八〇	一、二〇	一、三〇	一、四〇	一、五〇	一、六〇	一、七〇	一、八〇	一、九〇	二、〇〇	二、一〇
淺見文林堂	正文館	文生社	中村書店	一誠社	誠文堂	誠文堂	尖端社	東雲堂	尖端社	東雲堂
月四	月三	月五	月一	月六	月一	月一	月三	月二	月一	月二
▲漢和國語和英和の各辭書を兼ねた新辭典。	▲新聞雜誌其他日常に使用される現代語新語流行語モダン語等總べてを網羅せるもの。	▲日常生活上必要な熟語並單語凡そ二萬餘を収録解釋せる辭典。	▲藝術用語、主義學說用語篇外七篇十九日に分類して網羅す。(普及版)	▲最尖端に行はれつゝある超モダン語約四千附全世界の有名な略歴其他。	▲世界的モダン語を網羅し五十音順に配列して解説を施せる辭典。	▲現に活用されてゐる語を中心として外來語言葉其他を取入れて五十音に排列。	▲外來語流行語俗語新聞雜誌用語其他百餘に亘つて謂ゆる尖端語を蒐録した辭典。	▲帝國憲法、衛生、體育其他あらゆる方面の新知識を網羅せる辭典。	▲文學、美術、スポーツ、映畫、社會科學其他の用語を網羅せる辭典。	▲外來語新時代語を網羅した新語辭典。

語學(用字便覽・文章辭典・外國語辭典)

飯時市川 廣都三太郎	武信山太郎編	新和英大辭典	和英大辭典	五十嵐貢文	大畑匡山	現代文描寫辭典	近來文章辭典	作範書翰辭典	東雲堂編輯所編	平野岑一	誤字發見辭典	日本大學講師 大森勝留	現代新語研究會編	竹内猷郎	新語辭典
洋函四六倍 布函六判	洋函四六倍 布函六判	洋函四六倍 布函六判	洋函四六倍 布函六判	洋函三五製判	洋函三五製判	洋函三五製判	洋函三五製判	洋函三五製判	洋函三五製判	洋函三五製判	洋函三五製判	洋函三五製判	洋函三五製判	洋函三五製判	洋函三五製判
2285	1855	714	650	660	380	289	184	450	600	400	450	600	400	600	400
六、〇〇	七、五〇	一、四〇	一、三〇	一、二〇	一、一〇	一、〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇	四〇	三〇	二〇	一〇
研究社	富山房	同村書店	寶盛堂	創元社	東雲堂	新大阪毎日	一心社	竹内書店	大文館	中村書店	竹内書店	大文館	中村書店	大文館	中村書店
月三	月三	月八	月二十	月一十	月一十	月二十	月九	月二十	月十	月五	月二十	月十	月五	月十	月五
▲自然科學、社會科學、思想問題、スポーツ其他百餘の常用語約五十萬語を網羅す。	▲語彙十四萬二千二百餘、成句熟語約三萬三千文例四萬六千五百餘を収録せる大辭典。	▲大家の作品中より其描寫を人物、季節、天象、地象等に分類編纂したもの。	▲文章の行使法、觀察法、表現法その他を代表的な文に依つて表せるもの。	▲人事の萬般にわたる祝賀、見舞、弔慰、報知、招待其他の模範作例を収録す。	▲新製製作上に最も重要な諸點に就て述べたもので、筆跡、文章、校正外一部。	▲新製製作上に最も重要な諸點に就て述べたもので、筆跡、文章、校正外一部。	▲新製製作上に最も重要な諸點に就て述べたもので、筆跡、文章、校正外一部。	▲新製製作上に最も重要な諸點に就て述べたもので、筆跡、文章、校正外一部。	▲新製製作上に最も重要な諸點に就て述べたもので、筆跡、文章、校正外一部。	▲新製製作上に最も重要な諸點に就て述べたもので、筆跡、文章、校正外一部。	▲新製製作上に最も重要な諸點に就て述べたもので、筆跡、文章、校正外一部。	▲新製製作上に最も重要な諸點に就て述べたもので、筆跡、文章、校正外一部。	▲新製製作上に最も重要な諸點に就て述べたもので、筆跡、文章、校正外一部。	▲新製製作上に最も重要な諸點に就て述べたもので、筆跡、文章、校正外一部。	▲新製製作上に最も重要な諸點に就て述べたもので、筆跡、文章、校正外一部。

語學(外國語辭典)

Thomas R. G. Lyell	英語日常語辭典	洋袖 布珍	858	二、八〇〇	北星社	月七	▲實際英米人の間に用ゐられ居る日常語の研究及練習用の辭典。
栗原正兵衛	和兵語新辭典	洋袖 布入判	501	三、五〇〇	太陽堂	月一	▲世界大戦後に激増せる新兵語及び重要な技術用語を収録せる和兵語辭典。
小島部 嶽編	對日英獨逸語標準單語辭典	洋三 六布判	248	一、五〇〇	日獨書院	月六	▲日常必須の獨逸單語七千餘を網羅して日英對照の上例解せるもの。
片山正雄監修	袖珍獨和辭典	洋袖 皮珍	650	二、六〇〇	南江堂	月五	▲内容及編輯の方法は簡潔、簡易、文法的關係は原語と譯語を通して説明。
宮本 桂 仙	雙和英獨逸語發音辭典	洋袖 布珍	406	一、五〇〇	南山堂	月二十	▲英語式發音、萬國音標文字、片假名を併記せる初學者用の辭典。
澤井 要一	なからぬ獨和動詞辭典	洋三 六裝判	279	二、〇〇〇	南山堂	月二	▲初學者に便利たるやう主として普通の動詞及び普通の譯語を載せた辭典。
山本直文編	標音佛和辭典	洋三 六裝判	496	特、二、〇〇〇	白水社	月六	▲フオネチツク標音を使用して近代語を収録解せる佛和辭典。
井出利一編著	佛和新辭典	洋三 五布判	439	一、三〇〇	太陽堂	月四	▲名詞の性、動詞の變化表を附録とせる發音假名付の辭典。
太陽堂編	露和新辭典	洋三 五布判	345	一、八〇〇	太陽堂	月四	▲大戦以後の新語を含む新正字法に依る新字典。
タイムス出版社編輯部編	ロシア語動詞及否定詞研究辭典	洋四 六裝判	278	一、八〇〇	タイムス出版	月九	▲現時ソグエート・ロシアに於て一般に活用せられてゐる略語及新語を収めた辭典。
水谷 健行	ロシア語動詞及否定詞研究辭典	洋四 六布判	140	一、六〇〇	橋書店	月九	▲動詞の要求、動詞の特異的使用、H。及びH。の研究の三編より成る。
井上 翠編著	上井日華新辭典	洋三 五布入判	1714	五、〇〇〇	文求堂	月八	▲普通一般に用ひらるゝ日本語彙を網羅し北京官話を用ひて譯せる辭典。
標準教科書編輯會編	標準初等英和辭典	洋三 六布判	253	六、七〇〇	標準教科書編輯會	月二十	▲現行中等學校三年級位の教科書七十餘種類中の單語熟語を骨子とせる辭典。

語學(外國語一般・英語)

平岡 孝輔	外國語の科學	洋四 六布入判	329	一、五〇〇	教育科學社	月二十	▲日本に於ける外國語問題に就て論述せるもので、外國語問題外五章。
荒川 惣兵衛	英語の發達	洋四 六布判	287	一、五〇〇	泰文堂	月一	▲牛津英語辭典の監修者として名高いブラツドリイの『The Making of English』を譯す。
山田 巖	英語圖解	洋四 六布入判	173	一、六〇〇	開成館	月六	▲古今の外來語約五千を渉獵して原語の綴り發音意味を明示せる書。改訂版。
繁野 政 瑠	近代英詩法	洋四 六布判	230	一、八〇〇	研究社	月五	▲現今英國で使用されてゐる器具其他の繪を掲げて註を施せる書。
グアカーリ	英文法通論	洋四 六布判	260	一、五〇〇	英文法通論所	月四	▲我英學生の理解と標準として英詩の韻律を詳述した書。
グアカーリ	英文法通論	洋四 六布判	605	三、〇〇〇	英文法通論所	月四	▲英文法の初等知識を根柢より養成する爲に書かれた文法書。
正田 淑子	圖解式英文法	洋四 六布入判	367	一、五〇〇	寶英館	月一十	▲系統立て、説述せる英文法書で、定冠詞より間投詞迄七十七課に收む。
三省堂編	受驗本位の英文法	洋三 六布判	330	一、三〇〇	三省堂	月一十	▲圖解の形式と方法に依つた英文法書で、總說、文章の圖解の二篇三十三章。

(C) 外國語

山本 供平	藤木 明	間崎 勝義	初等英語研究會	宮下 重夫	澤村 英三	加賀谷 林之助	野原 三郎	松本 環	川合 友次郎	澁川 規一	
解り易い中等英文法	三、四年の英文法	A B C 速成四週間	A B C の發音から プラクティカル、 エングリッシュ ジュリイダー自習書 卷一	正しく英語學び方入門 覚えられ英語	誰にもやさしい英語 わかるやさしい英語	早める英語の繪解き	英語學び方考へ方と 解き方	受験英文解釋四週間	題入試問英文の 解釋	上級英文解法	
洋四六	洋四六	洋四六	洋三五	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	
256	354	143	282	214	184	106	469	444	116	108	
一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	
教育社	泰文堂	先進堂	三輪書店	左文字書店	太陽堂	大坂書院	宵々書院	昇龍堂	研究社	大學書林	
月六	月十	月九	月四	月四	月四	月四	月四	月一	月一	月一	
▲中等學生に必要な英文法と英作文の知識を網羅せるもの。	▲最も必要とする文の構造を第一に説き次に動詞連結語等の順序に解説す。	▲僅か一ヶ月で英語の手ほどきが出来るやう説ける書で、綴方と發音其他。	▲發音より會話文法等初心者に解り易く詳記した書。	▲現今高等小學校にて汎く採用せられつゝある掲題の教科書卷一の詳細なる註釋書。	▲A B C の讀方から中學二年程度までの英語を通俗平易に説けるもの。	▲初學者にも一讀直ちに了解し得るやう説けるもので、基礎編外一編。	▲初學者にも必ず覚えられやう説けるもので、發音篇外三編。	▲繪に依つて英語を理解出来るやう説いた書で、英語の發音、家屋、商工業其他。	▲文法上の基礎的知識、文脈の考察、根柢事項の研究外一編にて説述。	▲英文解釋に必要な知識を纏め最近の試験問題の傾向を説述せる書。	▲基本的構文の研究十二項、入學試験問題の研究(十二項)の二篇。

山本 供平	稲津 光夫	山本 供平	上野 芳男	大西 雅雄	鈴木 基一郎	近藤 文雄	倉本 長眞	山本 供平	上野 芳男	堀口 香洋	添田 一二	伊藤 義末
和文英譯公式カード	和文英譯問題解法	和文英譯基礎知識	英語發音五時間講義	英語發音五時間講義	英文の解き方と單語とアクセントの研究	英文の解き方と單語とアクセントの研究	英文の解き方と單語とアクセントの研究	英文の解き方と單語とアクセントの研究	英文の解き方と單語とアクセントの研究	英文の解き方と單語とアクセントの研究	英文の解き方と單語とアクセントの研究	英文の解き方と單語とアクセントの研究
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
272	98	399	426	60	242	329	154	280	397	200	30	125
四〇	四三	一、八〇	一、七〇	三〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇
春陽堂	青甲社	春陽堂	三省堂	大學書林	有精堂	英語教育社	出版社	春陽堂	三省堂	弘道閣	英語教育社	修文館
月十	月一	月八	月九	月二	月九	月一	月五	月十	月五	月三	月六	月二十
▲第一面に問題、第二面に解法注意、第三面に解答、第四面に練習問題を掲ぐ。	▲和文英譯問題を収めて註釋を施せるもので The Origin of West pie. 其他。	▲基礎知識、文法篇、誤譯警戒篇、語句篇の四章にて既習知識を更新せしむるやう説述。	▲無理のない和文英譯の學習方法を述べたもので、主要な單語外四篇。	▲語位の轉倒、説明語句の反覆外三章にて説述。附録單語の構成外六章。	▲語位、説明語句の反覆外三章にて説述。附録單語の構成外六章。	▲語位、説明語句の反覆外三章にて説述。附録單語の構成外六章。	▲語位、説明語句の反覆外三章にて説述。附録單語の構成外六章。	▲語位、説明語句の反覆外三章にて説述。附録單語の構成外六章。	▲語位、説明語句の反覆外三章にて説述。附録單語の構成外六章。	▲語位、説明語句の反覆外三章にて説述。附録單語の構成外六章。	▲語位、説明語句の反覆外三章にて説述。附録單語の構成外六章。	▲語位、説明語句の反覆外三章にて説述。附録單語の構成外六章。

語學(英語)

語學(英語)

語學(英語)

保坂龜三郎編	城谷 默	相良 左	松村 寬	山本 供平譯註	勝俣 銓吉郎	杉浦 正一	熊澤 福	渡邊 勇助編	三省 堂編	英語教育研究會編	青木 常雄	鈴木 芳松	日進英語學校講師
受上級必修五千英單語彙	英語のバンクチュエーション	時事英語の読み方と書き方	最も實新聞英語の読み方	英作文公式カード	英作文基本自習書	英作文の新機軸	科學最新語句記憶法	受驗英譯範例	受驗本位の和文英譯	受驗系統的和文英譯問題集	受驗和文英譯の工夫	一日和文英譯の講義と自習	
並三五製判	並三六製判	洋三五布判	洋三六布判	洋四六布入珍	洋四六布入珍	洋三六布判	並三六製判	並四六製判	洋三六布判	並四六製判	洋四六布判	洋四六布判	新四六布判
164	94	596	406	232	355	419	144	158	262	102	320	231	231
二四〇	五〇〇	八〇〇	一、五〇〇	四〇〇	二、八〇〇	一、二〇〇	四〇〇	六〇〇	一、三〇〇	四〇〇	一、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
文英堂	出版	開文社	出版	春陽堂	出版	早稲田大學	改進書房	開隆堂	三省堂	西東社	研究社	先進堂	
月一	月六	月八	月六	月十	月十	月三	月十	月八	月一十	月九	月一	月十	

▲文法の知識を和文英譯に活用させる様説けるもので、無意志未來其他。

▲從來の書は餘りに模範文を強ひたが本書は力相應の實力を涵養させる準備書。

▲用語に注意すべき問題、文法上の諸事項に注意すべき問題外二篇。

▲文法的統一を守り平易に説明せるもので、構文篇、表現篇、應用篇の三篇。

▲問題八百題を収めて解釋を施せるもの。

▲受驗程度の和文英譯に必須なる語彙二五六〇の語句を集録せるもの。

▲一般論、構文、型、種類の四編にて組織的に述べたもの。

▲中學の三四五年度の英作文基本練習書で Pronouns, Collective Nouns, 其他。

▲時間、天候、風景、健康、試験、運動、農業、道案内外五十章に分けて説述。

▲新聞英語の總ゆる形式を網羅して説けるもので、社會欄其他。

▲讀むばかりでなく十分書きこなせるやう時事英語を説明せるもので、一般的注意其他。

▲文章の構造上又は譯讀に重大な意味を有する英語のバンクチュエーションに就て述ぶ。

▲紐育州教育局が文化試験として選擇せる四千語及其他より採録せるもの。

英語問題集

保坂龜三郎編	遠藤 武男編著	稻津川 水規一編	稻津川 水規一編	慶文堂編輯部	春陽堂教育圖書出版部	清美堂編輯部	英語通信社	受驗時報社	長沼 直兄編	山本 實平編	岡田 實平編	英語教育研究會編
中等必修五千英單語彙	和文基礎單語句四〇〇〇	和英の部	和英の部	英單語現行英語	英語重要入學試驗問題	公立高等學校入學英語問題集	昭和六年度高等學校英語問題詳解	全國高等學校英語問題集	高等學校英語問題詳解	高等學校入學英語問題詳解	高等學校入學英語問題詳解	受驗系統的英語問題集
並三五製判	上三六製判	並四六製判	並四六製判	並編製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並編製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判
60	455	96	92	180	323	150	290	100	278	278	118	118
四〇〇	一、〇〇〇	六〇〇	六〇〇	四〇〇	一、〇〇〇	六〇〇	一、〇〇〇	二〇〇	七〇〇	八〇〇	四〇〇	四〇〇
文英堂	出版	青甲社	青甲社	慶文堂	春陽堂	清美堂	英語通信社	受驗時報社	開拓社	シグナル社	西東社	西東社
月九	月二	月四	月四	月九	月二	月四	月四	月四	月五	月五	月五	月五

▲中學一三二三年程度のもの五千語を選びこれに簡明なる譯語を附せるもの。

▲暗記欄、項目別分類篇ABCにて單語四千句を収む。

▲最近五年間に於ける高等學校專門學校の和文英譯入學問題中より單語熟語を収む。

▲中學四五年程度の實力を本位としての入學試験に須要な單語熟語を収む。

▲現行の中學英語讀本にある單語四千餘を蒐め發音と譯語とを添へたもの。

▲最近五ヶ年間の官公私立各大學高等專門學校の英文和譯入學問題を選出解答せるもの。

▲過去十年間に亘り各高校の入學試験英語問題集。

▲模範答案を主とせる昭和六年度高校專門學校入學試験英語問題集。

▲昭和六年度の全國高等專門學校入學試験英語問題を蒐録。

▲昭和六年度の官公私立高等專門學校入學試験英語問題の解答集。

▲昭和六年度專門高等學校約百二十校の入學試験英語問題を蒐録詳解す。

▲最近五六ヶ年間の高等專門學校入學試験問題の傾向を檢討して蒐集せるもの。

語學(英文學・註釋書)

春陽堂編	最近六ヶ年 英語入學試験問題研究	並四六製判	170	一、〇〇	春陽堂	月八	▲昭和六年度の高等・専門學校の入試問題と英及英和の問題に解答を附せるもの。
後藤乾吉	官立大學英語入學試験問題全集	洋四六布判	237	一、五〇	大同館	月二十	▲官立各大學文科部の英語入學試験問題を集録して譯註を施す。
内藤正二	帝國大學入學試験英語問題研究	並四六製判	170	七、五〇	平野書店	月二十	▲總ての帝大を始め官立大學入試問題のうち英語に關する問題の全部の解答を示す。
佐伯正二	官立大學入學試験英語問題研究	並四六製判	170	六、五〇	平野書店	月二十	
堀井梁歩	對照草の葉	布四六裝入判	303	二、五〇	春秋社	月二	▲ホイットマンの詩を對譯せるもので、パワマンクから發足して、大道の歌其他。
齋藤勇	抒情詩集	布四六裝入判	266	二、〇〇	山海堂	月七	▲美はしきもの(アリツサエズ)墓碑銘(パインズ)外廿八篇の原文を収めて譯註す。
内館忠藏	詩劇事ダイナ	洋四六布判	429	二、五〇	出版部	月五	▲第一部は一八〇五年の當初より同年末佛國大勝のあたりを取扱つてある原文對譯。
森村豊	原註妻故	洋四六布判	133	一、〇〇	尙文堂	月九	▲Thomas Hardy の "To Please His Wife" の原文を収め詳註を施すもの。
ハクステル	許されざる願	洋四六布判	87	六、〇〇	尙文堂	月六	▲ハリーターの "The Sons' Veto." を對譯せるもの。
小泉八雲	モウパッサン短篇集	洋四六布判	277	二、〇〇	北星堂	月九	▲短篇集 "Mortal Coils" に收められたハクステルの "The Gioconda Smile" の譯註。
高垣松雄	ロングフエロー詩選	並新四六製判	111	四、五〇	研究社	月五	▲モウパッサンの短篇小説を小泉八雲が英譯したもの。
平田喜一	研究社小英文學叢書	並新四六製判	97	四、五〇	研究社	月五	▲抒情的短章と長篇物語詩 "Tales of Waverley de Inn" より拔萃採擇して解説す。一上製六十錢

語學(英文學・註釋書)

岩崎民平	研究社小英文學叢書	並新四六製判	72	四、五〇	研究社	月五	▲"If I May" 中より十一篇を選んで解説註釋を施せるもの。一上製六十錢。
山宮允	研究社小英文學叢書	並新四六製判	78	四、五〇	研究社	月五	▲エリスの "The New Spirit" より拔萃して解説註釋を施せるもの。一上製六十錢。
堀英四郎	研究社小英文學叢書	並新四六製判	83	四、五〇	研究社	月五	▲ステイブンスの短篇中最も有名な "Mickey" 及び "死骸盜人の解説註釋。一上製六十錢。
舟橋雄	研究社小英文學叢書	並四六製判	102	四、五〇	研究社	月六	▲ホイットマンの "Leaves of Grass" から拔萃して主に註釋を施す。一上製六十錢。
岩崎民平	研究社小英文學叢書	洋四六布判	97	六、五〇	研究社	月二十	▲傳記文學者たるストレイザーの書いた "ナイティンゲイル" の原文と註釋。一上製六十錢。
スチヴンス	英文學註釋叢書	洋四六布判	143	一、〇〇	研外究國社	月二十	▲スチヴンスの "The Horse" を伴った十二日間の旅行記のうち第一日から第四日迄の見聞記。
酒井善二	英文學註釋叢書	洋四六布判	143	六、〇〇	研外究國社	月二十	▲原文對譯及び註を附したるもの。
大橋榮三	英文學註釋叢書	洋四六布判	611	一、五〇	研外究國社	月一十	▲廿餘年沙翁研究に没頭せる著者が入念に綜合註釋と集註を施せるもの。
都築東作	集ジュリアス・シーザ	洋四六布判	160	一、五〇	研究社	月五	▲少青年時代の純眞なる田園生活を赤裸々に歌つた詩歌を親切に譯したものである。
石川哲	對譯田園の詩歌	洋四六布判	130	一、〇〇	上田泰文堂	月六	▲丁抹の皇子ハムレット、マクベス、大嵐の三篇を収めて譯註せるもの。
三浦道夫	青年英文學研究叢書	洋四六布判	192	一、三〇	泰文堂	月二	▲イソップ物語中の代表的もの三十八篇を選んで註解を施せるもの。
山本供平	青年英文學研究叢書	洋三六布判	148	四、五〇	春陽堂	月十	▲アラビヤナイト物語中の雄篇 "シムバツトの航海" を譯註せるもの。
山本供平	青年英文學研究叢書	洋三六布判	207	四、五〇	春陽堂	月十	▲ジャックと蠶豆の莖以下五篇のやさしい英文を収め對譯詳註す。
三井直樹	やさしいナースリ・テイルズ	洋新四六布判	157	六、〇〇	大成書院	月七	

語學(英譯書・英文著書)

坂本 潔	受驗ユース・オヴ・ライフ 新選講義	洋四六 布判	一、三〇 六〇	培風館	月九	▲Lorf Chialury の名著 The Use of Life の中より名篇六章を選んで詳講せるもの。
増田 藤之助 監輯	バイオグラフィカル ストーリーリーズ講義	洋三六 布判	七五 六五	有精堂	月二	▲米國の作家ホーソーンの「バイオグラフィカル・ストーリーリーズ」を講義す。
増田 藤之助 監輯	アチーブメント講義	洋三六 布判	七五 六五	有精堂	月二	▲Blissell 著 Drudgery, Honest at Principle and as Policy. 外七章を講義せるもの。
濱林 生之助 監修	イソップ物語講義	洋新四六 布判	六〇	健文社	月四	▲酸ばい葡萄、借りものの羽、馬槽の犬其他の物語を講義せるもの。
高田 勝 譯	對譯映畫劇	洋菊 布判	二、〇〇 一、八〇	櫻木書房	月六	▲亞米利加映畫劇の邦語譯に依つて現在米國各階級人の使用しつゝある英語を紹介す。
巖 翠 堂 編	Classic Myth and Art	洋四六 製判	一、三〇 六〇	巖 翠 堂	月四	▲古代神話及美術に就き蒐めて以て教科書體をなせるもの。
禿 徹 編	Selected Authors	洋四六 製判	一、三〇 六〇	巖 翠 堂	月四	▲Mansfield, Walpole, Galsworthy, Hardy, Coleridge の作を各一編宛編輯す。
湯村 榮 一 編	Genus of Russian Literature.	洋四六 製判	一、一〇 六〇	巖 翠 堂	月四	▲世界に著名なる露文壇人の代表作を輯録したるもの。
馬場 明 男 編	Select pieces from Eminent Authors	洋四六 製判	一、一〇 六〇	巖 翠 堂	月四	▲教科書用として H. G. Wells 以下五編の著名なる作を蒐めしもの。
巖 翠 堂 編	Best Novellettes of To-day	洋四六 製判	一、四〇 六〇	巖 翠 堂	月五	▲現代小説としてギツシングのもの外四編を蒐めて教科書用となしたるもの。
佐々 穆 編	The Selections from Jurisprudence	洋四六 製判	一、六〇 六〇	巖 翠 堂	月四	▲I. The end of Law, II, The Application of Law との二編よりなる。

英譯書・英文著書

語學(英譯書・英文著書)

南石 福二 郎 譯	英譯日本小學讀本 第三卷	洋四六 製判	四〇	學而堂	月六	▲日本に於ける尋常小學國語讀本を英語に譯せるもので第一卷其他。
南石 福二 郎 譯	英譯日本小學讀本 第四卷	洋四六 製判	五〇	學而堂	月七	▲日本に於ける尋常小學國語讀本を英語に譯せるものでおまつり其他。
南石 福二 郎 譯	英譯日本小學讀本 第五卷	洋四六 製判	五〇	學而堂	月九	▲日本の小學國語讀本第五卷を英語化し小註及び羅馬字化を施す。
南石 福二 郎 譯	英譯日本小學讀本 第六卷	洋四六 製判	五五	學而堂	月十	▲尋常小學國語讀本卷の六を英語化せる書。
櫻井 道民 譯編	英文新論語選	洋新四六 布判	一、三〇 六〇	帝國書院	月六	▲論語を英譯せるもの。
岡村 喜之 譯刻	岩倉公一行訪米始末書	洋四六 布判	二、五〇 一、三〇	北星堂	月一	▲明治四年歐米に派遣された岩倉公一行に關するランマン 編纂の著の譯刻。(英文)
中尾 エリ フ	"My own Silhouette"	洋四六 布判	三、〇〇 一、三〇	譯々洞	月二十	▲著者が十四歳の誕辰を祝すべく彼の父が彼の英詩數十篇を収めて記念とせし少年詩集。
北 星 堂 編	Japan and Manchuria	洋四六 製判	四〇	北星堂	月二十	▲我帝國政府の對外宣言、在支及在日外人記者の見た滿蒙問題に關する論評を掲載。
頭本 元 貞	Manchurian Emergency	洋四六 製判	二五	ヘラルド社	月一十	▲滿洲に於ける日支軍衝突の原因及經過に關し當局の發表せる聲明書の英譯。
頭本 元 貞	Japan in Manchuria and Mongolia	洋四六 製判	二五	ヘラルド社	月一十	▲滿蒙事件突發に際し日支關係を的確簡明に論述せる英文小冊子。
頭本 元 貞	Outstanding Issues in Manchuria and Mongolia	洋四六 製判	二五	ヘラルド社	月一十	▲滿蒙の現状を赤裸々に叙述し本邦人は勿論外人の誤解を解くべき英文書。
頭本 元 貞	Anti-foreign Education in China	洋四六 製判	二五	ヘラルド社	月一十	▲支那對外政策の例證として現今支那全土に行はるる教科書中より其の一部を轉載す。
頭本 元 貞	Manners and Customs of the West	洋四六 製判	二五	ヘラルド社	月一	▲親み深い日常英語で書いた英學生及び紳士淑女の伴侶。一並七十五號



獨逸

語

山岸 光宣 監修 獨逸語短期大學 初等編(1)	山岸 光宣 監修 獨逸語短期大學 初等編(2)	山岸 光宣 監修 獨逸語短期大學 初等編(3)	三浦 吉兵衛 編 高等獨逸語講座 第一卷	三浦 吉兵衛 編 高等獨逸語講座 第二卷	權田 保之助 基準獨逸語文法	西郷 啓造 新獨逸語文法四週間	山田 幸三郎 新ドイツ文典	内田 貢 編 獨逸語名詞の性 及其判別法	大島 桂吾 獨逸語文法整理ノート 「單語の文法的處理とその暗記法」	内田 翁夫・櫻田常久 共編 獨逸語文法綱要	秋元 喜久雄 編 獨逸語文法要覽
洋四六布判 368	洋四六布判 419	洋四六布判 387	洋四六布判 235	洋四六布判 249	洋四六布判 425	洋四六布判 323	洋四六布判 638	洋四六布判 51	洋四六布判 162	洋四六布判 94	洋四六布判 94
一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	二、三〇	一、五〇	三、五〇	二、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇
大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	大學書林	有朋堂	尙文堂	太陽堂	大學書林	出版タイムス	郁文堂	南山堂
月六	月九	月九	月十	月十	月四	月五	月五	月三	月三	月四	月十
▲一般に斬新な資料を選び講話體を用ひて平易に説述す。	▲第二卷は専ら動詞活用の諸相と稍々程度の進んだ譯讀其他を收む。	▲第一卷、第二卷を基礎として稍々程度高き獨逸語の智識を説けるもので、文法其他。	▲第一卷は哲學論文(佐久間政一譯述)社會科學(石濱知行譯述)外三講座より成る。	▲哲學論文(佐久間政一譯述)文學理論(上村清延譯述)外三篇。	▲文法理論を避けて實際的なる文法事實を取扱つたもので、詞論外一編。	▲獨逸語法を容易に理解出来るやう英文法と比較對照して解説せるもの。	▲發音篇、文法篇、文章篇の三篇にてドイツ文法を解説せる書。	▲常用名詞約六百語を選び其性を説明すると同時にその判別法を説く。	▲詞論の經驗的敘述及び詞論の變則的敘述の二編と備忘録を收めたもの。	▲第一部には主として格變化の概要を第二部には動詞變化と之が活用を會得すべく編纂。	▲初學者に文法要綱を短時日に會得せしめん爲に根本規則の表解を本位とせるもの。

佐藤 通次 編 獨逸語簡易文法	中尾 啓太郎 連 獨逸語動詞形容詞の用法	井原 誠次郎 初年生の獨逸語	藤原 誠次郎 獨逸語の初歩	橋本 忠夫 獨逸語基礎單語暗記法	桃井 鶴夫 獨逸語單語の解釋と應用	南江堂編輯部編 獨逸語單語集	桃井 鶴夫 獨逸語單語の解釋と應用	ハリー ウィンク 對日英獨逸基本熟語	加藤 一郎 對日英獨逸基本單語	水戸高等學校教授 獨逸語單語四千と熟語六百	内田 貢 獨逸語變化表と單語集	粕谷 眞洋 獨逸語重要單語力ード
洋四六布判 80	洋四六布判 132	洋四六布判 482	洋四六布判 337	洋四六布判 90	洋四六布判 337	洋四六布判 384	洋四六布判 285	洋四六布判 191	洋四六布判 301	洋四六布判 234	洋四六布判 106	洋四六布判 600
一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
都文堂	南山堂	南山堂	太陽堂	郁文堂	太陽堂	南山堂	太陽堂	大陽堂	大陽堂	南山堂	郁文堂	南山堂
月十	月四	月九	月九	月十	月二	月十	月三	月六	月七	月十	月四	月五
▲短時日の間に獨逸語文法の常識を授けんが爲出来るだけ簡潔に編纂されたもの。	▲一週四時間の授業に用ひ夏休まで又學年の前半に全部を終へる豫定で編んだもの。	▲最も多く慣用せらるる前置詞を伴ふ動詞を蒐集して動詞活動のコツを教へたもの。	▲初學者の爲めに解り易く獨逸語を説けるもので、發音篇外二編。	▲譯讀を主として文法を從とし譯讀の間に自ら文法的要領を會得せしめるを主眼とす。	▲獨逸語學習上の基本單語五千數百及びそれより由來せる關係語を覺え易く收む。	▲必須單語約一萬を蒐集し食事、動物、哲學其他三十四部門に分類せるもの。	▲獨逸語學習上の基本單語五千數百を厳選し文例を以つて其の應用を示せるもの。	▲言語の使用頻度數の統計に基いた基本熟語を收めて對譯せるもの。	▲調査資料千二百萬語中より約二千四百の基本語を選び、之を語原的に排列補充したもの。	▲最も用途の廣き四千の單語を厳選し、之に慣用熟語六百を併記せるもの。	▲語學に於ける車の兩輪たる文法と單語とを集めたもの。	▲重要單語を網羅し高校及び大學への入學試験に應じ得る實力を養成せしむ。

語學(獨文學・註釋書)

三六四

遷善定	和文獨譯練習	洋四六布判	98	大倉書店	月四	▲主文、述語文、附加文、補足文、狀況文の各項に分ち、例題一七五を掲ぐ。
武内大造	高等和文獨譯研究	洋四六布判	180	郁文堂	月五	▲東京の月刊新聞より記事をとつてそれに一々譯例と詳註を附したるもの。
小谷惠一郎	和文の獨譯例	布四六裝判	133	南江堂	月二	▲和文獨譯研究の實録、例題の選擇、受験準備以上。
賀川哲夫	基準和文獨譯法	洋四六布判	318	有朋堂	月一	▲從來難かしいとされてゐる和文獨譯に就て説いたもので、基準問題と豫備知識外三篇。
佐久間政一	高等醫家獨逸語講義	洋四六布判	318	南山堂	月一	▲第一篇醫家ラテン語第二篇短文の研究第三篇長文篇より成り醫家語學研究者の參考書。
東京獨逸語學校	獨逸語受驗者のために	洋四六布判	164	郁文堂	月二十	▲主として獨逸語を以て大學の進入試験に應ぜんとする々人の爲に編述せる書。
日獨書院編輯部	獨逸語問題と解答	洋四六布判	66	日獨書院	月一	▲最近六年間の各官立大學入試獨逸語問題を網羅して譯例及詳註を附せる書。
新關良三	獨逸語問題解説	洋四六布判	387	郁文堂	月二十	▲東京外各帝大及び岡山千葉兩醫大の昭和五年度入學試験獨逸語問題とその解答集。
三浦吉兵衛	獨逸語問題と解答	洋四六布判	60	郁文堂	月二十	▲シトルムの傑作詩劇「ワレンシグタイン」の原文對譯。
佐久間政一	獨逸語問題と解答	洋四六布判	48	郁文堂	月二十	▲近代戯曲作家中の雄ハップトマンの傑作。
三浦吉兵衛	獨逸語問題と解答	洋四六布判	714	郁文堂	月二十	▲邦文にも譯されたもの。著者シュニツツレの傑作。
三浦吉兵衛	獨逸語問題と解答	洋四六布判	102	郁文堂	月二十	▲シトルムの代表振分變の生立から離別迄の傑作。
三浦吉兵衛	獨逸語問題と解答	洋四六布判	42	郁文堂	月二十	▲シトルムの代表振分變の生立から離別迄の傑作。

佛蘭西語

三六五

藤本民雄	新佛語入門	洋四六布判	249	文嶺閣	月四	▲L'italienの發音及び文法の二章五十課より成る佛蘭西語入門書。
鈴木信次郎	初年生の佛蘭西語	洋四六布判	330	太陽堂	月一	▲眞の初學者にも容易に理解出来るやう説けるもので發音篇實習篇外二篇。
森鶴七郎	現代獨逸文學對照讀本(3)	洋四六布判	76	大學書林	月五	▲獨逸現代文學短篇を集むるもの、第三卷はヘルマン・ヘッセ作大旋風である。
橋本忠夫	對獨逸語讀本	洋四六布判	200	春陽堂	月九	▲有名なグリム童話集を獨英兩文の對比に依つて收めたもの、別冊附録獨英對照文法表。
桃井鶴夫	對獨逸語讀本	洋四六布判	137	太陽堂	月二	▲初學者を對象とした簡易な獨逸語の讀本で第一課家畜より第廿九課迄。
杉山茂	對獨逸語讀本	洋四六布判	103	南山堂	月七	▲やさしい物理と化學の讀本を集めて文法順に配列して譯註を施せるもの。
長田捷二	實驗化學獨逸文集	洋四六布判	120	郁文堂	月一	▲配列して譯註を施せるもの。
櫻田常久	獨逸現代小説抄	洋四六布判	84	郁文堂	月三	▲新即物主義並びにそれに近い戦争小説の中から簡潔な文のみを採録したものである。
上村清	獨逸現代精神思潮	洋四六布判	40	郁文堂	月一	▲獨逸語を採るべく數多の書物から採萃。
上村清	獨逸文化の精神	洋四六布判	30	郁文堂	月九	▲オスカ・ワルツェルが現代獨逸思想界にあげた巨弾で、高校程度の讀物。
佐久間政一	獨逸文化の精神	洋四六布判	102	郁文堂	月九	▲現代歴史哲學一方の雄トルチの論文で高等學校三年程度の讀物である。
三浦吉兵衛	獨逸文化の精神	洋四六布判	42	郁文堂	月二十	▲シトルムの傑作詩劇「ワレンシグタイン」の原文對譯。

語學(伊太利語・西班牙語・ブラジル語・露西亞語)

三六六

桃井 鶴夫	佛蘭西語基礎單語暗記法	上六製判	252	一、五〇六	太陽堂	月一	▲佛蘭西語學習上の基本單語五千語をABCの順に配列し譯語を施せるもの。
厚母 清一	佛・日・英佛蘭西基本單語	洋四六布判	329	一、七〇八	大修館	月七	▲各方面の現代文獻資料百十萬語中より日常生活用價值多き六千語を統計的に厳選したものの熟語と成句、複合接續詞、前置詞を要する動詞其他にて對譯せるもの。
生島 遼一	佛・日・英佛蘭西基本熟語	洋四六布判	244	一、五〇六	大修館	月六	▲佛蘭西近代及び現代の學者論客の論文を収録して譯解を施す。
榎本 恒太郎	佛語論文研究	洋四六布判	269	一、八〇六	太陽堂	月二十	
<b>伊太利語・西班牙語・ブラジル語</b>							
大島 俊彦	伊太利語 四週 附録・單語集	洋四六布判	347	二、〇〇八	大學書林	月四	▲一日一課として伊太利語のABCより文法譯讀等初等伊語の一通を説く。
大島 政志	西班牙語商業文研究	洋四六布判	223	二、〇〇六	春陽堂	月五	▲最近の西班牙語商業通信文に關する知識を容易に獨修せしめる様説述せるもの。
株式會社興業	葡語文法解説	洋四六布判	155	四、七〇六	株式會社興業	月九	▲冠詞、名詞、形容詞、代名詞、動詞、分詞副詞外四章にて解説。
岩上 齋助	葡語實用ブラジル語	洋四六布判	521	三、〇〇八	武俠社	月六	▲文法と作文を主としてブラジル語を平易に説けるもので、品詞外三編。
<b>露西亞語</b>							
岡澤 秀虎	一日露西亞語 四週 附録ツルゲーネフ散文詩	洋四六布判	303	一、八〇六	大學書林	月六	▲一日に僅か二時間宛て初等ロシア語の一通を會得出来るやう説けるもの。
武井 六郎	正しく覚えるロシア語入門	上新四六製判	146	一、〇〇六	太陽堂	月二	▲近世歐羅巴の中で最も至難なロシア語の一般を平易に説述せるもの。
編輯部	ソヴエト・ロシア 初等語學讀本	青四六布判	83	一、〇〇六	橋書店	月十	▲ロシア語初級用の讀本。

語學(ラテン語・支那語・エスペラント)

三六七

吉村 忠三	露語讀本 第一卷	並製判	94	一、〇〇六	露文閣	月一十	▲著者が名百屋高商にて使用の教材を増補したるものにて初學者用の露語讀本である。
研究 所編	ロシア語新讀本 第一編 現代ソヴエト文學	洋四六布判	125	一、三〇六	内外社	月四	▲ソヴエト文學を主としこれに現代の論説、印象記、傳説等を採選集せるもの。
松田 衛編	ロシア語新讀本 第二編	洋四六布判	151	一、三〇六	内外社	月十	▲第二編はロシア古典文學、新聞記事、文學史の抜萃に憲法を加へて編纂す。
水谷 健行	自習露語註釋(素人) 新ウエロフ短篇集	洋四六布判	82	一、三〇六	橋書店	月二十	▲俺は生きたい、貴殿、ポリシエウイチカのマリヤの三篇を譯註せるもの。
小林ノスカ	和露對照註釋(素人) 繪本の	上三五製判	71	七、〇〇六	橋書店	月一十	▲林房雄氏作の「繪のない繪本」の露譯に語學的批判を施せる書。
<b>支那語</b>							
永井 一夫	支那語獨習書	布四六製判	122	一、三〇六	南山堂	月一十	▲學名用語として超國際的地歩を占めてゐる編典語を説けるもので、名詞外九章。
神谷 元助	支那語獨習書	洋四六布判	247	一、五〇八	春陽堂	月二十	▲支那語の根底並に簡単な會話及び文章を習得出来るやう述べたもので、發音外三篇。
清宮 吉敏	一日支那語 四週 附録	洋四六布判	238	二、五〇八	大學書林	月九	▲僅四週間で發音より文法、譯讀、作文等初等支那語の一通りを會得出来るやう説述。
山田 儀四郎	支那現代文獨修必携	洋編半布裁	198	一、〇〇六	原田學園	月二十	▲材料を新聞雜誌に採り現代支那文の讀方解釋を指示せる獨修書。
上野 巖	近分類華語新篇	布四六製判	240	一、五〇八	大阪屋號	月十	▲時事篇、法律篇、社會篇、商業篇、議論篇外二篇より成る。

語學(エスペラント)

川原次吉郎	小坂 羽二	石 黒	小野田幸雄	岡本好次	板橋 好次	石 黒	石 黒	石 黒	城戸崎益敏	東宮武郎	有島武郎	東宮武郎	山本清彦						
初エスペラント研究	復習用エスペラント捷徑	正しく覚エスペラント入門	エスペラントの學び方	一日エスペラントの學び方	一週エスペラント四週間	エスペラントABCの讀み方から	國際語初歩	初等エスペラント講習讀本講義	ザメンホフ讀本	惜しみなく愛は奪ふ	の	の	の						
並四六製判	並四六製判	上四六製判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判						
304	149	132	368	278	208	258	225	40	144	103	26	26	26						
一、〇〇	六、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	六、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇						
崇文堂	日本エスペラント學會	太陽堂	博文館	大學書林	同崎屋書店	太陽堂	新思想社	希望社	鐵塔書院	日本エスペラント學會	日本エスペラント學會	日本エスペラント學會	日本エスペラント學會						
三月	五月	三月	一月	一月	十月	六月	十一月	二月	五月	七月	九月	九月	九月						
▲エスペラントを初めて學ばんとする人の爲に、獨習用として説けるもの。一普及版	▲エスペラント語法、エスペラント文集の二篇にて説述。一普及版	▲文字、發音、品詞、名詞、形容詞外十六課より成るエスペラントの入門書。	▲一日一課即ち三十日で一週りエスペラントの要點のみこむ事が出来るやう説けるもの	▲四週間でABCより文法譯讀作文等初等及中等エスペラントの一通を會得出来る様述ぶ	▲前篇エスペラント入門及文法、後篇模範的會話を挨拶訪問食事買物等廿五課に分ち掲載。	▲近代人の常識語となりつゝあるエスペラントのABCより説述。	▲國際語エスペラントを外國語の素養のない人にもわかるやう講述せる入門書。	▲石黒氏著「初等エスペラント講習讀本」の講義書で第十二課より成る。	▲レイニオン其他のメリアに關する知識をエスペラントで譯せるプロレタリア讀本。一普及版	▲第一部翻譯物、第二部原作物、第三部ザメンホフ博士に關する著書より拔萃エスペラントをエスペラントの傑作「惜しみなく愛は奪ふ」をエスペラントで譯せるもの。一普及版	▲かつてJ.O.A.Kより放送されし山本有三氏の作のラビエラマのエスペラント。	▲大阪朝日懸賞にて一等を得し山本有三氏の作の未來小説「エスペラント」。	▲江戸川亂歩氏作「一枚の切符」をエスペラントで譯せるもの。	▲岡本綺堂氏の傑作戯曲「修善寺物語」のエスペラントで譯せるもの。	▲探偵小説家江戸川亂歩の傑作をエスペラントで譯せるもの。	▲詩聖ゲーテ不朽の名作として大衆も常に陣中に携へた「ヴェルテル」のエスペラントで譯せるもの。	▲日本最初のエスペラント日記、辭典、文法、日記手紙の書き方、エスペラントの附録あり。	▲アルカリヤのエスペラント、アイダのエスペラント、エスペラントの思出を邦譯せるもの。	▲初期における觀念主義の力、フランス時代の宣傳用主義外八章。

語學(エスペラント)

山中 英男	江戸川亂歩	岡本綺堂	三宅 史	下村 芳	江戸川亂歩	下村 芳	日本エスペラント	白木 欽	高木 弘	加賀谷林之助	加賀谷林之助	加賀谷林之助	加賀谷林之助
一枚の切符	一枚の切符	修善寺物語	黄金假面	若きヴェルテルの悲しみ	エスペラント日記	エスペラントの思出	エスペラント運動史	漢文代表問題一百題	江戸名家文選	英文解釋の要點講義	英文解釋の要點講義	英文解釋の要點講義	英文解釋の要點講義
並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判
183	41	46	110	64	242	156	176	100	115	126	108	108	108
一、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	六、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇
日本エスペラント學會	日本エスペラント學會	エスペラント研究社	日本エスペラント會	日本エスペラント會	日本エスペラント會	日本エスペラント會	鐵塔書院	日本エスペラント會	日本エスペラント會	日本エスペラント會	日本エスペラント會	日本エスペラント會	日本エスペラント會
一月	二月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月	八月
▲大阪朝日懸賞にて一等を得し山本有三氏の作の未來小説「エスペラント」。	▲江戸川亂歩氏作「一枚の切符」をエスペラントで譯せるもの。	▲岡本綺堂氏の傑作戯曲「修善寺物語」のエスペラントで譯せるもの。	▲探偵小説家江戸川亂歩の傑作をエスペラントで譯せるもの。	▲詩聖ゲーテ不朽の名作として大衆も常に陣中に携へた「ヴェルテル」のエスペラントで譯せるもの。	▲日本最初のエスペラント日記、辭典、文法、日記手紙の書き方、エスペラントの附録あり。	▲アルカリヤのエスペラント、アイダのエスペラント、エスペラントの思出を邦譯せるもの。	▲初期における觀念主義の力、フランス時代の宣傳用主義外八章。	▲漢文代表問題五十餘題を収めて訓點、語譯、通釋を施す。	▲琴後集、駿臺雜誌、楳園文集の三編を校訂せるもの。	▲英文解釋の要點となるべきところを収録して講義せるもの。	▲英文解釋の要點となるべきところを収録して講義せるもの。	▲英文解釋の要點となるべきところを収録して講義せるもの。	▲英文解釋の要點となるべきところを収録して講義せるもの。

語學(追補)

山田直雄	現代日米會話	洋袖 布珍	357	一、〇〇	泰文堂	五月	▲米國に於ける大學、中學等の生活一般並に年中行事の風習を對話文體で紹介す。
角田直雄	現代日米會話	洋袖 布珍	357	一、〇〇	泰文堂	五月	▲米國に於ける大學、中學等の生活一般並に年中行事の風習を對話文體で紹介す。
吉田幾次郎	譯註付米語の研究	並四 六製判	232	一、五〇	泰文堂	五月	▲最も新らしい米國の事情を紹介した書に譯註をつけたもので、朝食以下廿二項。
大西源雅	譯註付米語の研究	並四 六製判	232	一、五〇	泰文堂	五月	▲最も新らしい米國の事情を紹介した書に譯註をつけたもので、朝食以下廿二項。
南石福二	英譯日本小學讀本	並編 製判	61	四、五〇	學而堂	五月	▲尋常小學國語讀本卷一を英語に譯せるもので、本文譯、小註其他より成る。
南石福二	英譯日本小學讀本	並編 製判	61	四、五〇	學而堂	五月	▲尋常小學國語讀本卷一を英語に譯せるもので、本文譯、小註其他より成る。
高橋進一	獨逸語獨修自在	並四 六製判	210	六、七〇	弘學館	五月	▲獨逸語を初めて學ぶ人の爲に學び易く説明した自學自習の入門書。
桃井鶴夫	佛蘭西語基本單語集	洋新 四六布判	285	一、三〇	太陽堂	五月	▲獨逸語學習上の基本單語五千數百を厳選し文例を以てその應用を示せるもの。
岩住彌八	佛蘭西語基本單語集	洋新 四六布判	252	一、三〇	太陽堂	五月	▲佛蘭西語學習上の基本單語五千語を辭書風に配列し一般的な譯語を附す。
栗津清達	モダン外來語辭典	洋三 五布判	397	一、〇〇	先進堂	五月	▲廣く社會の各方面から語彙を蒐集して解説を施せる辭典。
酒井歌彦	ペン實用新辭典	革三 五製判	524	一、〇〇	浩文社	五月	▲現代に活用されつゝある語を主とし行草二様のペン字本を加へた辭典。
服部畊石	篆刻字林	洋四 六布判	778	六、五〇	資文堂	五月	▲印入に必要な漢字及び日本に發達せる文字三萬餘の篆文を附す。普及版。

六 美術・音樂

(A) 美術・工藝

美術・一般美術史

仲田崎之助	美術の歴史	布四 六製判	292	二、六〇	朝日新聞社	三月	▲東西兩洋の美術に就て論述せるもので、東洋諸國、原始時代の美術其他。
福井利吉	美術	並編 製判	164	四、六〇	青年及會社	十一月	▲東方美術の門、鎌倉足利時代の墨畫、桃山徳川時代の裝飾畫。
金子九平次	繪畫の製作と鑑賞	布四 六製判	777	三、五〇	日本評論社	八月	▲繪畫篇三〇七圖及本文篇四七〇頁の全二冊より成る藝術評論界の名著。
成田重郎	ブウルデエルの言葉	布四 六製判	328	三、八〇	春陽堂	八月	▲近代佛蘭西彫刻界の偉大なる作家アントワーヌ・ブウルデエルの言葉、詩其他を収む。
金井紫雲	草と藝	洋四 六製判	312	三、〇〇	芸艸堂	五月	▲たんぼほすみれを始め八十五種の草に付て文學趣味的に説き藝術家の参考とせるもの。
美術教育研究會編	講本鑑賞美術史	洋四 六布判	166	一、五〇	厚生閣	四月	▲日本美術史(上代外八章)西洋美術史(古代外三章)の二篇に大別して敘述す。

美術・音樂(美術・工藝)

美術・音楽 (日本美術・浮世繪)

澤村 專太郎	關 衛	團 伊能	澤木 四方吉	板垣 鷹穂	原 浩三	大山 廣光
日本繪畫史の研究	日本繪畫史	概観 歐洲藝術史	西洋美術史研究 <small>下巻—ルネサンスの部</small>	近代美術史潮論	ボムベイの美術	文帝展二十五年史物語
洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判
565	590	711	585	245	412	220
六、〇〇〇	五、〇〇〇	七、八〇〇	五、三〇〇	一、八〇〇	七、八〇〇	一、〇〇〇
京都 星野書店	日東書院	富山房	岩波書店	六文館	風俗資料 刊行會料	美術批評 研究社
月九	月八	月九	月十	月七	月六	月一十
▲故澤村氏が雑誌其他に發表せる論文中日本美術史に關するものを収録せる書。	▲古代より現代に至る日本繪畫史の研究で、先史及原史時代、飛鳥時代の繪畫外十二章。	▲希臘以前、希臘及び羅馬時代、中世時代、文藝復興時代外二篇にて論述。	▲美術の都、伊太利亞の旅、羅馬の秋、カンティンスキイ是非外七篇及び附録。	▲フランス大革命より現代に至る歐洲近代の美術史潮を取扱つたもの。 増訂版	▲古代都市ボムベイの美術に就て述べたもの挿圖二百四十二圖。 並製四圓五十錢	▲文帝展二十五年間の歴史を述べたもので、文展の誕生、第一回文展其他。

三七二

美術・音楽 (西洋畫)

添田 達貴	小島 烏水	尾崎 久彌	織田 一磨	井上 和雄	吉田 映二	野口 米次郎	小林 雲山	クウルテイヨシ著	外山 卯三郎	外山 卯三郎	外山 卯三郎	税所篤二譯
日本畫の鑑賞	江戸末期の浮世繪	浮世繪と美人畫	浮世繪と挿繪藝術	浮世繪師傳	浮世繪裏と表	鳥居清長	古今日本書畫名家全傳	近代佛蘭西繪畫論	アメリヂオ・モヂリアニ	チオルヂオ・デ・キリコ	アレン・マチス	近世佛蘭西繪畫論
洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判	洋画 布入判
190	259	434	377	266	165	233	848	213	77	75	78	213
一、六〇〇	七、五〇〇	二、八〇〇	三、六〇〇	七、五〇〇	二、五〇〇	九、〇〇〇	三、〇〇〇	一、六〇〇	一、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、六〇〇
雄山閣	梓書房	風俗資料 研究会	萬里閣	渡邊版畫店	千原 放下房書屋	野口家	二松堂	建設社	金星堂	金星堂	金星堂	金星堂
月九	月四	月七	月四	月十	月十	月七	月十	月二	月一	月一	月一	月二
▲日本畫の見方、現代の日本畫、明治大正畫壇の變遷外二章にて論述。	▲富嶽三十六景、二代歌川豊國其他浮世繪に關する研究七篇收載、挿繪多數。	▲浮世繪の一般、英泉の傳記、畫家としての英泉の徑路、美人畫の手法外廿八項より成る。	▲江戸文學と浮世繪、徳川時代の小説類挿繪神史小説の挿繪と北齋外十八篇。	▲浮世繪師に關する事項を網羅し五十音順に配列す。作品七十一圖。	▲繪本舞臺扇の研究、浮世繪うらのうら、浮世繪蒐集と浮世繪商人外九篇。	▲鳥居清長の作九十圖を収めて解説し、「清長論」を収む。	▲奈良朝以後現代に至る名家逸人三千六百餘名を選び其の事蹟を詳述。	▲アンデパンダンの四十年、クロオド・モネ、パブロ・ピカソ外十七章。附録索引。	▲原色版一葉、寫眞版十六葉及び本文アンリマチスの素描(外山卯三郎)外三篇を収む。	▲自畫像(原色版)漫遊詩人(寫眞版)外十五葉及キリコ(外山卯三郎)。	▲アメヂオ・モヂリアニ(外山卯三郎)外四篇及作品「少女」外十五圖。	

三七三

(6-4)

著者	書名	種別	頁数	価格	発行所	発行日	内容要約
外山卯三郎編	繪畫論研究	新書	310	二、〇〇〇	金星堂	五月	▲純粹繪畫と反純粹繪畫、梅霞の繪畫（アラゴン）立體主義論、藝術と汎幾何學等。
外山卯三郎編	洋畫研究	新書	173	二、〇〇〇	金星堂	一月	▲原色版四枚、一色二十四枚、現代繪畫の精神概論、メタフイジカの繪畫等其外。
外山卯三郎編	洋畫研究	新書	188	二、〇〇〇	金星堂	四月	▲野獸主義の研究（外山卯三郎）フォーグイゾムイ寫實（林武）外五篇及作品廿八葉。
外山卯三郎編	洋畫研究	新書	160	二、〇〇〇	金星堂	七月	▲現代繪畫の人體表現考（外山卯三郎）日本洋畫の最初の裸體畫（青柳秀夫）外七篇。
外山卯三郎編	洋畫研究	新書	198	二、〇〇〇	金星堂	十月	▲現代繪畫の風景研究で原色並一色寫眞版廿八葉及び風景畫の描寫と構圖其他。
外山卯三郎編	洋畫研究	新書	315	二、〇〇〇	金星堂	三月	▲日本現代洋畫の展望、抽象的繪畫の導入、反印象主義と繪畫的個性外八章。
村尾力太郎	西洋名畫解説	新書	56	二、〇〇〇	歐亞社	二月	▲泰西畫聖の宗教神話に關する代表的作品五十六圖を收めて美術史的解説を施せる書。
アトリエ社編	油繪の研究	新書	166	一、〇〇〇	アトリエ社	八月	▲美術家を志す人へ（山本鼎）制作問答（中川一政）外卅八篇。一廉價版。
アトリエ社編	デッサンの研究	新書	92	八〇	アトリエ社	八月	▲立派な素描（森田恒友）デッサンに就いて（小林萬吾）外十八篇。一廉價版。
外山卯三郎編	新構圖法の研究	新書	232	二、五〇〇	金星堂	十一月	▲現代繪畫の構圖を繪畫自身の内部構造から研究せる書で、線條論外三章。
足立源一郎	風景研究	新書	120	一、八〇〇	寶文館	七月	▲風景畫の發生と變遷、遠近法に就て、寫生の順序外十八篇、挿畫十八圖。
アトリエ社編	日本畫の研究	新書	279	一、三〇〇	アトリエ社	九月	▲日本畫の研究に是非とも必要な眞諦を四十三大家が執筆せるもの。一廉價版。

三七四

(6-5)

著者	書名	種別	頁数	価格	発行所	発行日	内容要約
西澤 笛藏	日本畫の新しい描き方	新書	171	一、二〇〇	崇文堂	一月	▲初めて畫道を樂しむ人々に理解し易い様に説き及ぶもので習技の法外九章。
太田 三郎	應用略畫の描き方	新書	210	一、八〇〇	崇文堂	六月	▲人物風景花卉動物等眼目のすべてを描破し得るやう略畫手本を示せる實習書。
池部 鈞	出来る漫畫の描き方	新書	172	一、八〇〇	崇文堂	十一月	▲漫畫の解剖的説明書で、日本に於ける漫畫の畫風、漫畫の表現法外廿二篇。
旭 正秀	版畫の手ほどき	新書	377	二、〇〇〇	博文館	一月	▲木版、石版及びエツチングに就ての作り方、創作版畫の全般に涉つて述べたもので、木版、エツチング、石版其他。
宮下 孝雄	新圖案の基礎	新書	369	四、五〇〇	太陽堂	三月	▲裝飾の整理（裝飾起源と圖案資料外三講）圖案の應用（木工藝圖案外五講）。
荻野光風編著	新圖案文字寶典	新書	300	二、一〇〇	春洋社	八月	▲片假名、平假名、羅馬字及數字を圖案化するもの。
萬 淑子編	萬 鐵五郎畫集	畫集	65	二、五〇〇	平凡社	四月	▲裸體美人、春外原色版八圖。煙突のある風景、風景外單色版廿八圖。
中川 一政編	中川 一政畫集	畫集	21	一、八〇〇	アトリエ社	四月	▲春光、初夏水邊外原色版七葉及び霜どけの道、村娘外寫眞版十葉。一普及版。
アトリエ社編	中村 彝畫集	畫集	26	一、二〇〇	アトリエ社	三月	▲自畫像、少女習作外原色版八圖及老母の像海邊の村外一色版十四圖を收む。
古賀 春江編	古賀 春江畫集	畫集	57	一、五〇〇	第一書房	九月	▲梅、窓外風景、蝸牛のある田舎、海、巖しき傳統外三十四圖解題。

三七五

外山卯三郎解題	前田寛治 畫集	並四六製判	62	五〇〇	第一書房	月九	▲外山卯三郎氏の解題になる「家族」外卅圖を収めた前田氏の畫集。
阿部 金剛	阿部金剛 畫集	並四六製判	50	四〇〇	第一書房	月九	▲ゲイナスの誕生、海路歷程、郷愁外二十四圖を収めて解題を施す。
東郷 青兒	東郷青兒 畫集	並四六製判	42	四〇〇	第一書房	月九	▲ピルヌイブルーの城、青いエンアブ、手術室外二十八圖を収めて解題を施す。
小出 重子編	小出楠重 作品集	並四六製判	10	一〇〇	春鳥會	月十	▲原色版六枚、コロタイプ版二枚を収む。主に二科展に出品された代表作を集む。
梅原龍三郎	梅原龍三郎 畫集	上四六倍判	25	四、八〇〇	番町書房	月四	▲一九二六年より一九三〇年間に於る作品中より二十數點を自選し原色複製をなせるもの
アトリエ社編	風景 畫選集	並四六製判	28	一、三〇〇	アトリエ社	月九	▲風船のある風景（ルツツオ）外二十七葉の原色版を収めて解題を施す。
アトリエ社編	現代作家滯歐作品選集	並四六製判	28	一、三〇〇	アトリエ社	月九	▲讀書（黒田清輝）外二十七葉の原色版を収めて解題を施す。
アトリエ社編	人物 畫選集	並四六製判	28	一、三〇〇	アトリエ社	月十	▲小慧（満谷國四郎）裸體（岡田三郎助）青衣夫人（正宗得三郎）外廿五圖。一廉價版。
アトリエ社編	現代洋畫コレクション	並四六製判	28	一、三〇〇	アトリエ社	月二十	▲静物（青山熊治）畫室（石井柏亭）外廿六葉及び解説。一廉價版。
アトリエ社編	東西 素描大成	並四六製判	20	一、五〇〇	アトリエ社	月一	▲アングル、ドラクロア、コロロ、ミレー、ゴッゲン其他のテッサン及解説。（學生版）
アトリエ社編	東西 素描大成	並四六製判	20	一、五〇〇	アトリエ社	月一	▲ジオット、ボチチエリ、ミケランジェロにセツチ其他の素描を収め解説を施す（學生版）
アトリエ社編	東西 素描大成	並四六製判	20	一、五〇〇	アトリエ社	月一	▲明妃出塞圖卷の一部（宮素然素筆）梅花（王冕筆）外十八圖及解説（學生版）
アトリエ社編	東西 素描大成	並四六製判	20	一、五〇〇	アトリエ社	月二	▲信貴山縁起、嵐山勝覽園（池大雅筆）雪山寒月圖（狩野芳崖筆）外十七圖及解説。（學生版）

アトリエ社編	現代新進作家素描集	上四六倍判	32	一、二〇〇	アトリエ社	月三	▲わが洋畫界に於ける新進作家の素描集でコムゴジシオン（阿部金剛）其他。
アトリエ社編	泰西名家デッサン集	並四六製判	50	一、〇〇〇	アトリエ社	月八	▲デューラー、ミケランジェロ、ゴッ、ミレー其他泰西名家のデッサン集。一廉價版。
川崎久敏編	女性 美術	並四六製判	120	六〇〇	朝日書房	月十	▲東西の裸體美人名畫を寫眞版六十六葉に六十餘人を集録したるもの。
丸山東美男	山のスケッチ	並四六製判	52	六〇〇	朋文堂	月七	▲山のスケッチ集で、武甲山より大山まで、尾瀬へ行く道外五十圖。
富田通雄	南 畫	並四六製判	64	四〇〇	朝日新聞社	月九	▲第十回南畫展集で、薫風（赤松雲嶺）閑庭群禽（關谷雲崖）外七十六圖。
朝日新聞社編	日本プロレタリア美術集	上四六倍判	146	二、〇〇〇	内外社	月七	▲現實に役立てられた數多い作品の中代表的なものを集録す。一廉價版。
美術家同盟編	浮世繪競覽畫集	布四六倍判	224	三、五〇〇	大鳳閣	月四	▲裸體を主とした浮世繪集で、風呂場以下多くの浮世繪師の作品二二四圖を収む。
牛山 充編	宋元明清名畫大觀	紙上下二倍判	400	七、〇〇〇	大塚巧藝社	月七	▲龔の唐宋元明清大觀の姉妹篇にして、これに洩れたる古畫と明清畫とを集録す。
日華古今展覽會編	菊川英山傑作集	和四六倍判	96	七、〇〇〇	芸艸堂	月三	▲全部コロタイプ版、文化文政の美人畫家に有名なる英山の傑作九十六點を収む。
彰美會編	復古大和繪集	和四六倍判	112	一、〇〇〇	巧藝社	月六	▲田中納言、浮田一恵、岡田爲恭、渡邊清の傑作中の逸品を撰す。
日本美術協會	法隆寺金堂 壁畫	紙四六倍判	29	一、〇〇〇	法隆寺發行所	月一十	▲法隆寺の壁畫を鮮寫したるもの、あるものは殆んど原寸に近く擴大す。
法隆寺藏版	法隆寺金堂 壁畫	紙四六倍判	29	一、〇〇〇	法隆寺發行所	月一十	▲染織應用圖案五十種全部木版彩色刷、美術工藝圖案資料としての傑作集。
東京美術學校編	法隆寺金堂 壁畫	紙四六倍判	29	一、〇〇〇	法隆寺發行所	月一十	▲宗家左近氏の舞姿を精巧なる原色版とし舞臺面型所小道具及解説を別に添ふ。
桂友同機會編	創苑 帖	紙四六倍判	50	三、五〇〇	芸艸堂	月二十	
觀世左近能すかた	創苑 帖	紙四六倍判	50	三、五〇〇	芸艸堂	月二十	



美術・音楽（揮毫・翰墨・印譜・工藝）

三七八

大阪三越編	松壽軒西鶴獨吟百韻	和紙倍 50	芸艸堂	月九	▲西鶴晩年の筆になる書畫百韻の内から巻中畫を挿んで最も興味ある部分を複製せるもの
川端畫學校編	玉章翁遺墨集	和紙四倍 58	巧藝社	月四	▲宮内省御貸下げ御物、博物館、東京美術學校第一高等學校川端家三井家等秘製の名品集。

楠瀬日年揮毫大觀	後藤朝太郎翰墨行脚	背函菊 515	春陽堂	月二	▲書と云はず畫と云はず揮毫に關する一切を網羅せる一般揮毫家の至便書。
狩野亨吉編	畫落款印譜大全	背函六倍 589	春陽堂	月一十	▲翰墨生活とは何か、支那の南北、支那翰墨史、翰墨を求めて外一篇。
岩上野方外編	畫落款印譜大全	背函六倍 589	武俠社	月二十	▲明治以前の作家を網羅し實物の印譜と作品とに就て蒐集せるもの。

工 藝

奥田誠一	日本工藝史概説	洋函菊 134	雄山閣	月二十	▲工藝の意義及其本質、貴族趣味の工藝、武家趣味の工藝外五章にて論述。
高橋龍雄	茶道名物考	洋函六 757	大岡山書店	月二	▲茶道の幾多の名物を掲げ名稱の由来其他名物談を附載した前後二冊より成る書。
淺川巧	朝鮮陶磁名物考	上函菊 216	朝鮮行會	月九	▲朝鮮李朝時代陶磁器の名稱を考察し其の正しい用途を示し製造上の用語等を説明す。
鹽田力藏	陶磁文明の本質	布函六 476	平凡社	月六	▲古今の窯工技術を中心し物質と精神との關聯に基ける文明現象の由来を論ず。
青山二郎選	陶磁香譜	布函六 51	出版政會	月九	▲漢、唐、宋、元、明、清の各時代の代表的古陶を原色及びグラビヤにて圖録す。
會橋治郎編	手織絹手本	紙函菊 100	出版政會	月十	▲世上から其影を絶ちつゝある古裂、手織木綿の實物を切つて貼付けたもの、解説付
會橋治郎編	手織絹手本	紙函菊 100	出版政會	月十	▲右に同じ。

美術・音楽（刀劍・鐮）

三七九

刀 劍 鐮

會橋治郎編	手織絹手本	紙函菊 100	出版政會	月十	▲黃八丈、黒八丈、鳶八丈の古裂の實物を切つて紺染臺紙に貼付けたもの。
會橋治郎編	手織絹手本	紙函菊 100	出版政會	月十	▲丹波布の史的背景、篠山在の染織、種類、しまぬきの研究、幕末から明治への染織史。
上村六郎	丹波布	上函菊 77	出版政會	月六	▲天平時代より徳川時代迄各時代順に編纂精巧原色版五葉玻璃版八十葉を収録す。
恩賜京都博物館編	染織名品圖録	紙函四倍 85	芸艸堂	月六	▲全國に散在する鼓胴中の名物もの百余點を原寸大に寫眞にしたもの。
齋藤芳之助編	名物小鼓大鑑上卷	布函四倍 52	能樂書院	月二十	▲古代人形逸品を每輯木版刷二〇葉原色版三葉玻璃版五〇葉を収む。
西澤信敬編	人形集	紙函四倍 100	芸艸堂	月一	▲難遊上已確立時代、觀賞的玩具興隆時代、人形玩具成熟時代の三篇にて論述。
有坂與太郎	日本玩具史	洋函菊 236	建設社	月九	▲郷土玩具が何故に生れたかの世相を洞察し内面的に觀察せるもので、金澤の春駒其他。
有坂與太郎	郷土玩具種々相	中函四 292	嵩山房	月二十	▲極めて平易に述べた玩具工藝への覚え書で玩具工藝の指導外二篇。
西川友武	製作と玩具工藝	並函菊 160	金星堂	月十	▲各地の玩具百種を畫き之に一々解説を附したる書。
森井芳枝	諸國玩具見るまゝに	和紙 100	芸艸堂	月二	
清水孝教編	鑿定刀工鐮工辭典	洋函六 660	太陽堂	月三	▲刀劍鍛冶の沿革、諸國鍛冶の特色、刀の名稱及作者其他を収めた辭典。
清水孝教	槍薙刀及び鐮の新研究	洋函菊 728	太陽堂	月一十	▲槍・薙刀の部（上代篇外四章）鐮及屬具之部（在銘銷鐵鐮及屬具外二章）。

寫眞

高山 正隆	飯田 耕三	吉川 速男	齋藤 鶴兒	鈴木 八郎	大伴 喜祐	鈴木 重八	福原 信三	朝日新聞社編	朝日新聞社編	
藝術寫眞入門	フィルム板寫眞術の初歩	パターの第一歩	引伸寫眞の作り方	引伸の實際	小型映畫の記録	商業寫眞術	西湖風景	日本寫眞年鑑	第五回國際寫眞サロン	
布四六 裝入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	革四三 裝入判	上四六 裝入判	布四六 裝入判	布四六 裝入判	
271	208	159	281	240	294	300	24	243	221	
一、八〇	一、八〇	二、〇〇	二、〇〇	一、八〇	一、五〇	二、五〇	三、一〇	四、〇〇	三、〇〇	
光 大 社	松 榮 堂	玄 光 社	玄 光 社	玄 光 社	春 陽 堂	ア ル ス	日 本 寫 眞 會	朝 日 新 聞 社	朝 日 新 聞 社	
月 五	月 九	月 一 十	月 九	月 二 十	月 一 十	月 二 十	月 四	月 六	月 二 十	
▲藝術寫眞の一般に就て述べたもので、作畫の一般外二篇。	▲初心者の爲めに寫眞術の一般を平易に説けるもので、寫眞になるまで外七篇。	▲パターに就ての一般知識を説けるもので、目標の置きどころ外三十五篇。	▲直に實用に供せられる實踐的な作畫注を主にせるもので、豫備篇外二篇。	▲引伸の第一歩を踏み出す人を對象として論述せるもので、引伸法の種々外七篇。	▲各場面を通じての露出、現像の處理方法其他を書き入れられるやうになつた記録帳。	▲商業寫眞に關する凡ゆる知識を説けるもので、商業寫眞とは何であるか外十七篇。	▲福原氏の撮影になる西湖風景寫眞廿四圖を収めたもの。	▲日本（妹の像以下四十七篇）を始め、世界各國寫眞家の作品集。	▲全日本寫眞界の過去一年間の傑作を輯めた日本寫眞年鑑第七年版。	▲主要美術展覽、海外新作、展覽會一覽、昭和六年度美術界一年史其他。

(B) 音楽・舞踊  
音楽理論・音楽一般

和田 三造	田邊 尙雄	眞 倭 俊雄	伊 庭 孝	大田 黒元雄	菅原 明朗	下 總 皖一	島崎 赤太郎	成 田 爲三	
和 色 名 鑑	音 樂 理 論	音 樂 通 論	音 樂 讀 本	西 洋 音 樂 入 門	和 聲 學 要 義	和 聲 學 實 習 課 題 例 解	和 聲 學 實 習 課 題 例 解	對 位 法 教 科 書	
上四六 裝入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	並編 製判	洋編 布判	洋編 布判	洋編 布判	
260	167	205	303	170	115	92	77	148	
五、五〇	二、三〇	二、五〇	二、〇〇	一、八〇	二、八〇	一、八〇	一、〇〇	一、〇〇	
春 秋 社	共 立 社	東 洋 圖 書 株 式 合 資 會 社	カ オ リ 社	第 一 書 房	春 陽 堂	共 益 書 店 商	共 益 書 店 商	共 益 書 店 商	
月 八	月 十	月 九	月 八	月 四	月 二	月 五	月 三	月 四	
▲あらゆる色彩を細かく分類して、實物の色を貼り解説したるもの。	▲音響學と音樂との境、和聲と音階との關係東洋に於ける一次和聲階外五章。	▲音樂の基礎知識、和聲、樂式、管絃及び有聲樂器の四篇にて説述。附録引用樂語。	▲音樂のあらゆる方面に亘つて網羅せるもので、音の強弱、音樂の發生外三十八課。	▲西洋音樂入門上是非必要な樂典に就ての知識を説けるもの。改訂版。	▲定調的關係の下に於ける和絃の接合、四部音律及び急進轉調外三章。	▲「和聲學實習課題」の解答集にして課題の實習上和聲學研究上の伴例。	▲本書所載の例題の鍵即ち解式で和聲學を學習する人々殊に獨習する人々の参考書。	▲定評あるヤーダンの對位法研究書を翻譯せるもの。	▲メロディの作り方を前提に於て説明せるもので基本練習其他。

井上武士樂典詳論	徳山璇新曲と聴音	福井直秋伴奏の作り方	林幸光樂典諸問題と解答	水谷式夫中等音樂概要	武蔵野音樂學校編音樂講演集	大田黒元雄譯ムツシユウクロツシユント	兼常清佐音樂の階級性	野村光一樂壇隨想	三浦俊三郎邦本洋樂變遷史	小松清譯佛蘭西音樂夜話	藤木義輔樂聖をめぐる
洋四六布判	上菊製判	洋菊布判	洋四六布判	上菊製判	上四六製判	上四六製判	並四六製判	布四六製判	布四六製判	並四六製判	並四六製判
250	80	100	89	80	186	202	105	347	848	339	343
一、三〇	一、八〇	一、八〇	一、六〇	一、四〇	一、八〇	一、四〇	一、四〇	一、二〇	六、三〇	一、六〇	一、三〇
社共書店	社共書店	社共書店	社共書店	社共書店	社共書店	第一書房	鐵塔書院	出版	日東書院	春陽堂	四六書院
月一	月二十	月一	月四	月九	月六	月九	月二	月三	月十	月二十	月六
▲樂典を詳述せる音楽研究者受験者にとつての参考書。	▲收められた旋律の殆んどは受験者必須の曲ばかりで本年度迄の東京音楽學校試験。	▲平易な旋律に簡明な伴奏を付ける方法の一を説述したもの。	▲樂典各章で難問題とされるものを全部集めて、それ的確なる解答をほどこしたものを改訂版。	▲本書は各中等學校の爲めに音楽を一般的に理解せしめんとした書。	▲發聲に就て、音楽と教育、外九論説を記録したもの。	▲ドビュッシーの音楽評論集で、ムツソルグスキイ、野外音楽外三篇。	▲音樂の階級性について、音樂の階級性を誰が発見する外一章。附録名人減亡。	▲作曲家と演奏家との對立、音樂と演奏と批評、街上の音樂其他。	▲初めて我が國に洋樂が輸入されてから今日に至る迄の歴史的記述。	▲一八六五年から一九二四年迄の佛蘭西音樂界の記録。	▲浪漫主義の回想、自叙傳と小説、現代音樂の片影其他より成る音樂隨筆集。

ア松一輔著聲樂講話	クロイツエル講述ピアノ演奏法講義	箕田光吉ピアノノペダルの使用法	萩原英一ピアノノペダルの手ほどき	前田璣グアイオリンの奏法	服部龍太郎西洋音樂技術入門(1)	佐藤秀郎西洋音樂技術入門(2)
洋四六布判	上四六製判	並四六製判	洋四六倍布判	並四六製判	並新四六製判	並四六製判
222	158	117	45	164	155	172
一、五〇	一、五〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇
春秋社	藝術社	藝術社	共益書店	春陽堂	春陽堂	春陽堂
月一十	月七	月十	月五	月一	月五	月九
▲何故人は歌を歌ふのであるか? 如何にして感動さすべしか外七章。	▲理論、實地奏法の二部にてピアノの演奏法を講義せるもの。	▲ピアノ演奏技術に密接な關係を有するペダルの意義及び使用法の技術とを説述。	▲ペダルの意義と使用法を正しく平易に説明されたピアノ奏者の手引書。	▲グアイオリン奏法に就ての一般的解説で、グアイオリンに對する種々の注意外廿五篇。	▲ジャズ愛好者への序説、サキソフォンの奏法、パンジョの奏法外一篇。	▲ハルモニカの奏法に就て述べたもので、豫備科、初等科外四篇。

楽譜・歌曲集

田邊 尚雄	鹽入 龜輔	あらえびす	松井 翠聲
著者選と選び方・聴き方 レコードの選び方 和洋名曲解説	國文堂十種文庫 レコード名曲解説	著者選と選び方 レコード通	西洋音楽文庫(1) 映畫音聲全集
背四六判	並三五判	上四六判	並四六判
700	116	167	306
三、〇〇	二〇	七〇	一、四〇
先進社	誠文堂	四六書院	春陽堂
月一十	月三	月五	月八
▲著者選の種類と構造、レコードの撰び方、洋楽レコード解説外五篇及索引。	▲レコードに吹込まれた名曲を主として解説せるもので、レコードの常識外六篇。	▲著者選と選び方、レコードの撰び方、レコード漫談外一篇。	▲映畫に音楽は何故必要か、呼び物映畫の伴奏音楽の研究廿六篇。

松平 信博	松平千加士編曲	松原千加士編曲	軍事攻究會編	齋藤 佳三	吉田 二郎	弘田 龍太郎	弘田 龍太郎	弘田 龍太郎	中山 晋平	納所 辨次郎	山内 俊次編	山内 俊次編
映畫伴奏曲集	トキー主題曲選	日本俚謡曲集	新帝國軍歌集	日本新歌謡曲	菊水小唄	田童謡小曲集	童謡小曲選集	童謡小曲選集	山中童謡小曲集	明和童謡(14)と	新昭和童謡第一集	新昭和童謡第二集
上四六判	並四六判	並四六判	布四六判	並四六判	並四六判	並四六判	並四六判	並四六判	全四六判	並四六判	並四六判	並四六判
26	20	20	282	16	10	各25	5	6	各25	9	26	26
一、八〇	四三	四三	二〇	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三
出版	出版	出版	書一二三店	出版	出版	出版	出版	出版	出版	出版	出版	出版
月三	月二	月五	月八	月七	月八	月八	月六	月六	月七	月六	月六	月六
▲映畫伴奏管絃樂譜集。	▲ハーマニカ吹奏用レコード名曲選第一輯。	▲ハーマニカ吹奏用レコード名曲選第二輯。	▲一〇八の軍歌、聯隊歌、陸軍行進曲等を収む。	▲齋藤佳三新作歌謡曲集。	▲國粹高柳民謡曲集。	▲全國を風靡せる「靴が鳴る」の學校を始めた神田祭、濱千鳥等絶唱を収録す。普及版。	▲曲目内容 夕焼を見る兒、かたつむり、お早うの歌、海邊の春、馬の鈴—以上五曲。	▲曲目内容 濱風、音に誘はれて、佛陀、小犬、春よ來い、櫻—以六曲。	▲数百千の作品中より特に藝術的教育的代表曲百五十を精選六冊に配分す。	▲明治児童樂壇不朽の名作たる兎と龜、桃太郎等十篇、何れも新に流麗なる伴奏を附す。	▲小學校用乃至幼稚園用として現代代表作家の歌詞、歌曲を収め、其の各々につき指導上せるもので、(第一輯)ヒヨッコロヒヨッコ、風	▲の要領並に参考資料を作曲家自ら詳細記述せるもので、(第一輯)ヒヨッコロヒヨッコ、風